

本書の見かた

本書ではお車の各装置や装備の正しい取り扱いかたと、快適ドライブ情報やお手入れのしかた、万一のときの応急処置などを記載しています。

- ◎ お車を安全・快適にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。
- ◎ 「警告」「注意」は安全のために特に重要です。よく読んでお守りください。

- 本書の中で使用しているマークと意味は次のようになっています。

安全のために守っていただきたいこと。	
 警告	守らないと生命の危険または重大な傷害につながるおそれがあります。
 注意	守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。
お車のために守っていただきたいこと。	
 アドバイス	守らないと車両破損につながるおそれや本来の性能を確保できないことがあります。
お車を使ううえで知っておいていただきたいこと。	
 知識	知っておくとお車やいろいろな装備を上手に使うことができ便利です。

- 参照して読んでいただきたいページなどを、➡マークで表示しています。
- 日産販売会社で取り付けられた装備(ディーラーオプション)については、その装備に付属の取扱説明書をお読みください。
- 点検・整備、保証については別冊のメンテナンスノートをお読みください。
- その他、ご不明な点はカーライフアドバイザー(営業部員)にお申しつけください。

- 交通ルールやマナーを守って運転しましょう。
- 自然環境保護に配慮してください。
- 本書と別冊のメンテナンスノートはお車の中に保管してください。
- お車をゆずられるときは次に所有される方のために、本書をお車に付けておいてください。
- 車両の仕様変更により、本書の内容が実車と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。

取り扱い方法をパソコンやスマートフォンでもご覧いただけます。

右のQRコードを読み取るか、URLを直接入力すると電子取扱説明書(ビジュアル版)が閲覧できます。

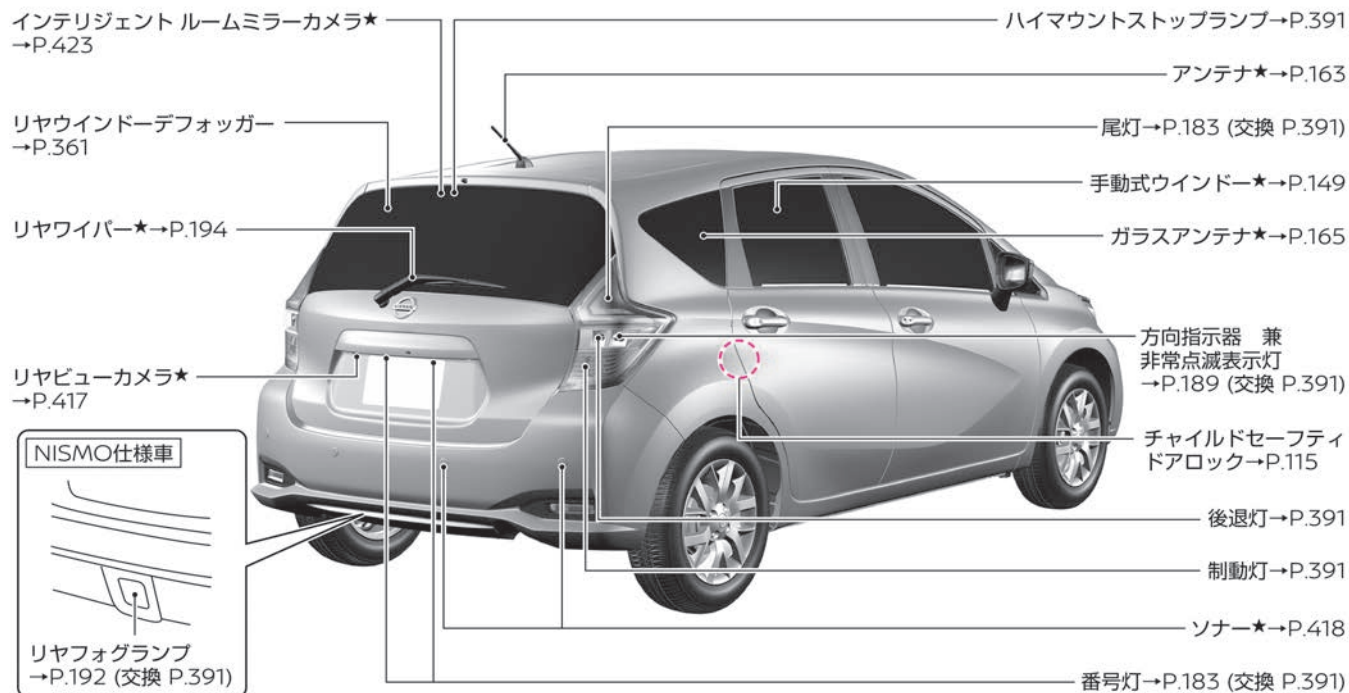
http://www.nissan.co.jp/OPTIONAL-PARTS/NAVIOM/NOTE_SPECIAL/E-POWER/1709/index.html



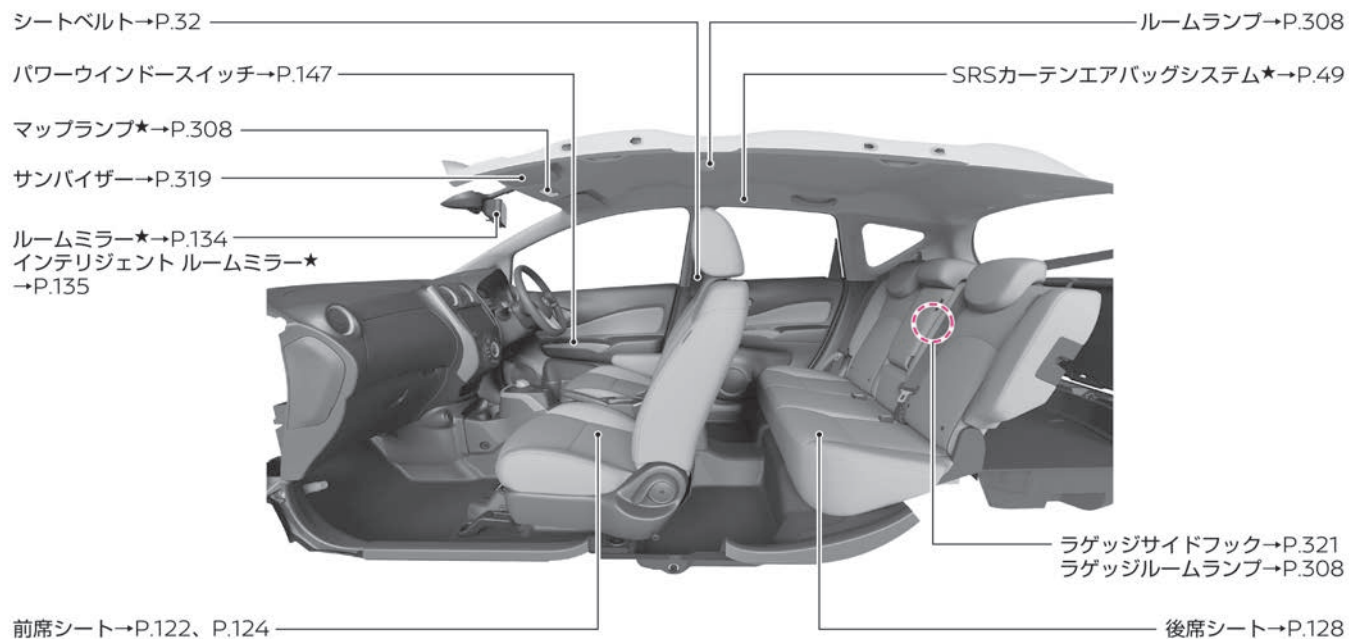
■ 外観フロント .2 ■ 運転席まわり .5 ■ 警告灯一覧 .8	■ 外観リヤ .3 ■ インストルメントパネル .6 ■ 表示灯一覧（NISMO仕様車以外） .9	■ 車室内 .4 ■ メーター .7 ■ 表示灯一覧（NISMO仕様車） .10	イラスト目次	P.2
■ 日産 e-POWERの特徴 .12	■ 安全にご利用いただくために .15	■ 日産 e-POWERと上手に付き合うために .20	日産 e-POWERとは	P.11
■ 運転する前に .24 ■ お子さまの安全のために .51	■ シートベルト .32 ■ 盗難防止機能 .65	■ エアバッグ .40	安全なドライブのために	P.23
■ 計器類 .68 ■ メーターの明るさの調節 .101	■ 警告灯・表示灯 .79	■ 車両情報ディスプレイ .96	メーターの見かた	P.67
■ キー .104 ■ ハンドルの調節 .133 ■ 燃料補給口の開閉 .150	■ ドアの施錠と解錠 .110 ■ ミラーの調節 .134 ■ エアコンの操作 .153	■ シートの調節 .122 ■ 窓ガラスの開閉 .147 ■ オーディオ .161	各部の操作	P.103
■ 始動する .168 ■ 運転支援機能 .197	■ 運転する .173 ■ カメラシステム .284	■ ランプをつける、ワイパーを使う .183	運転のしかた	P.167
■ 室内灯 .308	■ 収納装備 .310	■ その他の室内装備 .315	室内装備	P.307
■ まずはじめに .324	■ 緊急時の対処方法 .331		トラブルがおきたときは	P.323
■ メンテナンスの前に .366 ■ サービスデータ .424	■ 点検と整備 .373	■ 清掃・お手入れ .410	メンテナンス	P.365
			索引	P.431

外観フロント

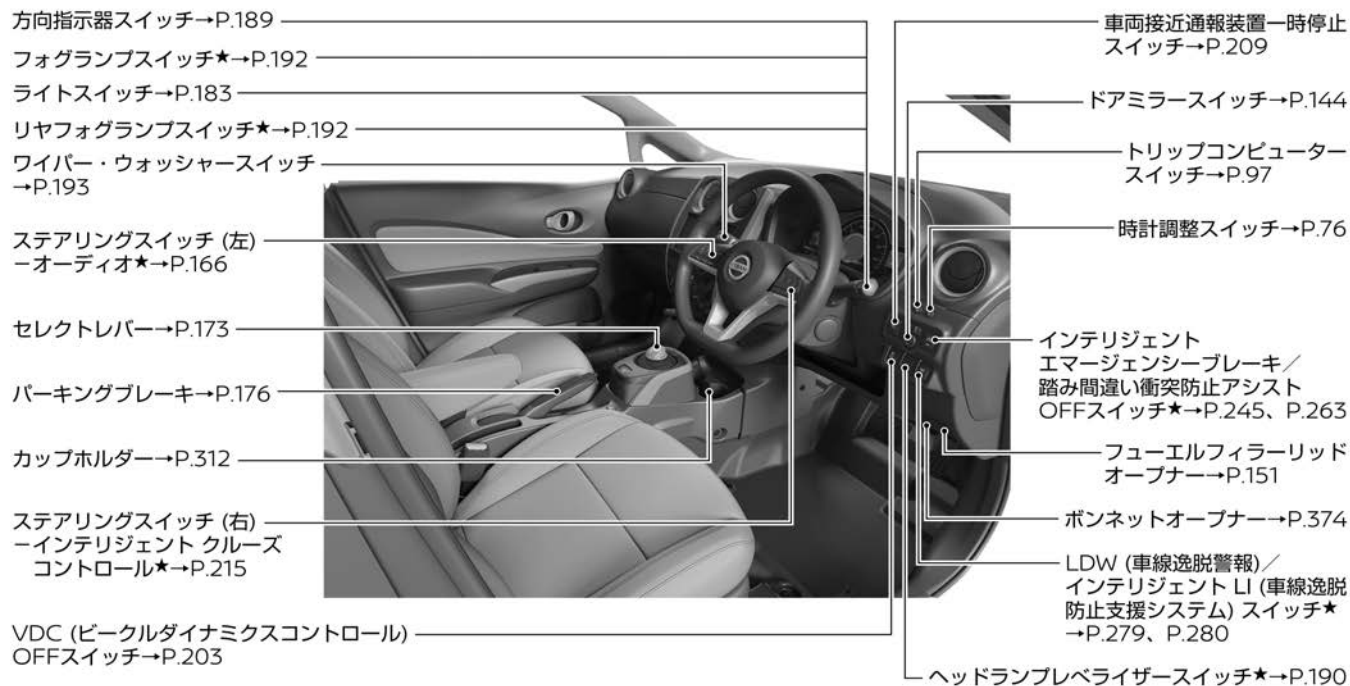




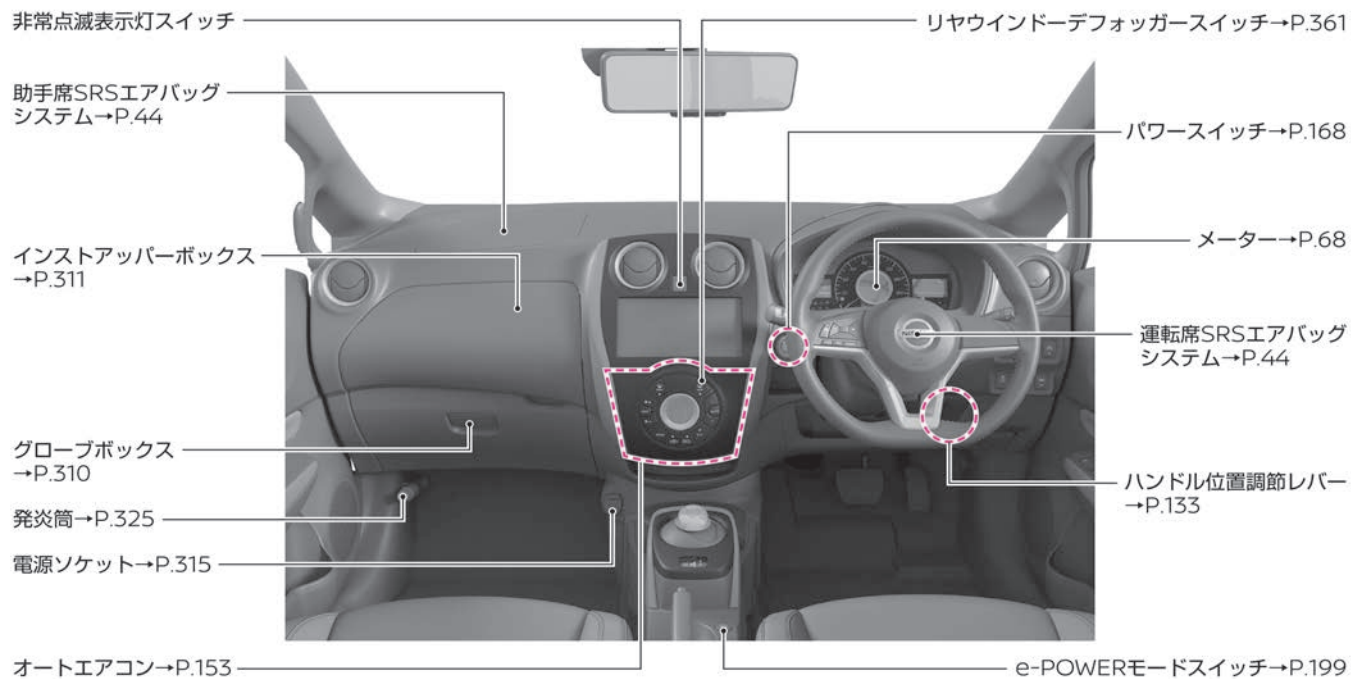
車室内

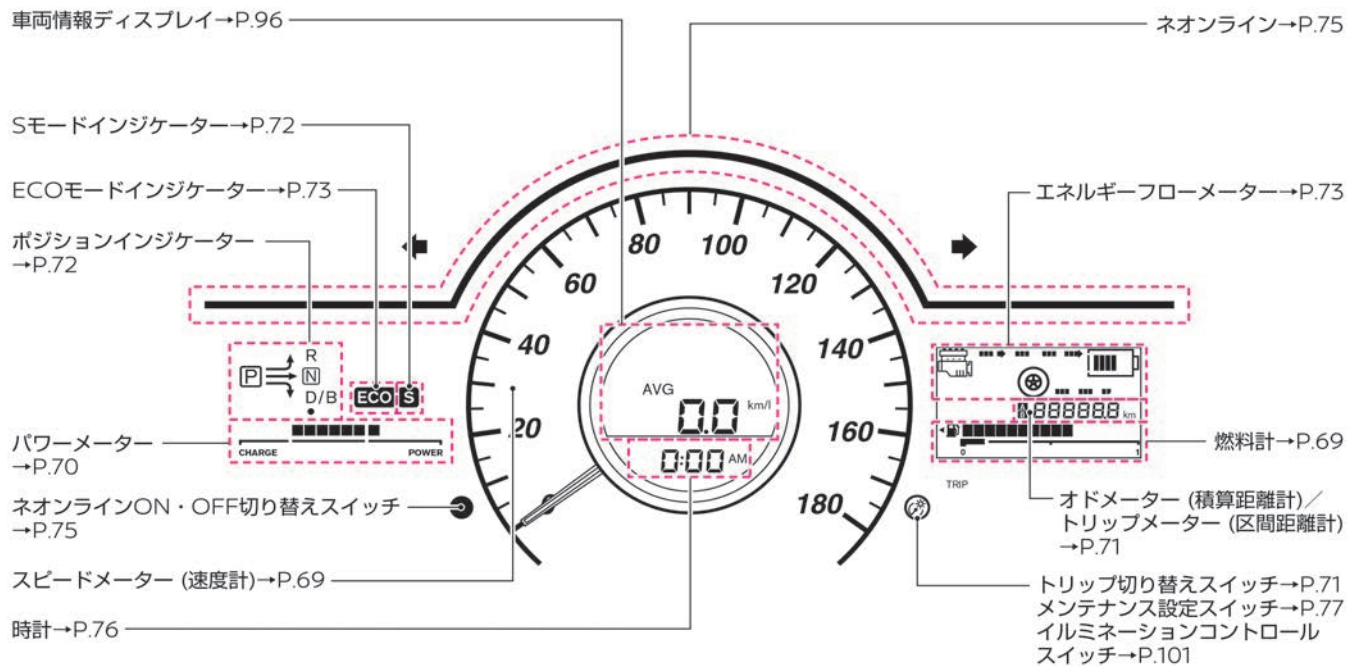


運転席まわり

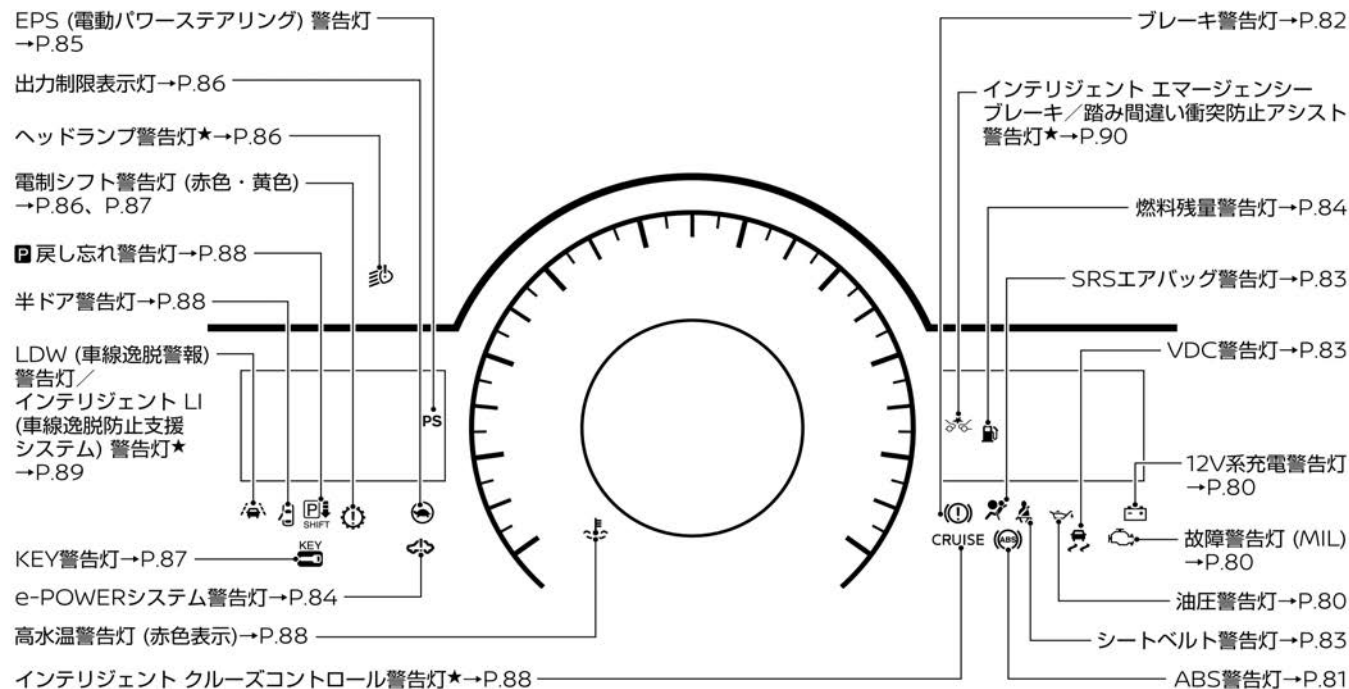


インストルメントパネル

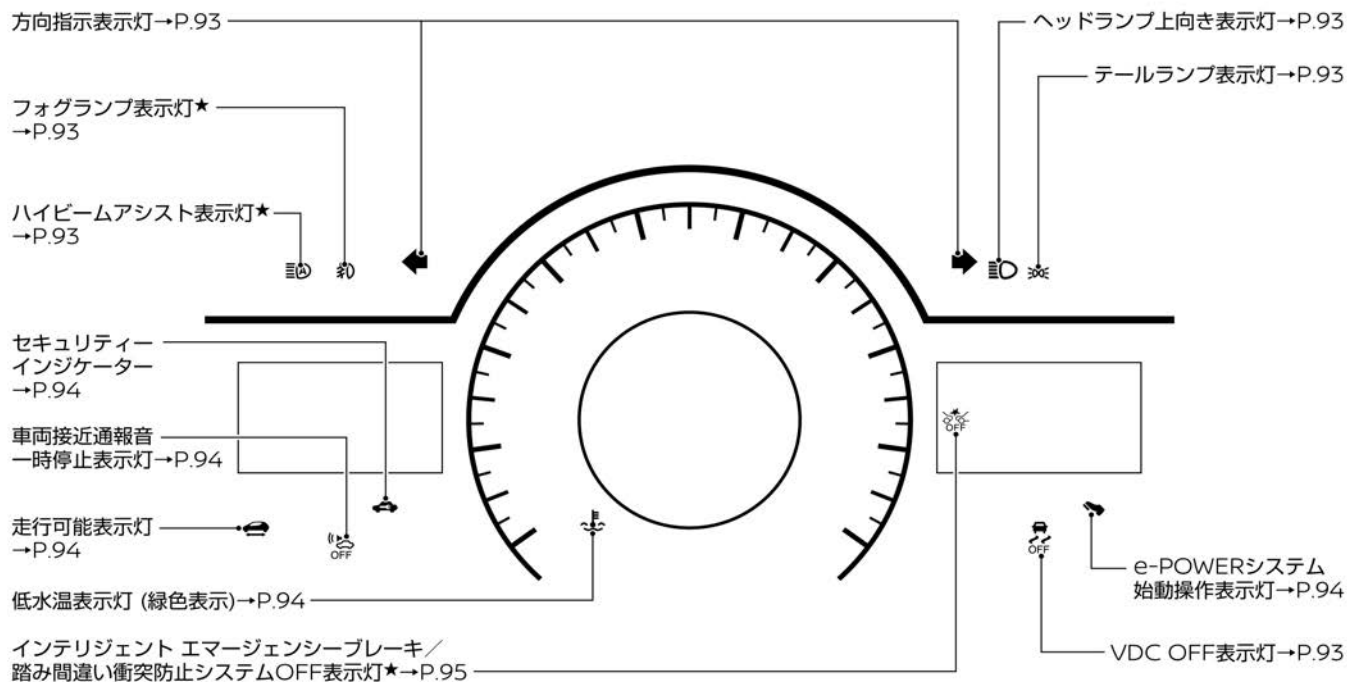




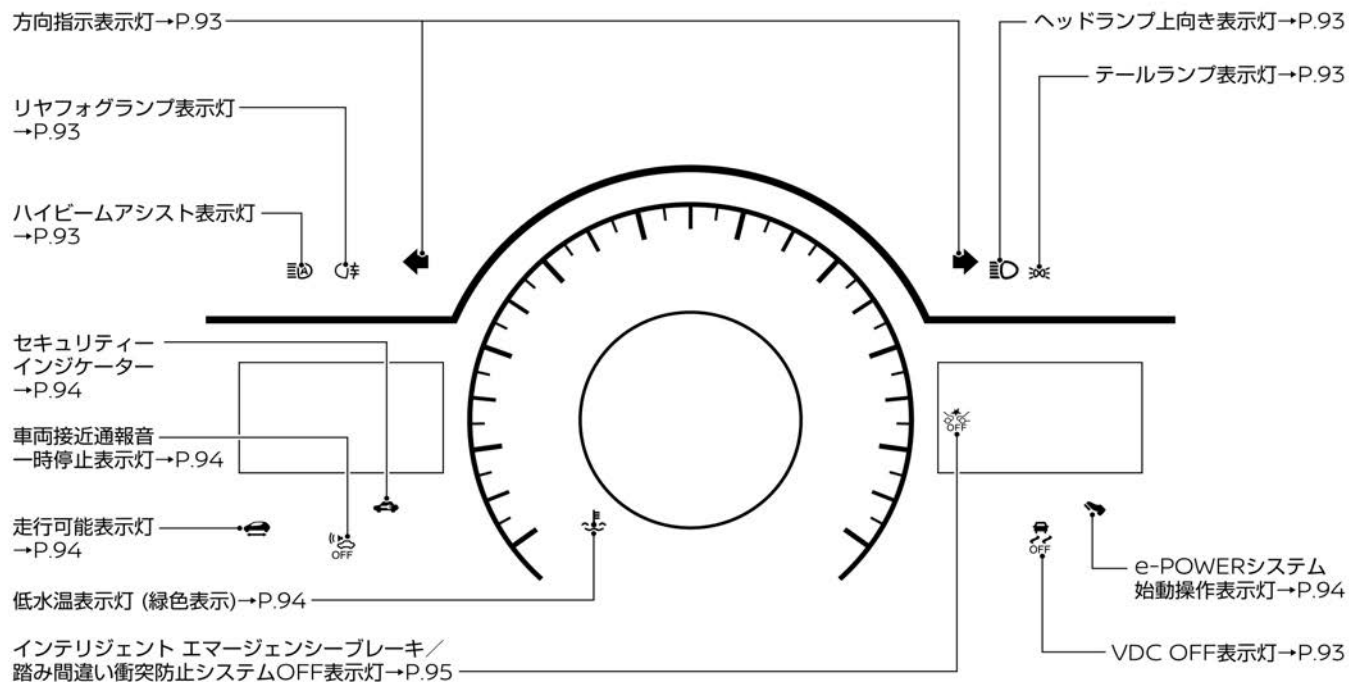
警告灯一覧



表示灯一覧（NISMO仕様車以外）



表示灯一覧（NISMO仕様車）



日産 e-POWERの特徴

ノート e-POWERってどんな車？	P.12
--------------------	------

安全にご利用いただくために

高電圧部品について	P.15
-----------	------

ノート e-POWERの取り扱いに関する注意事項	P.16
--------------------------	------

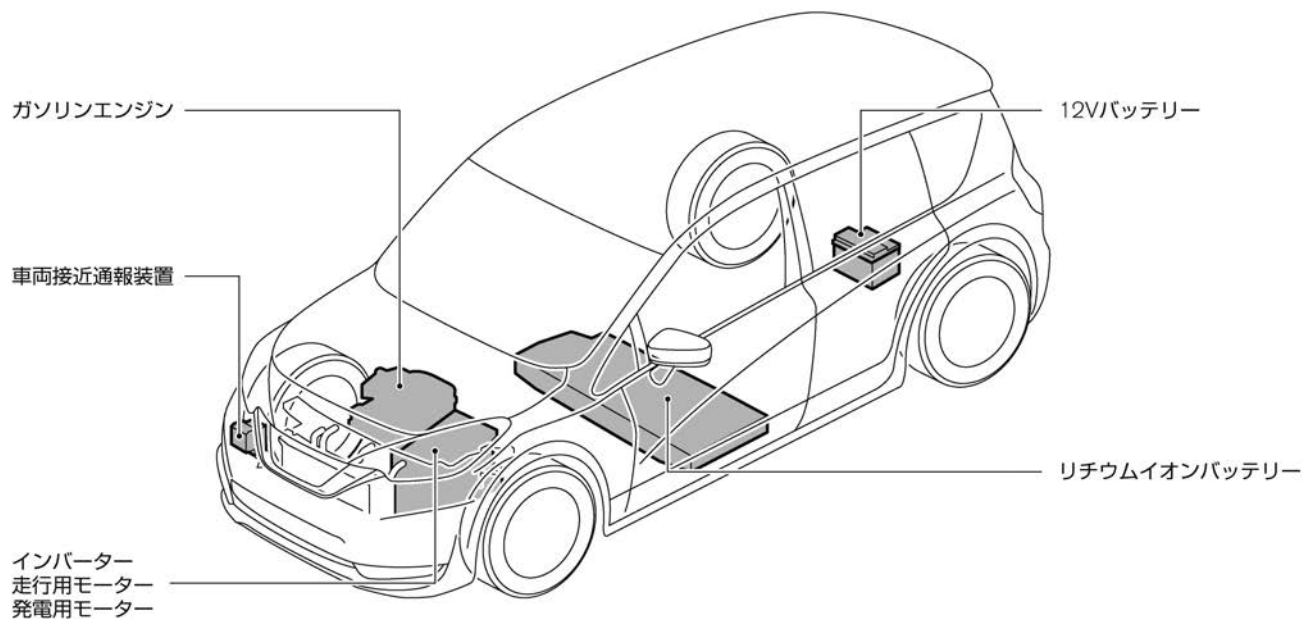
ノート e-POWERが事故にあったときの注意事項	P.18
---------------------------	------

日産e-POWERと上手に付き合う ために

燃費を良くするためのポイント	P.20
----------------	------

ノート e-POWERってどんな車？

ノート e-POWERはガソリンエンジンで発電用モーターを動かすことにより発電し、その電力をリチウムイオンバッテリーに蓄えたり直接走行用モーターに供給したりします。そしてそれらの電力で走行用モーターを駆動し走行する自動車です。



ノート e-POWERってどんな車？

■ 走行用モーター

リチウムイオンバッテリーに蓄えられた電力やエンジンと発電用モーターで発電された電力を使用して、エンジンの代わりにタイヤを動かす力を生み出します。

■ 発電用モーター

ガソリンエンジンで動き発電します。

■ リチウムイオンバッテリー

発電用モーターで発電された電力や走行用モーターの回生電力を蓄え、走行時に走行用モーターに電力を供給します。

リチウムイオンバッテリーの残量が低下すると、エンジンが始動し自動的に充電を行うため、電気自動車のような外部からの充電は必要ありません。

ただし、車両を長時間放置すると少しずつ放電するため、少なくとも2〜3か月に一度、約30分間は運転してください。（リチウムイオンバッテリーがダメージを受け、使用できなくなるおそれがあります。）

万一、リチウムイオンバッテリーがあがり、e-POWERシステムを始動できない場合は、日産販売会社にご連絡ください。

■ 回生ブレーキ

ガソリンエンジン車のエンジンブレーキの代わりにモーターを使って減速することを回生ブレーキと呼びます。減速するときに発電するため、発電した電力でリチウムイオンバッテリーを充電することができ、エネルギーを無駄にせず燃費を良くすることができます。

知識

- 回生ブレーキは、長い下り坂でリチウムイオンバッテリーが満充電になった場合や低温時、滑りやすい路面では減速度合が小さくなることがあります。

次ページに続く

ノート e-POWERってどんな車？

車両接近通報装置

本車両は走行時の音がとても静かで通行人が車両の接近に気づきにくいいため、警報装置が
ついています。交差点などの徐行中に警報音が鳴ります。

➡ 車両接近通報装置 (P.207)

エンジンが作動するとき

e-POWERシステムでは下記のようなときにエンジンが作動する場合があります。

- リチウムイオンバッテリーの残量が少ないとき（発電のため）
- アクセルペダルを強く踏み込んだとき（発電のため）
- ブレーキペダルを踏み込んだとき（ブレーキブースター用負圧生成のため）
- 長い下り坂を走行しているとき（減速度を生成するため）
- 暖房をONにしたとき（熱源となるエンジン水温を上げるため）
- エンジンが冷えているとき（暖機のため）
- e-POWERシステムが始動している状態でボンネットを開けたとき（整備時の事故を防止するため）

e-POWERシステム特有の音や振動

e-POWERシステム始動後は、次のような特有の音や振動が発生する場合がありますが異常
ではありません。

- エンジンルームからのモーター音
 - エンジンの始動・停止による音や振動
 - アクセルペダルから足を離れたときやブレーキを踏んだときの作動音やモーター音
 - 急加速時のエンジン音
 - コンソール下部付近、前席下からのファン作動音
 - 歩行者に車両の接近を知らせるための音
- ➡ 車両接近通報装置について (P.207)

知識

- 従来のガソリンエンジン車と比較して、アイドリング時のエンジン回転数は高めに設定されています。これはアイドリング中でもリチウムイオンバッテリーを充電するためで、異常ではありません。

安全にご利用いただくために 高電圧部品について

e-POWERシステムには以下の高電圧部品が使われています。主な高電圧部品にはラベルが貼りつけてあるので、ラベルの記載事項に従ってください。

インバーター

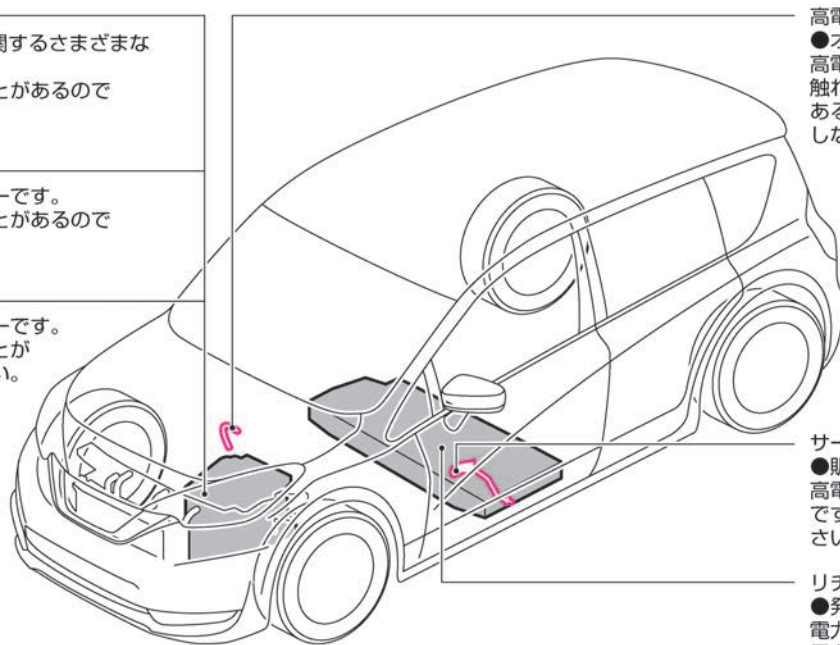
●e-POWERシステムに関するさまざまな機能を制御しています。
走行直後は高温になることがあるので注意してください。

発電用モーター

●発電するためのモーターです。
走行直後は高温になることがあるので注意してください。

走行用モーター

●走行するためのモーターです。
走行直後は高温になることがあるので注意してください。



高電圧ケーブル(オレンジ色)

●オレンジ色のケーブルは、高電圧が流れています。
触れたり、ケーブルの付け根にあるコネクタを取り外したりしないでください。

サービスプラグ

●販売会社で整備を行うとき、高電圧を遮断するためのものです。絶対に触らないでください。

リチウムイオンバッテリー

●発電用モーターで発電された電力や、走行用モーターの回生電力を蓄え、走行時に走行用モーターに電力を供給します。

ノート e-POWERの取り扱いに関する注意事項

e-POWERシステムを適切に取り扱うため、次のことを必ずお守りください。

警告

- **高電圧部位には触れない。**

最大で約350Vの直流高電圧が使用されているため、高電圧ケーブルやコネクタ、高電圧部品（走行用モーターやリチウムイオンバッテリーなど）には触れないでください。感電すると生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。車両のエンジンルーム内に貼られているラベルの記載事項に必ず従ってください。

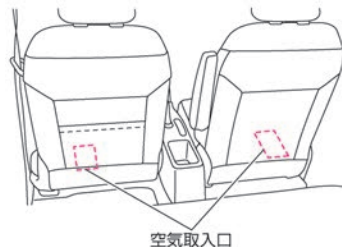
- **高温に注意する。**

走行直後はエンジンルーム内が高温になっている可能性があります。エンジンルーム内に貼られているラベルの記載事項に必ず従ってください。

- **冷却用空気取入口をふさがない。**

前席シート下にリチウムイオンバッテリーとDC/DCコンバーターを冷却するための空気取入口があります。

性能低下や車両故障につながるため、荷物や衣類などで取入口をふさがないでください。また、液体や砂など、異物が入らないように注意してください。



- **リチウムイオンバッテリーに水をかけない。**

ノート e-POWERの取り扱いに関する注意事項



警告

車室内にふたのないバケツや水槽など、水がこぼれるおそれがあるものは置かないでください。リチウムイオンバッテリーに水がかかると故障の原因になります。

ノート e-POWERが事故にあったときの注意事項

事故が発生したときは、次のことを必ずお守りください。



警告

- **高電圧部品および高電圧ケーブルが露出しているときは絶対に触れない。**
高電圧部品および高電圧ケーブルの位置は、➡ P.15を確認してください。
- **リチウムイオンバッテリーから液漏れが見られる場合は、すみやかに日産販売会社に連絡する。**
火災が発生するおそれがあります。
- **車室内や車外に液体が漏れているときは絶対に触れない。**
万一、リチウムイオンバッテリーから漏れた液体が皮膚や衣服に付着したときは、水道水などのきれいな水で洗い流し、すみやかに医師の診察を受けてください。
- **走行中、床下に強い衝撃を受けたときは、安全な場所に停車し、損傷がないか点検する。**
床下に損傷が見られる場合は、絶対に触れずすみやかに日産販売会社にご連絡ください。
- **リチウムイオンバッテリーや高電圧部品から火災が発生したときは、出来るだけ早く車両から離れる。**
火災を消火するときは、必ず電気火災用の消火器（ABC、BCまたはCタイプ）を使用してください。消火栓などから大量の放水が可能な場合のみ、水での消火も可能です。不適切な消火作業は危険なため、絶対に行わないでください。
- **けん引が必要なときは、前輪または4輪を持ち上げてけん引する。**
けん引時に前輪が接地していると、走行用モーターが発電し、車両を破損するおそれがあります。
➡ けん引について (P.326)
- **事故などで車両が破損し、安全であることを確認できない場合は、車両から離れて日産販売会社に連絡する。**
日産販売会社に連絡するときは、（ガソリンエンジン車ではなく）e-POWERシステムである旨をご連絡ください。

ノート e-POWERが事故にあったときの注意事項



警告

- **板金・塗装による修理が必要な場合は、必ず日産販売会社に連絡する。**
車体が大きく破損・変形しているとき、破損の状態によっては漏電や感電のおそれがあります。高電圧部位（リチウムイオンバッテリーなど）およびこれらを接続する配線（オレンジ色）には絶対に触らないでください。
- **事故などでランプが破損したまま走行しない。**
内部に水などが入ると、発煙し火災につながるおそれがあります。



知識

- 衝突時やe-POWERシステムに異常があると、高電圧システムがOFFになり走行可能表示灯が消灯する場合があります。これはケガや事故につながる危険を最小限に抑えるもので、異常ではありません。

燃費を良くするためのポイント

燃費は、道路状況、天候や気温、乗員数などに大きく左右されます。
次のようなことに気をつけ電力の消費を抑えると、燃費が良くなります。

お出かけ前に

電力の消費が少ないルートを選択する。

- 登り坂の走行は電力の消費が多くなります。登り坂の少ないルートを選択すると電力の消費を抑えられます。

不要な荷物は積んだままにしない。

- 荷物を減らし、車両重量を軽くすることで、電力の消費を抑えられます。

適切なタイヤ空気圧にする。

- タイヤ空気圧が低下していると、より多くの電力を消費します。

➡ タイヤの点検項目 (P.379)

知識

- 燃費が大幅に悪化する場合は、次のようなことが原因として考えられます。
 - － 走行するルートの地形に登り坂が多い
 - － 高速道路など、高速で走行を続けている
 - － 頻繁に急発進、急加速、急ブレーキをしている

運転するときは

■ なめらかに発進、加速する。

- 急発進、急加速をすると、より多くの電力を消費し、燃費が悪くなります。
- パワーメーター (➡ P.70) で電力の消費状況を確認しながら加速することで、電力の消費を抑えた加速ができます。

■ 車間距離に余裕を持ち、必要以上の減速を極力避ける。

- 必要以上の減速を避けることで、再加速するための電力の消費を抑制できます。

燃費を良くするためのポイント

■ 高速道路などで速度を出しすぎない。

- 速度の出しすぎは、電力を無駄に消費します。

■ オートエアコンの設定温度を控えめにし、必要がなければこまめにOFFにする。

- オートエアコンによる余分な電力の消費を抑えられます。
- 暖房使用時、設定温度を24℃以下に下げるとエンジン作動頻度が下がる暖房省エネモードになります。

暖房省エネモード (➡P.155)

■ ECOモード、Sモードで走行する。

- SモードやECOモードを使用しているときは、アクセルペダルを緩めたときの回生ブレーキによる減速力が強くなり、減速時のエネルギーをより多く回収できます。
- ECOモード、Sモード、NORMALモードの順に燃費が良くなります。

➡e-POWER Drive (P.197)

MEMO

運転する前に

運転前の準備	P.24
運転するときに注意すること	P.26
心臓ペースメーカーなどをご使用されている方への 注意事項	P.31

シートベルト

シートベルトについて	P.32
3点式シートベルト（前席シート／後席シート左右）	P.35
3点式シートベルト（後席シート中央）	P.36
シートベルトの注意事項	P.38

エアバッグ

SRSエアバッグ	P.40
SRSエアバッグシステム（前席）	P.44
SRSカーテンエアバッグシステム★	P.49

お子さまの安全のために

お子さまを乗せるときに注意すること	P.51
チャイルドシート	P.54

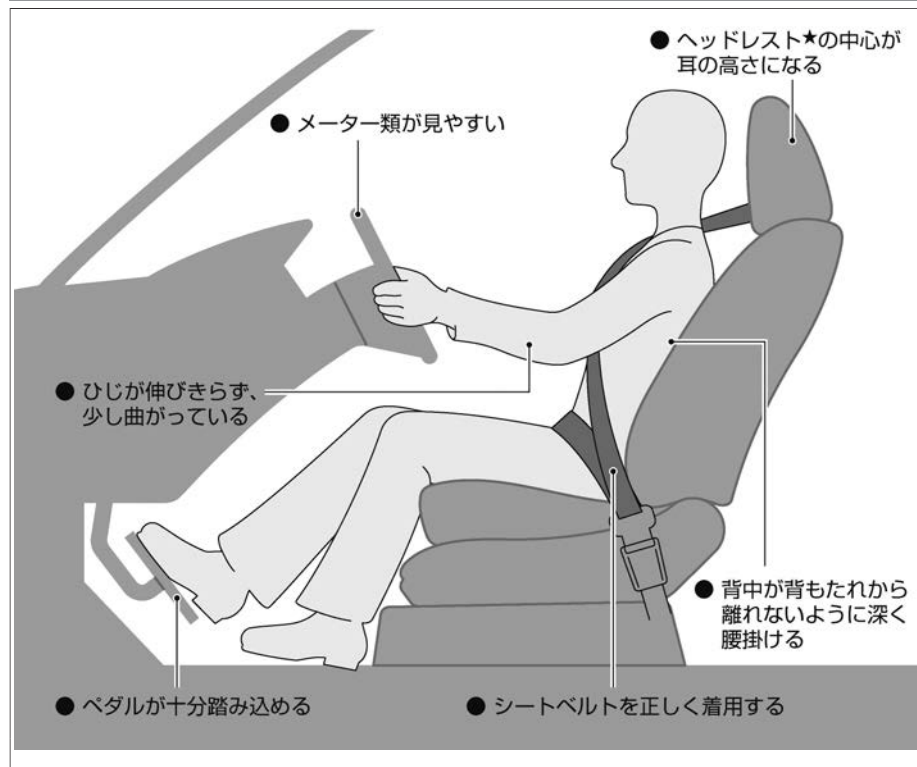
盗難防止機能

イモビライザー（盗難防止装置）	P.65
-----------------	------

運転前の準備

正しい運転姿勢をとれるよう、ハンドル（➡P.133）、シート（➡P.122）、ミラー（➡P.134）を調節し、シートベルトを着用してください。

正しい運転姿勢について



警告

- ハンドル、シート、ミラーの調節は、必ず走行前に行う。
走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ハンドルやシートを調節したあとは、確実に固定されていることを確認する。
固定されていないと運転姿勢が突然変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

- 背もたれと背中の中にクッションなどを入れない。
運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

シートベルトの着用

- 必ず走行前にシートベルトを正しく着用してください。
➡ シートベルト (P.32)
- 小さなお子さまを乗せるときは、適切なチャイルドシートをご使用ください。
➡ チャイルドシート (P.54)

ミラーの調節

- シートおよびハンドルの調節が完了したら、ミラーを調節します。確実に後方確認ができる位置に、ドアミラーおよびルームミラー★を調節してください。
➡ ドアミラー (P.144)
➡ ルームミラー★ (P.134)

インテリジェント ルームミラー付車

インテリジェント ルームミラー付車は、インテリジェント ルームミラーがOFFの状態（ルームミラーモード）で、確実に後方確認ができる位置に調節してください。

➡ インテリジェント ルームミラー（インテリジェント アラウンドビューモニター表示機能付）★ (P.135)



警告

排気ガスには十分注意する

- 排気ガスには無色無臭で有害な一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素を吸い込むと一酸化炭素中毒になり、重大な健康障害におよぶか、死亡につながるおそれがあります。
- 以下の状況では、**e-POWER**システムを長時間始動したままにしない。
排気ガスが車両周辺に滞留したり、車室内に侵入したりするおそれがあります。
 - － 雪が積もった場所に駐停車するとき
 - － 降雪時に駐停車するとき
 - － 車庫や屋内、壁などに囲まれた換気が悪い場所に駐停車するとき
 - － 仮眠や長時間の駐車をするとき
 - － 排気管が腐食または損傷しているおそれがあるとき
 - － 他車の排気口が近くにあるとき
- 走行する前に、バックドアが確実に閉まっていることを確認する。
走行中に排気ガスが侵入するおそれがあります。
- 車室内に排気ガスが侵入したと感じたときは、窓を開けて十分に換気をする。
- 排気管に穴や亀裂がある場合や排気音に異常があるときは、日産販売会社で点検を受ける。
排気ガスが車室内に侵入するおそれがあり危険です。

車室内に人やペットを残さない

- お子さま、介護を必要とされる方、ペットを車室内に残さない。
炎天下では車室内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。

⚠ 警告

診断機接続用のコネクタにはご注意ください

- 診断機接続用のコネクタには、後付け用品を取り付けしないでください。12Vバッテリーがあがったり、警告灯が点灯したりするなど、思わぬトラブルを招くおそれがあります。

⚠ 注意

燃料が入った容器やスプレー缶などを積まない

- ガソリンや可燃性ガスの入ったスプレー缶などは積まない。
引火や爆発するおそれがあり危険です。

火気には十分注意する

- 操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどの小物入れに入れておいたり、床やシートのすき間に落としたままにしたりしない。
荷物を押し込んだときやシートを動かしたときに、ライターの着火ボタンが押されてガスが噴出し、火災につながるおそれがあります。また、ライターを使用したあと、すぐに収納すると火災を起こすおそれがあります。
- 灰皿を使ったあとは、マッチやタバコの火が消えていることを確認し、必ずふたを閉める。
紙くすなど燃えやすいものは入れないでください。出火するおそれがあります。

アクセサリーをウインドーに取り付けない

- ウインドーにアクセサリーを取り付けない。
視界の妨げになったり、吸盤がレンズの働きをして火災を起こしたり、SRSエアバッグが作動したときアクセサリーが飛んでケガをするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。



注意

故障や破損したまま走行しない

- 排気音が大きくなったときは、日産販売会社で点検を受ける。
排気管が腐食したり路面干渉などで損傷したりしているおそれがあります。また、排気管に穴が開いたまま走行を続けると、高温の排気ガスが漏れ、排気ガスが車室内に侵入し、火災につながるおそれがあります。
- 事故などでランプが破損したまま走行しない。
内部に水などが入ると、発煙し火災につながるおそれがあります。

e-POWERシステムを始動したまま仮眠をしない

- 万一、シフトポジションがP以外だと、急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、無意識にセレクトレバーを操作したり、アクセルペダルを踏み込んだりして思わぬ事故やエンジン過熱による火災などにつながるおそれがあり危険です。

改造しない

- 市販の不適合品のマフラー取り付けや、日産純正部品以外の車両の性能や機能に適合しない部品を使用しない。
正常な性能を発揮できないだけでなく、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 電装品などを取り付けるときは、必ず日産販売会社にご相談ください。不適切な取り付けや誤った配線は、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。



アドバイス

改造しない

- 12Vバッテリーの端子に電装品やアース線などを直接つながないでください。12Vバッテリーがあがるおそれがあります。
- 日産自動車が国土交通省に届け出をした部品以外を装着すると、違法改造になることがあります。

無線送信機の取り付けについて

- お車に無線送信機を取り付けると、電装システムに影響をおよぼす可能性があります。悪影響を防ぐための措置や取り付け方法については、必ず日産販売会社にご相談ください。お客さまのご要望により、無線送信機の取り付けに関する詳しい情報（周波数帯域・電力レベル・アンテナ位置・取り付け条件）を日産販売会社にてご提供します。

フロントスポイラーと路面との干渉について

- フロントスポイラー下部は路面との間隔が狭いため、段差の大きい場所や縁石などには特に注意してください。路面と干渉して傷が付くおそれがあります。

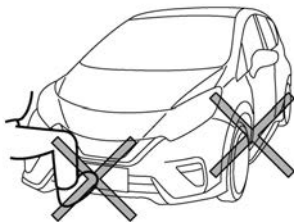
フロントバンパーと路面との干渉について（NISMO仕様車）

- NISMO仕様車は路面との間隔が狭いため、段差の大きい場所や縁石などに特に注意してください。フロントバンパーが路面と干渉して、破損するおそれがあります。

NISMO専用エアロパーツについて（NISMO仕様車）

- フロントバンパーに足をかけたり、乗ったりしないでください。また、乗り降りの際にサイドシルプロテクターに乘らないでください。フロントバンパー及びサイドシルプロテクターが破損するおそれがあります。

 アドバイス



心臓ペースメーカーなどをご使用されている方への注意事項

心臓ペースメーカーなどをご使用されている方は、次のことにご注意ください。

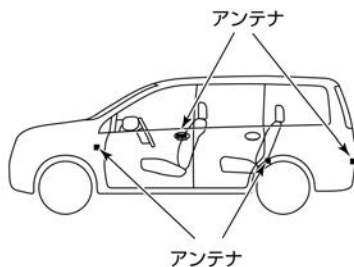
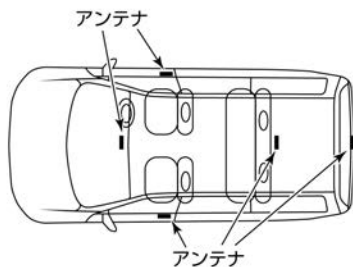


警告

インテリジェントキーについて

- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）を使用されている方は、アンテナから約22cm以下の範囲に装着部位を近づけない。

ドアおよびバックドア開閉時、ドアハンドルのスイッチ操作時、e-POWERシステム始動時などにキーの電波が植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）の作動に影響を与えるおそれがあります。



- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）以外の医療電気機器を使用されている方は、医療電気機器製造業者などへ影響を確認してから使用する。

キーの電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があります。

シートベルトについて

シートベルトは、シートに身体を固定することで安全を確保するための安全装置です。走行するときは、必ずシートベルトを正しく着用してください。

ELR（緊急固定）付シートベルトについて

- 身体の動きに合わせて伸縮し、衝突時など強い衝撃を受けると、ベルトが自動的にロックし身体を固定します。

⚠ 警告

- プリテンショナーシートベルトの部品や配線を修理しない。電気テスターを使用してプリテンショナーのシステムの回路診断をしない。誤って作動したり、正常に作動しなくなるおそれがあります。

前席プリテンショナーシートベルトについて

- 正面衝突などで車両前方から強い衝撃を受けたときに、装着したシートベルトを瞬時に巻き取り、乗員の拘束性能を高めます。
 - 衝撃の強さなどによっては、SRSエアバッグシステム（前席）と同時に作動する場合と、プリテンショナーのみ作動する場合があります。
- ➡ SRSエアバッグ (P.40)

プリテンショナー機構



⚠ 注意

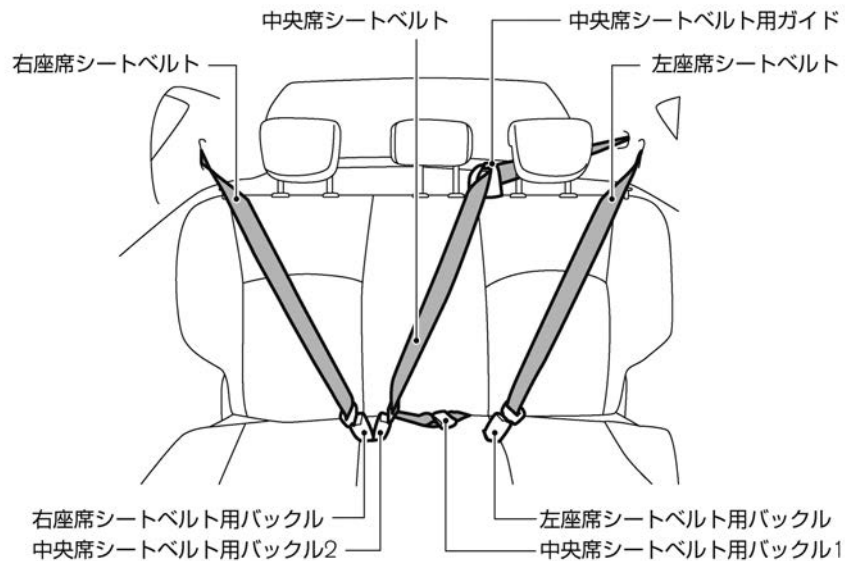
- **SRSエアバッグ警告灯が点灯しているときは走行しない。**
パワースイッチをONにしてから約7秒間はシステムチェックを行うため、プリテンショナーが作動しません。必ずSRSエアバッグ警告灯が消灯してから走行してください。
- 廃車にするときやプリテンショナーシートベルトを廃棄するときは、必ず日産販売会社に相談する。



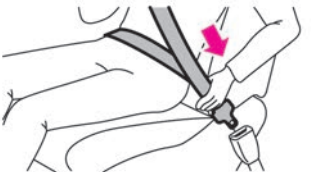
アドバイス

- プリテンショナーが作動したとき作動音や白煙が出ますが、火災ではありません。
- プリテンショナーは、一度作動すると再使用できません。衝突を起こしたときは必ず日産販売会社で点検を受け、作動済みの場合は交換してください。

後席シートベルトの位置



シートベルトの着用のしかた

1	正しい姿勢でシートに座り、タングを持ってベルトをゆっくり引き出します。ベルトを腰骨のできるだけ低い位置に掛け、たるみがないように密着させます。	
2	ベルトがねじれないようにして、タングをバックルに“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。	
3	アンカー位置の高さを調節します。（前席シートのみ） ノブを引きながらアンカー部を上下させ、ベルトが肩に確実に掛かる位置に調節し手を離します。手を離れたあと、“カチッ”と音がするまで動かし固定させます。	
4	外すときは、バックルのボタン（赤色部）を押し、タングを持ってゆっくり戻します。	

⚠ 警告

- ベルトが肩に確実にかかる位置にアンカーの高さを調節する。また、アンカーが確実に固定されていることを確認する。

万一のときに肩からベルトが外れるなど、シートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

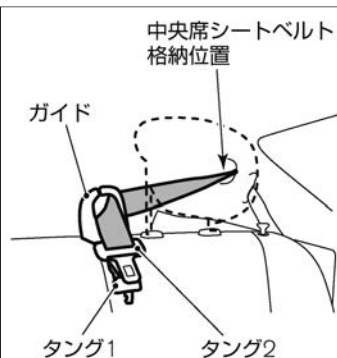
🚗 アドバイス

- ベルトがロックして引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからゆるめ、再度ゆっくり引き出してください。

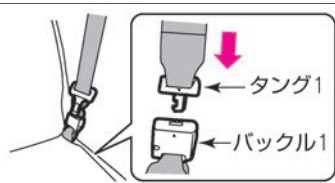
3点式シートベルト（後席シート中央）

シートベルトの着用のしかた

- 1 後席シート中央席シートベルト格納位置から、ベルトをゆっくり引き出し、ガイドに通します。



- 2 タング1をバックル1に“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。



- 3 タング2を持ってベルトをゆっくり引き出します。ベルトを腰骨のできるだけ低い位置に掛け、たるみがないように密着させます。



警告

- 後席シート中央用のタングとバックルは正しく差し込んで使用する。後席シート中央用のタングとバックルは2個ずつあります。着用するときは必ずタング1と2、バックル1と2を正しく差し込んでお使いください。正しく固定されていないと、万一のときシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

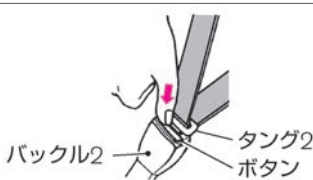
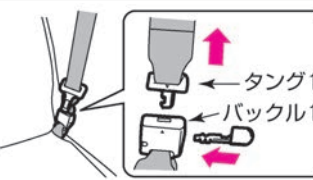
アドバイス

- ベルトがロックして引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからゆるめ、再度ゆっくり引き出してください。

知識

- 6：4分割シート付車の右側シートの背もたれを倒した状態で、後席シート中央用シートベルトを着用するときは、倒した背もたれの下からバックル2を引き出して使用してください。

3点式シートベルト（後席シート中央）

4	ベルトがねじれないようにして、タング2をバックル2に“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。	
5	外すときは、バックル2のボタンを押し、タング2を持ってゆっくり戻します。	
6	タング1を持って、バックル1の側面の穴にキーなどを押し込んでロックを解除します。	
7	シートベルトがねじれていないことを確認し、奥まで確実に格納します。	

⚠ 警告

- 後席シート中央席のシートベルトを使用するときは、バックルに「CENTER」と表示されているものを使用する。

シートベルトが正しく着用できず、万一のときに重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- 後席シート背もたれを操作するときには、シートベルトが背もたれに巻き込まれないように注意する。

後席シート背もたれを倒すときは、中央席シートベルトを格納位置に格納してから操作してください。

🚗 アドバイス

- ベルトを外すとき、タングが急に返ることがありますので、タングから手を離さないでください。

**警告**

- **走行する前に全員がシートベルトを着用する。**
着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。
- **シートベルトを着用するときは、次のことを必ず守る。**
シートベルトを正しく着用しないと、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。
 - ー 運転者は正しい運転姿勢で、同乗者は正しい着座姿勢で着用してください。
 - ー 2人以上で1本のベルトを使用しないでください。
 - ー ベルトはねじれた状態で着用しないでください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、万一のとき衝撃力が分散できず、局部的に強い力を受けることがあります。
 - ー 腰部ベルトは腰骨のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。ベルトが腰骨からずれていると、腰部に強い圧迫を受けることがあります。
 - ー 肩ベルトは脇の下を通さず、確実に肩に掛けてください。肩に十分に掛かっていないと、上半身を拘束しないことがあります。
 - ー クリップなどで故意にベルトにたるみをつけ、身体から浮いた状態に調節しないでください。ベルトにたるみがあると、十分な効果を発揮しないことがあります。
- **シートの背もたれを倒したまま走行しない。**
シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに身体がシートベルトの下に入り込み、ベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- **バックルや巻き取り装置の中に異物を入れない。**
シートベルトが正常に機能を発揮せず、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。
- **妊娠中や疾患のある方も、万一のときのためにシートベルトを着用する。**
ただし、局部的に強い圧迫を受けるおそれがあるため医師に相談し、注意事項を確認

 警告

してください。妊娠中の方は、腰ベルトを腹部から避け腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩ベルトは確実に肩を通し、腹部を避けて胸部に掛かるように着用してください。

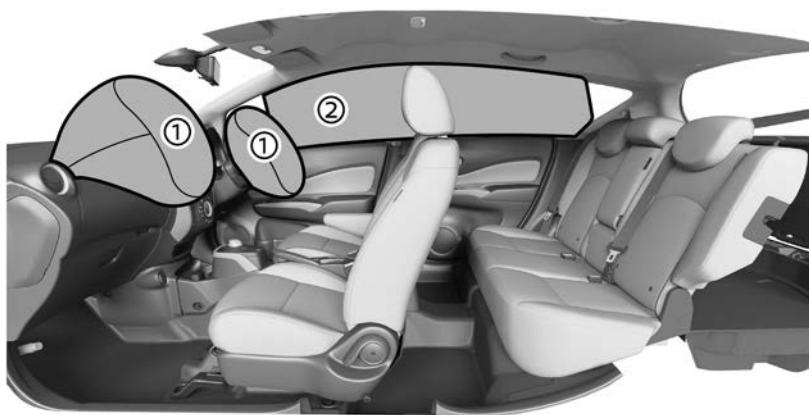
- **お子さまにも必ずシートベルトを着用させる。**
お子さまをひざの上に抱いていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
- **シートベルトが首や顔に当たるなど、適正な着用ができない小さなお子さまには、チャイルドシートを使用する。**
 チャイルドシート (P.54)
- **事故などで衝撃を受けたり傷がついたシートベルトは、日産販売会社に点検を依頼する。**
一度強い衝撃を受けたシートベルトやベルト部分に傷がついたり破れたりしているシートベルトは、機能を十分に発揮しないことがあります。
- **シートベルトの清掃にベンジンやガソリンなどの有機溶剤は絶対に使用しない。**
ベルトの性能が落ち、シートベルトが機能を十分に発揮しないことがあります。シートベルトの清掃は中性洗剤かぬるま湯で行い、乾かしてからお使いください。

SRSエアバッグ

SRSエアバッグは乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときに膨らみ、乗員への衝撃を緩和します。シートベルトと併用することで安全性を高めるため、シートベルトは必ず着用してください。

SRSエアバッグの種類

- ① SRSエアバッグシステム (前席)
- ② SRSカーテンエアバッグ★


 アドバイス

- 廃車にするときやSRSエアバッグを廃棄するときは必ず日産販売会社にご相談ください。
- SRSエアバッグは、一度膨らむと再使用できません。日産販売会社で交換してください。

 知識

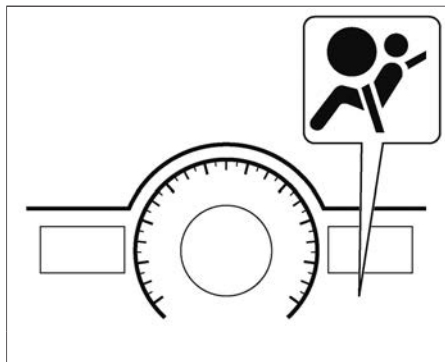
- SRSエアバッグは高温のガスにより高速で膨らむため、事故の状態によっては、擦過傷、打撲、やけどなどを負うことがあります。
- SRSエアバッグが膨らむとき、作動音や白煙が出ますが火災ではありません。また、発生するガスによりむせることがありますが毒性はありません。
- SRSとは、「Supplemental Restraint System」の略でシートベルトの補助拘束装置の意味です。

SRSエアバッグの作動

SRSエアバッグは、パワースイッチがONのときに作動可能です。

パワースイッチをONにしたあと、約7秒間はメーター内のSRSエアバッグ警告灯が点灯し、システムチェックを行うため、SRSエアバッグは作動しません。警告灯が消灯してから走行してください。

SRSエアバッグは、正面衝突や側面衝突で衝撃を受けたときに作動します。ただし、衝撃が車体で吸収または分散され、車両の損傷は大きくても乗員への衝撃が強くないときは、作動しないことがあります。



⚠ 警告

- **SRSエアバッグ警告灯が次の状態のときは走行しない。**

- － パワースイッチをONにした直後、SRSエアバッグ警告灯が約7秒間点灯しないとき（消灯したままのとき）
 - － SRSエアバッグ警告灯が点灯し続けるとき
 - － SRSエアバッグ警告灯が点滅し続けるとき
- SRSエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。日産販売会社にご相談ください。

📖 知識

- 助手席SRSエアバッグおよびSRSカーテンエアバッグ★は、乗員がいなくても作動します。

SRSエアバッグの注意事項



警告

- 正しい姿勢でシートベルトを正しく着用する。

SRSエアバッグはシートベルトを補助する装置です。SRSエアバッグだけでは、身体の飛び出しなどを防止することはできません。また、SRSエアバッグの効果が発揮されないおそれがあります。

- 助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。

SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。

➡ チャイルドシート (P.54)



- 必ず次のことを守る。

SRSエアバッグが誤って作動したり正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

 警告

- SRSエアバッグ格納部を修理するときは、日産販売会社にご相談ください。また、SRSエアバッグ格納部に傷がついていたりひび割れがあるときは、そのまま使用せず日産販売会社で交換してください。
運転席・助手席SRSエアバッグの格納場所は（➡P.44）をお読みください。
SRSカーテンエアバッグ★の格納場所は（➡P.49）をお読みください。
- SRSエアバッグ格納部に過度の衝撃を与えないでください。
- 電気テスターを使用してSRSエアバッグの回路診断をしたり、回路を変更しないでください。
- エアロパーツなどを取り付けたり、サスペンションを改造したりするときは、日産販売会社にご相談ください。不適正な改造をすると衝撃を正しく検知できません。

 注意

- **SRSエアバッグが作動したときは、30分経過するまでエアバッグにさわらない。**
高温になるため、やけどをするおそれがあります。
- **SRSエアバッグ作動時の残留物（カス）などが目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く水で洗い流す。**
皮膚の弱い方などは、まれに皮膚に刺激を感じる場合があります。

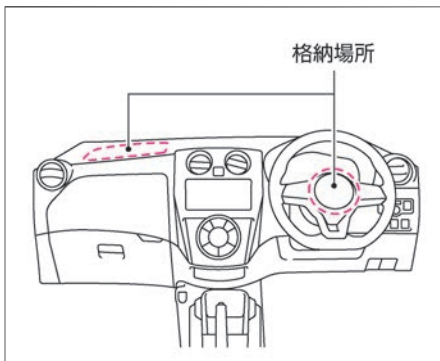
SRSエアバッグシステム（前席）

車両前方から強い衝撃を受けたときに、SRSエアバッグが瞬時に膨らみ、乗員の頭部にかかる衝撃を緩和します。

格納場所

運転席SRSエアバッグは、ハンドル部に格納されています。

助手席SRSエアバッグは、助手席側インストルメントパネル部に格納されています。



SRSエアバッグが作動するとき

次のような衝撃が強いときに作動します。

- 25km/h以上の速度で厚いコンクリートのような壁に正面衝突したとき
 - 車両前方左右、約30°以内の方向から強い衝撃（上記と同等）を受けたとき
- 次のような車両下部に強い衝撃を受けたときも作動することがあります。（車両の損傷は少なくとも乗員への衝撃は強いとき）
- 高速で縁石などに衝突したとき
 - 深い穴や溝に落ち込んだとき
 - ジャンプして地面にぶつけたとき

アドバイス

- 助手席SRSエアバッグが作動した衝撃でフロントガラスが割れることがあります。

知識

- 運転席、助手席SRSエアバッグは膨らんだあとすぐにしぼむので、視界の妨げになることはありません。

SRSエアバッグが作動しにくいとき

次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。

- 停車している同クラスの車に約50km/h以下の速度で衝突したとき
- 衝突時に折れない電柱などに約30km/h 以下の速度で正面衝突したとき
- トラックなどの荷台の下にもぐり込んだようなとき
- 斜め前方からガードレールなどに衝突したとき

SRSエアバッグが作動しないとき

一度、SRSエアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

- 横方向や後ろから衝突されたとき
- 横転、転覆したとき

次ページに続く

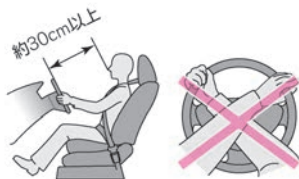
SRSエアバッグシステム（前席）の注意事項



警告

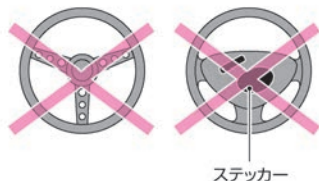
- 運転席のSRSエアバッグ格納部に身体を近づけない。また、内がけでのハンドル操作はしない。

ハンドルから顔をできるだけ（約30cm以上）離し、ハンドルにもたれかかるなど、手や顔、胸などを不必要に近づけないでください。SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。



- 不適正なハンドルに交換したり、SRSエアバッグ格納部にステッカーなどを貼らない。

SRSエアバッグ作動時に正常に作動なくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

 警告

- フロントガラスにアクセサリなどを付けない。
SRSエアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。
- 助手席のSRSエアバッグ格納部に身体を近づけない。また、お子さまを近づかせない。
SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。
SRSエアバッグ格納部に手や足を置いたり、顔や胸などを不必要に近づけたりしないでください。また、お子さまをSRSエアバッグ格納部の前に立たせたり、ひざの上に抱いたりせず、後席シートに乗せてください。
- チャイルドシートは後席シートに取り付ける。
SRSエアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。
やむをえず助手席シートに取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。乳児用チャイルドシートなど後ろ向きにしか使用できないシートは必ず後席シートに取り付けてください。
- チャイルドシートは走行する前に確実に固定されていることを確認する。
固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。

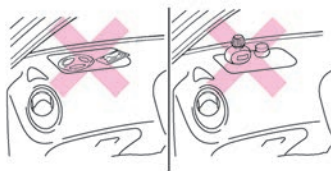


警告



- SRSエアバッグ格納部およびその周辺にステッカーなどを貼らない。また、アクセサリや芳香剤などを置かない。

SRSエアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。

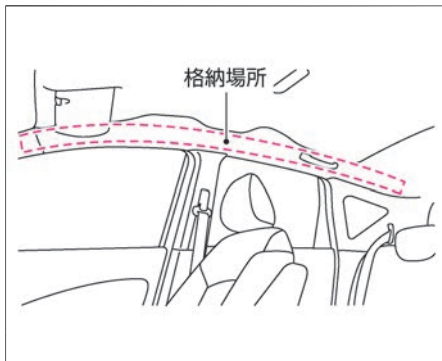


SRSカーテンエアバッグシステム★

車両側面から強い衝撃を受けたとき、衝撃を受けた側のSRSカーテンエアバッグが瞬時に膨らみ、乗員の主に頭部にかかる衝撃を緩和します。

格納場所

SRSカーテンエアバッグは、運転席側、助手席側ともに窓側の天井部に格納されています。



⚠ 警告

- **SRSカーテンエアバッグの格納部に近づかない。**
万一のとき重大な傷害を受けるおそれがあります。
- **ドアをガラスが割れるほど強く閉めない。**
SRSカーテンエアバッグが誤作動するおそれがあります。
- **センターピラー（ロックピラー）まわり、ルーフサイド部などのSRSカーテンエアバッグ格納部付近に、アクセサリやハンガーなどを取り付けない。**
SRSカーテンエアバッグが作動したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

安全なドライブのために

SRSカーテンエアバッグが作動するとき

次のような衝撃が強いときに作動します。

- 一般的な乗用車に25km/h以上の速度で側面に真横から衝突されたとき

次ページに続く

■ SRSカーテンエアバッグが作動しにくいとき

次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。

- 側面に斜め方向から衝突されたとき
- 側面にバイクが真横から衝突したとき
- エンジンルーム（ラゲッジルーム）に衝突されたとき
- 横転、転覆したとき
- 斜め前方から衝突したとき
- 電柱などに衝突したとき

■ SRSカーテンエアバッグが作動しないとき

一度、SRSエアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

- 停車中や走行中の車に正面衝突したとき
- 後ろから衝突されたとき

お子さまを乗せるときに注意すること

お子さまを乗せるときは、次のことに注意してください。



警告

お子さまにもシートベルトを着用する

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させる。
お子さまをひざの上に抱いていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
➡ シートベルトの着用のしかた (P.35)

小さなお子さまにはチャイルドシートを使用する

- シートベルトが首や顔に当たるなど、適正な着用ができない小さなお子さまには、チャイルドシートを使用する。
➡ チャイルドシート (P.54)

チャイルドシートは後席に取り付ける

- チャイルドシートは後席に取り付け、走行する前に確実に固定されていることを確認する。
固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。
- 助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けけない。
SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。

お子さまを乗せるときに注意すること



警告



- チャイルドシートは使用していないときでもシートにしっかりと固定するか、ラゲッジルーム（荷室）などに収納する。
車室内に放置したままにすると、急ブレーキ時などに思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまは後席に乗せる

- お子さまを助手席に乗せるのは避ける。
お子さまの動作が気になったり、スイッチ、レバー類のいたずらなど安全運転の妨げになるおそれがあります。
また、助手席SRSエアバッグの格納部に近づいていると、万一の事故などでSRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

ドア、ウインドーなどは大人が操作する

- ドアやウインドーなどの開閉は、お子さまには操作させない。
開閉時に手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- チャイルドセーフティドアロック（🔒 P.115）やパワーウインドーロックスイッチ（🔒 P.147）を使用し、お子さまが操作できないようにしてください。

お子さまを乗せるときに注意すること



警告

窓から手や顔を出さない

- お子さまが腕や顔を出さないように注意する。
急ブレーキ時に窓枠などにぶつかったり、車外の障害物に当たったりして、重大な傷害につながるおそれがあります。

車室内にお子さまだけを残さない

- 車から離れるときは、必ずお子さまと一緒に降ろす。
炎天下では車室内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。
- お子さまのいたずらで車の発進、火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまの安全のために チャイルドシート

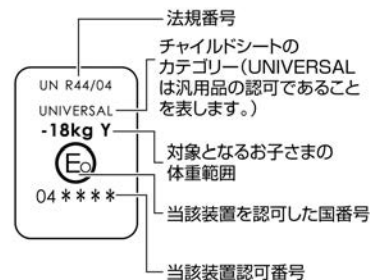
お子さまの年齢や体格にあわせたチャイルドシートを選択し、車両に適切に取り付けてください。

チャイルドシートについて

- チャイルドシートには、乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアチャイルドシートの3種類があります。お子さまの年齢や体格にあわせて、適切なチャイルドシートをお選びください。
- チャイルドシートの固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。
- この車はUN R44の基準に適合したISO FIX対応チャイルドシート固定専用アンカーを標準装備しています。

知識

- 乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアチャイルドシートを総称してチャイルドシートと呼んでいます。
- UN R44はチャイルドシートに関する国際法です。UN R44の基準に適合した汎用（ユニバーサル）チャイルドシートには、認可マークが貼られています。



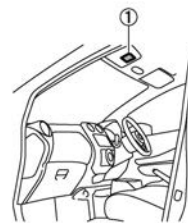
チャイルドシートの種類

UN R44の基準に適合するチャイルドシートは、お子さまの体重により次のように分類されます。

質量グループ	お子さまの体重
グループ0	10kgまで
グループ0 ⁺	13kgまで
グループⅠ	9～18kgまで
グループⅡ	15～25kgまで
グループⅢ	22～36kgまで

警告

- 助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。
SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。



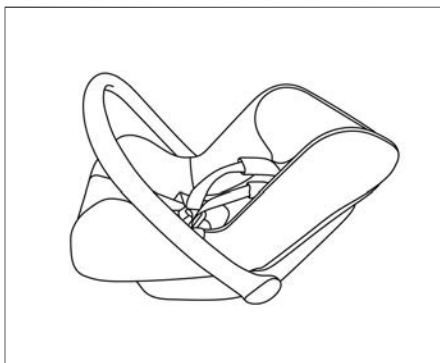
① エアバッグ警告ラベル



次ページに続く

乳児用チャイルドシート

UN R44 基準のグループ0、0⁺に相当します。



チャイルドシート

UN R44 基準のグループ0⁺、Iに相当します。



ジュニアチャイルドシート

UN R44 基準のグループⅡ、Ⅲに相当します。



チャイルドシートの選びかた

この車両には、シートベルトで取り付けるチャイルドシートと、ISO FIX対応チャイルドシートを取り付けることができます。ISO FIX対応チャイルドシートは、シートベルトを使わずに固定するため、簡単に取り付けできます。

■ シートベルト固定タイプのチャイルドシート

シートベルトを使用してチャイルドシートを固定します。

➡ 使用できるシートベルト固定タイプのチャイルドシート (P.58)

■ ISO FIX対応チャイルドシート

後席シートに付属しているISO FIX対応チャイルドシート用アンカー（固定装置）で固定します。

➡ ISO FIX対応チャイルドシートについて (P.61)

次ページに続く

使用できるシートベルト固定タイプのチャイルドシート

チャイルドシートの取り付け位置により、使用できるチャイルドシートが異なります。
選択の目安から使用できるチャイルドシートを確認してください。

■ 選択の目安

質量グループ	チャイルドシート取り付け位置				
	前席シート (助手席) ※ ¹	前席シート (助手席) ※ ²	後席シート 左右	後席シート中央	
				アームレス ト無	アームレス ト付
0 (10kgまで)	X	X	U	X	X
0 ⁺ (13kgまで)	X	X	U	X	L
I (9～18kg)	L	X	U	X	L
II (15～25kg)	L	X	U	L	L
III (22～36kg)	L	X	U	L	L

※¹: 背もたれをレバーで調節するタイプのシート

※²: 背もたれをダイヤルで調節するタイプのシート

U: この質量グループでの使用を認可された汎用（ユニバーサル）区分のチャイルドシートに適合しています。

L: 次の表に記載されている日産純正チャイルドシートの取り付けが可能です。

X: チャイルドシートを取り付けることはできません。

- 詳しくは、チャイルドシートに付属の取扱説明書をお読みください。

知識

- 表に記載されていないチャイルドシートを使用するときは、チャイルドシート製造業者または販売業者にご相談ください。

■ 日産純正チャイルドシート

「選択の目安」で、チャイルドシート取り付け位置にLと記載されている場合は、日産純正チャイルドシートをご使用ください。

質量グループ	取り付け向き	商品名	
0 (10kgまで)	—	—	
0* (13kgまで)	後向き	チャイルド セーフティシート (E4 04443812)	ISO FIX対応 チャイルド セーフティシート (E4 04443716)
I (9～18kgまで)	前向き		
II (15～25kgまで)	前向き	ジュニアセーフティシート (E43 44R040006)	
III (22～36kgまで)	前向き		

シートベルト固定タイプのチャイルドシートの取り付けかた

1

ヘッドレストをロックする位置まで上げて、チャイルドシートを座席に置きます。
➡ ヘッドレストの調節のしかた★ (P.126)
シートベルトをチャイルドシートに通し、タングをバックルに“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。



2

チャイルドシートに付属の取扱説明書に従って固定します。
チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認します。



⚠ 警告

- チャイルドシートが確実に固定されていることを確認する。
確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突などでチャイルドシートが飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書に従って取り付けてください。

ISO FIX対応チャイルドシートについて

チャイルドシートの取り付け位置により、使用できるチャイルドシートが異なります。
「選択の目安」から使用できるチャイルドシートを確認してください。

■ 選択の目安

質量グループ	サイズ等級	固定具	チャイルドシート取り付け位置	
			後席シート	
			(左右)	(中央)
キャリコット	F	ISO/L1	X	-
	G	ISO/L2	X	-
0 (10kgまで)	E	ISO/R1	X	-
0+ (13kgまで)	E	ISO/R1	IL	-
	D	ISO/R2	X	-
	C	ISO/R3	X	-
I (9～18kg)	D	ISO/R2	X	-
	C	ISO/R3	X	-
	B	ISO/F2	IUF	-
	B1	ISO/F2X	IUF	-
	A	ISO/F3	IUF	-
II (15～25kg)	-	(1)	X	-
III (22～36kg)	-	(1)	X	-

IUF： この質量グループでの使用を認可された汎用（ユニバーサル）カテゴリーのISO FIX対応前向きチャイルドシートに適合しています。

IL： この質量グループでの使用を認可された、次の表に記載されている「日産純正ISO FIX対応チャイルドシート」に適合しています。

次ページに続く

X： チャイルドシートを取り付けることはできません。

(1)： サイズ等級表示の無いチャイルドシートの各シート位置でのISO FIX対応チャイルドシート固定機構の取り扱いについては販売業者にご相談ください。

- 詳しくは、チャイルドシートに付属の取扱説明書をお読みください。

■ 日産純正ISO FIX対応チャイルドシートについて

「選択の目安」で、チャイルドシート取り付け位置にILと記載されている場合は、日産純正ISO FIX対応チャイルドシートをご使用ください。

質量グループ	サイズ等級	固定具	商品名	取り付け向き	カテゴリー
0+ (13kgまで)	E	ISO/R1	ISO FIX対応 ベビーシート (H8000- 79923)	後向き	準汎用

知識

- ISO FIX対応のチャイルドシートをすでにお持ちの場合、ご使用前にUN R44の基準に適合していることを確認してください。詳しくは、チャイルドシートに付属の取扱説明書を参照してください。

知識

- 日産純正ISO FIX対応ベビーシートの取り付けには別売りのベースキットが必要です。

ISO FIX対応チャイルドシートの取り付けかた

1

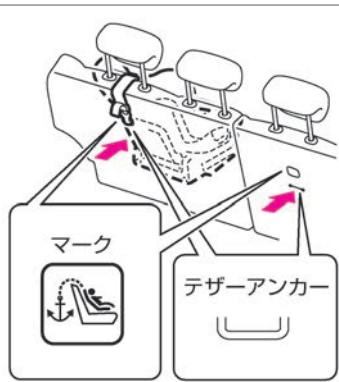
ISO FIX対応チャイルドシート用ロアアンカーは、後席シート左右背もたれのマーク下側にあります。
ヘッドレストをロックする位置まで上げて、チャイルドシートを座席に置き、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってロアアンカーに固定します。

➡ ヘッドレストの調節のしかた★ (P.126)



2

テザーアンカーは、後席シート背もたれ裏側にあります。
テザーアンカーにフックを固定し、テザーベルトを締めます。
チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認します。



⚠ 警告

- ISO FIX対応チャイルドシートを取り付けるときは、後席シートのヘッドレストをロックする位置まで上げる。
- チャイルドシートが確実に固定されていることを確認する。
確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突などでチャイルドシートが飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書に従って取り付けてください。
- チャイルドシートを取り付けるときは、アンカー部周辺に異物がないことやシートベルトなどがかみ込んでいないことを確認する。
チャイルドシートが確実に固定されず、急ブレーキや衝突などでチャイルドシートが飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。

📖 知識

- ISO FIX対応チャイルドシート用アンカー（固定装置）は、ロアアンカーとテザーアンカーの2種類があります。

知識

□アアンカーは背もたれと座面のすき間にあり、テザーアンカーは背もたれ裏側にあります。

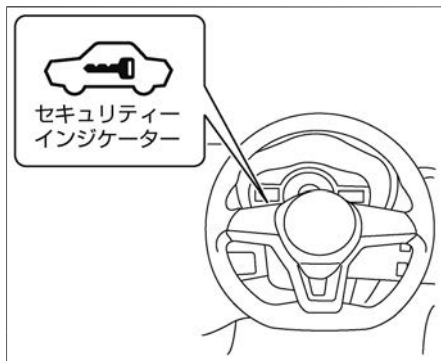
- チャイルドシートの形状により、チャイルドシートまたはテザーベルトがヘッドレストに干渉することがあります。その場合はヘッドレストを取り外してチャイルドシートを取り付けてください。
- シートカバーを装着するときは、スリットがあるものを使用してください。

イモビライザー（盗難防止装置）

■ イモビライザー（盗難防止装置）について

車両の盗難に対する防御性能を高めるために、あらかじめ登録されているキー以外での始動を禁止するシステムです。

- イモビライザーが働いているときは、セキュリティインジケータ（🔑 P.93）が点滅します。



🚗 アドバイス

- パワースイッチをONにしたときにセキュリティインジケータが点灯し続ける場合は、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

📖 知識

- キーに登録された信号は、キーごとに異なります。

MEMO

安全なドライブのために

メーターの見かた

計器類

各部名称	P.68
メーター	P.69

警告灯・表示灯

警告灯の表示位置	P.79
警告灯	P.80
表示灯の表示位置（NISMO仕様車以外）	P.91
表示灯の表示位置（NISMO仕様車）	P.92
表示灯	P.93

車両情報ディスプレイ

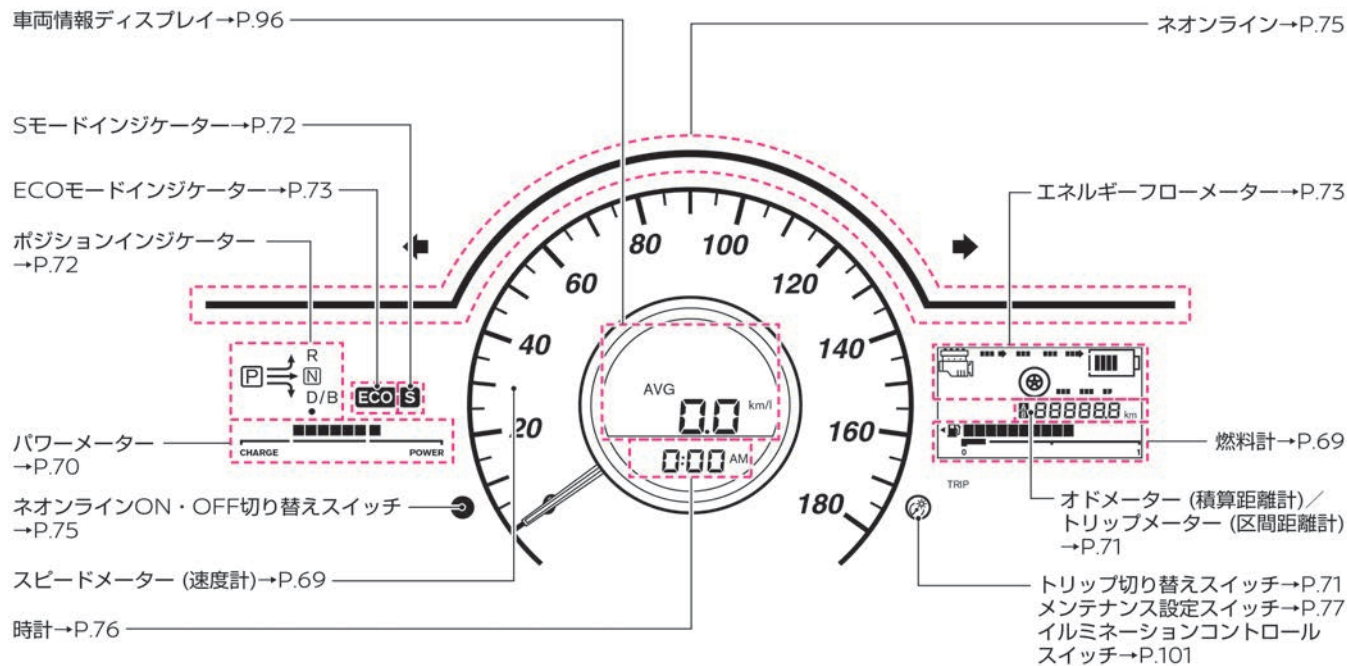
車両情報ディスプレイとは	P.96
トリップコンピューター	P.97
走行支援機能表示★	P.100

メーターの明るさの調節

イルミネーションコントロール	P.101
----------------	-------

各部名称

パワースイッチをONにすると、計器類が表示されます。
それぞれの計器の説明は、参照先のページをお読みください。



メーターには、スピードメーター（速度計）、パワーメーター、ポジションインジケーターなどがあります。パワースイッチをON にすると表示します。

■ スピードメーター（速度計）

走行速度を表示します。

■ 燃料計

燃料の残量を表示します。

- 燃料タンクの容量
 - － e-POWER Sグレード：約35ℓ
 - － e-POWER Sグレード以外：約41ℓ

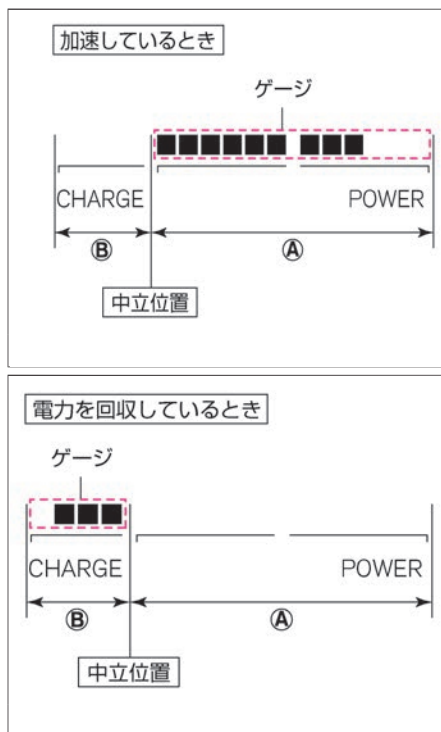
知識

-  の矢印は燃料補給口が車両左側にあることを示しています。
- 坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、正しく表示されない場合があります。燃料が少なくなってきたら、早めの給油を心がけてください。

パワーメーター

走行中の出力と回生力（電力の回収量）を表示します。

- 一定の速度で走行しているときや加速しているときは、ゲージが中立位置より右側④に表示されます。
- 急加速など、より多くの電力を消費しているときほど、ゲージが右側④に増えていきます。
- 電力を回収しているときは、ゲージが中立位置から左側③に増えます。ゲージが左側③に多くなるほど、多くの電力を回収していることを表します。



オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）

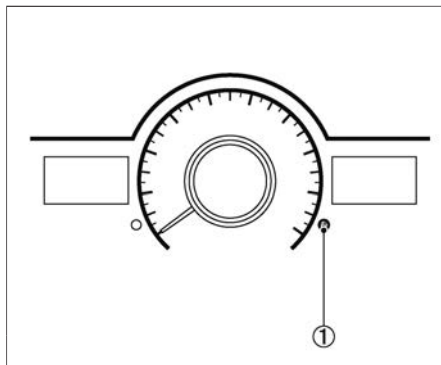
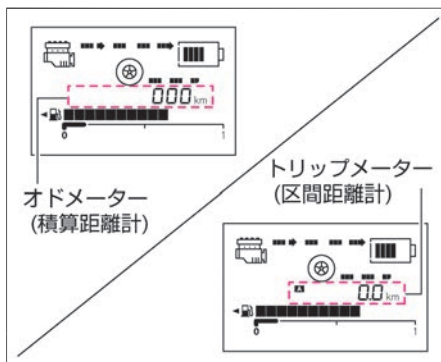
- 次のときに表示します。
 - － パワースイッチがONのとき
 - － パワースイッチをOFFにしてから約30秒間
 - － ドアを開閉後約30秒間

オドメーター（積算距離計）

- 総走行距離をkmで表示します。
- トリップメーター（区間距離計）
- リセットしてからの走行距離をkmで表示します。**[A]**と**[B]**でそれぞれ使い分けることができます。
- リセットするときは、パワースイッチをONにして、0にしたいほうを表示させ、スイッチ①を1秒以上押します。

表示の切り替えかた

- オドメーターまたはトリップメーターを表示しているとき、スイッチ①を押すと次の順で切り替わります。
オドメーター→トリップメーター**[A]**→トリップメーター**[B]**→オドメーター

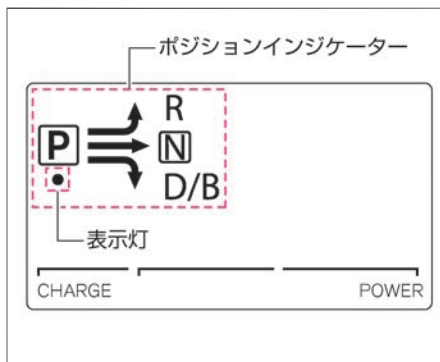


知識

- 12Vバッテリーを外したときは、トリップメーターの**[A]**と**[B]**の記憶が消去され0に戻ります。

ポジションインジケータ

表示灯●（オレンジ色）で現在のシフトポジションを示します。



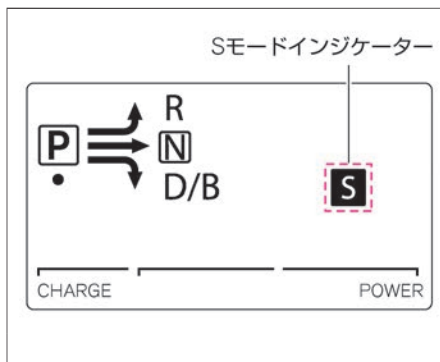
アドバイス

- セレクトレバーを中央の位置以外で保持し続けしないでください。ポジションがずれたまま走行を続けると、故障の原因となります。なお、適正な位置からずれていると、ポジションインジケータの表示灯が点滅します。

Sモードインジケータ

ドライブモードをSモードにすると点灯します。

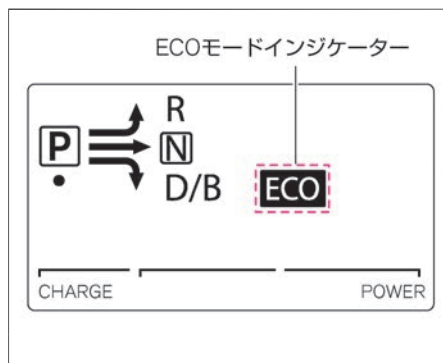
➡ [e-POWER Drive \(P.197\)](#)



ECOモードインジケータ

ドライブモードをECOモードにすると点灯します。

🔌 e-POWER Drive (P.197)

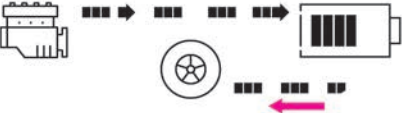
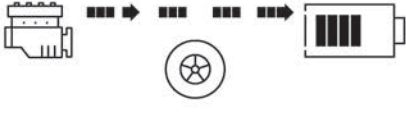


エネルギーフローメーター

- メーター内の右側ディスプレイにエンジン、リチウムイオンバッテリーおよびタイヤ間のエネルギーの流れを表示します。
- 画面は実際の表示とは異なる場合があります。

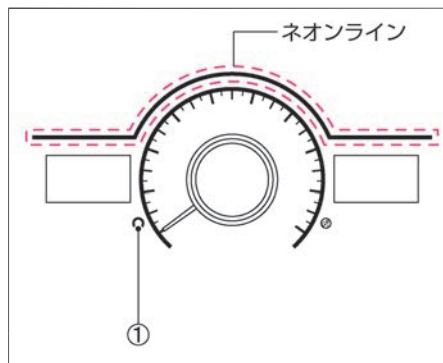
📖 知識

- エネルギーフローにおけるエンジンからの矢印は、発電している状態を示すものです。
- e-POWERシステムでは、発電しなくてもエンジンが作動することがあります。発電していないときは矢印は表示されません。

エネルギーフローメーター		
		
リチウムイオンバッテリーに蓄えられたエネルギーを使って走行している状態	回生ブレーキを使って、リチウムイオンバッテリーを充電している状態	エンジンと回生ブレーキ、両方のエネルギーで充電している状態
		
● エンジンで発電したエネルギーで、走行と充電の両方をしている状態 ● エンジンで発電したエネルギーとリチウムイオンバッテリーに蓄えられたエネルギー、両方を使って走行している状態 ● エンジンで発電したエネルギーを使って走行している状態	エンジンで発電したエネルギーで、リチウムイオンバッテリーを充電している状態	エネルギーの流れがない状態
	多い 少ない 	
	リチウムイオンバッテリーのエネルギー残量表示	

ネオンライン

- 次のときに表示します。
 - ー パワースイッチがONのとき
 - ー パワースイッチをOFFにしてから約30秒間
 - ー ドアを開閉後約30秒間
- パワースイッチがONのとき、スイッチ①を約1秒以上長押しすると、ネオンラインのON・OFFを切り替えることができます。

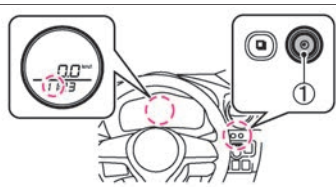


時計

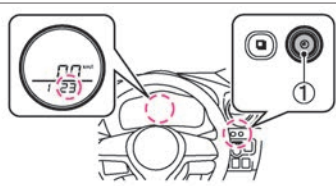
- パワースイッチがONのときに表示されます。

■ 時刻の設定

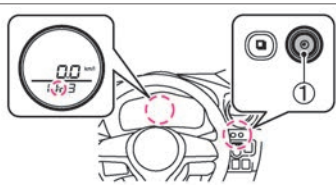
- 1 時計調整スイッチ①を約2秒間押します。
（「時」の表示が点滅し、「時」調整モードになります。）



- 2 点滅している間に時計調整スイッチ①を押し、「時」を調整します。
（調整後、約3秒経過すると「分」の表示が点滅し、「分」調整モードになります。）



- 3 点滅している間に時計調整スイッチ①を押し、「分」を調整します。
（調整後、約3秒経過すると「時」と「分」の間の「:」が点滅します。）



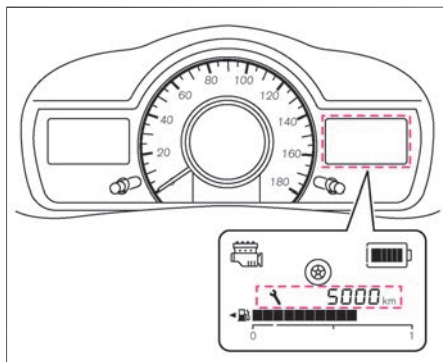
- 4 時計調整スイッチ①を押します。
（「:」が点滅から点灯に切り替わり、時刻が設定されます。）

知識

- 時計調整スイッチ①を短押しすると、24/12時間表示を切り替えることができます。
- 12Vバッテリーを外すと、設定した時刻がリセットされます。
- “:” が点滅してから60秒間そのままにしても、時刻が設定されます。

メンテナンス設定

- 次回メンテナンスを行うまでの距離を設定できます。
- パワースイッチをONにすると、レンチの記号  と設定した距離までの残りの距離が約5秒間点灯したあと、オドメーター／トリップメーターが表示されます。

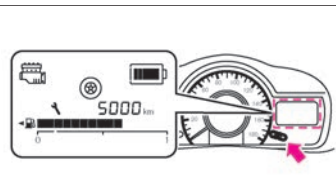


知識

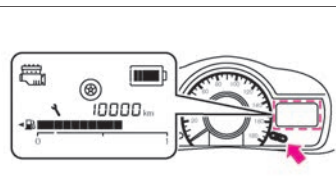
- メンテナンス設定は設定距離を0（ゼロ）にすると、パワースイッチをONにしても表示されません。

■ 設定のしかた

- 1 パワースイッチをONにしてから5秒以内に、メンテナンス設定スイッチを約3秒以上押します。
(表示が点滅します。)



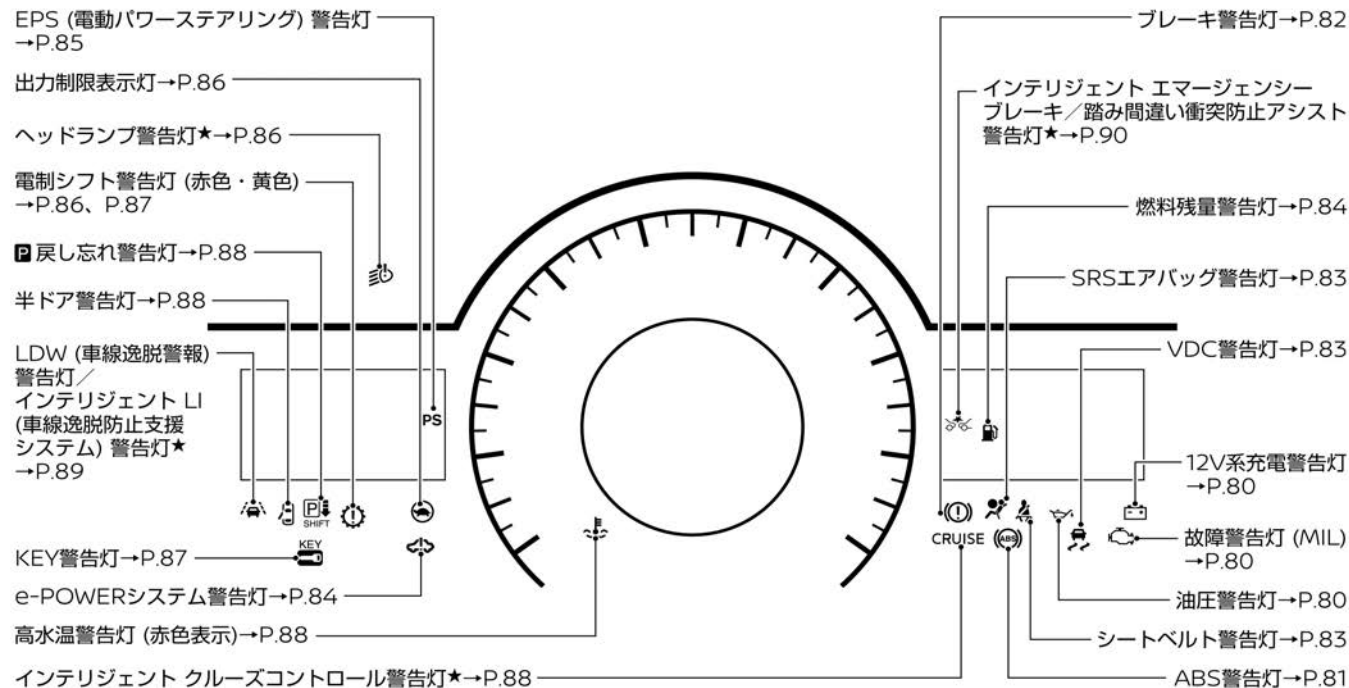
- 2 表示が点滅している間にメンテナンス設定スイッチを押して距離を設定します。距離を変更したあと、5秒以上何も操作を行わないと設定され、オドメーター／トリップメーターに切り替わります。


 知識

- 定期交換部品などの交換距離については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。
- メンテナンス設定スイッチを押して距離を設定しているときは、スイッチを1回押すたびに1,000km延長されます。交換距離は0～30,000kmまでの範囲に変更でき、30,000kmの次にメンテナンス設定スイッチを押すと再び0kmに戻ります。

警告灯の表示位置

次のイラストは、説明のためすべての警告灯を表示しています。
通常は警告すべき事象がおこったときに、該当の警告灯のみ点灯または点滅します。



警告灯

警告灯は、車両故障などを運転者に知らせるためのものです。

警告灯が点灯したときは、次の「説明・対処方法」に従ってください。

メーター内の警告や表示は、グレード、オプションなどにより異なります。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	油圧警告灯	● 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、e-POWERシステムが始動すると消灯します。 ● e-POWERシステムが始動しているとき、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。	● 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。 △ 注意 ● 油圧警告灯が点灯したまま走行しない。 エンジンを破損するおそれがあります。
	故障警告灯 (MIL)	● 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、e-POWERシステムが始動すると消灯します。 ● e-POWERシステムが始動しているとき、エンジン電子制御システムに異常があると点灯または点滅します。	● 点灯または点滅したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。
	12V系充電警告灯	● 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、e-POWERシステムが始動すると消灯します。 ● e-POWERシステムが始動しているとき、12Vバッテリーの充電系統に異常があると点灯します。	● 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。 △ 注意 ● 12V系充電警告灯が点灯したまま走行しない。 12Vバッテリーが破損したり、エンジンが突然停止したりし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	ABS警告灯	● 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● パワースイッチがONのとき、ABSのシステムに異常があると点灯し続けます。	● パワースイッチをONにしても点灯しないとき、または点灯し続けるときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。  アドバイス ● ABS警告灯が点灯したときは、ABSは作動しませんが、通常のブレーキ性能は確保されています。この場合、滑りやすい路面でのブレーキ時や急ブレーキ時にタイヤがロックすることがあります。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	ブレーキ警告灯	● 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 (パーキングブレーキをかけているときは消灯しません) ● パワースイッチがONのとき、次の場合は点灯し続けます。 - ー パーキングブレーキをかけているとき - ー ブレーキ液が不足しているとき - ー ブレーキシステムに異常があるとき	● パーキングブレーキがかかっているときは、パーキングブレーキを解除します。 ● パーキングブレーキを解除しても点灯するときは、ただちに安全な場所に停車して、日産販売会社にご連絡ください。ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。 ● ブレーキ液が正常でABS警告灯と同時に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 ⚠ 警告 ● パーキングブレーキを解除してもブレーキ警告灯が点灯し続けるときは、点灯したまま走行しない。 ブレーキの効きが極度に悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。 🚗 アドバイス パーキングブレーキを戻し忘れたまま走行(約7km/h以上)すると、ブザーが鳴ります。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	シートベルト警告灯	● パワースイッチがONのとき、運転者がシートベルトを着用していないと点灯します。 シートベルト非着用警報（シートベルトリマインダー） ● 運転者がシートベルトを着用していない状態で走行すると（約15km/h以上）、約90秒間ブザーが鳴ります。	● シートベルトを着用してください。 ⚠ 警告 ● 走行中は全員がシートベルトを着用する。 着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。
	SRSエアバッグ警告灯	● 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、約7秒後に消灯します。 ● パワースイッチがONのとき、SRSエアバッグのシステム、プリテンショナー機能に異常があると、点灯または点滅を続けます。	⚠ 警告 ● パワースイッチをONにしても点灯しないとき、または点灯や点滅を続けるときは、放置したまま走行しない。 万一のときSRSエアバッグ、プリテンショナーシートベルトが作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。
	VDC警告灯	● 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● パワースイッチがONのとき、VDCが作動すると点滅します。 ● パワースイッチがONのとき、VDC、ヒルスタートアシストの電子制御システムに異常があると点灯し続けます。	● 点灯したときはVDC、ヒルスタートアシストの作動は停止しますが、それらのシステムのない普通の車として走行できます。滑りやすい路面では注意して走行し、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	e-POWERシステム警告灯	● パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● パワースイッチがONのとき、e-POWERシステムに異常が発生すると点灯します。	● 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。
	燃料残量警告灯	● パワースイッチがONのとき、燃料の残量が少ないと点灯します。	● すみやかに指定の燃料を補給してください。  知識 ● 燃料の残量が約6ℓ以下で点灯します。 なお、走行に使用できる燃料容量は、上記残量よりも少なくなります。 ● 車両姿勢、走行状況などによって燃料がタンク内で移動するため、警告灯の点灯するタイミングが変わる場合があります。 ● 燃料がなくなると、リチウムイオンバッテリーの残量が残っていても走行不能になるおそれがあります。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	EPS（電動パワーステアリング）警告灯	● 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、e-POWERシステムが始動すると消灯します。 ● e-POWERシステムが始動しているとき、電動パワーステアリングのシステムに異常があると点灯します。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 ● 点灯しているときは、電動パワーステアリングは作動しませんが、マニュアルステアリングの性能は確保されています。この場合は、ハンドルの操作力が重くなります。  アドバイス ● ハンドルに長時間力をかけた状態が続いたり停車中に操作を繰り返すと、システムの過熱を防ぐためハンドル操作力が重くなりますが、異常ではありません。しばらくハンドル操作を控え、システムの温度が下がると、通常のハンドル操作力に戻ります。  知識 ● すばやいハンドル操作を行うと、ハンドル付近から擦れるような音が聞こえてくることがありますが、異常ではありません。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	出力制限表示灯	● 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● パワースイッチがONのとき、次の場合に点灯します。 - ー リチウムイオンバッテリーの残量が極端に低下しているとき - ー 真冬の屋外などで、リチウムイオンバッテリーの温度が極端に低いとき - ー 上り坂の連続走行などで、走行用モーターやリチウムイオンバッテリーなどの温度が極端に高いとき - ー 発電出力が制限されているとき - ー 車両故障が発生しているとき	● 点灯中は走行用モーターまたは発電用モーターの出力が制限され、アクセルペダルを踏み込んでも速度が上がりにくくなります。
	ヘッドランプ警告灯★	● パワースイッチがONのとき、LEDヘッドランプに異常があると点灯します。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
	電制シフト警告灯(赤色)	● 正常なときは、パワースイッチをONにすると、赤色に点灯したあと黄色に点灯し、消灯します。 ● パワースイッチがONのとき、電制シフトに異常があると点灯します。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 ●  知識 ● 電制シフト警告灯(赤色)が点灯したときは、メーター内のディスプレイに「パーキングブレーキをかけて下さい」とメッセージが表示されます。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	電制シフト警告灯 (黄色)	● 正常なときは、パワースイッチをONにすると、赤色に点灯したあと黄色に点灯し、消灯します。 ● パワースイッチがONのとき、電制シフトに異常があると点灯します。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 ● シフトポジションがすぐに切り替わらないことがあるため、目的のシフトポジションの位置でセレクトレバーを保持し、シフトポジションが切り替わったことを確認してから手を離してください。 ● オートP機能 (P.175) が作動しないことがあるため、駐車するときはセレクトレバー上部のⓅスイッチを押し、Pに切り替わったことを確認してください。
	KEY警告灯	● 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● パワースイッチがONまたはACCのとき、インテリジェントキーが車外へ持ち出されるとKEY警告灯が黄色に点滅します。 ● インテリジェントキーのシステムに異常があると、KEY警告灯が黄色に点灯します。 ● インテリジェントキーの電池切れが近くなると、KEY警告灯が緑色に点滅します。	● インテリジェントキーは必ず車室内で携帯してください。 ● KEY警告灯が黄色に点灯しているときは、パワースイッチをON（走行可能表示灯  が点灯）にできないおそれがあります。 走行可能表示灯  が点灯中にKEY警告灯が点灯しても走行を続けることができますが、その場合でも、できるだけ早く日産販売会社に連絡してください。 ● KEY警告灯が緑色に点滅しているときは、電池を新品と交換してください。  キー（インテリジェントキー）の電池交換 (P.407)

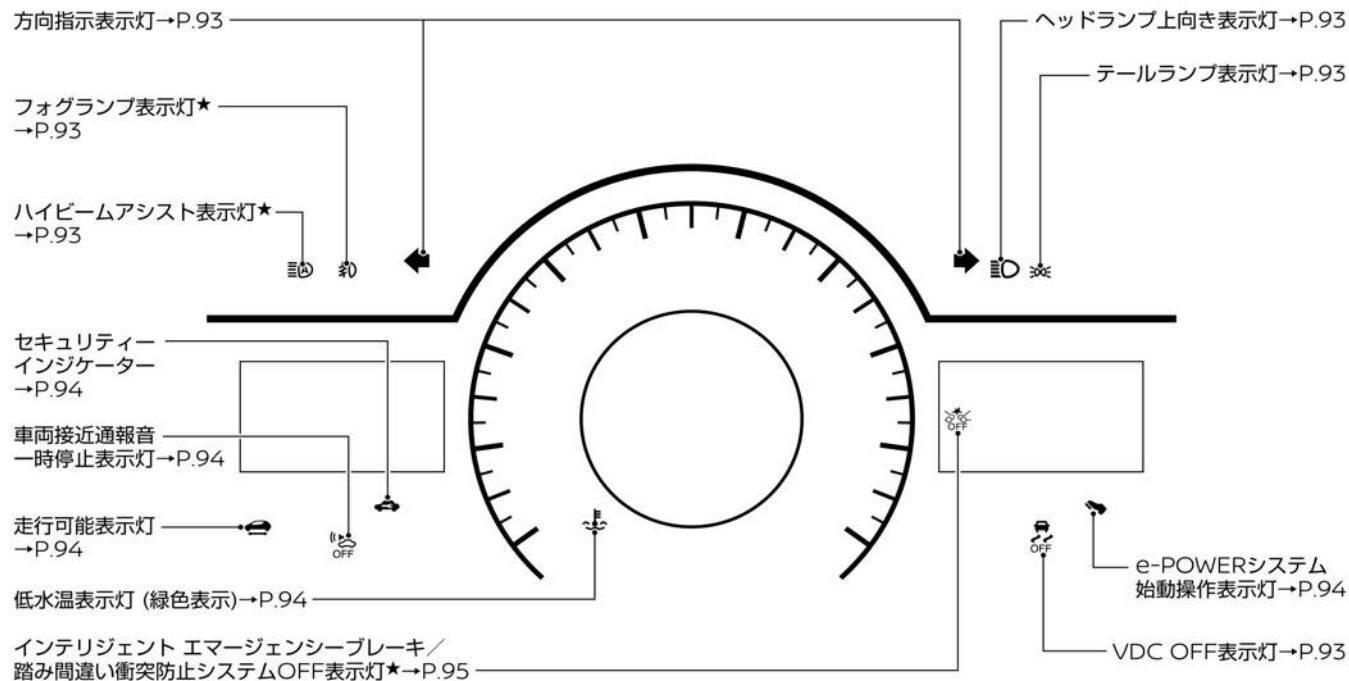
警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	P 戻し忘れ警告灯	● 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● シフトポジションがP以外で、運転席ドアが開いたときに点灯します。	● シフトポジションをPに切り替えてください。
	半ドア警告灯	● パワースイッチがONのとき、いずれかのドアが開いているか、完全に閉まっていないとき点灯します。	● ドアを閉めてください。 ⚠ 警告 ● 走行前に警告灯が消えていることを確認する。 ドアが完全に閉まっていない（半ドア）と走行中に突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。
	高水温警告灯（赤色表示）	● 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● パワースイッチがONのとき、エンジン冷却水の温度が異常に高くなったときに点灯します。	● 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、処置してください。 ●  オーバーヒートしたときは (P.362) ⚠ 警告 ● 点灯したまま走行しない。 エンジンが故障する原因となり、火災につながるおそれがあります。
	インテリジェントクルーズコントロール警告灯★	● 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、e-POWERシステムが始動すると消灯します。 ● インテリジェント クルーズコントロールのシステムに異常があると、“ピー”というブザー音とともにインテリジェントクルーズコントロール警告灯が点灯します。	● 点灯したときは、安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。再始動後も警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	LDW（車線逸脱警報）警告灯★／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）警告灯★	● 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● 右側もしくは、左側のレーンマーカーに近づいたと判断すると、点滅します。 ● LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）に異常があると、点灯します。	● 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。再始動後も警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯★	● 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、e-POWERシステムが始動すると消灯します。 ● 次の場合は点灯します。 － VDCをOFFにしているとき － インテリジェント エマージェンシーブレーキまたは踏み間違い衝突防止アシストのシステムに異常が発生しているとき ● インテリジェント エマージェンシーブレーキまたは踏み間違い衝突防止アシストが作動したときは点滅します。 ● 次の場合はゆっくり点滅します。 － フロントガラスの汚れなどにより、マルチセンシングフロントカメラが前方を認識できなくなったとき － 前方からの強い光により、カメラが前方を認識できなくなったとき － 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき － フロントガラスの結露や曇りなどにより、マルチセンシングフロントカメラが前方を認識できなくなったとき	● VDCをOFFにしているときは、ONにすると消灯します。  VDCの停止のしかた (P.203) ● e-POWERシステム再始動後も警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。 ● フロントガラスが汚れているときは、フロントガラスを清掃し、警告灯が消灯したことを確認してください。  マルチセンシングフロントカメラ★の取り扱い (P.415) ● 室内の温度が高いときなどは、温度が下がると自動的に作動を復帰します。 各システムについては、インテリジェント エマージェンシーブレーキ ( P.243) および 踏み間違い衝突防止アシスト ( P.252) をお読みください。

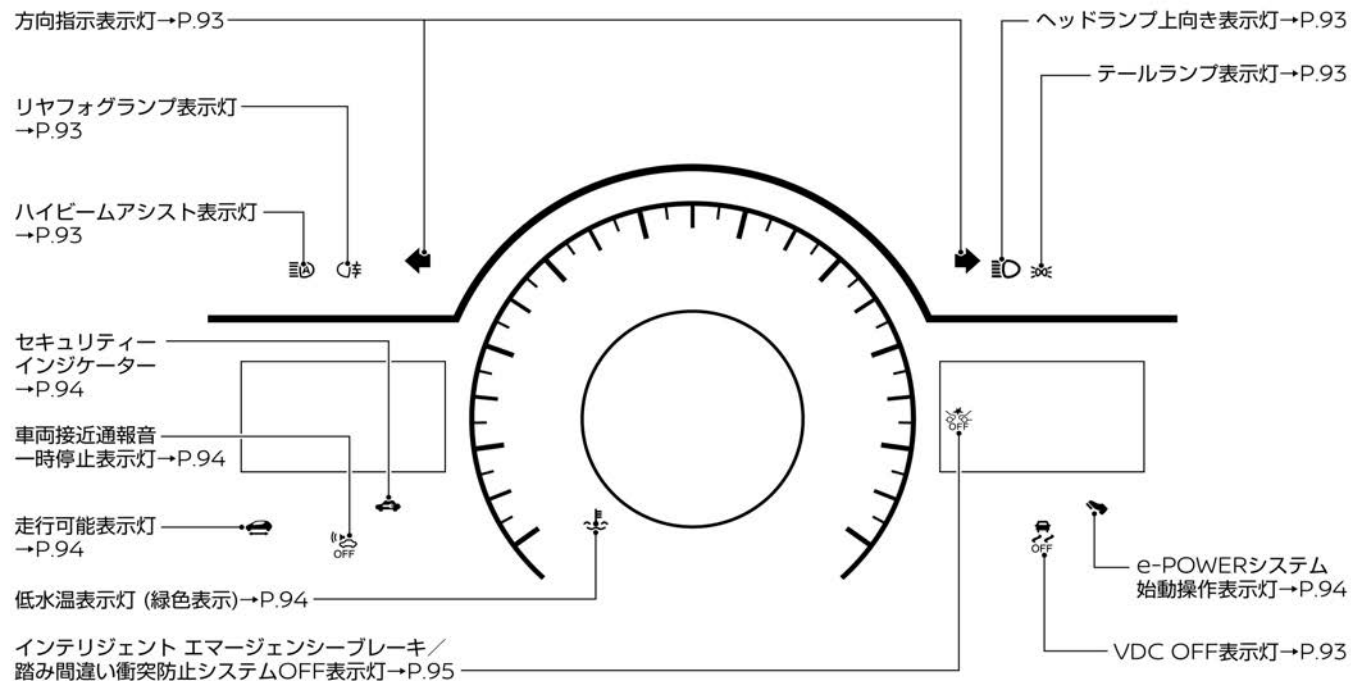
表示灯の表示位置（NISMO仕様車以外）

次のイラストは、説明のためすべての表示灯を表示しています。
通常は事象がおこったときに、該当の表示灯のみ点灯します。



表示灯の表示位置（NISMO仕様車）

次のイラストは、説明のためすべての表示灯を表示しています。
通常は事象がおこったときに、該当の表示灯のみ点灯します。



表示灯

表示灯は、何らかのシステムが作動していることなどをお知らせするものです。

点灯している理由は、次の説明をお読みください。

メーター内の警告や表示は、グレード、オプションなどにより異なります。

表示灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	方向指示表示灯	● 非常点滅表示灯を作動させると点滅します。 ● パワースイッチがONのとき、方向指示器を作動させると、作動させた側のみ点滅します。	● 方向指示器の電球（バルブ）が切れたときは点滅が速くなります。電球を交換してください。 ➡ 方向指示器の使いかた (P.189) ➡ 電球（バルブ）交換 (P.391)
	ヘッドランプ上向き表示灯	● ヘッドランプのハイビーム（上向き）を点灯させると点灯します。	➡ ハイビーム（上向き）への切り替えかた (P.188)
	テールランプ表示灯	● 車幅灯、尾灯、番号灯を点灯させると点灯します。	➡ ライトスイッチの使いかた (P.183)
	フォグランプ表示灯★	● フォグランプを点灯させると点灯します。	➡ フォグランプの使いかた★ (P.192)
	リヤフォグランプ表示灯★	● リヤフォグランプを点灯させると点灯します。	➡ リヤフォグランプの使いかた★ (P.192)
	ハイビームアシスト表示灯★	ハイビームアシストがONのときヘッドランプが点灯していると、ヘッドランプの上向き、下向きにかかわらず点灯します。	➡ ハイビームアシストについて★ (P.186)
	VDC OFF表示灯	● パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● パワースイッチがONのとき、VDC OFFスイッチを押すと点灯します。	➡ VDC（ビークルダイナミクスコントロール） (P.201)

表示灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	セキュリティーインジケーター	- パワースイッチがON以外のときに点滅します。 🔑 イモビライザー（盗難防止装置）(P.65)	パワースイッチをONにしたあとも点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。
	低水温表示灯（緑色表示）	- エンジン冷却水温が低いと点灯します。 - パワースイッチをONにすると、高水温警告灯（赤色表示）が約1秒間点灯後、低水温表示灯（緑色表示）が約1秒間点灯して消灯します。 - エンジン冷却水温が低いときは、低水温表示灯（緑色表示）が消灯せずに点灯し続けますが、エンジンの暖機により、しばらくすると既定の水温以上に達して、消灯します。	 アドバイス - しばらく走行したあとも点灯し続けるときは、水温センサーの異常が考えられます。すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 - 赤色表示が点灯し続ける場合は、高水温警告灯（赤色表示）（🔴 P.88）をお読みください。
	走行可能表示灯	走行できる状態になると点灯します。（走行中も点灯し続けます。）	—
	車両接近通報音一時停止表示灯	車両接近通報装置一時停止スイッチを押すと点灯します。	🔴 車両接近通報装置について (P.207)
	e-POWERシステム始動操作表示灯	ブレーキペダルを踏みながらパワースイッチを押し、e-POWERシステムを始動することを表示します。	—

表示灯

表示灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	インテリジェント エマージェンシーブ レーキ／踏み間違い 衝突防止アシスト OFF表示灯★	● インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストOFFスイッチを押すと点灯します。	各システムについては、インテリジェントエマージェンシーブレーキ（➡P.243）および踏み間違い衝突防止アシスト（➡P.252）をお読みください。

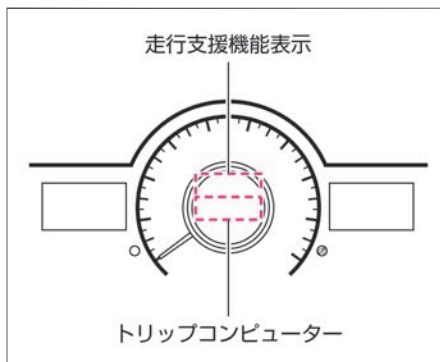
車両情報ディスプレイとは

メーター内のディスプレイで、車両状態や走行支援機能★などを表示することができます。

表示される内容

次の情報を表示します。

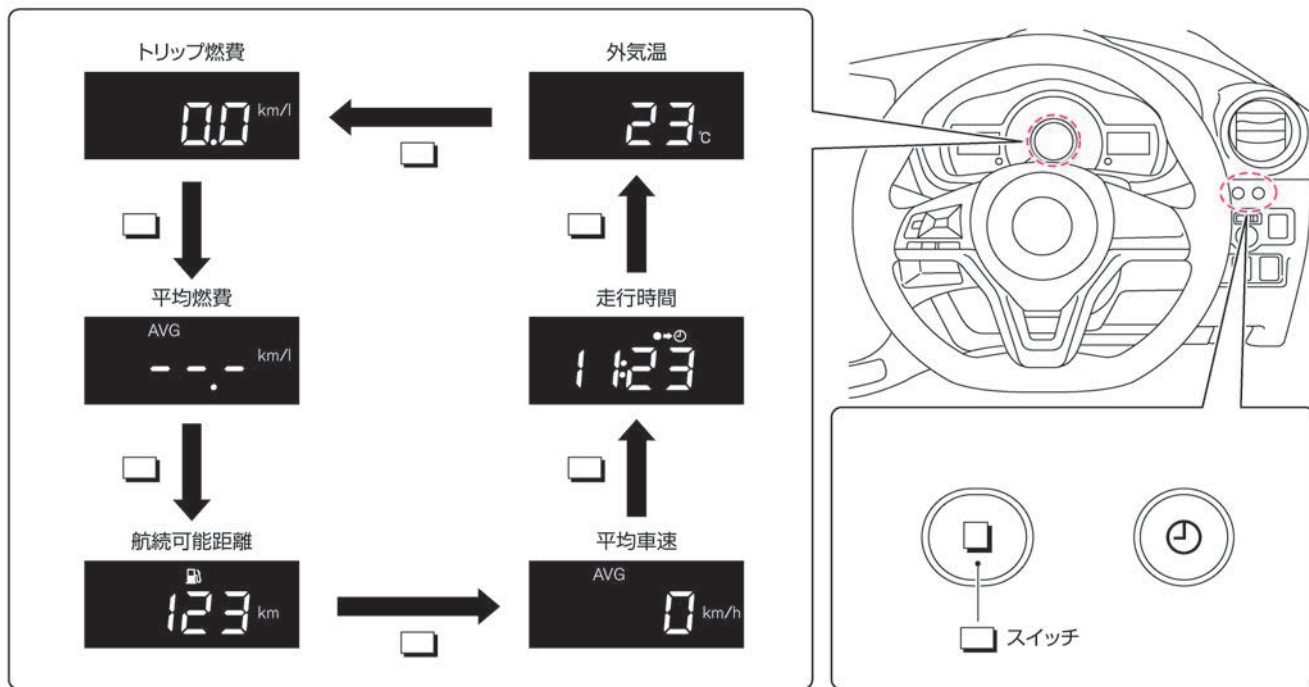
- 走行支援機能表示★
 - ー インテリジェント クルーズコントロール
- トリップコンピューター
 - ー トリップ燃費
 - ー 平均燃費
 - ー 航続可能距離
 - ー 平均車速
 - ー 走行時間
 - ー 外気温



車両情報ディスプレイ トリップコンピューター

パワースイッチがONのとき、 スイッチを押すと次の順で画面が切り替わります。

画面の切り替えかた



メーターの見かた

次ページに続く

表示項目

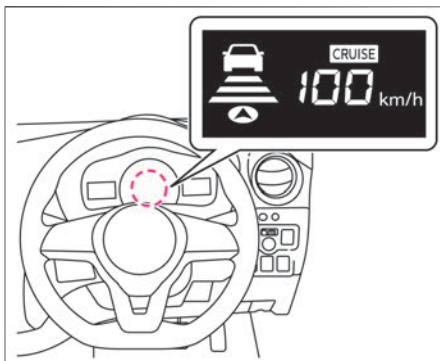
画面表示	名称	概要	詳細説明
	トリップ燃費	● 1回走行あたりの平均燃費を表示します。	-
	平均燃費	● リセットしてからの平均燃費を表示します。 ● 表示は30秒ごとに更新されます。 ● リセットするときは、 スイッチを約1秒以上押します。 ● リセット後、約500m走行するまでは、“---”が表示されます。	 知識 ● 平均燃費を表示しているときに、 スイッチを約3秒以上押すと、平均燃費、平均車速、走行時間が同時にリセットされます。
	航続可能距離	● 現在の燃料残量と平均燃費から走行可能な距離を表示します。 ● 航続可能距離が少なくなったとき（燃料残量が少なくなったとき）は、表示が点滅します。 ● 燃料残量がさらに少なくなると、“---”に変化します。 ● 表示は30秒ごとに更新されます。	 知識 ● 補給した燃料が少量の場合は、パワースイッチをOFFにする直前の表示が表示され続けることがあります。 ● 坂道やカーブなどを走行すると、燃料タンク内の燃料が移動し、一時的に表示が変化することがあります。 ● 表示画面が航続可能距離表示以外でも、ドライブモードやエアコンON・OFFを切り替えるとその車両状態に応じた航続可能距離が数秒間表示されます。

画面表示	名称	概要	詳細説明
	平均車速	- リセットしてからの平均車速を表示します。 - リセットするときは、 スイッチを1秒以上押します。	 知識 平均車速を表示しているときに、 スイッチを約3秒以上押すと、平均燃費、平均車速、走行時間が同時にリセットされます。
	走行時間	- リセットしてからの走行時間を表示します。 - リセットするときは、 スイッチを1秒以上押します。	 知識 走行時間を表示しているときに、 スイッチを約3秒以上押すと、平均燃費、平均車速、走行時間が同時にリセットされます。
	外気温	外気温を表示します。	 知識 外気温が3℃以下になると、外気温の表示を点滅させて運転者に知らせます。点滅表示は、約1分経過するか外気温が4℃以上になると通常表示になります。

インテリジェント クルーズコントロール表示★

- インテリジェント クルーズコントロールをONにすると表示します。

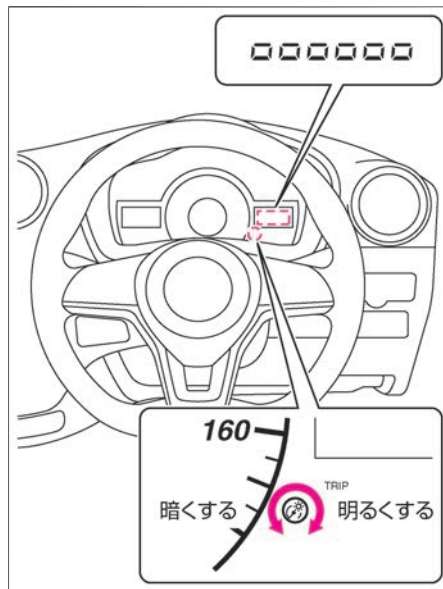
インテリジェント クルーズコントロールについては、(➡P.212)をお読みください。



メーターの明るさの調節のしかた

パワースイッチがONのときに、メーター照明の明るさを調節できます。

- スイッチを左右に回して調節します。
- 右に回すと明るくなり、左に回すと暗くなります。
- 明るさのレベル表示は、メーター内のディスプレイに表示されます。



知識

- 明るさのレベルが最大または最小に達すると、音が鳴ります。
- 12Vバッテリーを外すと調節した記憶は消去されます。

MEMO



メー
ター
の
見
か
た

キー

キー（インテリジェントキー）	P.104
キー（インテリジェントキー）に関する注意事項	P.107

ドアの施錠と解錠

ドア	P.110
バックドア	P.117

シートの調節

前席シート	P.122
後席シート	P.128

ハンドルの調節

ハンドル	P.133
------	-------

ミラーの調節

ルームミラー★	P.134
インテリジェント ルームミラー（インテリジェント アラウンドビュー モニター表示機能付）★	P.135
ドアミラー	P.144

窓ガラスの開閉

パワーウインドー	P.147
手動式ウインドー★	P.149

燃料補給口の開閉

燃料補給口	P.150
-------	-------

エアコンの操作

オートエアコン	P.153
吹き出し口	P.156
エアコンを使うときに注意すること	P.157

オーディオ

オーディオの使いかた★	P.161
ステアリングスイッチ★	P.166

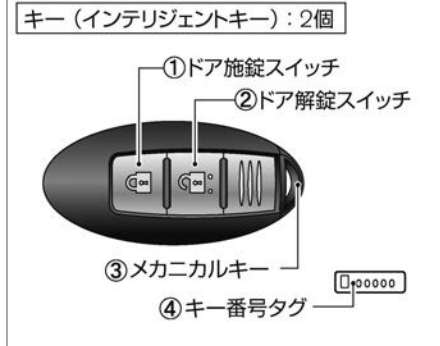
キー（インテリジェントキー）

キーを携帯するだけでドアの施錠・解錠および始動操作ができます。

ドアの施錠・解錠のしかたは（➡P.110）、始動操作は（➡P.168）をお読みください。

各部名称と機能

- ① ドア施錠スイッチ
スイッチを押すと、全ドアが施錠されます。
- ② ドア解錠スイッチ
スイッチを押すと、全ドアが解錠されます。
- ③ 内蔵キー（メカニカルキー）
キーの電池が切れたときや、12Vバッテリーがあがったときなどにドアの施錠・解錠ができます。
- ➡ 内蔵キー（メカニカルキー）でのドアの開けかた（P.341）
- ④ キー番号タグ
キーを紛失した場合、キー番号から日産販売会社でスペアキーを作成できますので、大切に保管してください。



知識

- キーは2個ついてきます。
- キーは同じ車両で最大4個まで使うことができます。ご購入やご使用開始方法については、日産販売会社にご相談ください。
- キーの電池が切れても、ドアの施錠・解錠やe-POWERシステムの始動を行うことができます。
 - ➡ ドアが開かないときは（P.341）
 - ➡ インテリジェントキーで始動できないときは（P.343）
- インテリジェントキー機能のON・OFFを切り替えることができます。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

アンサーバック機能

- ドアの施錠・解錠時に、作動確認のための非常点滅表示灯が作動します。（施錠時1回、解錠時2回）
アンサーバック機能のブザーを停止することができます。日産販売会社にご相談ください。

キー連動室内照明システム

- ドアを解錠すると、室内照明（ラゲッジルームランプを除く）が約15秒間点灯します。

 知識

詳しくは、室内灯(🔦P.308)をお読みください。

オートロック機能

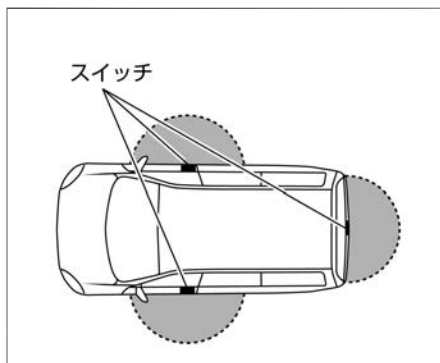
- 解錠スイッチを押してから約30秒以内にいずれかのドアを開けなかったときは、盗難防止のため自動的に全ドアが施錠されます。
（施錠されるまでの間に、再度解錠スイッチを押すと、その時点から約30秒後に施錠されます。）

ドアの施錠・解錠の作動範囲

作動範囲は各ドアハンドルのスイッチから周囲約80cm以内です。作動範囲は各ドアハンドルのスイッチを中心に球状になっているため、地面近くや高い場所では作動しないことがあります。

キーが作動範囲内にある場合は、キーを携帯している人以外でもドアハンドルのスイッチを押して施錠・解錠できます。

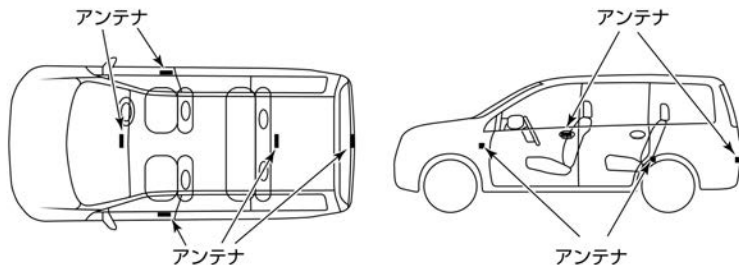
- ドアハンドルのスイッチを押してドアを施錠したあとは、ドアが確実に施錠されていることを確認してください。
- ドアハンドルのスイッチを押す前にドアハンドルを引かないでください。ドアは解錠されますが、開きません。一度ドアハンドルを離してから再び引いて開けてください。
- 車から離れるときは、盗難や事故防止のため、必ずパワースイッチをOFFにして施錠してください。



警告

- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）を使用されている方は、アンテナから約22cm以下の範囲に装着部位を近づけない。

ドアおよびバックドア開閉時、ドアハンドルのスイッチ操作時、e-POWERシステム始動時などにキーの電波が植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）の作動に影響を与えるおそれがあります。



- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）以外の医療電気機器を使用されている方は、医療電気機器製造業者などへ影響を確認してから使用する。

キーの電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があります。

- 航空機内ではキーのスイッチを押さない。

万一スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運航に支障をきたすおそれがあるため、バッグなどに収納するときは、荷物などでスイッチが押されないようにしてください。

 アドバイス

- キーは運転者が必ず携帯してください。
- キーは、必ず内蔵キー（メカニカルキー）を内蔵した状態で携帯してください。
- キーはドアポケットに入れなくてください。ドアを閉めるときの衝撃により破損するおそれがあります。また、ドアポケット内に一緒に入れておいた物がドアを閉めた衝撃で当たるなどして勝手にスイッチが入り、キーを車室内に封じ込めるおそれがあります。
- キーを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ただちに日産販売会社にご相談ください。
- キーは微弱な電波を使用しています。次のような使用環境では機能に障害が起こるため、ドアハンドルのスイッチやキーのスイッチが正常に作動しない場合があります。
 - － 近くにテレビ塔や発電所、放送局など強い電波を発生する設備があるとき
 - － 無線機や携帯電話などの無線通信機器と一緒に携帯しているとき
 - － キーが金属製の物に接したり、覆われたりしているとき
 - － 近くで電波式のリモコンスイッチを操作しているとき
 - － キーをパソコンなどの電化製品の近くに置いたとき
 - － コインパーキングに駐車したとき（車両検出用の電波の影響があるため）
 - － 近くで電波式侵入警報装置を使用しているとき
 - － 極端に気温が低いとき（電池の性能が低下するため）
- キーは電波法の認証に適合しています。次のことを必ずお守りください。
 - － 電池を交換するとき以外は分解しない（分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています）
 - － 日本国内のみで使用する



アドバイス

- キーは車両との通信のために常時受信動作をしているため、常に電池を消耗しています。電池の寿命は使用状況によりますが約2年程度です。電池が切れた場合、新しい電池と交換してください。

➡ キー（インテリジェントキー）の電池交換 (P.407)

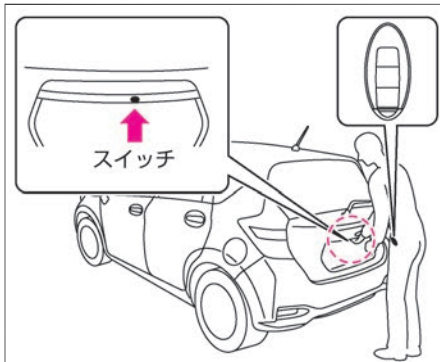
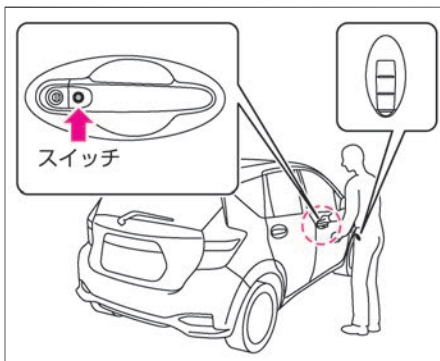
- キーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所では、作動範囲が狭くなったり、作動しないことがあります。
- キーは送信機を内蔵している精密機械です。故障を防止するため、次のことをお守りください。
 - ー 長時間高温になる場所に置かない
 - ー 分解しない
 - ー 無理に曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えたりしない
 - ー 水にぬらさない
 - ー 超音波洗浄器などにつけない
 - ー 磁気を帯びたキーホルダーなどをつけない
 - ー テレビ、オーディオなど、磁気を帯びた機器の近くに置かない

ドアハンドルのスイッチやキー（インテリジェントキー）のスイッチで施錠・解錠します。
施錠したあとは、必ず施錠されていることを確認してください。

ドアスイッチでの施錠・解錠のしかた

- キーを携帯し、運転席、助手席ドアまたはバックドアにあるスイッチを押すと全ドアが施錠・解錠します。
- キーが各スイッチから周囲80cm以内にあるときに作動します。
- 施錠・解錠したときは、ブザーおよび非常点滅表示灯が次のように作動します。

	ブザー音	非常点滅表示灯
施錠	ピッ	1回点滅
解錠	ピピッ	2回点滅



アドバイス

- 車両に近づきすぎている場合などは作動しないことがあります。
- 急にドアハンドルを操作すると、ドアハンドルが引かれるため、施錠できないことがあります。



知識

- ドアスイッチでの施錠・解錠機能のON・OFFを切り替えることができます。設定を切り替えたいときは、日産販売会社にご相談ください。
- 次のような場合は、作動しません。
 - ー パワースイッチがONまたはACCのとき
 - ー ドアが完全に閉まっていない（半ドア）とき（解錠のみできます）
 - ー キーが施錠・解錠の作動範囲内にないとき
 - ー 携帯しているキー以外に自車のキーが車室内にあるとき（解錠のみできます）
 - ー キーの電池が切れているとき

オートロック機能

- 盗難防止のため、自動的に施錠する機能

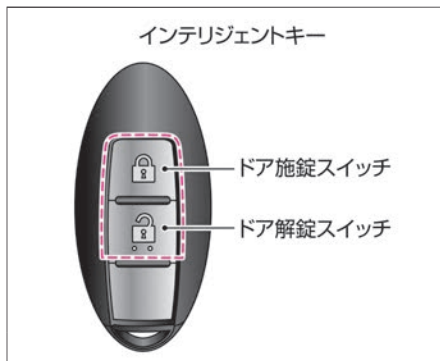
 知識

です。ドアハンドルのスイッチを押して解錠したときは、約30秒間ドアを開けないと再び全ドアが施錠されます。

キーのスイッチでの施錠・解錠のしかた

- 全ドアを施錠するときは、ドア施錠スイッチ  を押します。
- 全ドアを解錠するときは、ドア解錠スイッチ  を押します。
- 作動範囲は、車両から約1mです。
- 施錠・解錠をしたときは、ブザーおよび非常点滅表示灯が次のように作動します。

	ブザー音	非常点滅表示灯
施錠	ピッ	1回点滅
解錠	ピピッ	2回点滅



知識

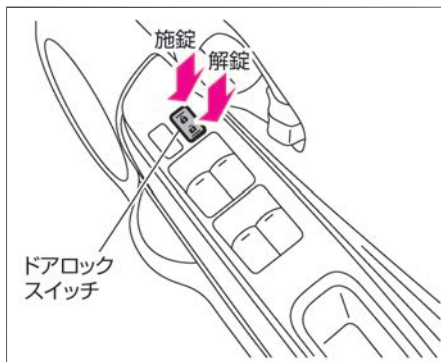
- キーのスイッチを押しても作動しないときは、電池の消耗または故障が考えられます。日産販売会社にご相談ください。
- ➡ キー（インテリジェントキー）の電池交換 (P.407)
- キーの電池が切れ、施錠・解錠ができないときは、内蔵キー（メカニカルキー）で施錠・解錠ができます。
- ➡ 内蔵キー（メカニカルキー）でのドアの開けかた (P.341)
- 次のような場合は、キーのスイッチを押しても作動しません。
 - ー パワースイッチがONまたはACCのとき
 - ー ドアが完全に閉まっていない（半ドア）とき
（解錠のみできます）
 - ー 車から離れすぎているとき
 - ー キーの電池が切れているとき

オートロック機能

- 盗難防止のため、自動的に施錠する機能です。ドア解錠スイッチを押して解錠したときは、約30秒間ドアを開けないと再び全ドアが施錠されます。

■ ドアロックスイッチでの施錠・解錠のしかた

- 施錠するときは、ドアロックスイッチを施錠側  に押します。
- 解錠するときは、ドアロックスイッチを解錠側  に押します。

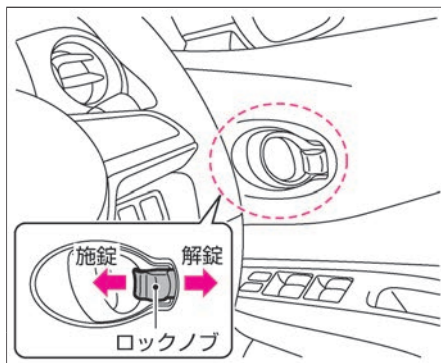


知識

- ドアロックスイッチを押すと、全ドアが施錠または解錠します。

■ ロックノブでの施錠・解錠のしかた

- 施錠するときは、施錠するドアのロックノブを施錠側に押し込みます。
- 解錠するときは、解錠するドアのロックノブを解錠側に引きます。



知識

- 運転席のロックノブで全ドアが施錠または解錠します。
- 運転席ドアは、施錠したままでもドアハンドルを引くとドアが開けられます。そのとき、全ドアが同時に解錠します。

次ページに続く

キーを使用しない施錠のしかた

前席ドア

- ロックノブを押し込み、ドアハンドルを引きながらドアを閉めます。

後席ドア

- ロックノブを押し込み、そのままドアを閉めます。

知識

次の場合は、運転席ロックノブまたはドアロックスイッチで施錠できません。

- キーが車室内にあるとき

キー封じ込み防止機能

- キーを車室内に置き忘れたまま施錠することを防ぐ機能です。ドアを閉めたときや施錠しようとしたときに、キーが車室内に残っているとブザーでお知らせしたり、全ドアを自動的に解錠したりします。

■ チャイルドセーフティドアロック

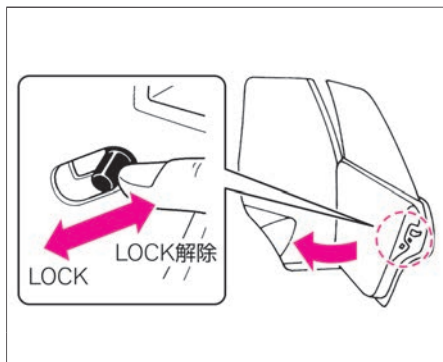
後席シートに乗せたお子さまなどが、誤って後席のドアを開けないようにロックできます。

ロックするには

- 後席ドアにあるロックレバーをLOCK位置にしてドアを閉めます。

ドアを開けるには

- 解錠しているとき、車外からドアハンドルを引きます。



知識

- 車室内から開けるときは、ドアロックノブが解錠していることを確認し、窓ガラスを下げ、手を外に出して車外のドアハンドルを引きます。

ドアに関する注意事項

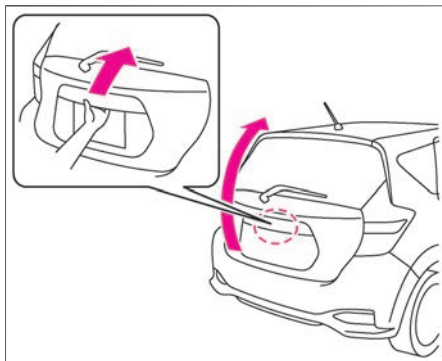


警告

- ドアの開閉はお子さまにはさせない。
手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- ドアを開けるときは、周囲の安全を確認する。
後続車や通行人にぶつかるおそれがあります。風が強いときは特に注意して開けてください。
- 走行する前にドアを確実に閉める。
走行中に突然ドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

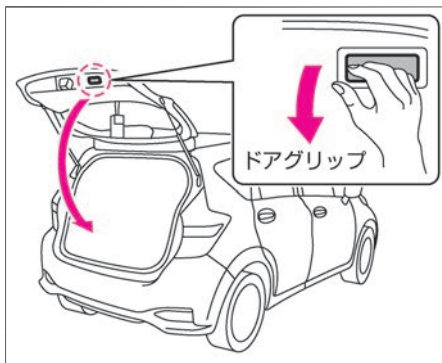
バックドアの開けかた

- 解錠後、バックドアハンドルを引き、バックドアを持ち上げます。



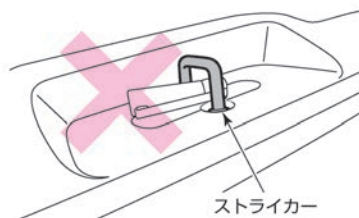
バックドアの閉めかた

- ドアグリップに手を掛け、バックドアを降ろし確実にロックするまで押しつけます。



 アドバイス

- バックドアを閉めるときは、ストライカーに異物を挟まないようにしてください。ストライカーやバックドアのロックが破損し、バックドアが閉まらなくなるおそれがあります。



バックドアに関する注意事項



警告

- **バックドアの開閉はお子さまにはさせない。**
手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- **バックドアを開けるときは、周囲の安全を確認する。**
後続車や通行人にぶつかるおそれがあります。風が強いときは特に注意して開けてください。
- **走行する前にバックドアを確実に閉める。**
走行中に突然バックドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **バックドアや車体側に手を触れたままバックドアを閉めない。**
手を挟まれてケガをするおそれがあります。
- **バックドアを閉めるときは、バックドアのふちやその周辺に手をかけない。**
手を挟まれてケガをするおそれがあります。必ず外から押して閉めてください。
- **ラゲッジルーム（荷室）に人を乗せて走行しない。**
急ブレーキをかけたときなど、重大な傷害につながるおそれがあります。
- **走行前にバックドアが確実に閉まっていることを確認する。**
バックドアを開けたまま走行すると、車室内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。一酸化炭素を吸い込むと、意識が薄れて事故につながるおそれがあるほか、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。

注意

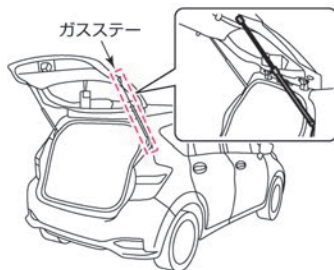
- バックドアを開ける前に、バックドアに付着した雪や氷、ゴミなどの重量物を取り除く。
重量物が付いたままバックドアを開けると、重みで突然閉まるおそれがあります。
- バックドアを開けるときは、必ず全開にする。
途中で止めると突然閉まるおそれがあります。
- 風が強いときにバックドアを開ける場合は特に注意する。
風にあおられ、急に閉まることがあります。
- バックドアを閉めるときは、手などを挟まないように注意する。

バックドアガスステーについて

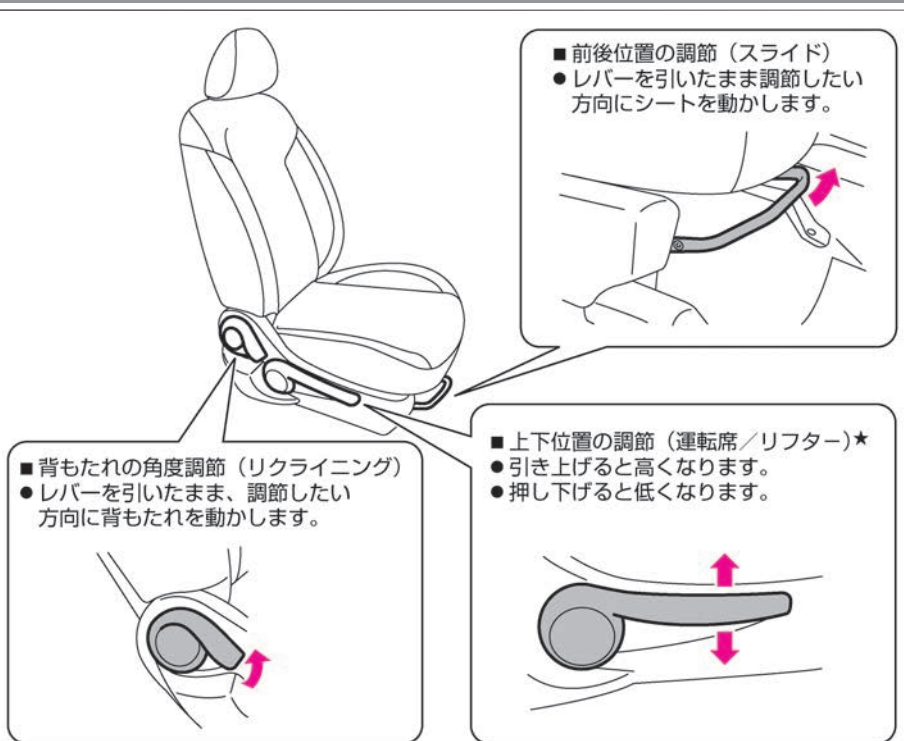
- バックドアのガスステーは、バックドアの重量を支えるために取り付けられています。ガスステーの損傷や作動不良を防ぐため、次のことを守る。
 - ー ガスステーに手やひもなどをかけたり、横方向に力をかけたりしない
 - ー ビニール片、ステッカー、接着剤などの異物をロッド部に付着させない
- ガスステーを持って、バックドアを閉めたり、ぶら下がったりしない。
手や腕を挟んだりして思わぬケガをするおそれがあります。



注意



シートの調節のしかた (タイプA)



⚠ 警告

- シートは必ず走行前に調節する。
走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。
固定されていないと突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 背もたれを必要以上に倒したまま走行しない。
シートベルトが効果を十分に発揮せず、衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 注意

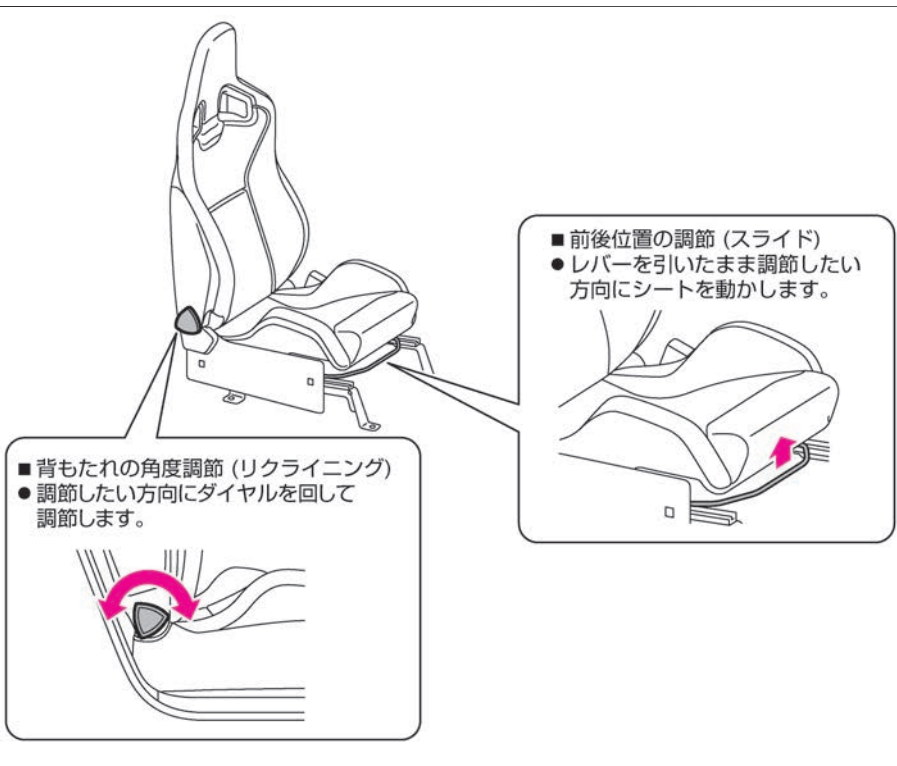
- 背もたれと背中の中にクッションなどを入れない。
運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを調節するときは、動いている部分に手や足を近づけない。
挟まれてケガをするおそれがあります。
- 背もたれの角度を調節するときは、背もたれを支えながら調節する。
顔や身体にあたり、思わぬケガをするおそれがあります。

 注意

- シートの下に手を入れるときは注意する。

車室内を清掃するときやシートの下に落としたものを拾うときなどは、シートレールやシートフレームにあたり、ケガをするおそれがあります。

シートの調節のしかた (タイプB)



⚠ 警告

- シートは必ず走行前に調節する。
走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。
固定されていないと突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 背もたれを必要以上に倒したまま走行しない。
シートベルトが効果を十分に発揮せず、衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 注意

- 背もたれと背中の中にクッションなどを入れない。
運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを調節するときは、動いている部分に手や足などを近づけない。
挟まれてケガをするおそれがあります。
- シートの下に手を入れるときは注意する。
車室内を清掃するときやシートの下に

注意

落としたものを拾うときなどは、シートレールやシートフレームにあたり、ケガをするおそれがあります。

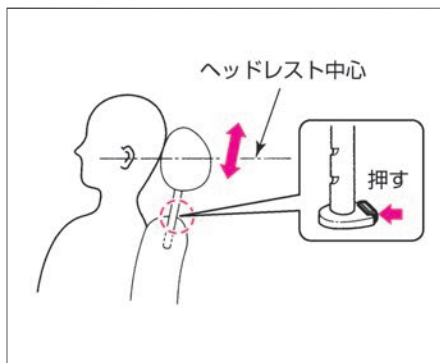
知識

- 背もたれの角度調節ダイヤルが回しづらいときは、安全な場所に駐車し、ドアを開けたり一旦車両から降りたりして調節してください。

■ ヘッドレストの調節のしかた★

ヘッドレストの中心が、耳の高さになる位置に調節します。

- 高くするときには、ヘッドレストを引き上げます。
- 低くするときには、ボタンを押しながらヘッドレストを下げます。



⚠ 警告

- ヘッドレストを外したまま走行しない。
万一のとき、頭部への衝撃を防ぐことができなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- ヘッドレストを取り付けるときは、前後の向きを間違えない。
万一のとき、ヘッドレストが効果を十分に発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。
- ヘッドレストを取り付けたあとは、ヘッドレストを持ち上げ、抜け出さないことを確認する。
万一のとき、ヘッドレストが効果を十分に発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。

■ ヘッドレストの外しかた、付けかた

- 取り外すときは、ボタンを押しながらヘッドレストを引き上げます。
- 取り付けるときは、ボタンを押しながらヘッドレストを差し込みます。

■ アームレストの使いかた★

- 使うときはアームレストを前に倒します。格納するときには引き上げます。



シートの調節のしかた

- 背もたれの倒しかた
- ノブを引きながら、背もたれを前方に倒します。



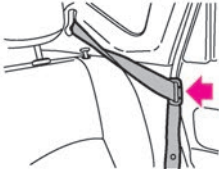
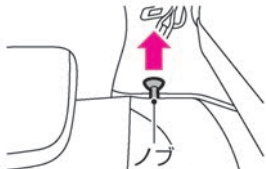
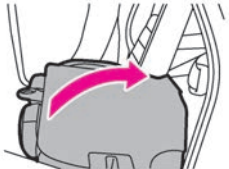
⚠ 警告

- シートは必ず走行前に調節する。
走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。
固定されていないと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- シートを調節するときは、動いている部分に手や足などを近づけない。
挟まれてケガをするおそれがあります。

シートの折りたたみかた

1	シートベルトを格納します。 シートベルトの格納（後席左右）（➡P.35） シートベルトの格納（後席中央）（➡P.36）	
2	ノブを引きながら、背もたれを前に倒します。 ベンチタイプ付車は、左右のノブを同時に引きます。 6：4分割付車は、折りたたみたい方のノブを引きます。	
3	元に戻すときは、背もたれを起こし、手で後方に押し付けてロックします。	

⚠ 警告

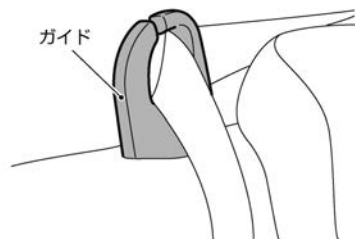
- シートを折りたたんだとき、折りたたんだ背もたれの上に乗らない。
シートを損傷したり、転んだりして思わぬケガをするおそれがあります。
- 背もたれを起こすときは、背もたれを手で押さえ、ゆっくり戻す。
急に戻すと顔や身体などに当たり、思わぬケガをするおそれがあります。
- シートは必ず固定する位置で使用する。

⚠ 注意

- シートを倒すときは十分に注意する。
物や飲物などを置いたままシートを折りたたまないでください。物を壊したり車室内を汚すおそれがあります。
- ラゲッジルーム（荷室）に荷物を積むときは、シートベルトに傷をつけないように注意する。
- 後席中央のシートベルトをガイドからはずしたときは、次のことを守る。

⚠ 注意

- － 後席シートの背もたれを元の位置に戻したあと、シートベルトをガイドに通す。
- － 背もたれを操作するときは、シートベルトに傷をつけないように注意する。

**🚗 アドバイス**

- 前席シートに当たりシートが折りたためないときは、ヘッドレストを格納するか、前席シートの前後位置を調節してください。

■ ヘッドレストの使いかた★

- ヘッドレストは、格納位置からロックする位置まで上げた状態で使います。
 - － 上げるときは、そのままヘッドレストを引き上げます。
 - － 下げるときは、ボタンを押しながら下げます。

■ ヘッドレストの外しかた、付けかた

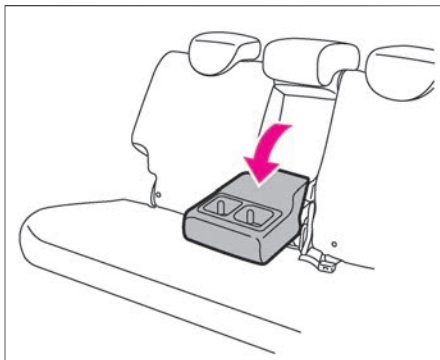
- 脱着のしかたは、前席シートと同じです。
 - ➡ ヘッドレストの外しかた、付けかた (P.126)

注意

- 後席シートのヘッドレストは、ロックする位置まで上げ、確実に固定されていることを確認する。
格納状態では機能が十分に発揮できません。

■ アームレストの使いかた★

- アームレストを前に倒します。
- 元に戻すときは、アームレストを起こします。



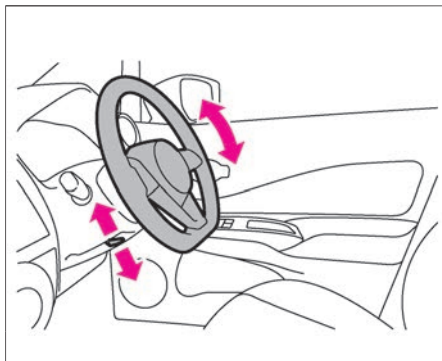
知識

- リヤアームレストには、カップホルダーがあります。
➡ 後席用カップホルダー★について
(P.312)

適切な運転姿勢で無理なくハンドルを握れるように、ハンドル位置を調節します。

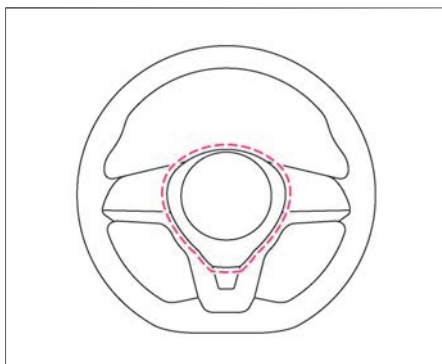
■ ハンドル位置の調節のしかた

- ハンドル下のレバーを押し下げ、ハンドルを上下に動かします。
- 適切な位置で止め、レバーを引き上げて固定します。



■ ホーンの鳴らししかた

ホーンを鳴らすには、ハンドル中央のパッド面を押します。



⚠ 警告

- ハンドルの調節は、必ず走行前に行う。
走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。
ハンドル位置が固定されていないと突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ルームミラーは、後方が十分確認できるように、正しい運転姿勢で座ってから調節します。

■ ルームミラーの調節のしかた

- ミラー本体を持ち、角度を調節して適切な位置に合わせます。
- 夜間など後続車のヘッドランプが眩しいときは、防眩切り替えレバーを手前に引くと反射が弱くなります。
- 昼間など通常走行時は、防眩切り替えレバーを元の位置に戻してお使いください。



⚠ 警告

- ミラーの調節は、必ず走行前に行う。また、防眩への切り替えは必要なおとぎのみ行う。
走行中にミラーを調節したり、不必要に防眩へ切り替えたりしていると、前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

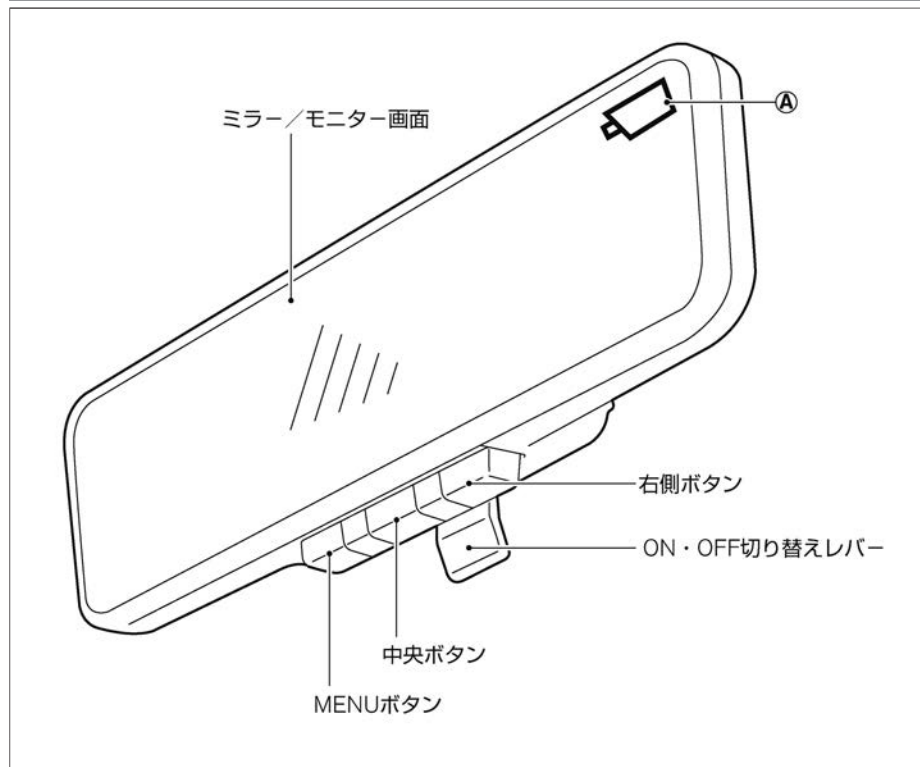
- ルームミラーのまわりには無線機やアクセサリなどを取り付けたり、配線から電源を取ったりしないでください。キー（インテリジェントキー）の電波受信機が内蔵されているため、ドアの施錠・解錠やe-POWERシステムの始動ができなくなるおそれがあります。

インテリジェント ルームミラー（インテリジェント アラウンドビューモニター表示機能付）★

乗員、ヘッドレスト、積載物などでさえぎられがちなルームミラーの後方視界をクリアに保ちます。車内の状況に関わらず、車両後方にあるカメラの画像をルームミラーに映し出します。ON・OFF切り替えレバーでミラー状態とモニター表示状態を切り替えることができます。

インテリジェント ルームミラーモードのとき、インテリジェント アラウンドビューモニターを表示させることができます。

インテリジェント ルームミラーの使いかた



⚠ 注意

- 走行前に、ルームミラーの調節を必ず行う。

ルームミラーモード（ミラー状態）にして正しい姿勢で運転席に座り、後方がよく見える位置に調節してください。調節をしないで運転を始めると、インテリジェント ルームミラーモード（モニター表示状態）にしたときにミラーの反射でモニターが見えにくくなる場合があります。

📖 知識

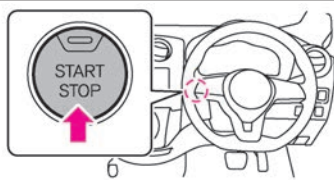
ルームミラーモード

- ミラーとして使用します。

インテリジェント ルームミラーモード

- モニターとして使用します。
（インテリジェント ルームミラーモードのときは、①が表示されます。）

1 パワースイッチをONにします。



2 インテリジェント ルームミラーのON・OFF切り替えレバーを手前に引きます。



3 インテリジェント ルームミラーモードに切り替わり、モニターに車両後方の画像が表示されます。
インテリジェント ルームミラーのON・OFF切り替えレバーを車両前方側へ倒すと、モニター画面がOFFになり、ルームミラーモードとして使用できます。

知識

- 周囲の明るさにより見づらかったり、眩しく感じたときはインテリジェント ルームミラーモードをOFFにし、ルームミラーモードでご使用ください。
 - パワースイッチがONのときに中央ボタンを押すと、インテリジェント アラウンドビューモニター画面が表示されます。
- ➡ インテリジェント アラウンドビューモニター (移動物 検知機能付) ★ (P.284)

■ インテリジェント ルームミラーの画質調節

インテリジェント ルームミラーモードで、インテリジェント アラウンドビューモニター画面を表示していないときにMENUボタンを押すと、モニター画像の各種調節ができます。MENUボタンを押すごとに調節項目が切り替わります。

MENU（通常画面）⇒BRIGHTNESS（明るさ）⇒DOWN/UP（上下）⇒LEFT/RIGHT（左右）⇒ROTATION（回転）⇒INDICATION（モニター文字表示、非表示の切り替え）⇒CAMERA WINDOW（インテリジェント アラウンドビューモニター画面の表示位置切り替え）⇒MENU（通常画面）

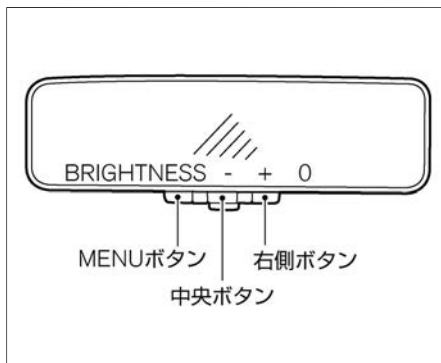
知識

- MENUボタンで画質調節の項目を切り替えるときは、前の項目で調節したあと、5秒以内にボタンを押して切り替えてください。

■ 明るさ調節のしかた

MENUボタンを1回押すと、明るさ調節（BRIGHTNESS）モードになります。

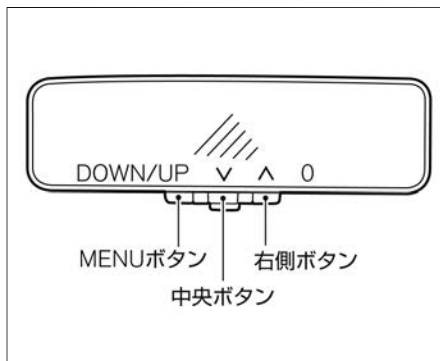
- 中央ボタンを押すと、画面が暗くなります。
- 右側ボタンを押すと、画面が明るくなります。
- 調節幅：-8（暗い）～+8（明るい）



■ 画面の上下位置調節のしかた

MENUボタンを2回押すと、画像位置の上下調節（DOWN/UP）モードになります。

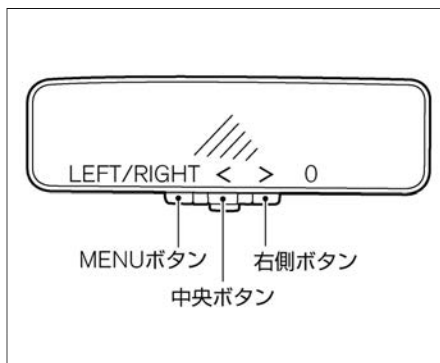
- 中央ボタンを押すと、画像が下に移動します。
- 右側ボタンを押すと、画像が上に移動します。
- 調節幅：-4（下方向）～+4（上方向）



■ 画面の左右位置調節のしかた

MENUボタンを3回押すと、画像位置の左右調節（LEFT/RIGHT）モードになります。

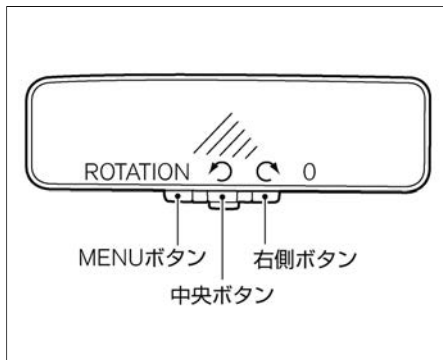
- 中央ボタンを押すと、画像が左に移動します。
- 右側ボタンを押すと、画像が右に移動します。
- 調節幅：-4（左）～+4（右）



■ 画面の回転位置調節のしかた

MENUボタンを4回押すと、画像位置の回転調節（ROTATION）モードになります。

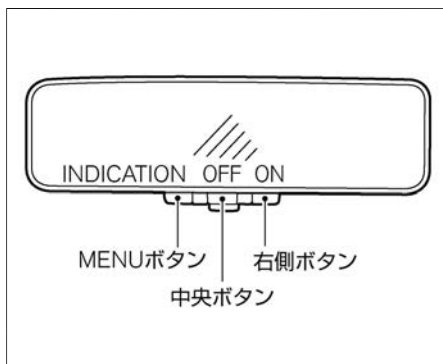
- 中央ボタンを押すと、画像が左に回転します。
- 右側ボタンを押すと、画像が右に回転します。
- 調節幅：-8（左回り）～+8（右回り）



■ モニター文字表示のON・OFFのしかた

MENUボタンを5回押すと、モニター文字表示、非表示を切り替える（INDICATION）モードになります。

- 中央ボタンを押すと、モニター文字表示が非表示になります。
- 右側ボタンを押すと、モニター文字表示が表示されます。

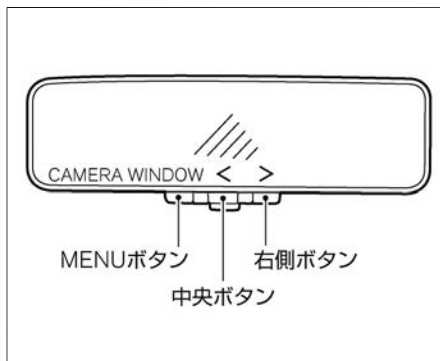


■ インテリジェント アラウンドビューモニター画面位置の切り替えかた

MENUボタンを6回押すと、インテリジェント アラウンドビューモニター画面の表示位置を切り替える（CAMERA WINDOW）モードになります。

- 中央ボタンを押すと、インテリジェント アラウンドビューモニター画面がミラーの左側表示になります。
- 右側ボタンを押すと、インテリジェント アラウンドビューモニター画面がミラーの右側表示になります。

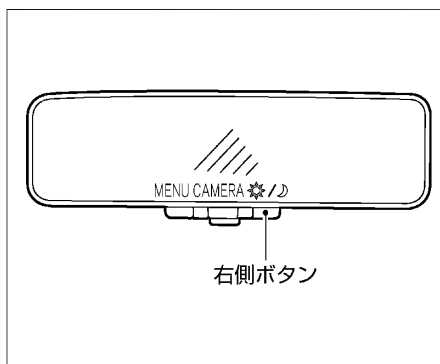
もう一回MENUボタンを押す（通常画面から7回）と、通常画面に戻ります。



■ 夜モードと昼モードの切り替えかた

車幅灯、またはヘッドランプを点灯させると、自動でモニターが夜モード  になります。夜モード  ではモニター画面の明るさを弱め、眩しさを軽減します。

日中や薄暮時、ヘッドランプを点灯させたときでも、夜モード  にしたくないときは、右側ボタンを押すと昼モード  になります。



インテリジェント ルームミラー使用時の注意事項

 警告

- あらかじめ死角範囲を確認する。
インテリジェント ルームミラーには死角があります。システムを過信せず、安全運転を心がけてください。
- ミラー本体やカメラ、配線を分解したり改造したりしない。
異臭がする、煙が出るなどした場合は、ただちに使用を中止し日産販売会社にご相談ください。
- 走行中に操作しない。
走行中に操作を行うと、前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

 注意

- ミラー本体、カメラ、配線類にはタバコなどの火気を近づけない。
破損や車両火災の原因となります。
- インテリジェント ルームミラーが故障したときは、すぐにルームミラーモードに戻す。
- モニターを凝視しない。
 - － 前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - － 同乗者が凝視すると、車酔いを起こすおそれがあります。
- 太陽や後方車両のヘッドランプなどの強い光源がカメラに入ると、インテリジェント ルームミラーのモニターに光のスジが入ったり、明るい光源がモニター上に広がったりする場合があります。その際には、必要に応じてルームミラーモードに戻してご使用ください。

次ページに続く

 アドバイス

- e-POWERシステムが停止している間にインテリジェント ルームミラーを長時間使用すると12Vバッテリーがあがるおそれがあります。
- 無線機のアンテナをインテリジェント ルームミラー近くに取り付けしないでください。無線機の電波により、インテリジェント ルームミラーの映像に乱れが出る場合があります。
- ボタンを強く押しすぎたり、レバーを強く操作したりすると故障の原因になります。また、ミラー本体が落下するおそれがあります。
- ミラーを90度以上回転させないでください。配線が断線するおそれがあります。
- ミラー本体に強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 車両後方についているカメラやカメラカバーに無理な力をかけないでください。カメラが外れたり、故障するおそれがあります。
- 外部光による影響でモニターが見えにくいときは、ルームミラーモード（ミラー状態）にして使用してください。
- LED光源を使用した照明の一部が映った場合、画面がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- 外部環境の乱反射により、画面がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- 素早い動きにはモニター表示が追従できない場合がありますが、故障ではありません。
- 夕暮れ時やトンネル、立体駐車場などではヘッドランプを点灯してください。ヘッドランプを点灯すると、モニターおよびカメラシステムが夜モードになり、眩惑を防ぎます。



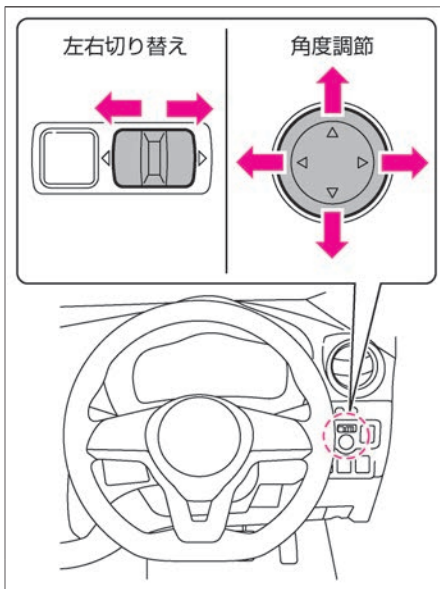
アドバイス

- ルームミラーとは後方の見えかたが異なります。インテリジェント ルームミラーの機能を過信せず、直接後方を確認するなど、責任のある運転を心掛けてください。
- モニターの明るさを明るく調節し過ぎると、運転中に目が疲れることがあります。明るさを適切に調節してください。
- 雨天時はリヤワイパーを併用してください。リヤワイパーを併用してもカメラ映像が不鮮明の場合、リヤワイパーゴムの劣化を確認してください。
- リヤワイパー使用中は、カメラ前をリヤワイパーが通過した際に、画面がちらつくように見える場合がありますが、故障ではありません。
- カメラ映像が不鮮明な場合は、インテリジェント ルームミラーカメラ前面のバックドアガラスを清掃してください。清掃してもカメラ映像が不鮮明な場合は、ガラス面に油膜が付いているおそれがあります。油膜取りを使用して清掃してください。
- ➡ 外観リヤ (P.3)
- ➡ インテリジェント ルームミラー★のお手入れ (P.423)
- バックドアガラスがくもった場合は、リヤウインドーデフォグガーを使用し、バックドアガラスのくもりを取ってください。くもりが完全に取れるまでルームミラーモードで使用してください。
- インテリジェント ルームミラーのモニターが熱を帯び、高温になることがあります。故障ではありません。
- 遠いものや暗いときは色が認識しにくいことがあります。故障ではありません。
- インテリジェント ルームミラーのお手入れについては (➡ P.423) をお読みください。

パワースイッチがONまたはACCのときに操作できます。

ドアミラーの角度調節のしかた

- 左右切り替えスイッチを、調節したいミラーの方に動かします。
- 角度調節スイッチを上下左右に押して、鏡面角度を調節します。



警告

- ミラーの調節は、必ず走行前に行う。
走行中にミラーを調節すると、前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

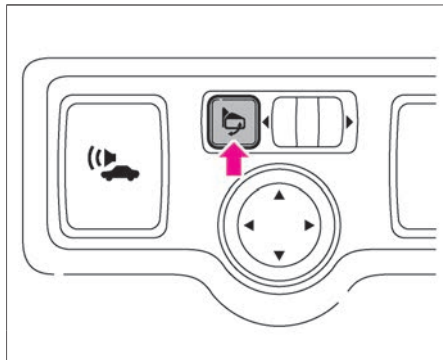
アドバイス

- ミラーの映像は実際より遠くに見えるので注意してください。

ドアミラーの格納のしかた

■ 電動★

- スイッチを押すと、左右のミラーが格納します。
- スイッチをもう一度押すと、元の位置に戻ります。



⚠ 注意

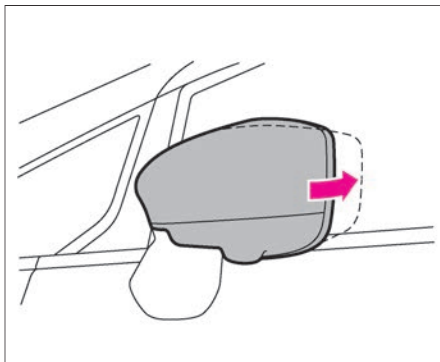
- ミラーが動いているときは手を触れない。
手を挟んだり、ミラーが故障するおそれがあります。
- ミラーを格納したまま走行しない。
後方確認ができないため危険です。
- 手動でミラーを開閉しない。
手動で開閉すると、走行中にミラーが規定位置より前方または後方に倒れ、後方確認ができなくなるおそれがあります。手動で開閉してしまったときは、走行前にスイッチで開閉操作を行ってください。

📖 知識

- スイッチ操作を連続して行くと、途中で停止することがありますが、故障ではありません。しばらくしてから作動させてください。
- 手動で開閉すると、パワースイッチをONまたはACCにしたときに、スイッチの位置によりミラーが動き出すことがあります。

■ 手動★

- ミラー本体の外端を車両後方側に押すと倒れます。



■ ドアミラーヒーターの使いかた★

- パワースイッチがONのとき、リヤウインドーデフォグスイッチ (➡ P.361) を押すと、ドアミラーに内蔵されたヒーターが作動し霜やくもりを取ります。

⚠ 注意

- ミラーを格納したまま走行しない。
後方確認ができないため危険です。

パワーウィンドー

パワースイッチがONのとき操作できます。

パワーウィンドーの開けかた、閉めかた

運転席のスイッチで、各席の窓ガラスの開閉ができます。助手席のスイッチおよび後席のスイッチでは自席の窓ガラスの開閉ができます。

開けるには

- スイッチを軽く押すと、押している間だけ開きます。

閉めるには

- スイッチを軽く引き上げると、引き上げている間だけ閉まります。

自動開閉するには★

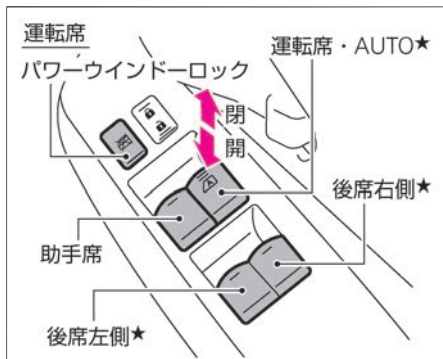
運転席の窓ガラスはワンタッチで自動開閉できます。

- スイッチを強く押すと全開します。
- スイッチを強く引き上げると全閉します。
- 途中で止めたいときは、スイッチを操作した反対側に軽く押すか引き上げます。

開閉操作をロックするには

お子さまが誤って窓ガラスを開閉することを防止できます。

- パワーウィンドーロックスイッチを押し込むと、運転席以外の窓ガラスの開閉ができなくなります。
- スイッチを押し戻すとロックが解除されます。



警告

- 走行中は顔や腕、物などを車外に出さない。
車外の物に当たったり、急ブレーキ時に重大な傷害につながるおそれがあります。
- 窓ガラスを閉めるときは、窓から手や顔などを出していないことを確認する。
手や顔などを窓ガラスに挟むと、重大な傷害につながるおそれがあります。
- お子さまにはパワーウィンドーを操作させない。
重大な傷害につながるおそれがあるため、パワーウィンドーロックスイッチを押し込んでください。

アドバイス

キーOFF後作動機構★

- 運転席の窓ガラスは、パワースイッチをACCまたはOFFにしたあとでも、約15分間は開閉することができます。ただし、その約15分間に運転席ドアを開けて閉める（ドアが開いているときは閉める）と、窓ガラスの開閉はできなくなります。

次ページに続く

挟み込み防止機構★

- 運転席の窓ガラスをワンタッチで閉めているとき、車体と窓ガラスの間に異物が挟まると、窓ガラスの上昇が停止し、自動で少し開きます。

注意

- 指などを挟まれないように注意する。
窓ガラスを確実に閉めるため、閉め切る直前の部分では挟み込みを感知できない領域があります。

知識

- 環境や走行条件により、異物を挟んだときと同じような衝撃や荷重が窓ガラスに加わると、挟み込み防止機構が作動することがあります。
- 故障などで挟み込み防止機構が作動してしまい、窓ガラスを自動で閉めることができないときは、スイッチを上側へ引き続けて閉めてください。

正常に作動しないとき★

運転席窓ガラスのワンタッチ開閉、挟み込み防止機構、キーOFF後作動機構が正常に作動しないときは、次の操作を行い初期設定してください。

- ① e-POWERシステムを始動します。
- ② スイッチを押して、窓ガラスを全開にします。
- ③ スイッチを引き上げ続け、窓ガラスが全閉して3秒以上たってから手を離します。
- ④ 正常に作動することを確認し、正常に作動しないときは、早めに日産販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

- 初期設定を行うときは、ドアを閉めて操作してください。

手動式ウィンドーの開けかた、閉めかた

- 各ドアにあるハンドルを回して開閉します。
- 車両前方に回すと開き、車両後方に回すと閉まります。



警告

- 走行中は顔や腕、物などを車外に出さない。
車外の物に当たったり、急ブレーキ時に重大な傷害につながるおそれがあります。

燃料補給口は助手席側の車両後方にあります。

燃料の補給

●燃料タンクの容量

- － e-POWER Sグレード：約35 ℓ
- － e-POWER Sグレード以外：約41 ℓ

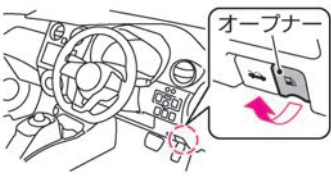
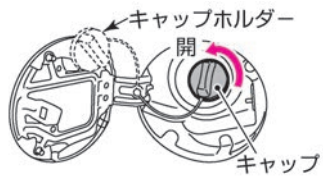
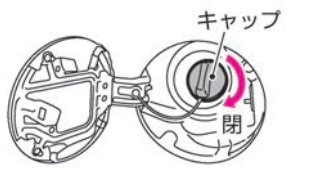
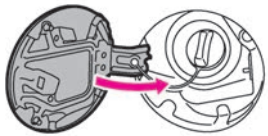
エンジン型式	指定燃料
HR12DE	無鉛レギュラーガソリン



アドバイス

- 指定以外の燃料は補給しないでください。

開けかた、閉めかた

1	運転席右下にあるオープナーを引きリッドを開けます。	
2	キャップを左にゆっくり回して開けます。補給時、キャップはリッドの裏側にあるキャップホルダーに置きます。	
3	閉めるときは、キャップを“カチッ、カチッ”と、3回以上音がするまで右に回して閉めます。	
4	リッドを閉めます。	

⚠ 警告

- キャップは確実に閉める。
閉まっていないと走行中に燃料が漏れ、火災につながるおそれがあります。
- 日産純正品以外のキャップは使用しない。

燃料補給時の注意事項



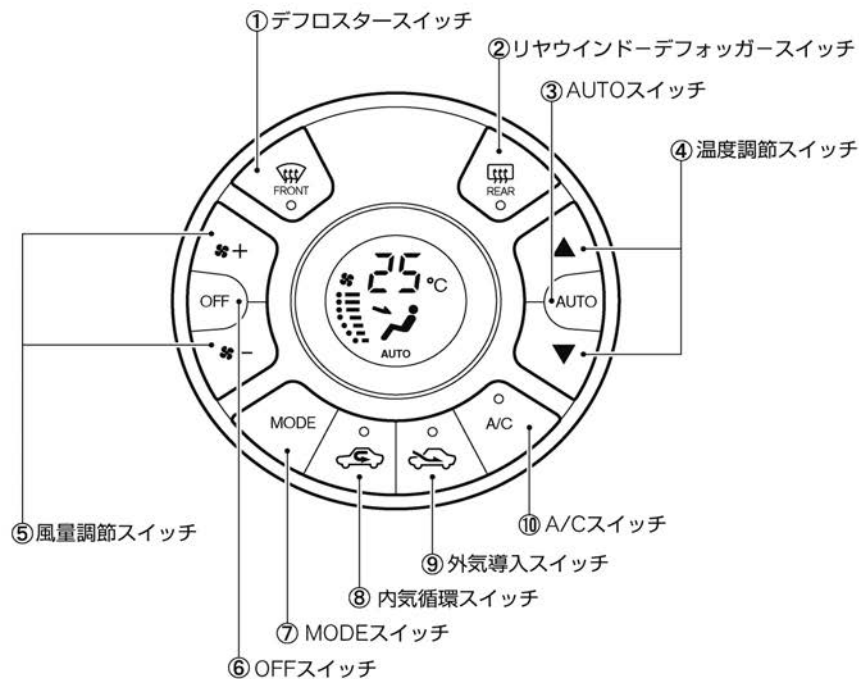
警告

- 燃料補給時は、次のことを必ず守る。
 - － e-POWERシステムを停止する
 - － 車のドアや窓を閉める
 - － タバコなどの火気を近づけない
 - － 気化した燃料を吸わない
- 補給作業を行う前に、金属部分に触れて身体の静電気を除去する。
放電による火花でやけどをしたり、燃料に引火したりするおそれがあります。
- 補給作業はひとりで行う。
作業中に車室内に戻ったり、帯電している人や物に触れると再帯電するおそれがあります。
- キャップを開けるときはゆっくり回し、燃料タンク内の圧力を下げてから外す。
急に開けると、燃料が補給口から吹き返すおそれがあります。
- 給油ノズルは確実に給油口へ挿入する。
給油ノズルの挿入が浅いと、給油の自動停止が遅れるため、燃料が吹きこぼれ火災につながるおそれがあります。
- 給油ノズルの自動停止後は、給油の継ぎ足しをしない。
継ぎ足しをすると、燃料があふれて火災につながるおそれがあります。
- ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守る。

エアコンの操作 オートエアコン

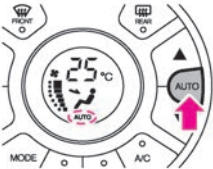
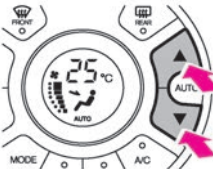
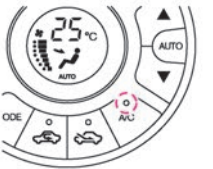
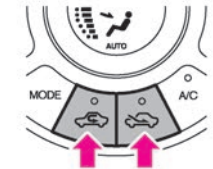
冷房・暖房の切り替え、吹き出し口、風量、内気循環／外気導入の切り替えを自動調節して設定した温度に保ちます。

各スイッチの名称と機能



- ① **デフロスタースイッチ** (➡P.360)
フロントガラスのくもりを取ります。
- ② **リヤウインドーデフォグガースイッチ** (➡P.361)
バックドアガラスのくもりを取ります。また、ドアミラーヒーター付車はドアミラーに内蔵されたヒーターが作動し霜やくもりを取ります。
- ③ **AUTOスイッチ**
自動制御に切り替えます。冷房・暖房の切り替え、吹き出し口、風量、内気循環／外気導入の切り替えを自動調節して設定した温度に保ちます。
- ④ **温度調節スイッチ**
設定温度を切り替えます。(18℃～ 32℃)
- ⑤ **風量調節スイッチ**
風量を切り替えます。
- ⑥ **OFFスイッチ**
オートエアコンの作動を停止します。
- ⑦ **MODEスイッチ** (➡P.156)
吹き出し口を切り替えます。
- ⑧ **内気循環スイッチ**
トンネル内や渋滞などで外気が汚れているときや、早く冷暖房したいときに使います。
- ⑨ **外気導入スイッチ**
外気を取り入れたいときや、タバコの煙などを外に出したいときに使います。
- ⑩ **A/Cスイッチ**
冷房・除湿機能のON・OFF を切り替えます。

オートでの使いかた

1	AUTOスイッチを押します。 (表示部に「AUTO」が表示される)	
2	温度調節スイッチを押して、設定温度を調節します。 ▲ : 設定温度を上げる ▼ : 設定温度を下げる	
3	A/Cスイッチの表示灯が消灯しているときは、A/Cスイッチを押します。(スイッチの表示灯が点灯) A/Cスイッチ点灯時：冷房・除湿機能ON	
4	外気導入スイッチまたは内気循環スイッチの表示灯が点灯している方のスイッチを約2秒間押します。 (表示灯が2回点滅し、自動制御になります。)	

知識

- オートで使用中に、冷房、暖房の切り替え、風量、吹き出し口、内気／外気の切り替えをマニュアル操作したときは、操作したスイッチ以外は自動調節されます。

暖房省エネモード

- 暖房使用時、設定温度を24℃以下に下げるとエンジン作動頻度が下がる暖房省エネモードになります。暖房の効きが悪いと感じたときは、設定温度を26℃以上に設定すると、暖房省エネモードをキャンセルできます。

エアコンの操作 吹き出し口

MODEスイッチまたはデフロスタースイッチを押すごとに吹き出し口が切り替わります。

吹き出し口パターン



上半身に送風



上半身と足元に送風



主に足元に送風



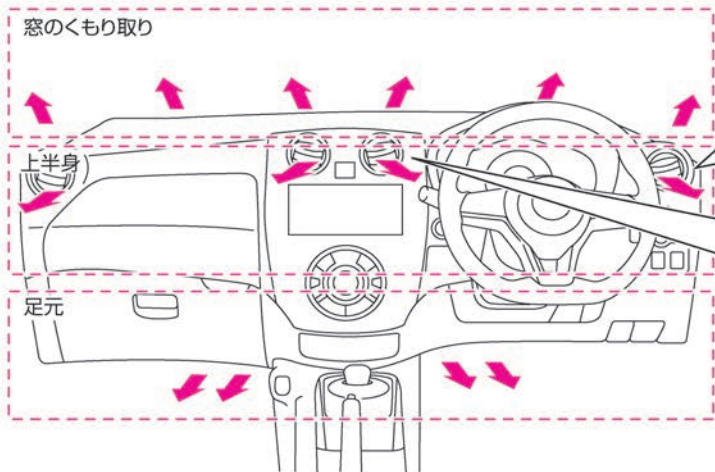
窓のくもり取りと
足元に送風



窓のくもり取り

吹き出し口の位置

窓のくもり取り



後席足元★



開ける



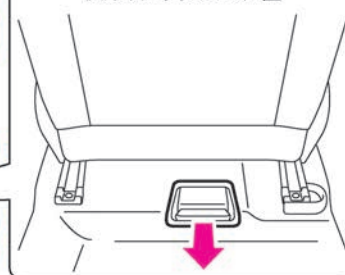
閉める



風向調節



後席吹き出し口の位置



エアコンを使うときに注意すること

エアコンに関する注意事項

警告

- 内気循環で長時間使用しない。
窓ガラスがくもりやすくなり、視界が損なわれ危険ですので、一時的にご使用ください。

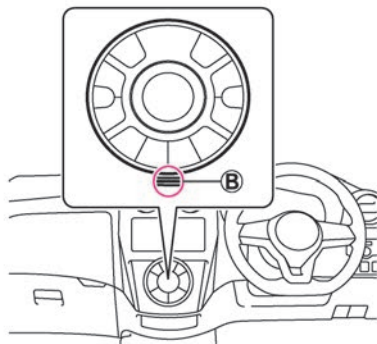
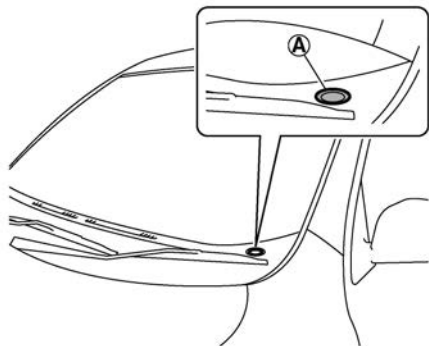
注意

- 吹き出し風を長時間連続して身体にあてない。
特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方などには、吹き出し風が長時間あたらないように運転者が注意してください。低温やけどや思わぬ傷害を受けるおそれがあります。
- デフロスタースイッチをONにしているときに、エアコンの設定温度を低くしない。
フロントガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

アドバイス

- 自動温度調節は、日射センサー④と温度センサー⑤で行っています。センサーをふさいだり、クリーナーなどを吹きかけないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。

アドバイス





アドバイス

- ほこり、花粉、粉じんなどを集じんするためのクリーンフィルターを装着しています。集じん性能を維持するため、クリーンフィルターは定期的に交換してください。
交換時期：1年ごとまたは12,000km走行ごと
- クリーンフィルターが交換時期に満たない場合でも、吹き出し風量が極端に減少したり、窓ガラスがくもりやすくなった場合は交換してください。なお、取り付け、交換などについては、日産販売会社にご相談ください。
- 外気導入に固定していると、夏場など外気温が高いときは、冷房の効きが悪くなる場合があります。その場合は、一時的に内気循環にしてください。
- エアコンシステムのオイル循環を切らさないために、ときどきA/CスイッチをONにしてください。なお、外気温が0℃近くまで下がるとエアコンシステムが作動しないことがあるため、暖かい日に行ってください。
- エアコンガスは必ずHFC134a（R134a）を入れてください。
- 地球温暖化防止のため、エアコンガスを大気放出しないでください。
- エアコンのシステムには特殊なオイルを使用しています。エアコンの修理、メンテナンスは日産販売会社にご相談ください。



知識

- 冷房時、吹き出し口から霧が吹き出したように見えますが、これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するもので、異常ではありません。
- 外気温が0℃近くまで下がると、A/Cスイッチが点灯していてもエアコンが作動しないことがあります。
- エアコンがONのとき、またはOFFにした直後に、“カチカチ”、“シュー”、“コツン”などの音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

次ページに続く

知識

- 冷却水温と外気温が低いときは、足元からの送風機能が最長で150秒間は作動しないことがあります。水温が上昇すると、足元からの送風は正常に作動するようになります。
- エアコンの運転中または運転後などに車両の下に水が垂れることがあります。
- 外気温が低いときは、外気温に応じてフロントデフロスターへの風量が多くなります。

エアコンのにおいについて

- エアコンは、空気中のいろいろなにおいが混ざり合うため、吹き出し風からにおいを感じる場合があります。
- エアコン作動時のにおいを抑えるため、駐車時などは外気導入にしておくことをおすすめします。

安全運転のために

- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお聞きください。



警告

- **走行中のオーディオ操作は、絶対にしない。**
前方不注意となるおそれがあります。十分注意して行ってください。
- **音量を大きくしない。**
大きすぎると車外の状況が分からないため、思わぬ事故の原因となります。

ラジオの受信について

- ラジオの受信は、車両の移動に伴う電波の変動、障害物や電車、信号機などの影響により、最良な受信状態を維持することができない場合があります。

知識

- オーディオを聞いているとき、車室内または車の近くで携帯電話や無線機を使うと、ノイズ（雑音）が入ることがあります。

■ アンテナについて★



注意

- アンテナの調節や脱着時は、周囲の安全を十分に確認してから行う。



アドバイス

- アンテナを調節するときや脱着するときは、アンテナの根元を持って行ってください。
- 次のような場合には、必ずアンテナを取り外してください。破損するおそれがあります。
 - ー 洗車機を使うとき。
 - ー ボディーカバーを掛けるとき。
 - ー 降雪時に長時間駐車するとき。



知識

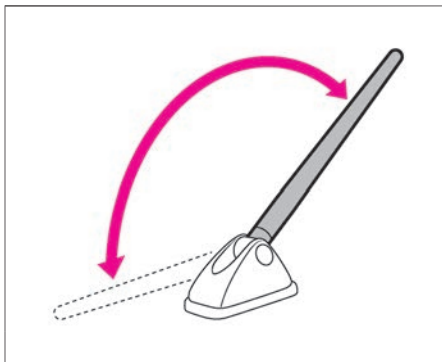
- 屋根の低い車庫や立体駐車場など、アンテナが当たるような場所ではアンテナを倒してください。

調節のしかた

- アンテナの角度は無段階に調節できます。
- アンテナの根元を持って動かします。

外しかた

- アンテナの外しかたについては、
(➡ P.412) をお読みください。



アドバイス

- アンテナが当たるような場所以外では倒したままにしないでください。車体に当たり、塗装面を傷つけるおそれがあります。

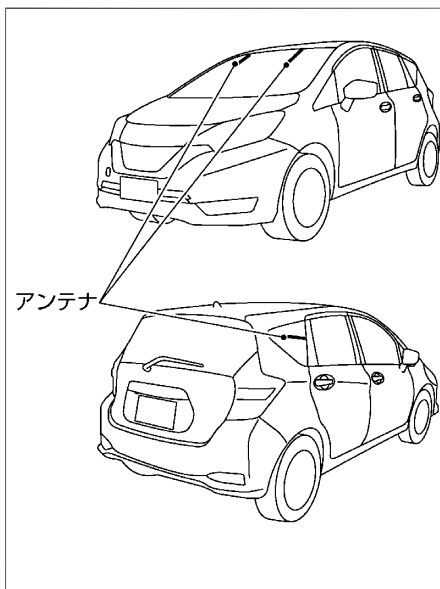


知識

- アンテナは、調節範囲の中間あたりの位置にして使うことをおすすめします。

■ ガラスアンテナについて★

- アンテナ線はフロントガラス、リヤサイドガラスの内側にあります。



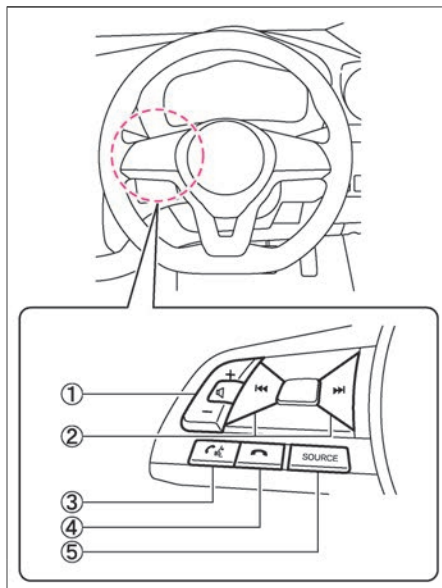
アドバイス

- フロントガラス、リヤサイドガラスにミラータイプのフィルムや金属物（市販のアンテナなど）を貼り付けないでください。受信感度が低下し、ノイズ（雑音）などが入るおそれがあります。
- フロントガラス、リヤサイドガラスの内側を清掃するときは、アンテナ線を切らないように、水を含ませた柔らかい布で軽くふいてください。
- アンテナ線は、手荷物などで傷つけないようにしてください。

ステアリングスイッチ★

日産オリジナルナビゲーションシステムを操作することができます。

- ① **音量調節スイッチ**
音量を調節できます。
- ② **選曲／選局スイッチ**
曲や放送局などの切り替えができます。
- ③ **通話開始スイッチ**
着信中に押すと電話を受けます。
- ④ **通話終了スイッチ**
通話中に押すと電話を切ります。
- ⑤ **SOURCEスイッチ**
スイッチを押すたびにCDやFMなどの切り替えができます。



知識

- 取り扱いについては、日産オリジナルナビゲーションシステム用取扱説明書（別冊）も合わせてお読みください。
- 日産純正品以外のナビゲーションシステムでは作動の保証はいたしません。

始動する

パワースイッチ	P.168
---------	-------

運転する

セレクトレバー	P.173
パーキングブレーキ	P.176
発進	P.178
停車・駐車	P.181

ランプをつける、ワイパーを使う

ライトスイッチ	P.183
ヘッドランプレベライザースイッチ (ハロゲンヘッドランプ付車)	P.190
フォグランプスイッチ★	P.192
ワイパー・ウォッシャースイッチ	P.193

運転支援機能

e-POWER Drive	P.197
ABS (アンチロックブレーキシステム)	P.200
VDC (ビークルダイナミクスコントロール)	P.201
ヒルスタートアシスト	P.205
車両接近通報装置	P.207
走行支援システム★	P.210
インテリジェント クルーズコントロール★	P.212
インテリジェント エマージェンシーブレーキ★	P.243
踏み間違い衝突防止アシスト★	P.252
LDW (車線逸脱警報) ★/インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) ★	P.276

カメラシステム

インテリジェント アラウンドビューモニター (移動物 検知機能付) ★	P.284
インテリジェント アラウンドビューモニターに関する 注意事項★	P.297

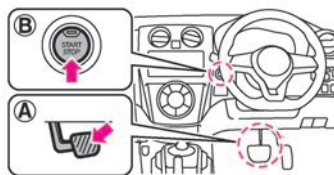
始動する パワースイッチ

e-POWERシステムの始動のしかた

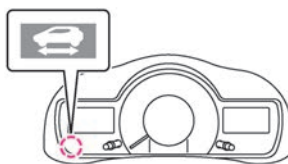
- 1 アクセルペダルとブレーキペダルの位置を確認し、正しい運転姿勢（➡P.24）がとれるようにハンドル、シート位置を調節します。



- 2 ブレーキペダル④をしっかりと踏み込みながら、パワースイッチ③を1回押します。



- 3 メーター内の走行可能表示灯が点灯し、走行できるようになります。



⚠ 警告

- **e-POWERシステムを始動する前にペダルの位置を確認する。**
ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。右足でアクセルペダルとブレーキペダルを交互に踏み、その位置を確実に覚えてください。
- **換気の悪い場所では、e-POWERシステムを始動したままにしない。**
排気ガスが車両周辺に滞留したり、車室内に侵入したりすることで、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。一酸化炭素を吸い込むと、意識が薄れて事故につながるおそれがあるほか、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。

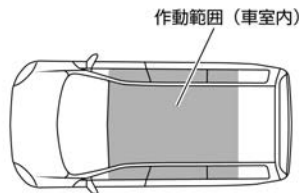
⚠ 注意

- **e-POWERシステムを始動するときは、必ず運転席に座る。**
車外から行くと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- e-POWERシステム始動前のブレーキペダル操作などにより、ブレーキペダルが硬くなっている場合があります。この場合、ブレーキペダルを軽く踏んだ状態ではペダル踏み込み操作が検知されず、走行可能表示灯  が点灯しません。ブレーキペダルを通常よりも強く踏み込んでください。
- 車両状態によってはパワースイッチを押したあと、走行可能表示灯  が点灯するまでに数秒エンジンが作動することがあります。
- ブレーキペダルを踏んだり離したりしたとき、“カチッ”と音が聞こえることがありますますが異常ではありません。
- キーによるe-POWERシステム始動の作動範囲は車室内です。（ラゲッジルーム内は除きます。）

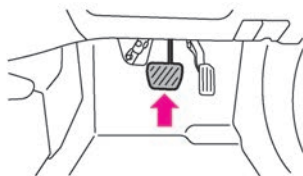
知識



- e-POWERシステムが始動できない場合には、一旦パワースイッチをOFFにして、5秒以上待ってから再始動してください。

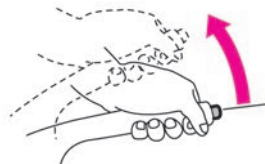
e-POWERシステムの停止のしかた

- 1 ブレーキペダルを踏んで、車両を完全に停車させます。



- 2 ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキをかけます。

➡ パーキングブレーキのかけかた (P.176)

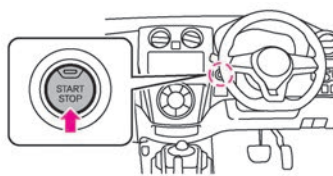


- 3 セレクトレバー上部のⓅスイッチを押し、シフトポジションをPに切り替えます。

➡ セレクトレバーの操作 (P.173)

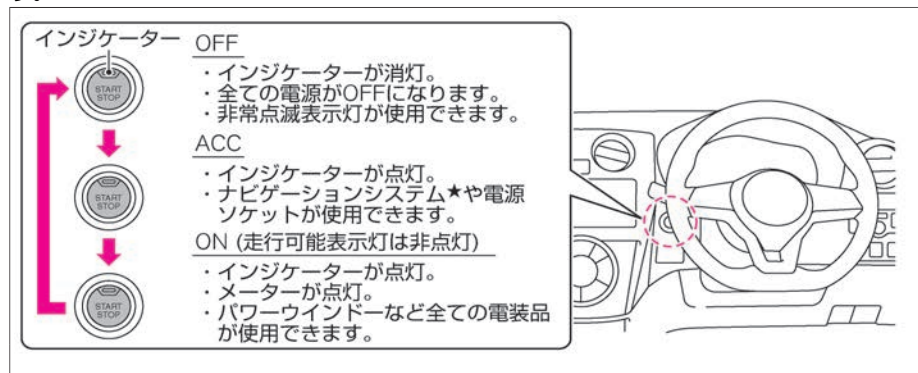


- 4 パワースイッチを押します。
走行可能表示灯  が消灯していることを確認したら、ブレーキペダルからゆっくりと足を離します。



パワースイッチでのモードの切り替えかた

ブレーキペダルを踏まずにパワースイッチを押すと、次のようにモードが切り替わります。



アドバイス

- 12Vバッテリーあがりを防止するため、電装品はe-POWERシステムを始動した状態でご使用ください。やむをえず使用するときは、長時間使用したり、同時に複数の電装品を使用しないでください。
- 次の条件がそろった状態で約60分経過すると自動的にパワースイッチがOFFになります。
 - ー パワースイッチがACCのとき
 - ー 全ドアが閉まっているとき
 - ー シフトポジションがPのとき



知識

- ブレーキペダルを踏みながらパワースイッチを押すと、e-POWERシステムが始動して走行可能表示灯が点灯します。
 ➡ e-POWERシステムの始動のしかた (P.168)

e-POWERシステムの非常停止のしかた

緊急時など、走行中に強制的にe-POWERシステムを停止させるときは、次のいずれかの操作を行ってください。

- パワースイッチをすばやく3回押す。
- パワースイッチを2秒以上押し続ける。



警告

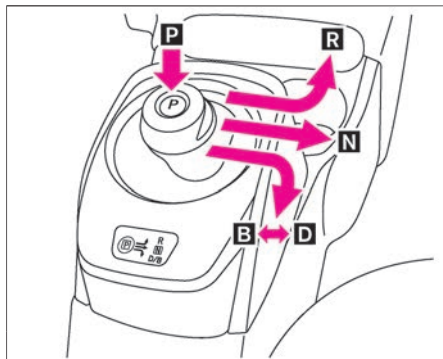
- 非常停止を行うときは、可能な限り減速してから行う。
非常停止後は、ブレーキの効きが悪くなり、ハンドルも重くなるため、車両のコントロールが難しくなります。

セレクトレバー

走行可能表示灯  が点灯しているとき、すべてのシフトポジションに切り替えることができます。セレクトレバーを操作したあとは、目的のシフトポジションに切り替わっていることを必ず確認してください。

セレクトレバーの操作

P	セレクトレバー上部のⓅスイッチを押します。
R	ブレーキペダルを踏みながら、セレクトレバーをゲートに沿って車両前方へスライドさせます。
N	ブレーキペダルを踏みながら、右にスライドさせ、しばらく保持します。
D	ブレーキペダルを踏みながら、セレクトレバーをゲートに沿って右手前にスライドさせます。
B	D のときに右手前にスライドすると B に切り替わります。もう一度スライドすると D に戻ります。(NORMALモードのみ  e-POWER Drive (P.197))



注意

- セレクトレバーには物を掛けない。車両が突然発進するなど、事故の原因になるおそれがあります。

アドバイス

- セレクトレバーを中央の位置以外で保持し続けしないでください。適正な位置からずれていると、ポジションインジケータの表示灯がオレンジ色に点滅します。なおポジションがずれたまま走行を続けると、故障の原因になります。
- ➡ ポジションインジケータ (P.72)

知識

- セレクトレバーは、操作後に手を離すと中央に戻ります。
- セレクトレバーが中央に無いときは、Ⓟスイッチを押しても**P**に切り替えられません。また、Ⓟスイッチを押しながらセレクトレバーを操作しても、他のシフトポジションには切り替えられません。
- シフトポジションを**R**に切り替えるとブザーが鳴ります。

知識

- 次の操作は無効とみなされ、ブザーが鳴るとともにシフトポジションは**N**に切り替わります。
 - － 前進中にシフトポジションを**R**に切り替える
 - － 後退中にシフトポジションを**D**に切り替える
- SモードやECOモード (➡P.197) のときはシフトポジションを**B**に切り替えることはできません。
- Sモード、ECOモード時にシフトポジションを**B**に切り替える操作を行っても「ビピッ」と警告音が鳴りシフトポジションは**B**に切り替わりません。
- NORMALモードでシフトポジションが**B**のときに、SモードまたはECOモードへ切り替えるとシフトポジションは**D**になります。

その後もう一度、NORMALモードに切り替えるとシフトポジションは**B**になります。ただしパワースイッチをOFF、またはシフトポジションを**P**・**N**・**R**にしてからNORMALモードに切り替えた場合は、シフトポジションは**D**になります。

➡e-POWER Drive (P.197)
- この車両にはオートP機能 (➡P.175) がありますが、電制シフ

知識

- トが故障した場合は、シフトポジションが**P**以外でパワースイッチをOFFにしようとしても、ブザーが鳴り、パワースイッチをOFFに切り替えられません。
- パワースイッチをOFFにできないときは、次の操作を行ってください。
- － ①停車してパーキングブレーキをかけます。
 - － ②ブレーキペダルを踏み込みながらパワースイッチを押して、パワースイッチをONに切り替えます。
 - － ③セレクトレバー上部のⓅスイッチを押して**P**に切り替えます。
- パワースイッチがONでも走行可能表示灯  が点灯していないときは、**D**・**B**・**R**には切り替えられません。
- 以下の条件が重なったとき、シフトポジションが自動で**P**に切り替わる場合があります。
 - － SモードまたはECOモードで停車しているとき
 - － 運転席シートベルトを外したとき
 - － 運転席ドアを開けたとき

各シフトポジションの働き

シフトポジション	役割
P	駐車およびe-POWERシステムを始動するときの位置
R	後退するときの位置
N	動力が伝わらない状態の位置
D	通常走行するときの位置
B	下り坂などで、強い回生ブレーキが必要なときの位置

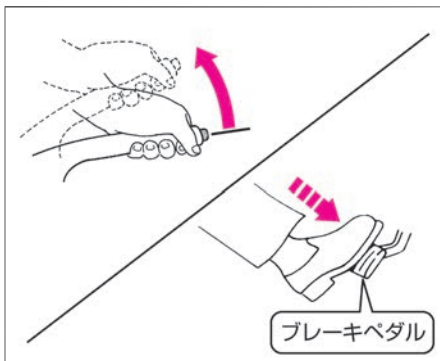
知識

- シフトポジションを**P**に切り替えずにパワースイッチをOFFにすると、自動的にシフトポジションが**P**に切り替わります。（オートP機能）

パーキングブレーキをかけると後輪が固定されます。

パーキングブレーキのかけかた

- 右足でブレーキペダルを踏みながら、左手でパーキングブレーキレバーをいっばいに引きます。



警告

- パーキングブレーキをかけたまま走行しない。
ブレーキが過熱することによって、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 窓から身を乗り入れてパーキングブレーキを解除しない。
車両が動き出したときにブレーキペダルを踏めず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

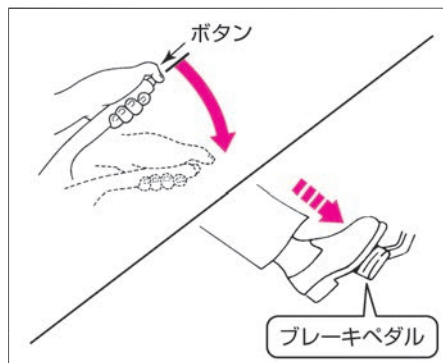


アドバイス

- 駐車するときは、必ずパーキングブレーキをかけてください。

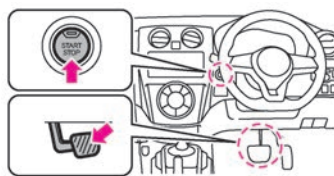
パーキングブレーキの解除

- 右足でブレーキペダルを踏みながら、左手でパーキングブレーキレバーを少し引き上げながらボタンを押し、レバーを戻します。

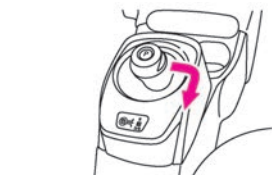


発進のしかた

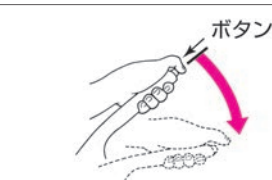
- 1 ブレーキペダルを踏んだままパワースイッチを押して、e-POWERシステムを始動します。
 ⤿ e-POWERシステムの始動のしかた (P.168)



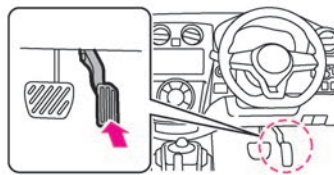
- 2 ブレーキペダルを右足でしっかりと踏んだまま、セレクトレバーを右手前にスライドさせ、シフトポジションを **D** に切り替えます。



- 3 ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキレバーを少し引き上げながらボタンを押し、レバーを下ろして、パーキングブレーキを解除します。



- 4 ブレーキペダルを徐々にゆるめ、アクセルペダルをゆっくり踏み発進します。



警告

- 発進するときは、アクセルペダルを踏んだままセレクトレバーを操作しない。
急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。

注意

- 停車中、セレクトレバーが **P**、**N** 以外に入っているときは、ブレーキペダルをしっかりと踏む。
クリーブ現象により車が動き出し、事故につながるおそれがあります。

知識

- 急な上り坂で発進するときは、ヒルスタートアシスト (⤿ P.205) が作動します。
- 緩やかな坂道ではヒルスタートアシストが作動しない場合がありますが、自動的に車両の後退を抑制する機能が働き、一定の車速以上では後退しないように制御します。

走行のしかた

- シフトポジションを **D** にしたまま走行します。
- アクセルペダルとブレーキペダルの操作で、加速、減速を行います。
- 高速道路の入り口などで急加速したいときは、アクセルペダルをいっぱい踏み込みます。
- 下り坂では回生ブレーキを併用して走行してください。シフトポジションは **D** より **B**、ドライブモードがNORMALよりSモード、ECOモード (➡P.197) のほうが、回生ブレーキの効きが強くなります。速度が出すぎるときは、必要に応じてブレーキペダルを踏んで減速してください。
- 回生ブレーキは、長い下り坂でリチウムイオンバッテリーが満充電になった場合や低温時、滑りやすい路面ではブレーキの効きが弱くなることがあります。
- クリープ現象について
ドライブモードがSモード（NISMO仕様車以外）、またはECOモードでアクセルペダルを戻して減速した際は、クリープ現象は発生しません。ブレーキペダルを一度踏み込んでから離すとクリープ現象が発生します。

警告

- 下り坂ではフットブレーキと回生ブレーキを併用する。
ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなり危険です。坂の勾配に応じて回生ブレーキを併用してください。
- 走行中はシフトポジションを **N** に切り替えない。
回生ブレーキが作動しないため、事故につながるおそれがあります。
- 回生ブレーキの効きが弱くなった場合はブレーキペダルを踏んで減速する。
- 坂道で駐停車するときは、ブレーキを踏んで車両を停止させる。
ブレーキを踏まずにアクセルペダル操作のみで車両を停止させ続けると、走行用モーターが過熱するおそれがあります。停車時にはアクセルペダルから足を離し、ブレーキペダルを踏んでください。



アドバイス

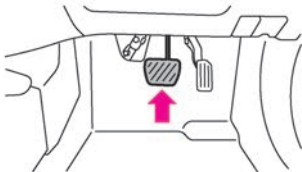
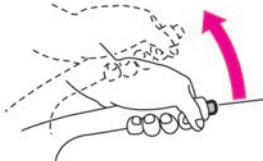
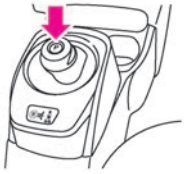
- 上り坂でシフトポジションを**D**または**B**のまま故意に車両を後退させたり、下り坂で**R**のまま故意に車両を前進させたりしないでください。車両故障につながるおそれがあります。
- 冠水路など深い水たまりは無理に走行しないでください。エンジン破損や車両故障につながるおそれがあります。



知識

- リチウムイオンバッテリーが満充電になった場合は、回生で発電した電力を、発電用モーターでエンジンを作動させることで消費させます。その際にエンジン音が大きくなる場合がありますが、異常ではありません。
- 走行中にセレクトレバー上部のⓅスイッチを押した場合は、操作が無効となります。（ブザーが鳴り、操作前のシフトポジションが維持されます。）

停車・駐車のかた

1	停車するときは、シフトポジションはDまたはBのままで、ブレーキペダルをしっかりと踏みます。	
2	そのまま駐車するときは、ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキをかけます。	
3	セレクトレバー上部のPスイッチを押し、シフトポジションをPに切り替えます。	
4	パワースイッチを1回押すと、e-POWERシステムが停止します。	

警告

- 駐車するときは、ガスライターなどに注意する。
操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどに入れておいたり、床やシートのすき間に落としたままにしないでください。荷物を押しこんだときやシートを動かしたときに、ガスが噴出して火災につながるおそれがあります。
- 停車中の空ぶかしはしない。
万一、シフトポジションが**D**、**N**以外に入っていると急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。停車後の再発進は、シフトポジションを目で確認してください。
- 換気の悪い場所では、e-POWERシステムを始動したままにしない。
排気ガスが車両周辺に滞留したり、車室内に侵入したりすることで、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。一酸化炭素を吸い込むと、意識が薄れて事故につながるおそれがあるほか、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。

 注意

- 枯れ草、紙、木材、油など燃えやすい物の上や近くには駐停車しない。
排気管や排気ガスは高温になるため着火するおそれがあり危険です。
- 車から離れるときは、必ずシフトポジションを **P** にして、**e-POWER** システムを停止する。
e-POWER システムが作動したままで、シフトポジションが **P**、**N** 以外だと、クリープ現象で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込むと急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 長期間車両を駐車していると、小動物が巣を作り、思わぬ火災につながる可能性があるので注意する。

 アドバイス

- 炎天下で駐車するときは、車室内にライターや炭酸飲料の缶、サングラス、カメラなどを置いたままにしないでください。車室内が高温になり、爆発したり変形するおそれがあります。

 知識

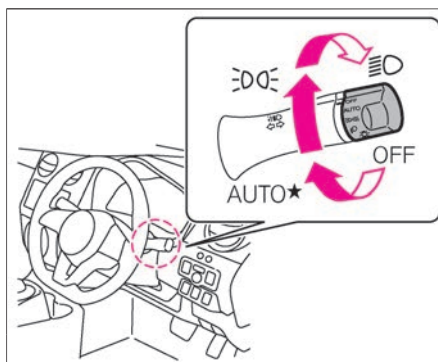
- 屋根の低い車庫や立体駐車場など、アンテナ★が当たるような場所ではアンテナを倒してください。

ライトスイッチ

ライトスイッチの使いかた

スイッチを回すと、次のように点灯、消灯します。ランプが点灯しているときはテールランプ表示灯  が点灯します。

スイッチ位置	点灯するランプ
OFF	全ランプが消灯
AUTO★	ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が自動点灯・消灯
	車幅灯、尾灯、番号灯が点灯
	ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯



⚠ 注意

- 夕暮れや夜間時はLEDハイパーディライトの点灯だけで走行しない。
(LEDハイパーディライト付車)
必ずヘッドランプを点灯して走行してください。

🚗 アドバイス

- e-POWERシステム停止時に長時間点灯させないでください。12Vバッテリーがあがるおそれがあります。

📖 知識

バッテリーセーバー

- ランプを点灯したままパワースイッチをOFFにし、リモコンまたはドアハンドルのスイッチで施錠すると12Vバッテリーあがりを防止するためライトが消灯します。(次回、解錠後に運転席ドアを開けるとランプが再点灯します。)

オートレベライザー★

- ヘッドランプが下向き点灯時に乗車人員や荷物量の違いにより車両姿勢が変化すると、自動的に照射方向を調整するシステムです。

知識

ヘッドランプ消し忘れ警報

- パワースイッチがON以外の位置で運転席ドアを開けたとき、ライトスイッチがOFFまたはAUTO★以外の位置にあるとブザーが鳴ります。

LEDハイパーデイライト★

- 周囲の車や歩行者などからの視認性を向上させます。
- 車幅灯、尾灯、番号灯と連動して点灯します。

LEDハイパーデイライト (➡ P.2)

ライトスイッチ

AUTO（自動点灯・消灯）の使いかた★

- パワースイッチがONのとき、スイッチ位置をAUTOの位置にすると、車外の明るさに応じてヘッドランプや車幅灯などを自動的に点灯、消灯させます。
- パワースイッチがOFFのときは消灯します。

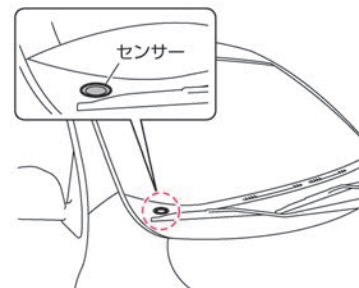
フロントワイパー連動、薄暮れ感知「おもしろライト」機能

- 歩行者事故が多く発生している夕暮れ時や雨天でのワイパー使用時にもランプを自動点灯します。



アドバイス

- センサーの上に物を置いたり、ガラススクリーナーなどを吹きかけないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。



知識

- インテリジェント オートライト（フロントワイパー連動、薄暮れ感知「おもしろライト」機能付）の感度を調整したい場合は、日産販売会社へご相談ください。

ハイビームアシストについて★

先行車または対向車や周囲の明るさなどに
応じ、自動的に上向きと下向きを切り替え
ます。

- ライトスイッチがAUTOの位置でレバー
を前方に押すと、ハイビームアシストが
ONになります。
- 約25km/h以上で走行中、ヘッドランプ
が点灯すると作動します。
(メーター内のハイビームアシスト表示
灯が点灯)
- 約15km/h以下になると、下向きに切り
替わります。

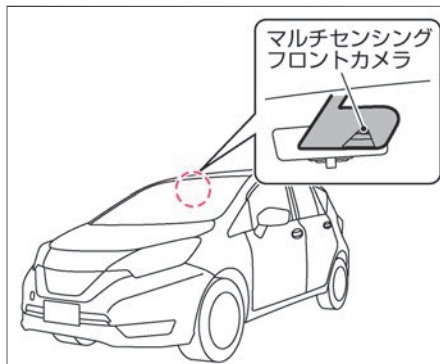
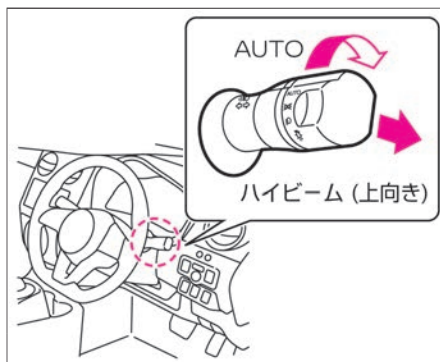
マルチセンシングフロントカメラについて

フロントガラス上部に周囲の状況を感じ
るためのカメラがあります。

ハイビームアシストを正しく作動させる
ため、次のことをお守りください。

- フロントガラスが汚れたら清掃してく
ださい。
- カメラの周辺にアクセサリやステッ
カーなどを取り付けないでください。
- カメラのレンズには触れないでくだ
さい。
- カメラおよびその周囲に強い衝撃を与
えないでください。

➡ マルチセンシングフロントカメラ★の取
り扱い (P.415)



警告

- システムを過信しない。
常に周囲の状況を確認し、必要に応
じて上向きと下向きを手動で切り替
えてください。
- 次のようなときは、ハイビームアシ
ストが正しく作動しない場合がある
ため、必要に応じて上向きと下向き
を手動で切り替える。
 - － 悪天候のとき (雨、霧、雪、強風
など)
 - － 周囲にヘッドランプや尾灯に似た
光源があるとき
 - － 対向車または先行車が無灯火の
とき
 - － 対向車のヘッドランプが汚れてい
たり、光軸がずれているとき
 - － 明るさの急激な変化が連続してい
るとき
 - － 段差や起伏のある道路を走行して
いるとき
 - － カーブが多い道路を走行してい
るとき
 - － ミラーや標識など反射の強いもの
が前方にあるとき

ライトスイッチ

警告

- トレーラーやコンテナなど先行車両の後部の反射が強いとき
- 対向車のヘッドランプが破損または汚れているとき
- バンクやけん引などで車両が傾いているとき
- 次のような原因で、上向きと下向きの切り替わるタイミングが変化することがある。
 - 対向車または先行車のランプの明るさ
 - 対向車または先行車の向きや動き
 - 対向車または先行車のランプが片側のみ点灯している
 - 対向車または先行車が二輪車
 - 道路状況（カーブやこう配、路面状況など）
 - 乗車している人数や荷物の量

アドバイス

- ハイビームアシストが正しく作動しなかったり、作動中にメーターにハイビームアシスト表示灯が点灯しなかったりしたときは、ハイビームアシストが故障しているおそれがあります。日産販売会社で点検を受けてください。

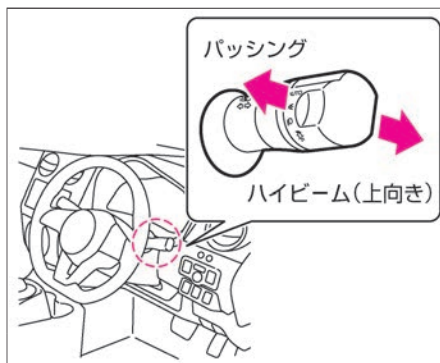
アドバイス

ハイビームアシスト表示灯 ( マルチセンシングフロントカメラ★の取り扱い (P.415))

ライトスイッチ

ハイビーム（上向き）への切り替えかた

- ヘッドランプが点灯しているとき、ライトスイッチを車両前方に押すと、ハイビームに切り替わります。
- 元の位置（中立位置）に戻すとロービームに戻ります。
- パッシングするときは、ライトスイッチの位置に関係なく、レバーを手前に引きます。
- ハイビームに切り替えているときは、ヘッドランプ上向き表示灯  が点灯します。
- ライトスイッチがAUTOの位置でハイビームに切り替えると、ハイビームアシスト（ P.186）が作動します。（ハイビームアシスト付車）



アドバイス

- 対向車があるときや市街地走行などでは下向きにしてください。

知識

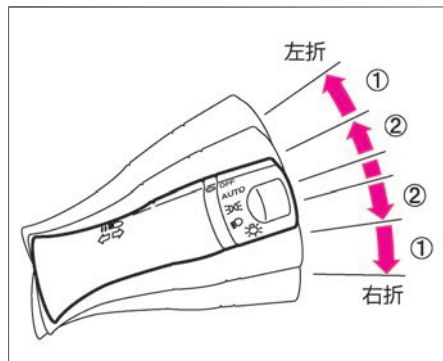
- ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがありますが異常ではありません。

ライトスイッチ

方向指示器の使いかた

パワースイッチがONのとき使えます。

- 右折または左折するときは、ライトスイッチを①の位置まで動かします。
- 車線変更などのときは、ライトスイッチを②の位置まで動かし軽く押さえます。スイッチを押さえている間、方向指示器が点滅します。



アドバイス

- 方向指示器のランプとメーター内の方向指示表示灯の点滅が速くなったときは、方向指示器のランプの電球切れなどのおそれがあります。電球を交換してください。

➡ 電球（バルブ）交換 (P.391)

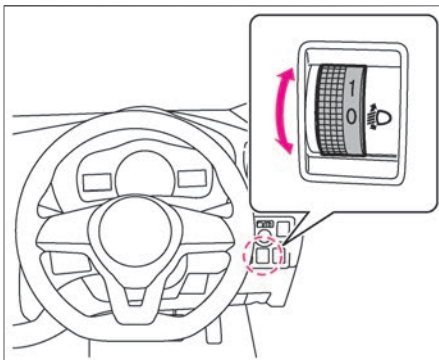
ヘッドランプレベライザースイッチ（ハロゲンヘッドランプ付車）

ヘッドランプの照らす方向（光軸）を調節します。乗員の人数や荷物の重さなどに応じ、調節してください。

ヘッドランプレベライザースイッチの使いかた

ヘッドランプが下向ききのとき、ダイヤルを回して調節します。

- 通常は、ダイヤルが0の位置で使います。
- ダイヤルを大きな数字の方へ回すほど、照らす方向は下向きになります。



アドバイス

- 乗車人員や荷物量の違いにより、ヘッドランプが上側を照らすときや、アップダウンの多い山道などで、前を走行する車のミラーや対向車のフロントガラスを照らすようなときは、照らす向きを下側に調節してください。

知識

- LEDヘッドランプ付車は、ヘッドランプが下向き点灯時に乗車人員や荷物量の違いにより車両姿勢が変化すると、自動的に照射方向を調整するオートレベライザー機能が付いています。

ヘッドランプレベライザースイッチ（ハロゲンヘッドランプ付車）

■ ダイヤル位置の目安

次の表を目安に、乗員の人数や荷物の量に応じてダイヤル位置を選択してください。

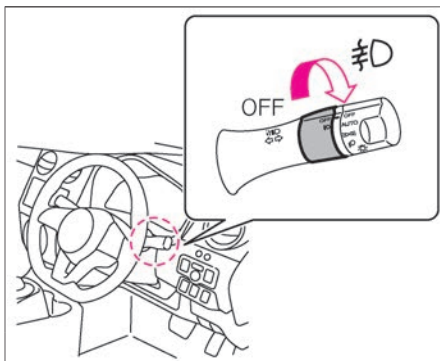
スイッチ位置	前席シート乗員数	後席シート乗員数	ラゲッジルームの積載重量
0	1または2	0	積載なし
1	2	3	積載なし
2	2	3	約104kg
3	1	0	約325kg

ランプをつける、ワイパーを使う フォグランプスイッチ★

雨、霧、雪などで視界が悪いとき、ヘッドランプの補助または後続車からの視認性向上のために使用します。

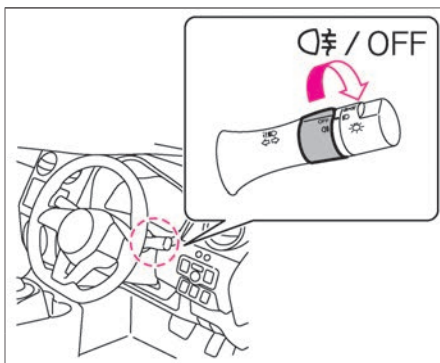
フォグランプの使いかた★

- ヘッドランプまたは車幅灯が点灯しているとき使用できます。
- スイッチを回して **霧D** を●の位置に合わせて使用します。
- フォグランプが点灯しているときは、フォグランプ表示灯 **霧D** が点灯します。



リヤフォグランプの使いかた★

- ヘッドランプが点灯しているときに使用できます。
- **Q霧** を●の位置に合わせるようにスイッチを回して使用します。（スイッチから手を離すと自動的にOFFの位置に戻ります。）
- 消灯するときには、もう一度スイッチを回します。
- リヤフォグランプが点灯しているときは、リヤフォグランプ表示灯 **Q霧** が点灯します。



⚠ 注意

- リヤフォグランプは霧、雨、雪などの視界が悪いときに使用する。
- 晴天時は使用しない。
後続車の視界を悪くするおそれがあります。
- 降雪時には雪が積もる場合があるため、こまめにリヤフォグランプの雪を取り除く。

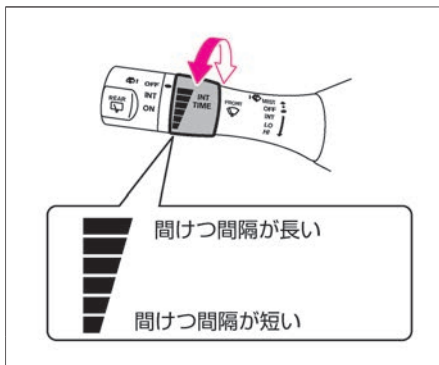
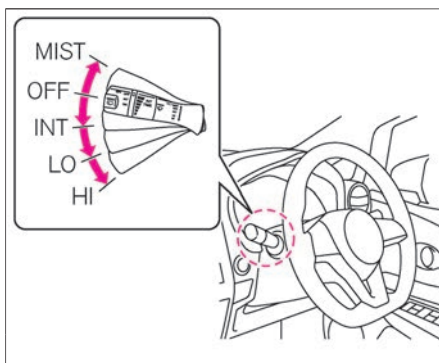
ワイパー・ウォッシャースイッチ

パワースイッチがONのとき使用できます。

フロントワイパーの使いかた

スイッチを動かすと、次のように作動します。

スイッチ位置	作動
MIST	レバーを上げている間作動します。 手を離すと自動的にOFFに戻ります。
OFF	停止します。
INT	間けつで作動します。 スイッチを回し、ワイパーの間けつ時間を調節します。
LO	低速で連続して作動します。
HI	高速で連続して作動します。



知識

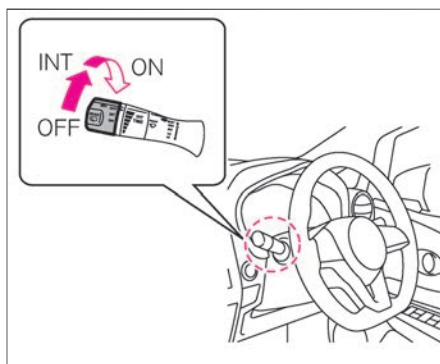
- 間けつ作動の間隔は、车速が速くなると短くなる车速感知式です。
- インテリジェント オートライトシステム（フロントワイパー連動、薄暮れ感知「おもいやりライト」機能付）付車は、ライトスイッチがAUTO位置のときにワイパーが数回作動すると、車外の明るさに関係なくランプが点灯します。
➡AUTO（自動点灯・消灯）の使いかた★(P.185)
- 車速感知機能のON・OFFを切り替えた場合は、日産販売会社へご相談ください。

ランプをつける、ワイパーを使う ワイパー・ウォッシャースイッチ

■ リヤワイパーの使いかた★

スイッチを回すと、次のように作動します。

スイッチ位置	作動
OFF	停止します。
INT	間けつで作動します。
ON	低速で連続して作動します。



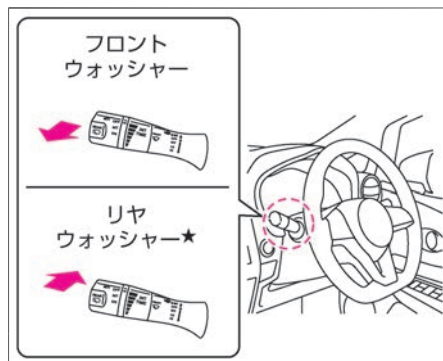
ウォッシャーの使いかた

フロントウォッシャー

- スイッチを手前に引くと、ウォッシャー液が噴射します。
- スイッチを引いている間はウォッシャー液の噴射とワイパーの作動が続き、レバーを離すとワイパーが数回作動してから停止します。

リヤウォッシャー★

- スイッチを車両前方に押すと、ウォッシャー液が噴射します。
- スイッチを押している間はウォッシャー液の噴射とワイパーの作動が続き、レバーを離すとワイパーが数回作動してから停止します。



ワイパー・ウォッシャーを使うときの注意事項



警告

- 寒冷時は、ウォッシャー液を噴射する前に、ヒーターでガラスを温める。また、ウォッシャー液は外気温に合わせた希釈割合にする。
寒冷時は、ガラスに吹きつけられたウォッシャー液が凍結し、視界を妨げ、思わぬ事故につながるおそれがあります。



アドバイス

- 雪が降りそうなきや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ワイパーに雪が積もり、破損するおそれがあります。
- ワイパー作動中、雪などの障害物によりワイパーが作動できなくなると、モーター保護のためにワイパーの作動が停止することがあります。その場合は、スイッチをOFFにし障害物を取り除いたあと、モーターが冷えるまで（約1分間程度）待ってから、再度スイッチを操作してください。ワイパーが作動を開始します。
- 凍結などでワイパーゴムがガラスに張り付いているときは、ワイパーを作動させないでください。ワイパーが損傷したり、モーターが故障するおそれがあります。
- 窓ガラスが乾いているときは、ウォッシャー液を噴射してからワイパーをご使用ください。ガラスが乾いた状態でワイパーを使用すると、ガラスやブレード（ゴム部）を傷つけるおそれがあります。
- ウォッシャー液が出ないときは、連続して30秒以上作動させないでください。モーターが故障する原因となります。
- ウォッシャー液を補給しても液が出ないときは、日産販売会社にご相談ください。

e-POWERシステムは3つのドライブモードがあります。目的に応じて使い分けてください。

各モードの働き（NISMO仕様車以外）

モード		特徴
e-POWER Drive	S	EVらしさと燃費を両立させたモード ● モーター特性を際立たせてアクセルペダル操作に瞬時に応じる高レスポンスを実現 ● アクセルペダルOFF時の回生ブレーキを強めて、多くのエネルギーを回収 ● アクセルペダル操作のみで楽に速度調整が可能
	ECO	燃費重視のモード ● 無駄なエネルギー消費を抑えるための穏やかな加速性能 ● アクセルペダルOFF時の回生ブレーキを強めて、多くのエネルギーを回収 ● アクセルペダル操作のみで楽に速度調整が可能
NORMAL		ガソリンエンジン車とほぼ同等の走りを楽しめるモード ● モーター駆動特有のレスポンスよくスムーズな加速 ● ガソリンエンジン車に近い感覚でのアクセルペダルOFFでの減速

※普段の運転ではECOモードをおすすめします。

知識

- Sモード、ECOモードのときは、回生ブレーキ（ P.13）の効率を上げるため、走行中にアクセルペダルを離すとNORMALモードのときよりも、強めのエンジンブレーキをかけているように減速度合いが強くなります。
- 各モードとも、減速度合いに応じて制動灯が点灯します。
- ECOモードでは燃費向上のため、暖房は省エネモードになります。暖房省エネモード（ P.155）
- 暖房の効きが悪い場合は必要に応じてNORMAL、Sモードに切り替えてください。

各モードの働き（NISMO仕様車）

モード		特徴
e-POWER Drive	S	運転を楽しめるモード ● NORMALモードよりもアクセルレスポンスが良く高い加速性能（モーター駆動の特徴を際立たせた特性）
	ECO	燃費重視のモード ● 無駄なエネルギー消費を抑えるための穏やかな加速性能 ● アクセルペダルOFF時の回生ブレーキを強めて、多くのエネルギーを回収
NORMAL		ガソリンエンジン車とほぼ同等の走りを楽しめるモード ● モーター駆動特有のレスポンスよくスムーズな加速 ● ガソリンエンジン車に近い感覚でのアクセルペダルOFFでの減速

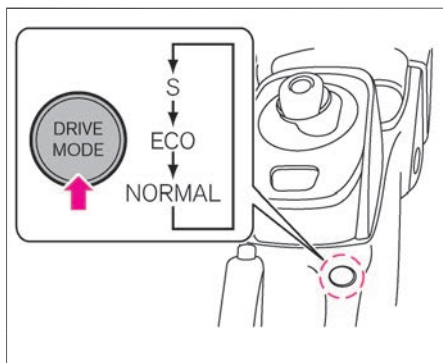
※普段の運転ではECOモードをおすすめします。

知識

- Sモード、ECOモードのときは、回生ブレーキ（🔌P.13）の効率を上げるため、走行中にアクセルペダルを離すとNORMALモードのときよりも、強めのエンジンブレーキをかけているように減速度合いが強くなります。
- 各モードとも、減速度合いに応じて制動灯が点灯します。
- ECOモードでは燃費向上のため、暖房は省エネモードになります。暖房省エネモード（🔌P.155）
- 暖房の効きが悪い場合は必要に応じてNORMAL、Sモードに切り替えてください。

モードの切り替えかた

- パワースイッチがONのとき、e-POWERモードスイッチを押すごとに次の順でモードが切り替わります。
S→ECO→NORMAL→S
- SモードのときはSモードインジケータ **[S]** が点灯します。
➡ Sモードインジケータ (P.72)
- ECOモードのときはECOモードインジケータ **[ECO]** が点灯します。
➡ ECOモードインジケータ (P.73)



知識

- SモードやECOモードのときはシフトポジション **B** に切り替えることはできません。
- Sモード、ECOモード選択中にシステム異常が発生した場合、モードインジケータ点滅とともに、自動的にNORMALモードへ切り替わる場合があります。
- システム異常が発生している状態で、NORMALモードからSモードに切り替えた場合、Sモードインジケータが点滅後消灯し、NORMAL状態が維持されます。
- モードの設定は、パワースイッチをOFFにしても、再度設定変更するまで、その状態が維持されます。
- 車両情報ディスプレイが航続可能距離表示以外でも、ドライブモードを切り替えると、その車両状態に応じた航続可能距離が数秒間表示されます。
➡ 車両情報ディスプレイ (P.96)

ABS（アンチロックブレーキシステム）

ABSとは、急ブレーキ時や滑りやすい路面でのブレーキ時に、タイヤのロックを防止して、車両の安定性を向上させるとともにハンドル操作による障害物回避をしやすくするシステムです。

ABSについて

急ブレーキを踏まなければならないような状況に陥らないよう、安全運転を心がけることが大切です。万一の危険な状況では次のようにしてください。

- 危険だと感じたら、ためらわず思い切りブレーキペダルを踏み込んでください。
- ABSが作動すると、ブレーキペダルに振動が伝わったり、作動音が聞こえたりします。これはABSの正常な作動によるものです。そのままブレーキペダルを踏み続けてください。
- 障害物回避の際には、ブレーキペダルを踏みながらハンドル操作をしてください。
- パワースイッチをONにしたときや、始動後最初の発進時に、エンジンルームから音が聞こえることがありますが、これはシステムの作動をチェックしている音で異常ではありません。

なお、車両を確実に停車させるため、ABSは低速では作動しません。路面の状況により異なりますが約10km/h以下では作動しません。

警告

- **カーブの手前では十分に減速する。**
ABSはあくまでも運転者のブレーキ操作を補助するシステムです。ABSの付いていない車両と同様に、カーブの手前では十分な減速が必要です。早めの操作で安全運転を心がけてください。
- **でこぼこ道、じゃり道、積雪路などでは、特に速度を控え、車間距離を十分にとる。**
ABSはブレーキ時の車両の安定性、操舵性を確保しやすくするための装置で、制動距離が短くなるとは限りません。でこぼこ道、じゃり道、積雪路などでは、ABSの付いていない車より制動距離が長くなることがあります。このような道を走行するときは、特に速度を控え、車間距離を十分にとって運転してください。
- **タイヤ交換時は、必ず指定サイズのタイヤを4輪に装着する。**
ABSは各車輪の回転速度をセンサーで検出しています。指定サイズ以外ではABSが正常に作動しなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

VDC（ビークルダイナミクスコントロール）

VDCは、横滑りや駆動輪の空転を抑えて走行時の車両安定性を向上させるシステムです。

VDCの機能について

- VDCのシステムには次の機能があります。
 - － VDC機能：走行中の横滑り状態をセンサーで判別し、走行時の車両安定性を向上させる機能です。
 - － トラクションコントロール機能：滑りやすい路面などで駆動輪が空転した場合、走行用モーターの出力を抑えることにより、駆動力およびハンドルの操作性を向上させる機能です。
 - － ブレーキLSD機能：滑りやすい路面などで駆動輪が空転した場合、空転している駆動輪にブレーキをかけることにより、もう一輪の駆動力を確保する機能です。
 - － ABS機能：ABS（➡P.200）

注意

- **滑りやすい路面やカーブの手前では速度を落とす。**
この装置は車両の走行安定性を向上させるもので事故を防止するものではありません。VDCの作動にも限界があるため、滑りやすい路面やカーブの手前では、特に速度を落とし安全運転を心がけてください。
- **次の場合、VDC警告灯が点灯し正常に作動しないことがあるので注意する。**
 - － サスペンション、タイヤ、ブレーキ、ステアリングなどを純正品以外に交換したり、改造したとき
 - － サスペンション、タイヤ、ブレーキなどの関係部品が著しく摩耗および劣化した状態で走行したとき
- **VDC付車でも雪道などでは冬用タイヤやタイヤチェーンを装着する。**

知識

- VDC作動時は、ブレーキの作動により音や振動を発生する場合がありますが異常ではありません。

VDCの作動について

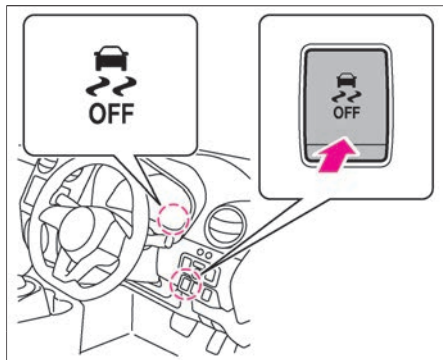
- VDCの作動と警告灯
 - － VDCが作動しているときは、メーター内のVDC警告灯  が点滅します。
 - － トラクションコントロール機能のみが作動しているときもVDC警告灯  が点滅します。VDC警告灯が点滅したときは、車両が滑りやすい状態になっていますので特に慎重に運転してください。
- 次の場合、VDC警告灯  が点灯することがあります。一度パワースイッチをOFFにし、再度e-POWERシステムを始動するとVDC警告灯は消灯します。
 - － 駐車場の入り口などにあるターンテーブルや動く物の上に車があるとき。
 - － 極端に傾いた特殊な路面（サーキット路に見られるバンクなど）を走行したとき。

VDC（ビークルダイナミクスコントロール）

VDCの停止のしかた

VDCの作動を停止（OFF）するにはVDC OFFスイッチを押します。

- VDC OFFスイッチを押すと、VDCが停止し、VDC OFF表示灯  が点灯します。
- 再度、VDCを使用（ON）するときには、もう一度VDC OFFスイッチを押します。VDC OFF表示灯  が消灯し、VDCがONになります。



アドバイス

- VDCが作動しているときは、ぬかるみや雪道から脱出するときに、スリップ状態を検知するため、アクセルペダルを踏み込んでもタイヤの回転数が上がらないことがあります。タイヤの回転数を上げたいときはVDC OFFスイッチを押してVDCを停止してください。
- VDC OFFスイッチを押すと、VDCのすべての機能と次の機能が停止します。（ABSおよびブレーキLSD機能を除く）
 - － インテリジェント エマージェンシーブレーキ★  (P.243)
 - － 踏み間違い衝突防止アシスト★  (P.252)
 - － インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）★  (P.278)

知識

- パワースイッチをONにするたびに、VDCは自動的にONになります。
- VDCが作動すると車体およびペダルにわずかな振動と作動音が発生しますが異常ではありません。

知識

- パワースイッチをONにしたときや、e-POWERシステム始動後最初の発進時に、エンジンルーム内から音が聞こえることがありますが、システムの作動をチェックしている音で異常ではありません。

ヒルスタートアシスト

ヒルスタートアシストは、上り坂での発進を補助するシステムです。

ヒルスタートアシストについて

- 上り坂で発進するとき、ブレーキペダルからアクセルペダルへ踏み替える間に発生する車両の後退を防ぎます。
- シフトポジションが **P**、**N** 以外のとき、ブレーキペダルから足を離すと、約2秒間ブレーキ力を保持します。

注意

- **ヒルスタートアシストの機能を過信しない。**
凍結している路面や泥状の坂道では、車両がスリップして後退することがあります。特に安全運転に心がけてください。
- **坂道での駐停車にヒルスタートアシストを使用しない。**
思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **停車するときは、ブレーキペダルを踏み続ける。**
この装置は、ブレーキペダルから足を離すと約2秒間ブレーキ力を保持しますが、その後ブレーキ力が解除されます。駐車するときは確実にシフトポジションを **P** にして、パーキングブレーキをかけてください。

アドバイス

- セレクトレバーを操作した直後は、ブレーキを踏んだ状態で約1秒待ってから発進してください。シフトポジションを **P** から **D** または **N** から **D** にした直後は、ヒルスタートアシストが作動しないことがあります。

次ページに続く

知識

- VDC警告灯（ P.83）が点灯しているときは作動しません。
- ヒルスタートアシストが作動しているとき、ブレーキペダルの踏みごたえが変化したり、音や振動が発生することがありますが、異常ではありません。
- 緩やかな坂道ではヒルスタートアシストが作動しない場合があります。

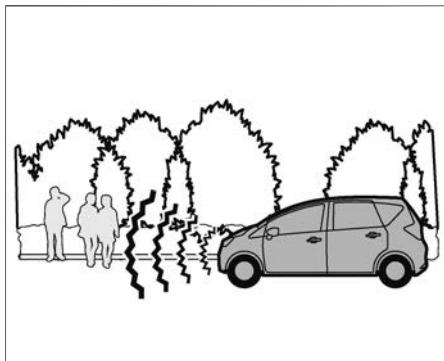
車両接近通報装置

車両接近通報装置は、低速走行中に車両が接近していることを音で歩行者に知らせるシステムです。

車両接近通報装置について

車両接近通報装置は、走行可能表示灯  が点灯しているとき、次の場合に作動します。

- 発進時、車速が30km/h以内のとき
- 減速時、車速が25km/h以下になったとき
- シフトポジションが **R** のとき



注意

- 車両接近通報装置は、必要最低限以外は**OFF**にしない。
高速道路での渋滞中など、周囲に音を出し、歩行者に注意を知らせる必要が明らかにならない場合を除き**OFF**にしないでください。車両の接近に歩行者が気付かず、事故の原因になるおそれがあります。
- 車両接近通報装置の音が聞こえないときは、日産販売会社で点検する。
車両接近通報装置の音が聞こえないときは、安全で静かな場所に停車し、音が聞こえるか確認してください。ブレーキペダルを確実に踏みながら、シフトポジションを **R** にし、窓を開けて音が聞こえるか確認します。車両前方から音が聞こえないときは、日産販売会社で点検を受けてください。

知識

- 次の条件がそろえばパワースイッチを**OFF**にし忘れたことを防止するため、車両接近通報装置が作動します。
ー シフトポジションが **P** のとき

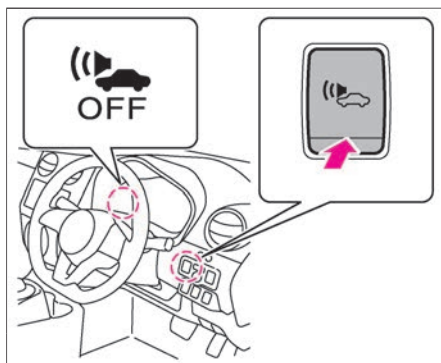
知識

- － 走行可能表示灯  が点灯しているとき
- － 運転席シートベルトが非装着のとき
- － 運転席ドアまたは助手席ドアが開いているとき

車両接近通報装置の一時的な停止のしかた

車両接近通報装置の音を一時的に停止（OFF）するときは、車両接近通報装置一時停止スイッチを押します。

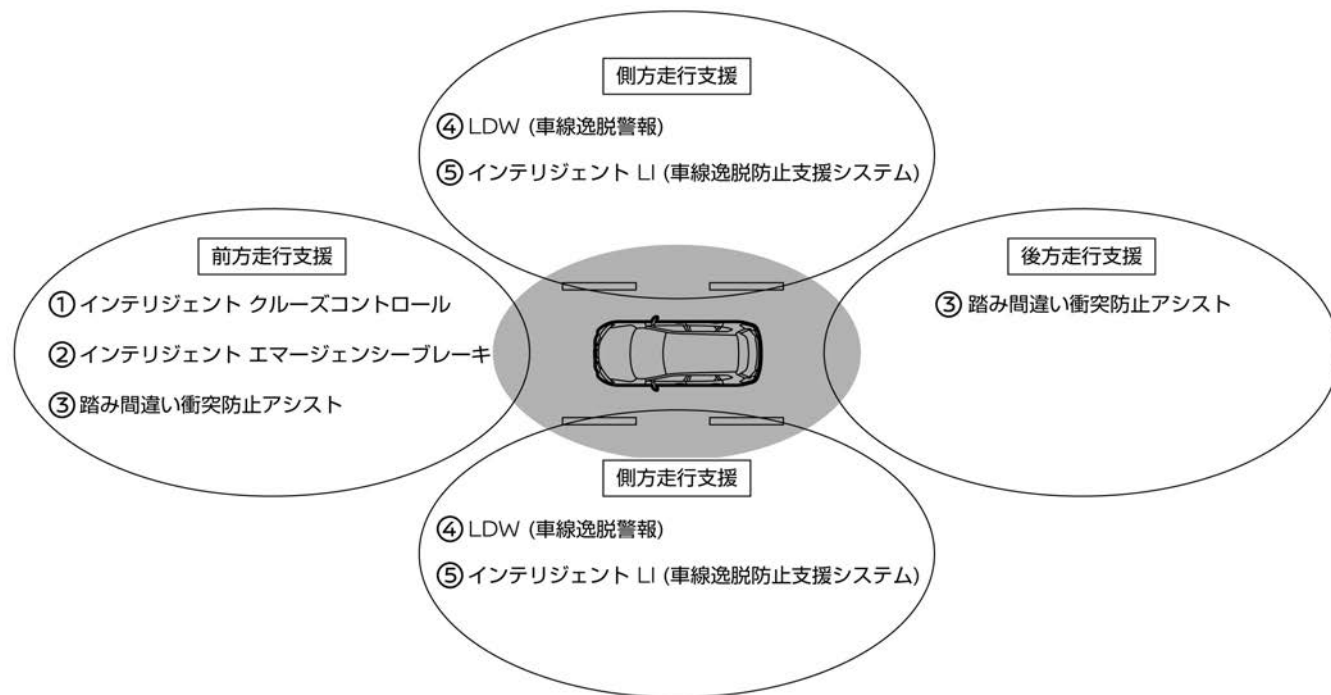
- 一時的に音が出なくなり、車両接近通報音一時停止表示灯  が点灯します。
- 再度、車両接近通報装置を使用（ON）するときは、もう一度車両接近通報装置一時停止スイッチを押します。車両接近通報音一時停止表示灯  が消灯し、車両接近通報装置がONになります。



知識

- パワースイッチをONにするたびに、車両接近通報装置は自動的にONになります。

走行支援システムについて

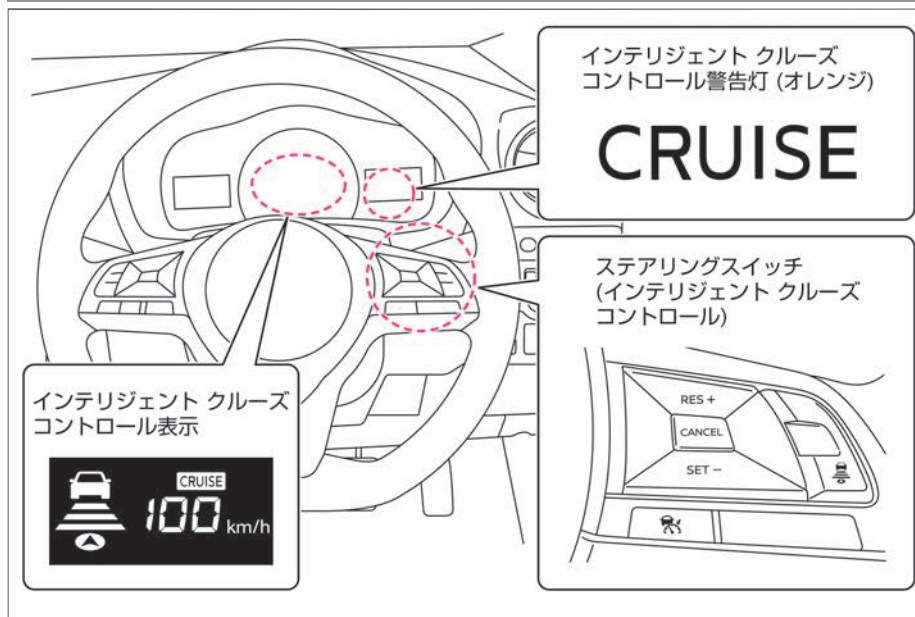


- ① **インテリジェント クルーズコントロール★**
先行車との距離を測定し、運転者がセットした車速を上限として、車速に応じた車間距離を自動的に保ちながら走行するシステムです。（👉P.212）
- ② **インテリジェント エマージェンシーブレーキ★**
前方の車両や歩行者と衝突のおそれがあるとき、警報と自動ブレーキにより、運転者の衝突回避操作を支援します。（👉P.243）
- ③ **踏み間違い衝突防止アシスト★**
進行方向に壁などの障害物、車両や歩行者などがある場所で、アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いやブレーキ操作が遅れたとき、警報音と表示で警告し、さらに過度な加速の防止や障害物への衝突防止を支援します。（👉P.252）
- ④ **LDW(車線逸脱警報)★**
運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなとき、警報によって注意を促します。（👉P.276）
- ⑤ **インテリジェント LI(車線逸脱防止支援システム)★**
運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなとき、運転者が車線内に戻す操作を支援します。（👉P.278）

インテリジェント クルーズコントロール★

インテリジェント クルーズコントロールは、セレクトレバーが**D**または**B**のとき先行車との距離を測定し、運転者がセットした車速を上限として、車速に応じた車間距離を自動的に保ちながら走行することができます。

システムに関連する表示とスイッチ



警告

- **高速道路や自動車専用道路で使用する。**
インテリジェント クルーズコントロールは高速道路や自動車専用道路でご使用ください。
一般道での使用は思わぬ事故につながるおそれがありますので使用しないでください。
- **インテリジェント クルーズコントロールの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転に心がける。**
自車の前への急な割り込みや先行車が急ブレーキをかけたとき、悪天候などでは、適切な減速が行えず先行車に接近することがあります。先行車との車間距離、周囲の状況に応じて自らアクセルペダル、ブレーキペダルを操作し、常に安全運転を心がけてください。
インテリジェント クルーズコントロールにより停止までブレーキ制御を行います。停止状態を保持する機能はありません。自車が停止したとシステムが判断すると、ブザー音とともにブレーキ制御が解除され、クリーブ現象によりゆっくりと車両

⚠ 警告

が動き出します。停止状態を保持するためのブレーキ操作は、必ず運転者が行ってください。（先行車との車間距離が短いときや下り坂で追従走行しているときなど、状況により停止できない場合もあります。）

インテリジェント クルーズコントロールについて

インテリジェント クルーズコントロールには次の機能があります。

● インテリジェント クルーズコントロール

- － 先行車を検出しているときは、運転者がセットした車速(約30km/h～100km/h)を上限に、車速に応じた車間距離を保つように車間制御を行い走行します。
- － 先行車が停止したときは、先行車に続いて自車も停止します。(停止後はシステムが自動的に解除されます。)
- － 先行車を検出していない場合は運転者がセットした車速で定速走行します。(約30km/h以下では前方に車両がない場合使用できません。)

➡ インテリジェント クルーズコントロールの作動 (P.221)

● 定速制御機能

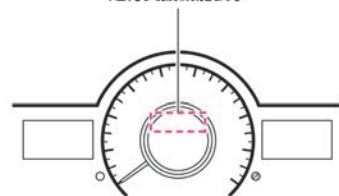
- － 運転者がセットした車速 (約40km/h～100km/h) で定速走行します。(車間距離の制御は、行いません。)

⚠ 注意

- 機能によって制御内容が異なります。インテリジェント クルーズコントロールを使用するときは、どの機能が選択されているかを車両情報ディスプレイ(走行支援機能表示)で必ず確認してください。

➡ 車両情報ディスプレイ (P.96)

走行支援機能表示



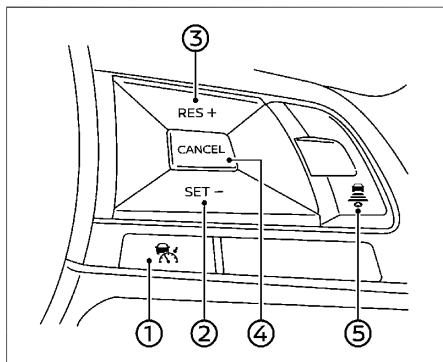
📖 知識

- アクセルペダルを踏まなくても、一定の速度で走行することができる定速制御機能については、➡ 定速制御機能について (P.237)をお読みください。

インテリジェント クルーズコントロール★

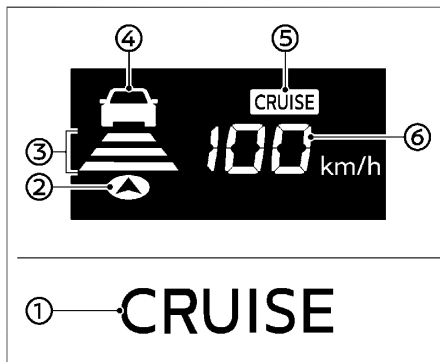
ステアリングスイッチ（インテリジェント クルーズコントロール）

- ① **メインスイッチ** 
インテリジェント クルーズコントロールのON・OFFができます。
- ② **SET-スイッチ**
- SET-スイッチを押したときの速度でインテリジェント クルーズコントロールを開始できます。
- 設定車速を下げるができます。
- ③ **RES+スイッチ**
- インテリジェント クルーズコントロールを解除後、解除前の設定車速で再び開始することができます。
- 設定車速を上げることができます。
- ④ **CANCELスイッチ**
インテリジェント クルーズコントロールの解除ができます。
- ⑤ **車間設定スイッチ** 
車間設定を「長」「中」「短」の3段階に切り替えることができます。

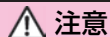


車両情報ディスプレイ（走行支援機能表示）

- ① インテリジェント クルーズコントロール警告灯（オレンジ）
インテリジェント クルーズコントロールのシステムに異常があることをお知らせします。
- ② 自車マーク
- ③ 車間設定表示
車間設定スイッチ  で設定した車間設定を表示します。
- ④ 先行車検出表示
先行車検出の有無をお知らせします。
- ⑤ クルーズ表示灯
メインスイッチ  がONになっていることをお知らせします。
- ⑥ 設定車速表示
設定した車速を表示します。



インテリジェント クルーズコントロールの使いかた

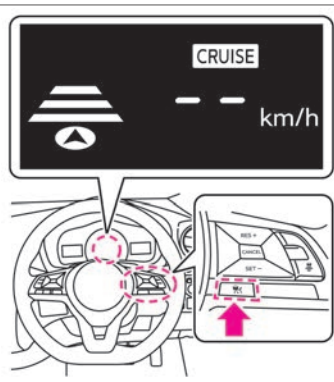


注意

- インテリジェント クルーズコントロールを使用しないときは、メインスイッチ  をOFFにしてください。
間違えてスイッチを押してしまった場合、インテリジェント クルーズコントロールがセットされてしまい思わぬ事故につながるおそれがあります。

インテリジェント クルーズコントロール★

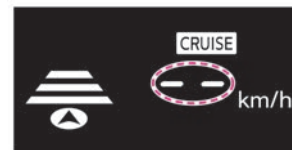
- 1 メインスイッチ  を押します。
・インテリジェント クルーズコントロールがONになります。
・車両情報ディスプレイ（走行支援機能表示）にクルーズ表示灯、車間設定表示、設定車速表示が点灯し、セット待機状態になります。



- 2 設定したい速度まで加速または減速します。

知識

- 次の場合は、インテリジェント クルーズコントロールの制御を開始することができません。（設定車速表示が約2秒間点滅します。）



- － 車速が約30km/hを下回っていて、先行車両を検出していないとき
- － セレクトレバーが **D** または **B** 以外するとき
- － パーキングブレーキがかかっているとき
- － ブレーキペダルを踏んでいるとき
- － 雨、雪、霧、またはカメラ前方のフロントガラスの凍結、汚れなどで、カメラの視界が確保できなくなったとき
- － ワイパーを高速で作動させたとき
- － 前方から強い光（太陽光など）を受けているとき

インテリジェント クルーズコントロール★

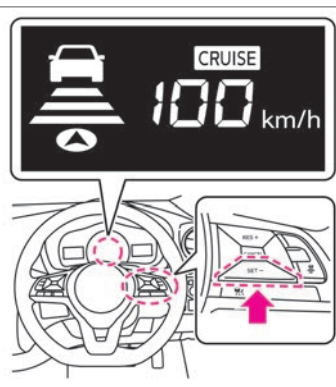
3

SET-スイッチを押します。

・スイッチを押したときの速度が設定車速になり、インテリジェント クルーズコントロールの制御が開始します。

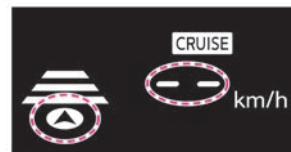
（車速30km/h以下で先行車を検出しているときにスイッチを押した場合、設定車速は30km/hになります。）

先行車検出の有無、車間設定、設定車速を表示します。



知識

- メインスイッチ  を約1.5秒押すと、定速制御機能に切り替わります。
-  定速制御機能について (P.237)
- 車間設定はメインスイッチ  をONにするたびに「長」に設定されます。
- e-POWERシステムを停止するとインテリジェント クルーズコントロールは自動的にOFFになります。
- 以下の場合「ピー」というブザー音とともに、車両情報ディスプレイ（走行支援機能表示）が点滅し、セットすることができません。



- ー VDCをOFFにしているとき
（インテリジェント クルーズコントロールを使用するときは、VDCをONにしたあと、メインスイッチ  を一旦OFFにし、再度手順1から操作し直してください。）

運転のしかた

次ページに続く

知識

- － VDC（トラクションコントロールを含む）が作動しているとき
- － タイヤが空転したとき
（インテリジェント クルーズコントロールを使用するときは、上記の状態が改善されてから、メインスイッチ  を一旦OFFにし、再度手順1から操作し直してください。）
- 車間設定はe-POWERシステムを始動するたびに「長」に設定されます。

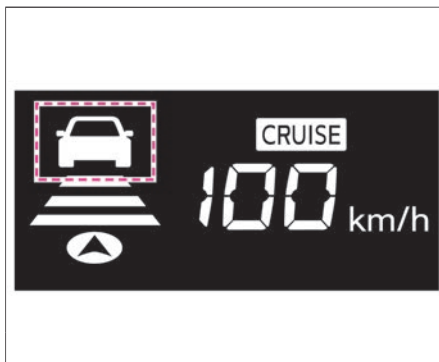
インテリジェント クルーズコントロールの作動

先行車を検出しているとき

- 運転者がセットした车速(約30km/h～100km/h)を上限に、車速に応じた車間距離を保つように車間制御を行い走行します。先行車検出表示が点灯します。

先行車が停止したとき

- インテリジェント クルーズコントロールで走行中に先行車が停止したときは、先行車に続いて自車も停止します。停止後はシステムが自動的に解除されます。

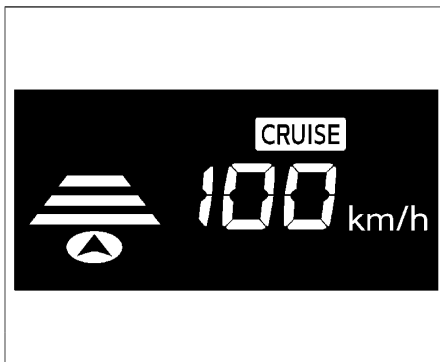


知識

- 車間設定スイッチ  により、車間を設定することができます。
➡ 車間距離設定の変更のしかた (P.226)
- インテリジェント クルーズコントロールの制御によりブレーキが作動した場合は、自車の制動灯が点灯します。
- ブレーキが作動したとき、音がすることがありますが異常ではありません。

先行車を検出していないとき

- 設定車速までゆっくりと加速し、定速走行します。（先行車検出表示が消灯）



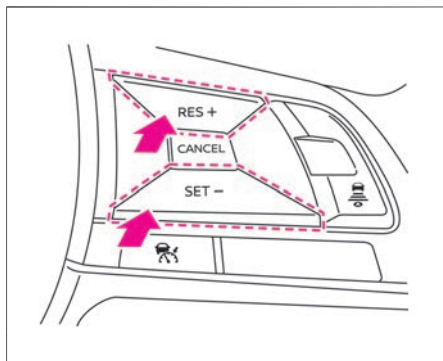
知識

- 設定車速までの加速中に先行車を検出すると、再び車間制御を行います。
- 設定車速までは機能の制御によって加速しますが、素早く加速したいときはアクセルペダルを踏んで加速してください。
- 先行車を検出していない場合、車速が約25km/h以下になると、インテリジェント クルーズコントロールは解除されます。

設定車速の変更のしかた

設定車速が5km/hきざみで変更できます。

- 設定車速を上げたいときは、RES+スイッチを押します。
- 設定車速を下げたいときは、SET-スイッチを押します。



⚠ 注意

- 車間制御しているときは、先行車に合わせた車速に制御されるため、**RES+スイッチを押して、設定車速を上げても加速しません。**
このとき機能上は設定車速を変更しているため、先行車を検出しなくなるとその設定した車速まで加速します。設定車速は車両情報ディスプレイ（走行支援機能表示）の設定車速表示を確認しながら変更してください。

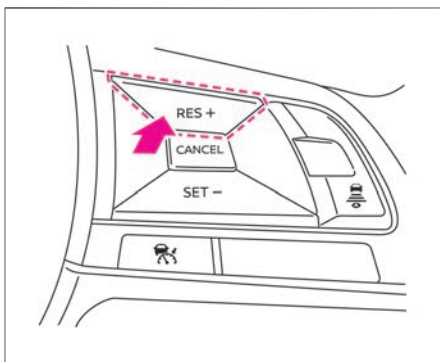
一時的に加速、減速をしたいとき

加速したいとき

- アクセルペダルを踏むと、加速します。
- アクセルペダルを離すと、元の制御状態に戻ります。

減速したいとき

- ブレーキペダルを踏むと、減速（制御が解除）します。
（設定車速表示の車速値が消灯し、セット待機状態になります。）
- 解除前の設定車速で再びセットしたいときは、RES+を押します。
（車両情報ディスプレイ（走行支援機能表示）が再びセット状態の表示になります。）



⚠ 注意

- アクセルペダルを踏んでいるときは、インテリジェント クルーズコントロールによるブレーキ制御も接近警報も行いません。
- 通常、車間制御中は先行車の速度に合わせて自動的に加速、減速を行います。しかし車線変更などで加速が必要なときや、先行車が急減速したり、他車が割り込むなどして先行車に接近しそうになったときなどはアクセルペダル、またはブレーキペダルを踏んで周囲の状況に応じた適切な加速、減速を行ってください。

📖 知識

- アクセルペダルを踏んで加速した場合や、SET-で設定車速を下げた場合などで設定車速より実際の速度の方が高くなったときは、設定車速表示が点滅します。



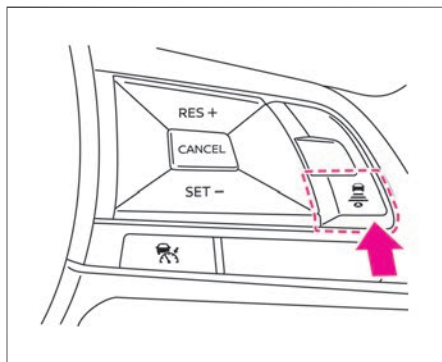
知識

- アクセルペダルを戻したあとに定速走行し、車速が設定車速となった場合や、車間制御で車速が設定車速以下となったときは、設定車速が点灯状態に戻ります。

車間距離設定の変更のしかた

先行車との車間距離を交通状況に応じて選ぶことができます。インテリジェント クルーズコントロール制御中またはセット待機状態のときに車間設定を切り替えることができます。

- 車間設定スイッチ  を押すごとに「長」→「中」→「短」→「長」の順に切り替わります。



知識

- 車間距離は車速に応じて変わり、速度が高いほど長くなります。

車間設定	ディスプレイ
長	
中	
短	

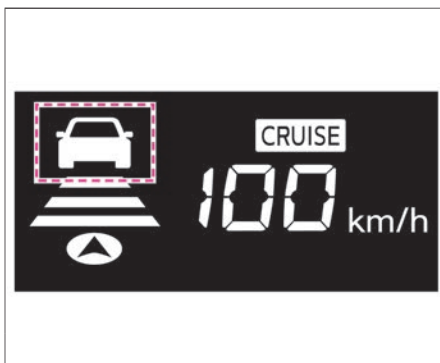
- インテリジェント クルーズコントロールをOFFにすると、車間設定は「長」に戻ります。（メインスイッチ  をONにするたびに車間設定は「長」に戻ります。）

 知識

- 車速100km/hで走行しているとき、
車間設定での制御車間距離の目安は
次のとおりです。
長：約60m
中：約45m
短：約30m

接近警報

- 車間制御中に先行車の減速度合いが大きい場合や他車の割り込みなどによって、十分な減速ができない状態で先行車に接近したときは、次のようにブザーと車両情報ディスプレイ（走行支援機能表示）の表示によって運転者に注意を促します。この場合は、ブレーキを踏んで減速し、適切な車間距離を確保してください。
- 先行車に接近し、車間距離が十分でないと判断されるときはブザーが“ピッ、ピッ、ピッ、ピッ…”と鳴り、車両情報ディスプレイ（走行支援機能表示）の先行車検出表示が点滅します。



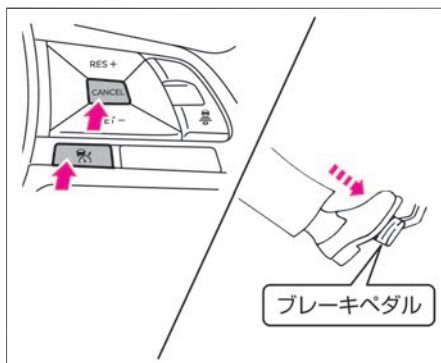
知識

- 接近警報が頻繁に作動するような状況では、インテリジェント クルーズコントロールを使用しないでください。
- 短い車間距離でも、次の場合には接近警報が作動しないことがあります。
 - ー 先行車との相対速度が小さいとき（ほぼ同じ速度で走っているとき）
 - ー 先行車の方が自車より速いとき（車間距離が次第に離れていくとき）
 - ー 他車が至近距離に割り込んできたとき

インテリジェント クルーズコントロールの解除のしかた

次のいずれかの操作でインテリジェント クルーズコントロールが解除されます。

- CANCELスイッチを押す
- メインスイッチ  を押す
- ブレーキペダルを踏む



知識

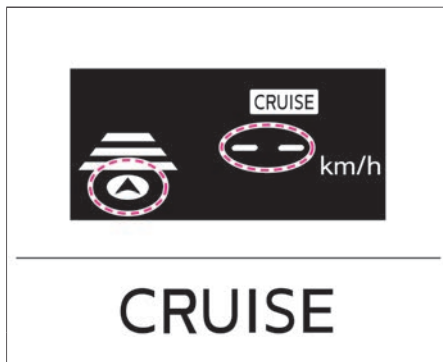
- CANCELスイッチで解除したときやブレーキペダルを踏んで解除したときは、セット待機状態になります。

インテリジェント クルーズコントロールの自動解除

- 次の場合は、解除音とともにインテリジェント クルーズコントロールが自動的に解除されます。
 - － 先行車を検出していないときに、車速が約25km/hを下回ったとき
 - － インテリジェント クルーズコントロールにより自車が停止したとき
 - － セレクトレバーを **D** または **B** 以外にしたとき
 - － パーキングブレーキをかけたとき
 - － VDCをOFFにしたとき
 - － VDC（トラクションコントロールを含む）が作動したとき
 - － タイヤが空転したとき
 - － 雨、雪、霧、またはカメラ前方のフロントガラスの凍結、汚れなどで、カメラの視界が確保できなくなったとき
 - － ワイパーを高速で作動させたとき
 - － 前方から強い光（太陽光など）を受けているとき

インテリジェント クルーズコントロールの警告表示について

- 次の場合は、“ピー”というブザー音とともにインテリジェントクルーズコントロールが自動的に解除され、車両情報ディスプレイ（走行支援機能表示）の一部が点灯または点滅しセットできなくなります。
 - － VDC（トラクションコントロールを含む）が作動したとき。
 - － VDCをOFFにしたとき。
 - － タイヤが空転したとき。
- 次の場合は、“ピー”というブザー音とともに警告灯がオレンジ色に点灯し、自動的に作動が停止します。
 - － インテリジェント クルーズコントロールに異常があるとき。
- システムを再び作動させる場合は、安全な場所に停車して、e-POWERシステムを一旦停止して再始動し、再びシステムをONにしてください。



アドバイス

- 警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

インテリジェント クルーズコントロールに関する注意事項

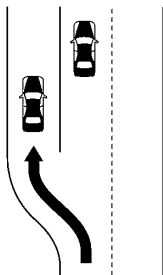


注意

- インテリジェント クルーズコントロールの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転に心がける。
脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意および雨・霧などの視界不良による危険を回避するものではありません。先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転に心がけてください。
- インテリジェント クルーズコントロールの減速能力には限界があり、自車の前へ他車が割り込んだときや先行車が急ブレーキをかけたとき、下り坂で追従走行しているときなどは、十分に減速できず先行車に接近することがあるため注意する。
この場合は、ブザー音および表示による警報で注意を促します。
- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますのでインテリジェント クルーズコントロールを使用しないでください。
 - － 急カーブや曲がりくねった道
インテリジェント クルーズコントロールは直線路や緩やかなカーブ路での使用を想定して設計しているため、思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - － 急勾配の坂道
停止状態を保持できず、車両が動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - － 急な下り坂
設定車速を超えてしまうおそれがあります。また先行車がいる場合は、ブレーキが過熱して十分な減速ができなくなるおそれがあります。
 - － 凍結路や積雪路など滑りやすい路面
タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。
 - － 頻繁な加減速により、車間距離が保ちにくい交通状況
ブレーキ作動が遅れて車間距離が短くなるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- － 交通量の多い道や急カーブのある道
道路状況にあった速度で走行できないため事故につながるおそれがあります。
- － 悪天候（雨、霧、雪など）のとき
先行車との車間距離が正確に検出できない場合があります。
- － カメラ前方のフロントガラスに雨滴、雪などが付着しているとき
先行車との距離が正確に検出できない場合があります。
- － 急な上り坂、下り坂が繰り返される道
先行車を正確に検出できず、先行車に近づきすぎて思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 高速道路などで、インターチェンジ、サービスエリア、パーキングエリアなどに進入する（本線から出る）とき本線上でインテリジェント クルーズコントロールによりセット車速よりも遅い車速で走行する先行車に追従走行している場合には、自車または先行車の車線変更などで、自車線上に先行車を検出しなくなることによりセット車速まで自動的に加速するため、思わぬ事故につながるおそれがあります。



⚠ 注意

- 次のような状況では先行車との車間距離が正確に検出できない場合があります、適切に制御できず、思わぬ事故につながるおそれがありますのでインテリジェント クルーズコントロールを使用しないでください。
 - － 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
 - － 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - － カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などが付着しているとき
 - － カメラ前方のフロントガラスがくもっているとき
 - － 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
 - － 前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
 - － 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
 - － 夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき
 - － トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
 - － 工事などによる車線規制や仮設のレーンマーカーがあるとき
 - － 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
 - － 急な上り坂、下り坂が繰り返される道を走行するとき
- インテリジェント クルーズコントロールを正しく作動させるために、カメラ前方のフロントガラスのお手入れを行ってください。
 - ➡ マルチセンシングフロントカメラ★の取り扱い (P.415)
- 次のような状況ではインテリジェント クルーズコントロールは正しく機能しません。インテリジェント クルーズコントロールを使用しないでください。
 - － タイヤの空気圧が適正ではないとき

⚠ 注意

- － 摩耗しているタイヤ、スペアタイヤのような非常用タイヤ、タイヤチェーンを装着しているときや、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているとき
- － 純正品以外のブレーキ部品やサスペンション部品を使用しているとき
- － カメラの視界を妨げるようなものを取り付けたとき
- － 極端に重い荷物を積んでいるとき
- － けん引しているとき
- 状況によっては外部の騒音などにより、警報音が聞こえない場合があります。
- 次のような状況では車両の形状を正しく検出できず、適切な車間制御を行えない場合があります。
 - － 先行車が背景と似た色合いで区別ができないとき
 - － 先行車が道路標示（道路上の横断歩道、制限速度などの標示）の近くにいるとき
 - － 先行車が路面の水たまりの付近にいるとき(周りの風景が水たまりに映りこむなど)
 - － 先行車が建物や街路樹などの影と重なっているとき
 - － 先行車と自車の間に水蒸気や煙などがあるとき
- 次のような車両は正しく検出できず、適切な車間制御が行えない場合があります。
 - － 車高の低い車両
 - － 最低地上高(地面から車体までの高さ)が極端に低いもしくは極端に高い車両
 - － 特殊な形状の車両（タンクローリー、サイドカーなど）
 - － 前方の至近距離に割り込んだ車両
 - － 自車の正面から横にずれた位置に存在する車両
 - － 後端面積が小さい車両(空荷のトラックなど)
 - － リヤタイヤから車両後端までが長い車両

⚠ 注意

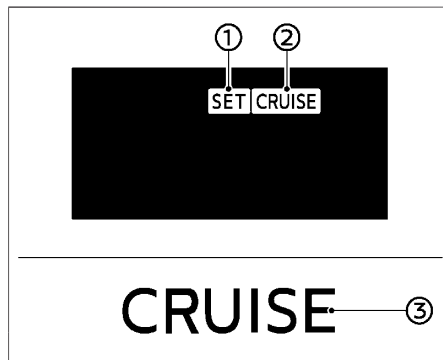
- － 四輪車以外の車両(二輪車など)
- － 荷台から荷物や幌がはみ出している車両
- － バンパー形状などにより、タイヤが見えにくい車両
- 路面または壁面の模様・ペイントや前方の道路構造物（トンネル、高架橋、交通標識、車両脇に設置された反射器（リフレクター）、反射シート、ガードレール）などで構成される形状が、車両の輪郭の特徴や車両のテールランプの大きさ・位置などと似通っている場合、ブレーキ制御や接近警報を行う場合があります。

定速制御機能について

定速制御機能を使用すると、セレクトレバーが**D**または**B**のとき、アクセルペダルを踏まなくても、一定の速度で走行することができます。（車間制御は行いません。）約40km/h～100km/hの間で任意の速度にセットできます。

■ 車両情報ディスプレイ（定速制御機能表示）

- ① **セット表示灯**
定速制御機能で走行していることをお知らせします。（設定車速をセットすると点灯します。）
- ② **クルーズ表示灯**
メインスイッチ  がONになっていることをお知らせします。
- ③ **インテリジェント クルーズコントロール警告灯（オレンジ）**
インテリジェント クルーズコントロールのシステムに異常があることをお知らせします。



⚠ 注意

- 定速制御機能を使用するときは、十分な車間距離をとる。
定速制御中は車間制御を行わないため、ブレーキ操作も警報も行いません。先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転に心がけてください。
- 次の状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますので、定速制御機能を使用しない。
 - － 交通量の多い道や急カーブのある道
 - － 凍結路や積雪路など滑りやすい路面
 - － 急な下り坂
- インテリジェント クルーズコントロール警告灯（オレンジ）が点灯したときは、日産販売会社で点検を受ける。
インテリジェント クルーズコントロール警告灯がオレンジ色に点灯したとき

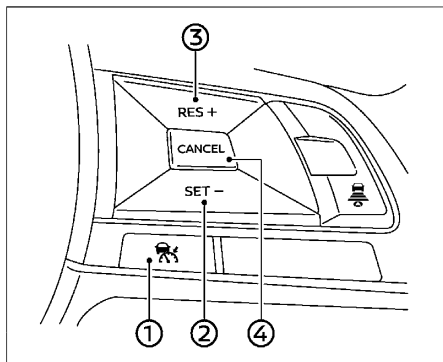
⚠ 注意

は、安全な場所に停車して、パワースイッチをOFFにし、e-POWERシステムを再始動してから再度定速制御機能をセットしてください。e-POWERシステム再始動後もセットできない、またはインテリジェント クルーズコントロール警告灯がオレンジ色に点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

インテリジェント クルーズコントロール★

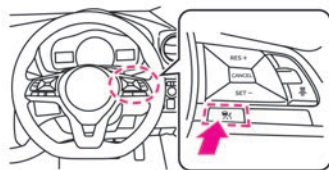
■ ステアリングスイッチ（定速制御機能）

- ① **メインスイッチ** 
定速制御機能のON・OFFができます。
- ② **SET-スイッチ**
- スイッチを押したときの車速で定速制御機能をセットできます。
- 設定車速を下げるができます。
- ③ **RES+スイッチ**
- 定速制御機能を解除後、解除前の設定車速に再びセットすることができます。
- 設定速度を上げることができます。
- ④ **CANCELスイッチ**
定速制御機能の解除ができます。



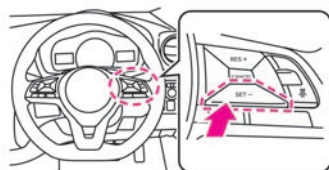
定速走行の使いかた

- 1 ハンドルにあるメインスイッチ  を1.5秒以上押して定速制御機能をON（クルーズ表示灯が点灯し、セット待機状態になります。）にします。
車両情報ディスプレイ（走行支援機能表示）に定速制御機能表示が点灯します。



- 2 設定したい速度まで加速または減速します。

- 3 SET-スイッチを押します。
SET-スイッチを押したときの車速で定速走行を開始します。（セット表示灯が点灯）



注意

- 定速制御機能を使用しないときは、メインスイッチ  をOFFにしてください。間違ってスイッチを押してしまった場合、定速制御機能がセットされてしまい思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- 定速走行中、一時的に加速したいときはアクセルペダルを踏みます。加速後にアクセルペダルを離すと、徐々に設定車速に戻ります。

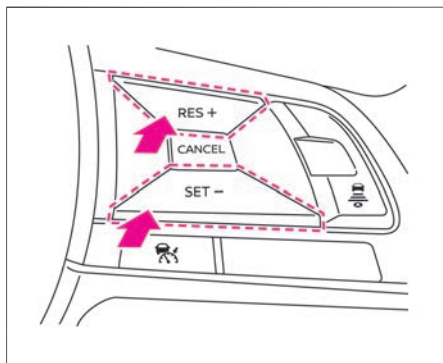
設定車速の変更のしかた

速度を上げる

- 定速走行中にRES+スイッチを押し続けると加速します。希望の速度で手を離します。

速度を下げる

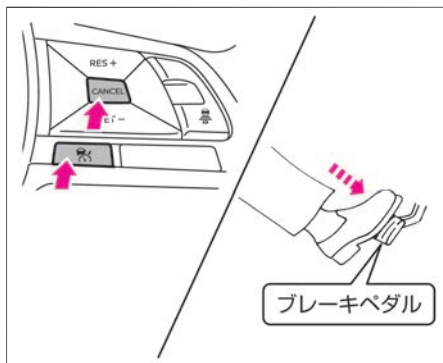
- 定速走行中にSET-スイッチを押し続けると減速します。希望の速度で手を離します。



定速走行の解除のしかた

次の操作をすると、定速走行が解除されます。

- CANCELスイッチを押す
- メインスイッチ  を押す
- ブレーキペダルを踏む



アドバイス

- CANCELスイッチで解除したときやブレーキペダルを踏んで解除したときは、セット待機状態になります。解除前の設定車速で再びセットしたいときは、RES+スイッチを押します。
(車速が約40km/h～100km/hのとき戻せます。)
- 次の場合は、“ピー”という音とともに制御が自動的に解除されます。
ー 速度が30km/h以下になったとき

次ページに続く



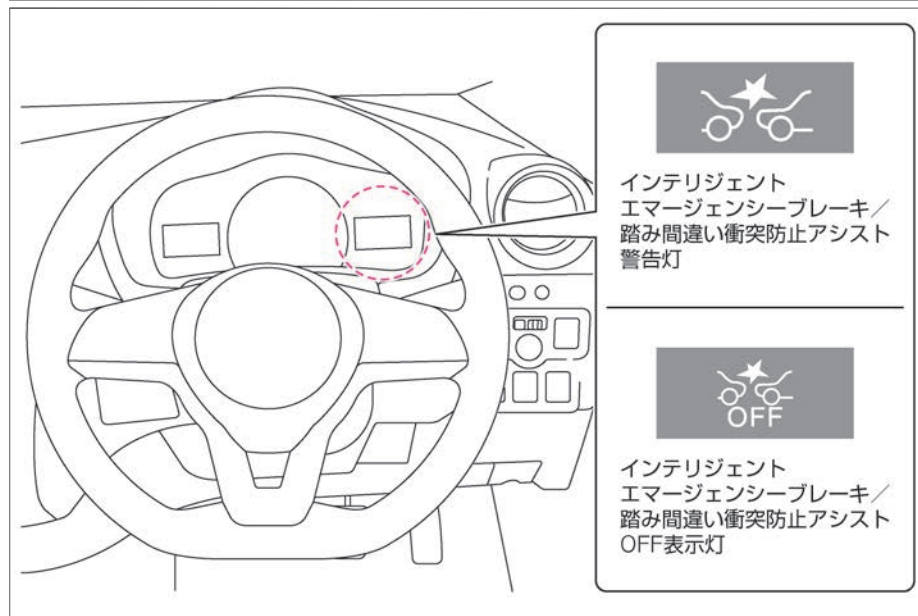
アドバイス

- － 設定速度より約13km/h以上速度が低下したとき
- － VDC（トラクションコントロールを含む）が作動したとき
- － タイヤが空転したとき
- － セレクトレバーを **D** または **B** 以外にしたとき
- － システムに異常があるとき

インテリジェント エマージェンシーブレーキ★

インテリジェント エマージェンシーブレーキは、前方の車両や歩行者と衝突のおそれがあるとき、警報と自動ブレーキにより、運転者の衝突回避操作を支援します。

システムに関連する表示

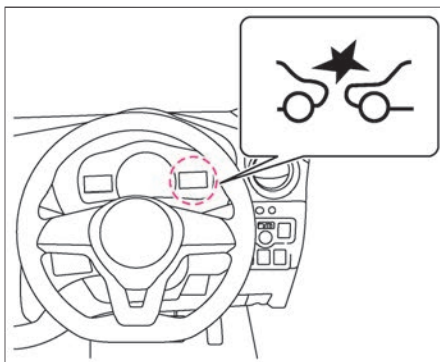


警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。
インテリジェント エマージェンシーブレーキは、前方の車両や歩行者との衝突回避操作を支援、または衝突時の被害や傷害の軽減を目的としています。あらゆる状況で効果があるわけではありません。
必ず周囲の安全確認を行い、前方車両との車間距離を十分に維持して安全運転を心がけて走行してください。

インテリジェント エマージェンシーブレーキについて

- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより前方の車両や歩行者を検知します。
- 車速約10km/h～80km/hの範囲で作動します。
(車速約60km/h以上では、歩行者に対しては作動しません。)
- 衝突するおそれがあると判断すると、警報音とともにインテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯が点滅します。
- 運転者の衝突回避操作が不十分で、衝突危険性が高まったときには、インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯が点滅し、警報音とともに、軽いブレーキが自動的にかけられます。さらに衝突危険性が高まったときには、衝突の直前に強いブレーキが自動的にかけられます。

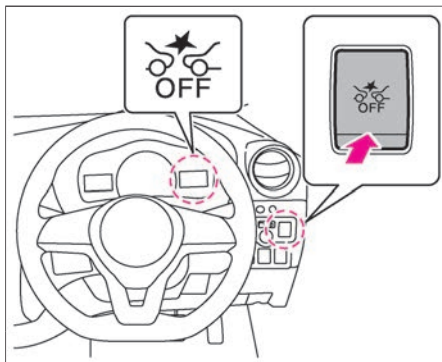


知識

- 次の場合、システムによるブレーキの作動が解除されます。
 - ー アクセルペダルを強く踏み込んだとき
 - ー ハンドルを大きく、または素早くきったとき
 - ー 前方の車両や歩行者との衝突の危険がなくなったと判断したとき
- システムによるブレーキで車両が停止したときは、車両が停止してから約2秒後にブレーキが自動的に解除されます。
- 運転者がハンドルやアクセル、ブレーキを操作している場合は、インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動が遅れる、または作動しない場合があります。
- 前方車両と自車の速度の差が小さいときは作動しません。
- システムによるブレーキが作動しているときは、制動灯が点灯します。

インテリジェント エマージェンシーブレーキの停止のしかた

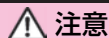
- インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストOFFスイッチを押すごとに、ON・OFFが切り替わります。
- 機能をOFFにすると、システムが停止します。
(インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストOFF表示灯が点灯)



知識

- インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストOFFスイッチで機能をOFFにしても、e-POWERシステムを再始動すると自動的にONに切り替わります。
- インテリジェント エマージェンシーブレーキをOFFにすると、踏み間違い衝突防止アシスト★もOFFになります。

インテリジェント エマージェンシーブレーキに関する注意事項



注意

- 次のような障害物は検知しません。
 - － 子供などの背の低い人、動物、自転車
 - － 夜間やトンネル内など暗い場合の歩行者
 - － 対向車両
 - － 道路構造物(ガードレール、ポールなど車両と歩行者以外の障害物)
- システムは車両の後端を認識するため、以下の例のような車両を検知しないもしくは検知できない場合があります。
 - － バンパー形状などにより、タイヤが見えにくい車両
 - － 幌がはみ出し、後端形状がはっきりしない車両
 - － 前方を横切って通過する車両
 - － 斜めもしくは前向きに止まっている車
- 次のような場合は、前方の車両、歩行者が検知できないことがあります。
 - － 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
 - － 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - － カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などが付着しているとき
 - － カメラ前方のフロントガラスが曇っているとき
 - － 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
 - － 前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
 - － 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
 - － 夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき

⚠ 注意

- － トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
- － カーブを走行しているとき
- － 勾配の変化があるところを走行しているとき
- － 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
- － 歩行者が大きな荷物を持っている、背景と同じ色の服を着ているなど人特有の輪郭が認識できないとき
- － 前方車両からの太陽光などを強く反射されたとき
- － 対象物の位置や動きが大きく変化した場合(自車の車線変更・右左折、前方車両の右左折・急ハンドル・急加速・急減速など)
- － 始動してから約15秒間のあいだ
- － カメラの視界がさえぎられているとき(フロントガラスの汚れ、油膜、虫汚れ、ワイパーブレード)
- － カメラの向きがずれているとき
- 以下の例のような周辺状況では対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。
 - － 対象物が背景と似た色合いで区別ができない場合
 - － 対象物が道路標示（道路上の横断歩道、制限速度などの標示）の近くにいる場合
 - － 対象物が路面の水たまりの付近にいる場合(周りの風景が水たまりに映りこむなど)
 - － 対象物が建物や街路樹などの影と重なっているとき
 - － 対象物と自車の間に水蒸気や煙などがあるとき
- 以下の対象物にはシステムが作動しない場合があります。
 - － 車高の低い車両
 - － 最低地上高(地面から車体までの高さ)が極端に低いもしくは極端に高い車両

⚠ 注意

- 特殊な形状の車両（タンクローリー、サイドカーなど）
- 前方の至近距離に割り込んだ車両
- 前方の至近距離に飛びだしてきた歩行者
- 自車の正面から横にずれた位置に存在する車両や歩行者
- 後端面積が小さい車両（空荷のトラックなど）
- リヤタイヤから車両後端までが長い車両
- 四輪車以外の車両（二輪車など）
- 荷台から荷物や幌がはみ出している車両
- 以下の例のような場合、衝突するおそれがある対象を正しく検出できない場合があります。
 - 複数の対象物同士が近接している場合
 - 対象となる二輪車または車高の低い車両の前方近くに車両がいる場合
- 状況によっては外部の騒音などにより、警報音が聞こえない場合があります。
- 次のような場合は、システムが機能を十分に発揮できないことがあります。
 - 滑りやすい路面を走行しているとき
 - 勾配のある路面を走行しているとき
 - 後席やラゲッジルームに極端に重い荷物を積んでいるとき
 - 外気温が低いときや走行開始直後などでブレーキが冷えているとき
 - 下り坂などでブレーキが過熱してブレーキの効が悪くなっているとき
 - 水たまり走行後や洗車後などブレーキが濡れてブレーキの効が悪くなっているとき
 - 長期間駐車などで、ブレーキの性能が十分に発揮できないとき

⚠ 注意

- － 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スペアタイヤのような非常用タイヤ、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているときや、タイヤチェーンを装着しているとき
- － 純正品以外のブレーキ部品、サスペンション部品を使用しているとき
- － 車両が傾いているとき(重い荷物を積載しているとき)
- 路面または壁面の模様・ペイントや前方の道路構造物（トンネル、高架橋、交通標識、車両脇に設置された反射器（リフレクター）、反射シート、ガードレール）などで構成される形状が、車両や歩行者の輪郭の特徴や車両のテールランプの大きさ・位置などと似通っている場合、システムが作動する場合があります。

インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動が停止するとき

- 次の場合、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯が点灯し、自動的に作動が停止します。
 - ー VDCをOFFにしたとき
- 次の場合、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯が点滅し、システムが一時的に作動しなくなります。
 - ー フロントガラスの汚れなどにより、カメラが前方を認識できなくなったとき
 - ー 前方からの強い光により、カメラが前方を認識できなくなったとき
 - ー 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき
(室内の温度が下がると、自動的に作動を復帰します。)
- システムに異常があると、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯が点灯し、システムが自動的に停止します。
警告灯 (👉P.90)



アドバイス

- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、(👉P.415)をお読みください。
- 警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。
上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
警告灯 (👉P.90)



知識

- VDCをOFFにしたときは、メーターの表示と警報音のみ作動します。
- 夜間、ライトを付けずに走行するなどで、カメラの視界が真っ暗な状態になった場合は、インテリジェント

インテリジェント エマージェンシーブレーキ★

知識

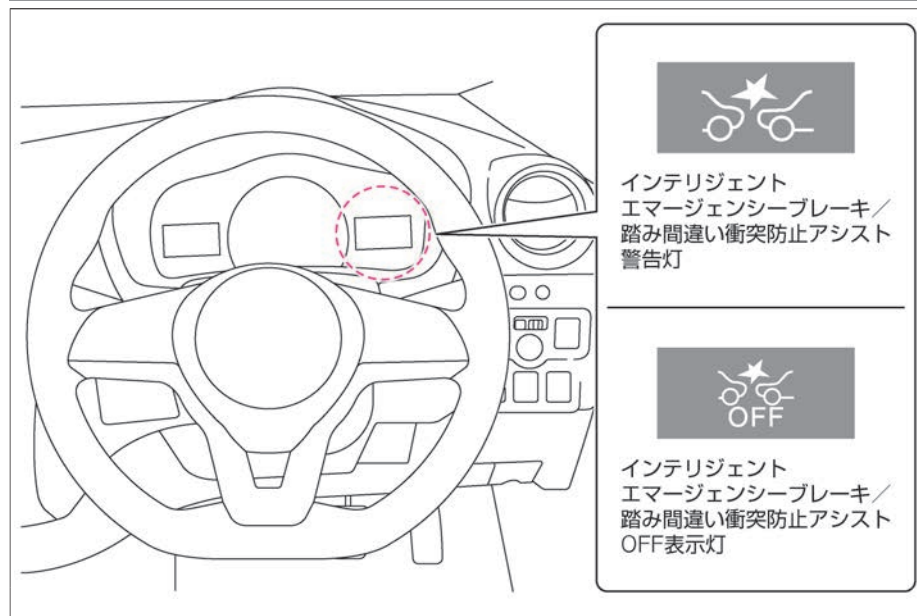
エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト★警告灯が点滅する場合があります。

踏み間違い衝突防止アシスト★

踏み間違い衝突防止アシストは、進行方向に壁などの障害物、車両や歩行者などがある場所で、駐車操作時など低速のときにアクセルペダルとブレーキペダルを間違えて踏み込む、あるいはブレーキ操作が遅れたときに運転者に音と表示で警告します。

さらに自動的にe-POWERシステムやブレーキを制御することで、過度な加速の防止や障害物への衝突防止を支援します。

システムに関連する表示



警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。

踏み間違い衝突防止アシストは、アクセルペダルとブレーキペダルを踏み間違えることにより引き起こされる暴走や衝突事故の軽減を目的とした補助機能です。あらゆる状況で効果があるわけではありません。運転者は周囲の安全確認を行い、常に注意深い運転操作を心がけて走行してください。

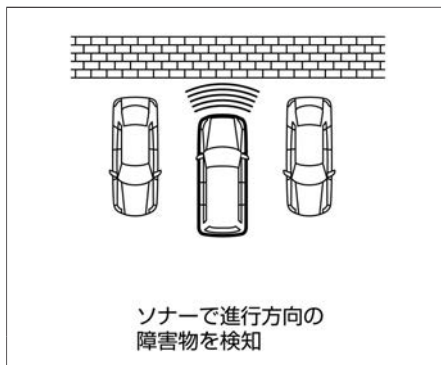
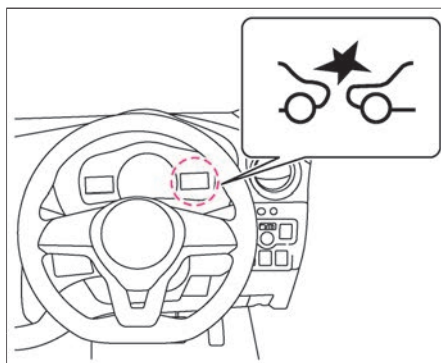
踏み間違い衝突防止アシストについて

前進時

- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより前方の車両や歩行者を検知します。
- フロントバンパーに取り付けられたソナーにより、進行方向の障害物を検知します。

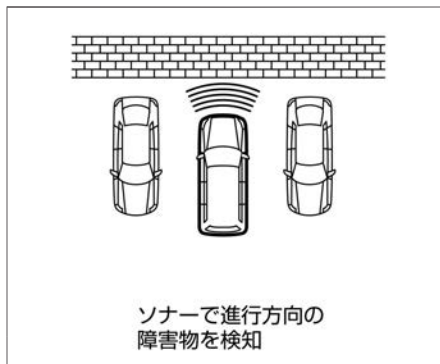
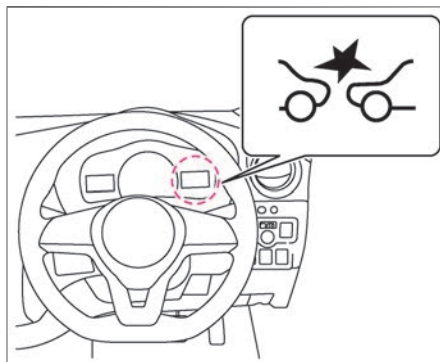
後退時

- リヤバンパーに取り付けられたソナーにより、進行方向の障害物を検知します。
- 踏み間違い衝突防止アシストには、2つの機能があります。次ページ以降をお読みください。



低速加速抑制機能

- 前進時(停車時含む)、約30km/h以下で走行中にマルチセンシングフロントカメラにより車両と歩行者を検出、もしくは約15km/h以下で走行中にソナーにより壁などの障害物を検出した場合に、アクセルペダルが必要以上に踏み込まれたとシステムが判断すると、約6秒間自動で加速を抑制したり、弱いブレーキをかけたりすることで車速が上がることを抑えます。
- 後退時(停車時含む)、約15km/h以下で走行中にバンパーに取り付けられたソナーにより進行方向に壁などの障害物を検知している場合に、アクセルペダルが素早く深く(約1/2以上)踏み込まれたとシステムが判断すると、約6秒間自動で加速を抑制したり、弱いブレーキをかけたりすることで車速が上がることを抑えます。
- 低速加速抑制機能が作動しているときは、警報音と警告灯の点滅によって運転者に警告します。
警告灯 (P.90)

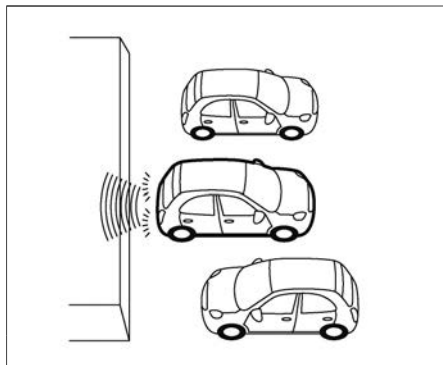
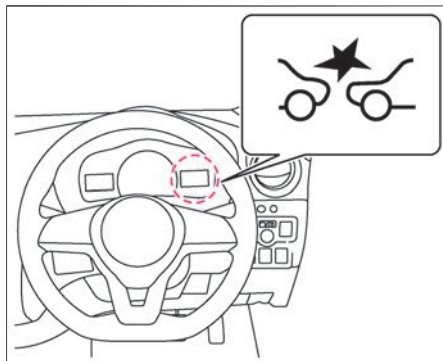


警告

- 故意にアクセルペダルを踏み込まない。
低速加速抑制機能は、アクセルペダルをゆっくりと深く踏み込んだときには作動しません。故意にアクセルペダルを踏み込まないでください。車両が急に動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。

低速衝突軽減ブレーキ機能

- 前進、後退での低速走行（約15km/h未満）中、バンパーに取り付けられたセンサーにより進行方向の障害物や前方の車両、歩行者を検知し、衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、自動的にe-POWERシステムの制御、およびブレーキをかけて衝突を回避、または被害の軽減をします。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動すると、警報音と警告灯の点滅によって運転者に警告します。
警告灯（➡P.90）



知識

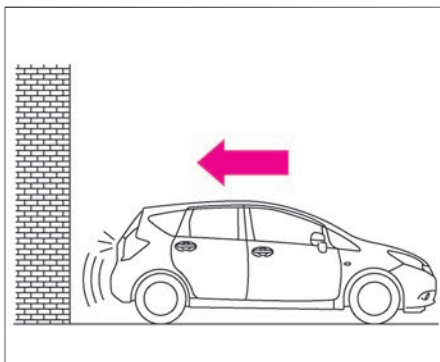
- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動したときは制動灯が点灯します。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動しているときは、作動音が聞こえることがあります。異常ではありません。

低速衝突軽減ブレーキが作動するとき・しないとき

クルマ止めのない駐車場などで、壁や前方の車両、歩行者などに衝突しそうになったとき

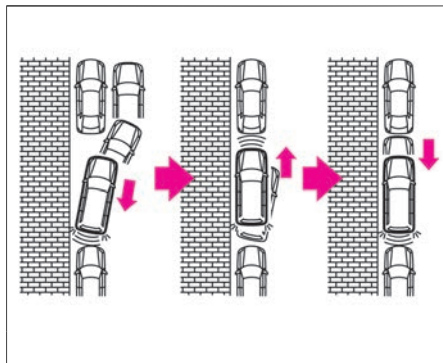
万一、運転者のブレーキ操作が遅れ、壁や前方の車両、歩行者に衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、警報音と警告灯が点滅し、自動的にブレーキをかけて衝突を回避または被害を軽減します。

- 自動ブレーキ制御が作動したあと、再び同じ障害物に近づいたときは作動しません。
- システムは、ブレーキペダルを踏みながら車両を移動する（駐車場での操作）など低速における支援を目的にしています。アクセルペダルを踏んで前進・後退する状況などでは作動が遅れ十分に機能しない場合があります。

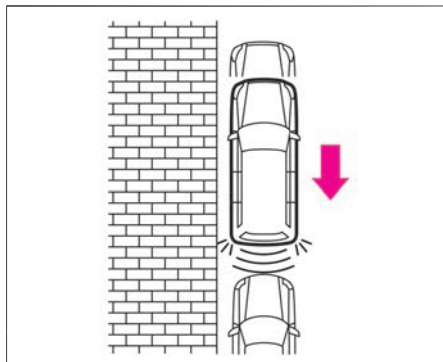


縦列駐車をするとき

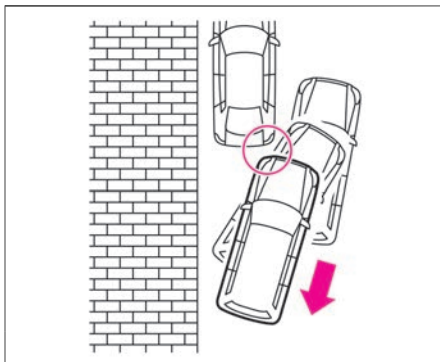
シフトポジションを **D** から **R**、または **R** から **D** に切り替えたときは、セレクトレバーの操作を繰り返すたびに進行方向の障害物を検知して自動ブレーキ制御が作動します。



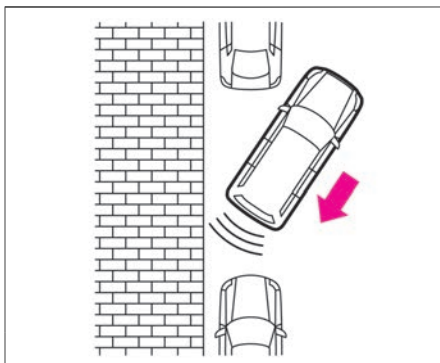
- 自動ブレーキ制御が作動したあと、シフトポジションを切り替えずにさらに同じ障害物に向かって前進、または後退をしたときは、自動ブレーキ制御は作動しません。
- アクセルペダルを踏んでいるときは作動が遅れることがあります。



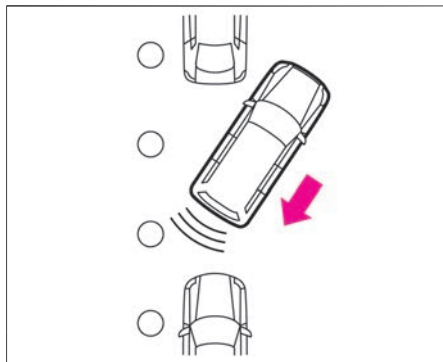
- 後退中は、前方の障害物に対しては作動しません。同様に、前進中は後方の障害物に対しては作動しません。



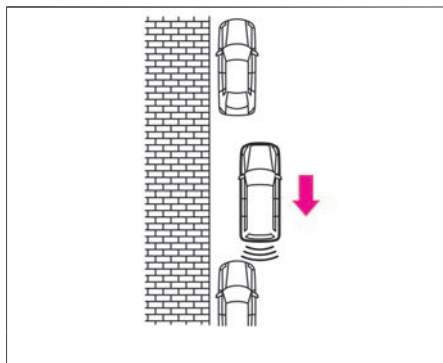
- 障害物に対し斜めに接近すると作動しないことがあります。



- 幅の狭い障害物に対しては作動しないことがあります。

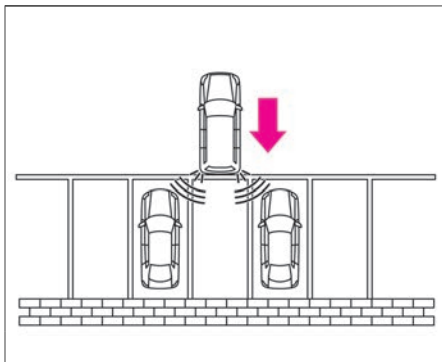


- 他の車両が自車両に対して横にずれた位置にあるときは、作動しないまたは作動が遅れることがあります。

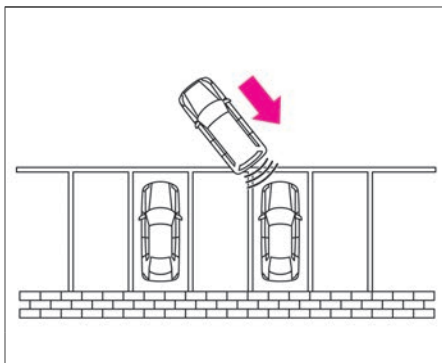


並列駐車をするとき

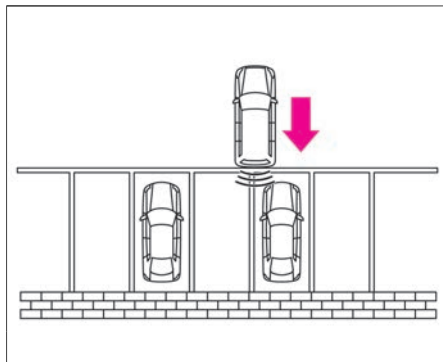
- 狭いスペースに進入するときに作動することがあります。



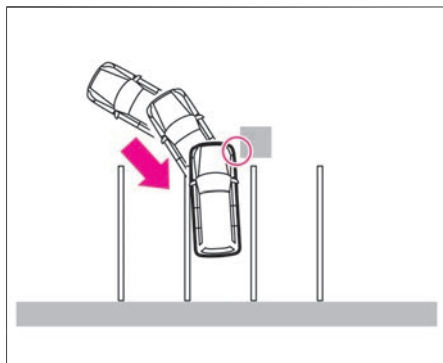
- 他の車両の角部に向かって接近したときは作動しません。



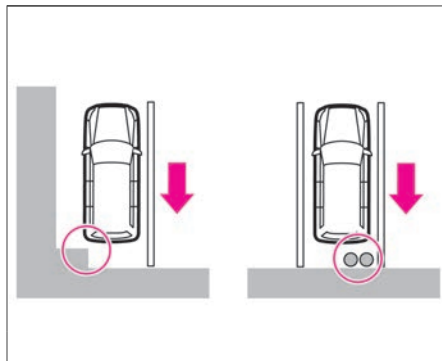
- 他の車両が自車両に対して横にずれた位置にあるときは、作動しないまたは作動が遅れることがあります。



- 後退中は、前方の障害物に対しては作動しません。同様に、前進中は後方の障害物に対しては作動しません。

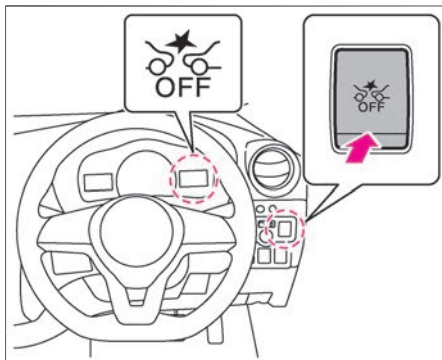


- 壁から突き出している柱や配管などに対しては作動しません。



踏み間違い衝突防止アシストの停止のしかた

- インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストOFFスイッチを押すごとにON・OFFが切り替わります。
- 機能をOFFにすると、システムが停止します。
(インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストOFF表示灯が点灯)



知識

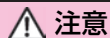
- 踏み間違い衝突防止アシストの設定は、インテリジェント エマージェンシーブレーキの設定と連動しています。
- インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストOFFスイッチで機能をOFFにしても、e-POWERシステムを再始動すると自動的にONに切り替わります。

踏み間違い衝突防止アシストに関する注意事項



注意

- 次の場合は、システムが正常に作動しなかったり、機能を十分に発揮できないことがあります。
 - － 悪天候（雨、霧、雪など）のとき
 - － 勾配が急な坂道を走行しているとき
 - － 段差などをまたいでいるときなど車両姿勢が変化しているとき
 - － 滑りやすい路面を走行しているとき
 - － ハンドルを大きくきって旋回しているとき
 - － 外気温が低いときや走行開始直後などでブレーキが冷えているとき
 - － 下り坂などでブレーキが過熱してブレーキの効が悪くなっているとき
 - － 水たまり走行後や洗車後などブレーキが濡れてブレーキの効が悪くなっているとき
 - － 長期間駐車などで、ブレーキの性能が十分に発揮できないとき
 - － 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スペアタイヤのような非常用タイヤ、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているときや、タイヤチェーンを装着しているとき
 - － 車両が傾いているとき(後席やラゲッジルームに極端に重い荷物を積んでいるとき)
- 動いている物体に対しては踏み間違い衝突防止アシストは作動しません。
- 次の場合は、予期せずシステムが作動し、思わぬ事故につながるおそれがあるため、踏み間違い衝突防止アシストをOFFにする。
 - － けん引するとき
 - － トレーラーなどに積載するとき
 - － シャシーダイナモを使用するとき



注意

- 純正品以外のサスペンション部品を使用しているとき
(車高や車両の傾きが変わると正しく障害物を検知できないことがあります)

- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

低速加速抑制機能について

- ソナーで検出した接近状態にある壁や車両などの大きな障害物に対して作動します。
車両の幅以下の障害物は検知しません。
- マルチセンシングフロントカメラで検出した衝突のおそれのある前方の車両や歩行者に対して作動します。
- 低速加速抑制機能は、運転者がアクセルペダルを戻すと解除されます。
- アクセルペダルを踏み続けた場合は、作動を開始してから約6秒後に自動的に解除されます。
- 渋滞中などで前方にいる車両を追い越すときなどに低速加速抑制機能が一時的に作動することがあります。
- 信号待ちや右折待ちなどで、車間距離の短い状態から前の車に続いて発進する際、アクセルペダルを素早く深く踏み込むと低速加速抑制機能が一時的に作動することがあります。
- 次の場合は作動しません。
 - 車速が約15km/h以上のとき（前方の車両、歩行者に対しては約30km/h以上）
 - ブレーキペダルを踏んでいるとき
 - シフトポジションが **D**、**B**、**R** 以外のとき
 - トラクションコントロールが作動しているとき
 - タイヤが空転しているとき



注意

- ソナーは次のような障害物は検知しません。
 - － 背の低い障害物
 - － 幅の狭い障害物
 - － 針金、金網、ロープなどの細い障害物
 - － バンパーに非常に近い障害物
 - － 急に進行方向に現れた障害物
- ソナーは次のような障害物は検知しないことがあります。
 - － 地面から高い位置に存在する障害物
 - － スポンジ状のものや雪などの表面が柔らかく音波を吸収しやすい障害物
- ソナーは次のような場合は検知しないことがあります。
 - － 雨、雪、氷、汚れなどがソナーに付着しているとき
 - － 周囲で大きな音が鳴っているとき
 - － 周囲に超音波を発するものがあるとき
 - － 障害物の面が車両の前面または後面に対して斜めのとき
- マルチセンシングフロントカメラは次のような障害物は検知しません。
 - － 子供などの背の低い人、動物、自転車
 - － 夜間やトンネル内など暗い場合の歩行者
 - － 対行車両
 - － 道路構造物(ガードレール、ポールなど車両と歩行者以外の障害物)
- マルチセンシングフロントカメラは車両の後端を認識するため、以下の例のような車両を検知しないもしくは検知できない場合があります。
 - － バンパー形状などにより、タイヤが見えにくい車両

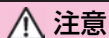
⚠ 注意

- － 幌がはみ出し、後端形状がはっきりしない車両
- － 前方を横切って通過する車両
- － 斜めもしくは前向きに止まっている車
- マルチセンシングフロントカメラは次のような場合、前方の車両、歩行者が検知できないことがあります。
 - － 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
 - － 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - － カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などが付着しているとき
 - － カメラ前方のフロントガラスが曇っているとき
 - － 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
 - － 前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
 - － 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
 - － 夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき
 - － トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
 - － カーブを走行しているとき
 - － 勾配の変化があるところを走行しているとき
 - － 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
 - － 歩行者が大きな荷物を持っている、背景と同じ色の服を着ているなど人特有の輪郭が認識できないとき
 - － 前方車両からの太陽光などを強く反射されたとき
 - － 対象物の位置や動きが大きく変化した場合（自車の車線変更・右左折、前方車両の右左折・急ハンドル・急加速・急減速など）



注意

- 始動してから約15秒間のあいだ
- カメラの視界がさえぎられているとき(フロントガラスの汚れ、油膜、虫汚れ、ワイパーブレード)
- カメラの向きがずれているとき
- マルチセンシングフロントカメラは以下の例のような周辺状況では対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。
 - 対象物が背景と似た色合いで区別ができない場合
 - 対象物が道路標示（道路上の横断歩道、制限速度などの標示）の近くにいる場合
 - 対象物が路面の水たまりの付近にいる場合(周りの風景が水たまりに映りこむなど)
 - 対象物が建物や街路樹などの影と重なっているとき
 - 対象物と自車の間に水蒸気や煙などがあるとき
- 以下の対象物にはマルチセンシングフロントカメラが対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。
 - 車高の低い車両
 - 最低地上高(地面から車体までの高さ)が極端に低いもしくは極端に高い車両
 - 特殊な形状の車両（タンクローリー、サイドカーなど）
 - 前方の至近距離に割り込んだ車両
 - 前方の至近距離に飛びだしてきた歩行者
 - 自車の正面から横にずれた位置に存在する車両や歩行者
 - 後端面積が小さい車両(空荷のトラックなど)
 - リヤタイヤから車両後端までが長い車両
 - 四輪車以外の車両(二輪車など)



注意

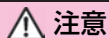
- 荷台から荷物や幌がはみ出している車両
- マルチセンシングフロントカメラは以下の例のような場合、衝突するおそれがある対象を正しく検出できない場合があります。
 - 複数の対象物同士が近接している場合
 - 対象となる二輪車または車高の低い車両の前方近くに車両がいる場合
- 状況によっては外部の騒音などにより、警報音が聞こえない場合があります。
- 路面または壁面の模様・ペイントや前方の道路構造物（トンネル、高架橋、交通標識、車両脇に設置された反射器（リフレクター）、反射シート、ガードレール）などで構成される形状が、車両や歩行者の輪郭の特徴や車両のテールランプの大きさ・位置などと似通っている場合、マルチセンシングフロントカメラが対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動する場合があります。

低速衝突軽減ブレーキ機能について

- システムの作動を待たず、すみやかにブレーキ操作を行う。
車両の状態、走行状況、交通環境、天候、路面状況などにより作動しない場合や、本来の性能を発揮できないことがあります。
- 自動ブレーキ制御が作動したあと、再び同じ障害物に近づいても作動しません。
- 自動ブレーキ制御は短時間しか作動しません。必ず運転者がブレーキペダルを踏んでください。
- 車両を停止させる場合は、必ず運転者がブレーキペダルを踏む。
低速加速抑制機能が作動したあとに低速衝突軽減ブレーキ機能が作動したときは、車両が停止してから約2秒後にブレーキが自動で解除され、車両が動き出します。
- 次の場合は作動しません。

⚠ 注意

- 車速が約2km/h未満、または約15km/h以上のとき（前方の車両、歩行者に対しては約30km/h以上）
- シフトポジションが **D**、**B**、**R** 以外のとき
- アクセルペダルを踏んだ状態で障害物に接近したときは、作動が遅れることがあります。
- 前進時は車両後方の障害物に対しては作動しません。同様に、後退時は車両前方の障害物に対しては作動しません。
- ソナーは次のような障害物は検知しません。
 - 背の低い障害物
 - 幅の狭い障害物
 - 針金、金網、ロープなどの細い障害物
 - バンパーに非常に近い障害物
 - 急に進行方向に現れた障害物
- ソナーは次のような障害物は検知しないことや作動が遅れることがあります。
 - 地面から高い位置に存在する障害物
 - スポンジ状のものや雪など表面が柔らかく音波を吸収しやすい障害物
- ソナーは次のような場合は検知しないことがあります。
 - 雨、雪、氷、汚れなどがソナーに付着しているとき
 - 周囲で大きな音が鳴っているとき
 - 周囲に超音波を発するものがあるとき
 - 障害物の面が車両の前面、または後面に対して斜めのとき
- ソナーは次のような場合は検知することがあります。



注意

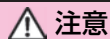
- － 周囲に草が生い茂っているとき
- － 車両側面の近くに壁があるとき
- － 路面上に段差や突起物があるとき
- － 垂れ下がった旗、ビニールカーテンなどをくぐって走行するとき
- － 車両周辺に雪のかたまりがあるとき
- － 他車のソナーなど超音波を発生するものが付近にいたとき
- マルチセンシングフロントカメラは次のような障害物は検知しません。
 - － 子供などの背の低い人、動物、自転車
 - － 夜間やトンネル内など暗い場合の歩行者
 - － 対向車両
 - － 道路構造物(ガードレール、ポールなど車両と歩行者以外の障害物)
- マルチセンシングフロントカメラは車両の後端を認識するため、以下の例のような車両を検知しないもしくは検知できない場合があります。
 - － バンパー形状などにより、タイヤが見えにくい車両
 - － 幌がはみ出し、後端形状がはっきりしない車両
 - － 前方を横切って通過する車両
 - － 斜めもしくは前向きに止まっている車
- マルチセンシングフロントカメラは次のような場合、前方の車両、歩行者が検知できないことがあります。
 - － 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
 - － 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - － カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などが付着しているとき

⚠ 注意

- カメラ前方のフロントガラスが曇っているとき
 - 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
 - 前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
 - 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
 - 夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき
 - トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
 - カーブを走行しているとき
 - 勾配の変化があるところを走行しているとき
 - 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
 - 歩行者が大きな荷物を持っている、背景と同じ色の服を着ているなど人特有の輪郭が認識できないとき
 - 前方車両からの太陽光などを強く反射されたとき
 - 対象物の位置や動きが大きく変化した場合(自車の車線変更・右左折、前方車両の右左折・急ハンドル・急加速・急減速など)
 - 始動してから約15秒間のあいだ
 - カメラの視界がさえぎられているとき(フロントガラスの汚れ、油膜、虫汚れ、ワイパーブレード)
 - カメラの向きがずれているとき
- マルチセンシングフロントカメラは以下の例のような周辺状況では対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。
- 対象物が背景と似た色合いで区別ができない場合
 - 対象物が道路標示（道路上の横断歩道、制限速度などの標示）の近くにいる場合

⚠ 注意

- 対象物が路面の水たまりの付近にいる場合(周りの風景が水たまりに映りこむなど)
- 対象物が建物や街路樹などの影と重なっているとき
- 対象物と自車の間に水蒸気や煙などがあるとき
- 以下の対象物にはマルチセンシングフロントカメラが対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。
 - 車高の低い車両
 - 最低地上高(地面から車体までの高さ)が極端に低いもしくは極端に高い車両
 - 特殊な形状の車両(タンクローリー、サイドカーなど)
 - 前方の至近距離に割り込んだ車両
 - 前方の至近距離に飛びだしてきた歩行者
 - 自車の正面から横にずれた位置に存在する車両や歩行者
 - 後端面積が小さい車両(空荷のトラックなど)
 - リヤタイヤから車両後端までが長い車両
 - 四輪車以外の車両(二輪車など)
 - 荷台から荷物や幌がはみ出している車両
- マルチセンシングフロントカメラは以下の例のような場合、衝突するおそれがある対象を正しく検出できない場合があります。
 - 複数の対象物同士が近接している場合
 - 対象となる二輪車または車高の低い車両の前方近くに車両がいる場合
- 状況によっては外部の騒音などにより、警報音が聞こえない場合があります。
- 路面または壁面の模様・ペイントや前方の道路構造物(トンネル、高架橋、交通標識、車両脇に設置された反射器(リフレクター)、反射シート、ガードレール)など



注意

で構成される形状が、車両や歩行者の輪郭の特徴や車両のテールランプの大きさ・位置などと似通っている場合、マルチセンシングフロントカメラが対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動する場合があります。

踏み間違い衝突防止アシストの作動が停止するとき

- 次の場合、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯が点灯し、自動的に作動が停止します。
ー VDCをOFFにしたとき
- インテリジェント エマージェンシーブレーキが一時的に作動できなくなったときは、インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯が点滅し、踏み間違い衝突防止アシストも一時的に作動しなくなります。
詳しくは、**➡ インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動が停止するとき** (P.250)をお読みください。
- システムに異常があると、インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯が点灯し、システムが自動的に停止します。
警告灯 (➡ P.90)



アドバイス

- システムを正しく作動させるためにソナーはいつもきれいにしておいてください。ソナーの取り扱いについては、(➡ P.418)をお読みください。
- 警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。
上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
警告灯 (➡ P.90)

LDW（車線逸脱警報）★／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）★

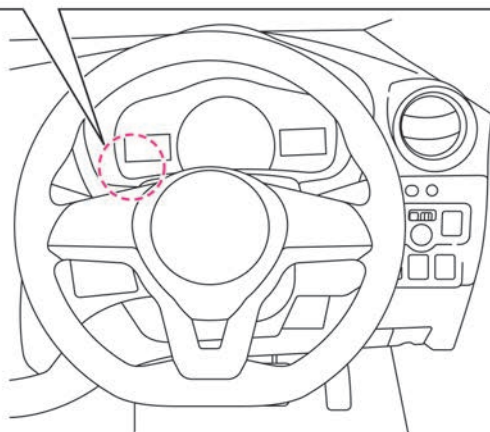
LDW（車線逸脱警報）は、運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなき、警報によって注意を促します。

インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）は、運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなき、運転者が車線内に戻す操作を支援します。

システムに関連する表示



LDW（車線逸脱警報）／
インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）警告灯



警告

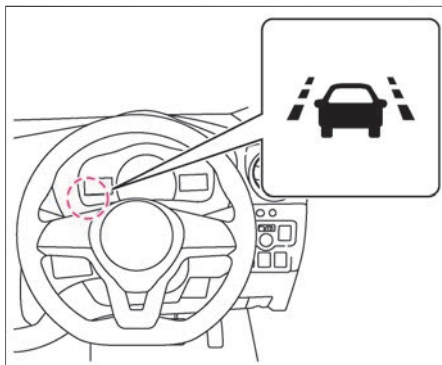
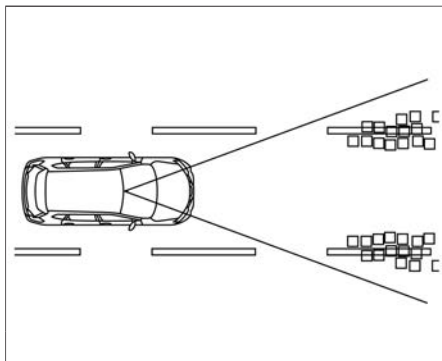
- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。

LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）は、協見運転やぼんやり運転などの前方不注意および雨、霧などの視界不良による危険を回避するものではありません。周囲の状況に応じてハンドル操作を行い、常に安全運転に心がけてください。

LDW（車線逸脱警報）について

- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより走行車線のレーンマーカを検知します。
- 車速約60km/h以上で作動します。
- 走行車線の右側もしくは、左側のレーンマーカに近づいたと判断すると、警報音とともにメーター内のLDW（車線逸脱警報）警告灯が点滅します。

レーンマーカとは、走行車線の右側もしくは左側に引かれた線のことを示します。



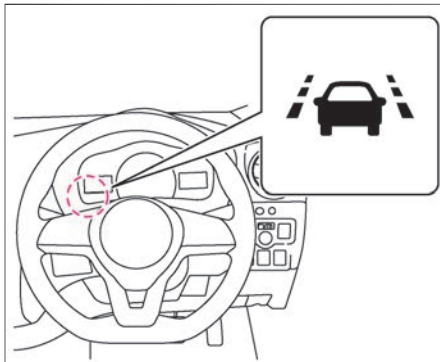
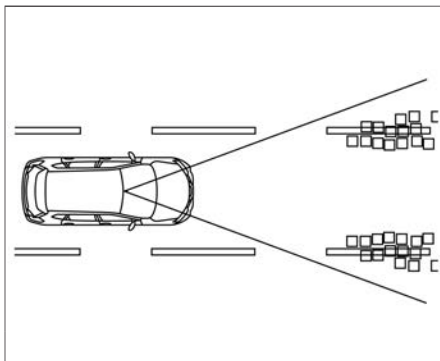
知識

- 方向指示器を作動させている場合は警報を行いません。
（方向指示器を解除したあと、約2秒間は警報を行いません）

インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）について

- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより走行車線のレーンマーカを検知します。
- 車速約60km/h以上で作動します。
- 走行車線の右側もしくは、左側のレーンマーカに近づいたと判断すると、警報音とともにメーター内のインテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）警告灯が点滅します。
同時にブレーキを短時間制御し、車両を車線内に戻す方向に制御力を短時間発生させて車両を車線内に戻す操作を促します。

レーンマーカとは、走行車線の右側もしくは左側に引かれた線のことを示します。



知識

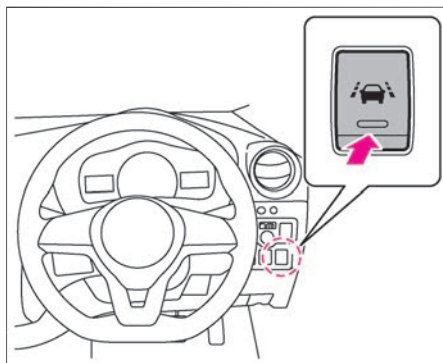
- 方向指示器を作動させている場合は警報もブレーキ制御も行いません。
（方向指示器を解除したあと、約2秒間は作動しません）

LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）の使いかた

LDW（車線逸脱警報）

インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）付車

- インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）がOFFの状態（スイッチ表示が消灯している状態）のときに、LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）スイッチを長押し（約4秒間）すると、ON・OFFが切り替わり、スイッチの表示灯が3回点滅します。
 - － ONにすると、“ピッ、ピッ、ピッ、ピッ”と4回ブザー音が鳴ります。
 - － OFFにすると、“ピー”と1回ブザー音が鳴ります。



ブザー音	ON・OFF状態
4回	ON
1回	OFF

知識

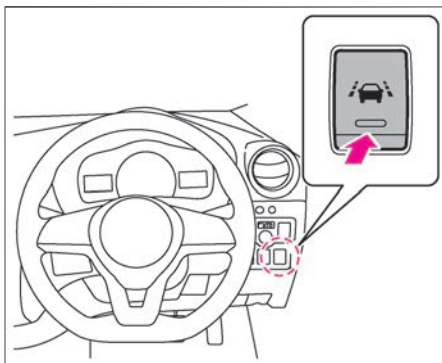
インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）付車

- e-POWERシステムをONにしたときにLDW（車線逸脱警報）がONの場合は、スイッチ表示灯が約4秒間点灯します。LDW（車線逸脱警報）がOFFの場合は、消灯のままです。
- 設定は、e-POWERシステムを再始動しても維持されます。

LDW（車線逸脱警報）★／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）★

インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）無車

- LDW（車線逸脱警報）スイッチ／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）スイッチを押すごとにON・OFFが切り替わります。
- 設定をONにすると、スイッチの表示灯が点灯します。

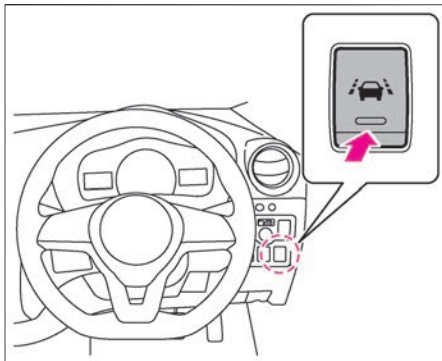


知識

- 設定は、e-POWERシステムを再始動しても維持されます。

■ インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）

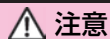
- LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）スイッチを押すごとにON・OFFが切り替わります。
- 設定をONにすると、スイッチの表示灯が点灯します。



知識

- e-POWERシステムを停止するとインテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）は自動的にOFFになります。

LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）に関する注意事項



注意

- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがあるため、インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）を使用しないでください。
 - － 悪天候（雨、雪、霧など）のとき
 - － 凍結路や積雪路など滑りやすい路面を走行するとき
 - － 急なカーブ、急な上り坂・下り坂が繰り返されるとき
 - － 工事中の道路や車線規制がある道路を走行するとき
 - － 車線の幅が狭い道路を走行するとき
 - － 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スペアタイヤ、タイヤチェーンを装着しているときや、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているとき
 - － 純正品以外のブレーキ部品、サスペンション部品を使用しているとき
- 次のような状況では、レーンマーカを正確に検出できず、適切な作動ができない場合があります。
 - － 検出しにくいレーンマーカ（不明瞭なレーンマーカ、黄色のレーンマーカ、一般的でないレーンマーカ、水たまり・汚れ・雪などで隠れているレーンマーカ）がある道路を走行するとき
 - － 急なカーブのある道路を走行するとき
 - － 消されたレーンマーカがまだ見えている道路を走行するとき
 - － 道路の上に影、雪、水たまり、わだち、道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき（これらのものをレーンマーカとして検出して警報する場合があります。）
 - － 車線の分岐・合流のある道路を走行したとき
 - － 自車がレーンマーカに対してまっすぐに走行していないとき

次ページに続く

 注意

- － 先行車との車間距離が短く、カメラの検出範囲が遮られるとき
 - － 雨、雪、汚れなどがフロントガラスに付着しているとき
 - － 汚れなどでヘッドランプの明るさが不十分なときやヘッドランプの光軸調整が適切に行われていないとき
 - － 前方から強い光（太陽光など）を受けているとき
 - － 急な明るさの変化が起こったとき（トンネルの出入り口など）
- 状況によっては外部の騒音などにより、警報音が聞こえない場合があります。

■ 作動が停止するとき

LDW（車線逸脱警報）

- 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったときは、LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）スイッチの表示灯が点滅し、一時的に作動が停止します。（室内の温度が下がると、自動的に作動を復帰します。）
- システムに異常があると、メーター内のLDW（車線逸脱警報）警告灯が点灯し、システムが自動的に停止します。
警告灯（➡P.89）

インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）

- 次の場合は、“ポー”というブザー音とともに警告灯が表示され、自動的に作動を解除します。
 - － ABSまたはVDC（トラクションコントロールは含まない）が作動したとき
 - － VDCをOFFにしたとき
 システムを再び作動させる場合は、解除されたときの状態が改善されてから一度スイッチをOFFにし、再度LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）スイッチをONにしてください。
- 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったときは、LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）スイッチの表示灯が点滅し、一時的に作動が停止します。（室内の温度が下がると、自動的に作動を復帰します。）
- システムに異常があると、メーター内のインテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）警告灯が点灯し、システムが自動的に停止します。
警告灯（➡P.89）



アドバイス

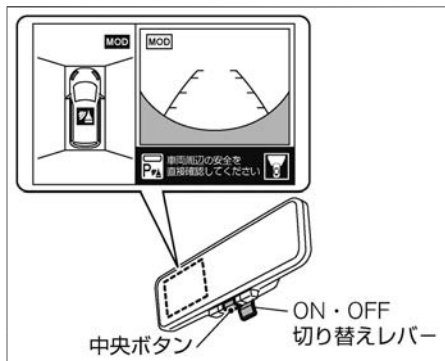
- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、（➡P.415）をお読みください。
- 警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。
e-POWERシステム再始動後も点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
警告灯（➡P.89）

インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能付）★

インテリジェント アラウンドビューモニターは、自車位置を映し出すことにより、駐車スペースへの駐車時や縦列駐車時に運転者を補助します。

インテリジェント アラウンドビューモニターについて

- インテリジェント アラウンドビューモニターはインテリジェント ルームミラーに表示されます。
- パワースイッチがONのときに、インテリジェント ルームミラーのON・OFF切り替えレバーを手前に引き、中央ボタンを押すか、シフトポジションを **R** にすると表示します。



警告

- **インテリジェント アラウンドビューモニターの機能を過信しない。**
インテリジェント アラウンドビューモニターは障害物などの確認を補助するシステムです。車両の操作をするときは、周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。特に車両の四隅は、トップビュー、フロントビュー、リヤビューに障害物が映らない死角になります。必ず窓から目視し、安全を確認してから車両を操作してください。常に低速で車両を移動させてください。
- **実際の距離感を間違えないように注意する。**
インテリジェント アラウンドビューモニターに映し出される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。

知識

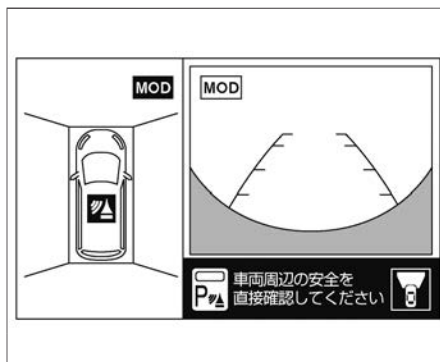
- インテリジェント ルームミラーの設定で、インテリジェント アラウンドビューモニター画面位置を切り替えることができます。



- ➡ インテリジェント アラウンドビュー
モニター画面位置の切り替えかた (P.140)

インテリジェント アラウンドビューモニターの使いかた

- インテリジェント ルームミラーがインテリジェント ルームミラーモードの時に使用できます。（➡P.135）
- シフトポジションを **R** にするとインテリジェント アラウンドビューモニターがONになり、トップビュー（左側画面）／リヤビュー（右側画面）を表示します。シフトポジションを **R** から他の位置にすると、インテリジェント アラウンドビューモニターがOFFになります。
- シフトポジションが **D** または **B** のときに、ソナーが障害物を検知したときはインテリジェント アラウンドビューモニターがONになり、トップビュー（左側画面）／フロントビュー（右側画面）を表示します。障害物の検知がなくなると、インテリジェント アラウンドビューモニターはOFFになります。
- インテリジェント ルームミラーの中央ボタンを押すとインテリジェント アラウンドビューモニターがONになり、トップビュー（左側画面）／フロントビュー（右側画面）を表示します。
- インテリジェント ルームミラーのON・OFF切り替えレバーを車両前方側へ倒すと、インテリジェント アラウンドビューモニターがOFFになります。



警告

- ドアミラーを格納した状態で使用しない。
適切な範囲を映すことができません。また使用するときは、バックドアが確実に閉まっているか確認してください。

知識

- 中央ボタンを押すことで、左側画面を切り替えることができます。（トップビュー→サイドブラインドビュー→インテリジェント アラウンドビューモニターOFF）
- 右側画面にフロントビューが表示されているときにシフトポジションを **R** にすると、リヤビューに切り替わります。シフトポジションを **R** から他の位置にすると、再度、フロントビューに切り替わります。

3分タイマー機能

- インテリジェント ルームミラーの中央ボタンを押してインテリジェント アラウンドビューモニターを表示させてから、約3分後に自動的にインテリジェント アラウンドビューモニターの表示が消える機能です。シフトポジション

 知識

が**R**以外のときに作動します。（ただし、タイマー作動中に中央ボタンを押すとタイマーがリセットされます。）

画面の見かた

①左側画面

- トップビューまたはサイドブラインドビューを表示します。

②移動物 検知機能作動状態アイコン

- どちらのビューで移動物 検知機能が作動するかを表します。

-  : 移動物 検知機能が作動します
-  : 移動物 検知機能が作動しません

③右側画面

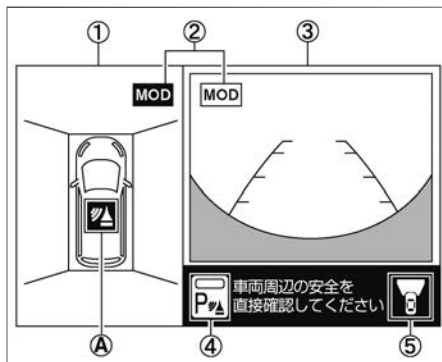
- シフトポジションが **R** のときはリヤビューを、**R** 以外のときはフロントビューを表示します。

④ソナーインジケータ

- ソナー機能のONまたはOFFを表します。ソナー機能がONのときはソナーインジケータが点灯し、OFFのときは消灯します。

⑤方向指示アイコン

- 右側画面の映している方向を表します。
-  : リヤビュー表示
-  : フロントビュー表示



知識

- パワースイッチをONにしてから初めてインテリジェント アラウンドビューモニターを表示したときに、アイコン②の色と点滅（約3秒間）で、ソナーの作動状況を表します。
 - 赤色に点滅：ソナーON
 - 灰色に点滅：ソナーOFF（ソナーをOFFにした直後も点滅します。）
- 表示しているビューで映している範囲でのみ移動物 検知機能が作動します。例えば、リヤビューで移動物 検知機能を作動させている場合には、車両前方の移動物は検知しません。

画面表示の種類について

■ フロントビュー／リヤビュー

- 車両の前方／後方の映像をインテリジェントアラウンドビューモニター右側画面に表示します。

距離目安ライン

- 車体からの距離の目安を表示します。
 - － ①赤色：約0.5m
 - － ②黄色：約1m
 - － ③緑色：約2m
 - － ④緑色：約3m

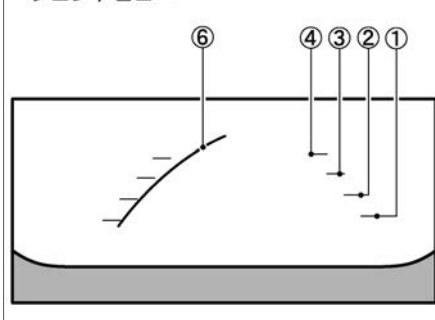
⑥車幅目安ライン

- 車幅の目安を示します。

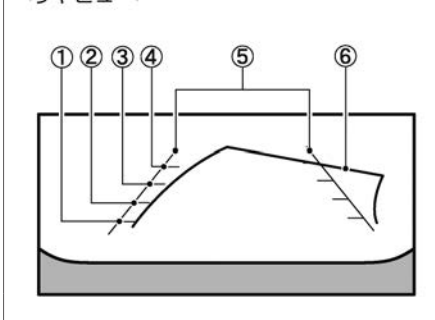
⑥予想進路線

- 運転操作時に予想進路を示します。予想進路線は、ハンドルを切ったときに表示されます。予想進路線はハンドルを切った角度に応じて移動し、ハンドルを中立位置にすると表示されなくなります。
- フロントビューは、車速が10km/hを超えると表示されなくなります。

<フロントビュー>



<リヤビュー>



⚠ 警告

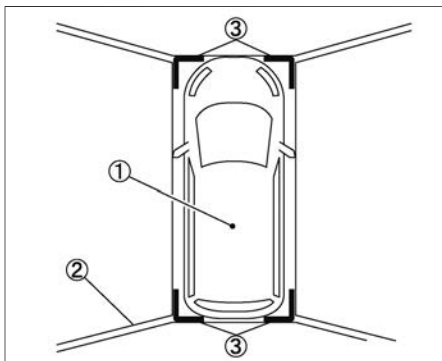
- リヤビューに表示される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。

🚗 アドバイス

- フロントビューが表示されているときに、中立位置から約90度の範囲内でハンドルを切ると、予想進路線が左右に表示されます。約90度以上ハンドルを切ると、予想進路線はハンドルを切った方向とは逆方向にのみ表示されます。
- リヤビューモニターの映像は、ルームミラーやドアミラーで見ると同様に左右反転させた映像です。
- 雪道や滑りやすい路面では、予想進路線と実際の進路が異なることがあります。
- リヤビューカメラは車幅の中心よりずれた位置に取り付けられているため、リヤビューの表示は多少右にずれて見えます。

■ トップビュー

- 自車位置や駐車スペースへの進入コースが分かりやすい、車両を上から見たような映像をインテリジェント アラウンドビューモニター左側画面に表示します。
- 車両アイコン①は、自車位置を示しています。トップビューに表示される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。カメラでは撮影できない領域トップビュー境目②は、黒色で表示されます。
- パワースイッチをONにし、トップビューを表示すると、トップビュー境目②と撮影されないコーナー部分③は、約3秒間黄色で強調表示されます。ソナーがOFFのとき、撮影されないコーナー部分③は赤色で表示されます。



⚠ 警告

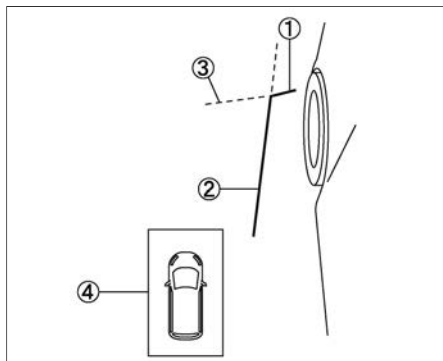
- ドアミラー、車両前方、車両後方に装着されているカメラからの映像を組み合わせ処理した疑似的な映像のため、トップビューは障害物を実際より遠く映します。
- 囲いや車両といった高さのある障害物は、映像の継ぎ目で位置がずれたり、表示されないことがあります。
- カメラの高さよりも上にある障害物は表示されません。
- トップビューの映像は、カメラの位置が変化するとずれることがあります。
- 路上の線は映像の継ぎ目でずれたり、曲がって見えたりすることがあります。ずれは、車両から遠ざかるにつれて大きくなります。

■ サイドブラインドビュー

- 車両の左側前輪付近から前方を、インテリジェント アラウンドビューモニター左側画面に表示します。道路端への幅寄せ駐車などに便利です。

目安ライン

- モニターには車幅と車両の前輪を示す目安ラインが表示されます。
 - － 前端目安ライン①は、車両前部の位置の目安を示します。
 - － 側方目安ライン②は、ドアミラーを含めた車幅の目安を示します。
 - － 前端目安ライン①と側方目安ライン②の延長線③は、緑色の破線で表示します。



⚠ 注意

- カメラから汚れや雪を取り除くときに、カバーに傷をつけないように注意してください。
- 方向指示器の光が側方目安ラインと重なる場合がありますが、異常ではありません。

ソナー表示

- サイドブラインドビューを表示させると、ソナー表示④を表示します。

移動物 検知機能について

- 車庫入れや駐車場からの発進時などに自車周辺の移動物を運転者にお知らせすることで、安全確認をサポートする機能です。
- 車両周辺に移動物があるときに、音と黄枠を表示してお知らせします。
- トップビューに **MOD** 表示がある場合には移動物を検知したエリア（前後左右）に黄枠を表示します。
- 移動物 検知機能は以下の条件のとき、**MOD** が表示されている画面で作動します。
 - － シフトポジションが **P** または **N** で停車しているときに、トップビュー側で作動します。
 - － シフトポジションが **D** で車速約8km/h以下のときに、フロントビューで作動します。
 - － シフトポジションが **R** で車速約8km/h以下のときに、リヤビューで表示します。



注意

- 車両の操作をするときは、周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。



知識

- ソナーブザーが鳴っている場合は移動物 検知機能ブザーは鳴りません。
- サイドブラインドビューには移動物 検知機能がないため、**MOD** アイコンを表示しません。

インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能付）★

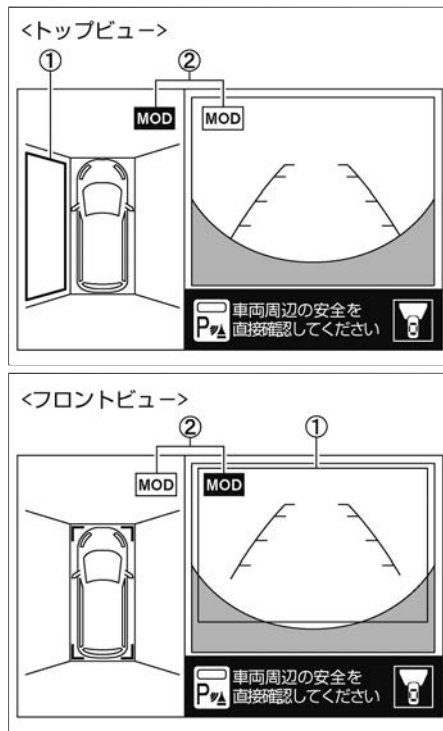
画面の見かた

①移動物 検知表示

- 移動物 検知機能で移動物を検知したときに、黄枠でお知らせします。

②移動物 検知機能作動状態アイコン

- 移動物 検知機能を作動させる側の画面のアイコンを青色で表示します。
 - MOD : 移動物 検知機能が作動します
 - MOD : 移動物 検知機能が作動しません

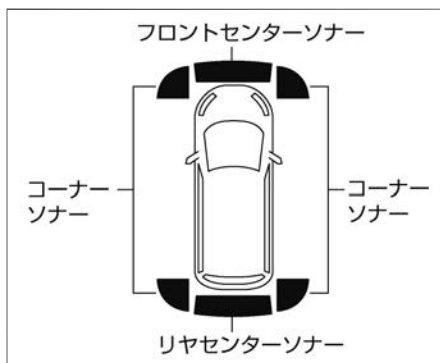


知識

- 以下の場合には移動物 検知機能は作動しません。
 - 車速やシフトポジションが移動物 検知機能の作動条件から外れている場合
 - トップビューによる移動物 検知機能作動中でいずれかのドアが開いている場合
 - リヤビューによる移動物 検知機能作動中でバックドアが開いている場合
- トップビューによる移動物 検知機能作動中で電動格納ミラーが作動していると、誤検知する場合があります。

ソナー機能について

- インテリジェント ルームミラーがインテリジェント ルームミラーモードのとき、車速約10km/h以下で前進中にソナーが障害物を検知した場合は、自動的にインテリジェント アラウンドビューモニター画面に切り替わり、ソナー表示とブザーでお知らせします。
- ソナー表示はトップビューまたはサイドブラインドビュー画面に表示されます。



⚠ 注意

- 気温や天候、路面状態などの周囲の状況や、障害物が動いていたり小さい場合にはセンサーが検知できないことがあります。必ず周囲の安全を確認してから運転してください。
- センサーは前後バンパーについています。バンパーには、ステッカーを貼ったりアクセサリなどを取り付けないでください。
- バンパーに凹みなどがあると正確な距離が測定できず、誤検知する場合があります。
- 適正なタイヤの空気圧を維持してください。誤警報や誤操作の原因になります。

インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能付）★

■ コーナーソナー

障害物までの距離（目安）	60～50cm	50～30cm	30cm以下
表示色	緑	黄	赤
表示点減速度	遅い	早い	点灯
ブザー音	ピッ、ピッ、ピッ…	ピピピピピ…	ピー

■ フロントセンターソナー

障害物までの距離（目安）	100～70cm	70～50cm	50～30cm	30cm以下
表示色	緑	緑	黄	赤
表示点減速度	遅い	遅い	早い	点灯
ブザー音	無し	ピッ、ピッ、ピッ…	ピピピピピ…	ピー

■ リヤセンターソナー

障害物までの距離（目安）	150～70cm	70～30cm	30cm以下
表示色	緑	黄	赤
表示点減速度	遅い	早い	点灯
ブザー音	ピッ、ピッ、ピッ…	ピピピピピ…	ピー

次ページに続く

■ ソナー表示色

- ソナー表示の色は、障害物に近づくにしたがって、緑、黄、赤と変化します。ソナーの表示の色と距離目安線とでは障害物までの距離は異なります。

■ ブザー音

- 障害物との距離が近づくにしたがって、断続音の間隔が短くなります。表示が赤の場合は連続音になります。
- 障害物との距離が広がった場合は断続音が消え、ソナー表示のみとなります。
- フロントソナーが検知したときは低音、バックソナーが検知したときは高音でお知らせします。
- コーナーソナーが検知したときは障害物との距離が3秒間変わらない場合は断続音は消え、ソナー表示のみとなります。

■ ソナー機能OFF

- カメラ画面表示中にインテリジェント ルームミラーの中央ボタンを長押し（約3秒間）すると、ソナー機能がOFFになります。再度中央ボタンを長押し（約3秒間）するとONになります。

■ ソナーによるカメラ画面の自動表示機能

- シフトポジションが **D** かつ車速約10km/h以下でカメラが表示されていない場合に、車両前方の障害物を検知した場合はインテリジェント アラウンドビューモニター画面を自動で表示します。
- 障害物がなくなると、自動的にインテリジェント アラウンドビューモニターはOFFになります。
- インテリジェント ルームミラーの中央ボタンを操作した場合には戻りません。

 警告

- カメラはフロントグリル中央部、ドアミラー、リヤナンバープレート上部に装着されています。作動を妨げるような物をカメラ部分に取り付けしないでください。字光式ナンバープレートを装着すると、リヤビューモニターの映像が一部映らなくなることがあります。
- 距離目安ラインと車幅目安ラインは、舗装された平坦な路面上での目安として使用してください。画面に表示される距離は目安であり、自車と映し出されている障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。
- 目安ラインや予想進路線は、乗車人数や燃料の容量などの影響により実際の距離と異なることがあります。目安としてお使いください。
- サイズが異なるタイヤと交換すると、予想進路線とトップビューが不適切に表示されることがあります。
- 上り坂では、モニターに表示される障害物は実際よりも遠くにあるように見えます。下り坂では、モニターに表示される障害物は実際よりも近くにあるように見えます。ミラーを併用するか、目視によって正確な距離を判断してください。

 注意

- フロントビューおよびリヤビューの表示線は、路面の状況により障害物への距離が実際と異なって見えることがあります。特徴をよく理解してください。
- カメラに汚れ、雨、雪が付着すると、映像の映りが悪くなることがあります。カメラを清掃してください。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどを使用してカメラを清掃しないでください。変色する原因となります。中性洗剤を薄めて含ませた布でふき取ったあと、乾いた布でふいてください。
- モニター映像に悪影響が生じるため、カメラに傷をつけないよう注意してください。



注意

- カメラにはワックスを使用しないでください。中性洗剤を薄めて含ませた清潔な布でワックスをふき取ってください。



知識

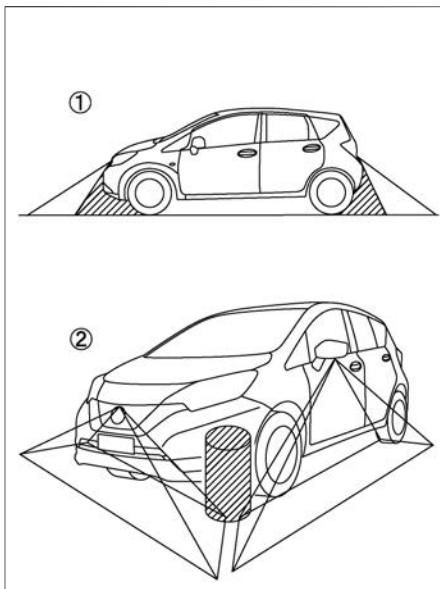
- カメラレンズの特性により、画面上の距離と実際の距離が異なって見えたり、対象物が変形して見えることがあります。車幅目安ラインと予想進路線は、実際の車幅と進路よりも広がっています。
- シフトポジションが **R** 以外 のとき、インテリジェント ルームミラーの中央ボタンを押してインテリジェント アラウンドビューモニターを表示させたあと、約3分間操作を行わないでいると、自動的にインテリジェント アラウンドビューモニター表示が消えます（3分間タイマー機能）。
- 画面の切り替わり後は、映像の表示が遅れることがあります。インテリジェント アラウンドビューモニターが完全に表示されるまでは、映像が一時的にゆがむことがあります。
- 外気温が極端に高いか、低いときは、映像の映りが悪くなるがありますが、異常ではありません。
- カメラに直接強い光を当てると、映像の映りが悪くなるがありますが、異常ではありません。
- 蛍光灯照明が当たると、映像にちらつきが出るがありますが、異常ではありません。
- インテリジェント アラウンドビューモニター映像の色味は、実際とはわずかに異なって見えることがあります。

 知識

- 暗い所や夜間時には映りが悪くなり、色味が異なって見えることがあります、異常ではありません。
- トップビューの各カメラの映像に鮮明さの違いが生じることがあります。
- トップビューの画像は、4つのカメラからの映像を加工処理して表示するため、次のように表示される場合があります。
 - ー 立体物が倒れこんで見える
 - ー 路面よりも高い位置にある車両などが実際より遠くに見える
 - ー 高さのあるものが画像の継ぎ目でずれて表示される
 - ー 各カメラ画像の明るさが違う

映し出す範囲

- 特定の領域は、カメラに映し出されません。フロントビューまたはリヤビューでは、バンパー下側または地上面の部分は表示されないことがあります①。トップビューではカメラの映し出す範囲の境目付近にあるもの、路面より高さのあるものは表示されないことがあります②。

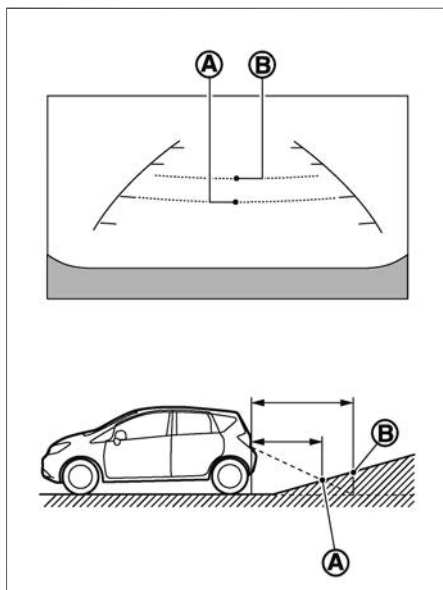


映像と実際の路面との誤差

- フロントビューとリヤビューに表示される距離目安ラインと車幅目安ラインは、舗装された平坦な路面上での目安として使用してください。画面に表示される距離はあくまでも目安であり、自車と映し出されている障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。

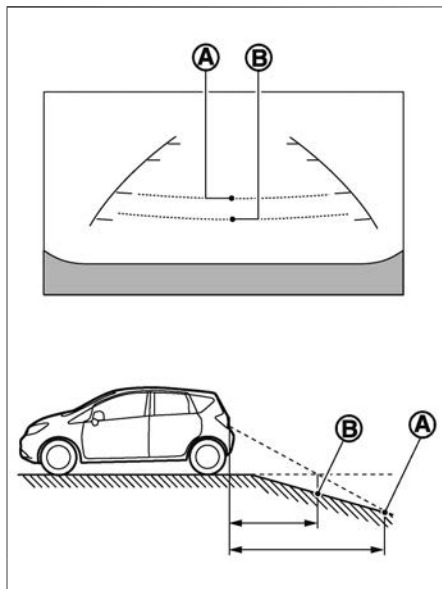
急な上り坂が後方にあるとき

- 距離目安ライン、車幅目安ラインは実際の距離よりも手前に表示されます。例えば、位置①までの距離が1mと表示されていても、実際に1mの距離にあるのは、位置②です。上り坂に障害物があるときは、障害物は実際よりも遠くに見えるようになります。



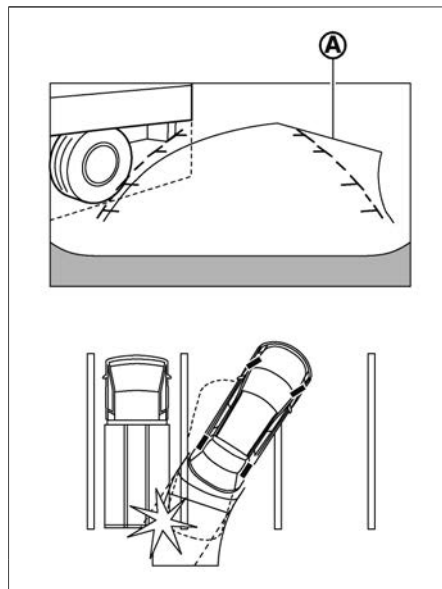
急な下り坂が後方にあるとき

- 距離目安ラインと車幅目安ラインは実際の距離よりも後ろに表示されます。例えば、位置①までの距離が1mと表示されていても、実際に1mの距離にあるのは、位置②です。下り坂に障害物があるときは、障害物は実際よりも近くにあるように見えます。



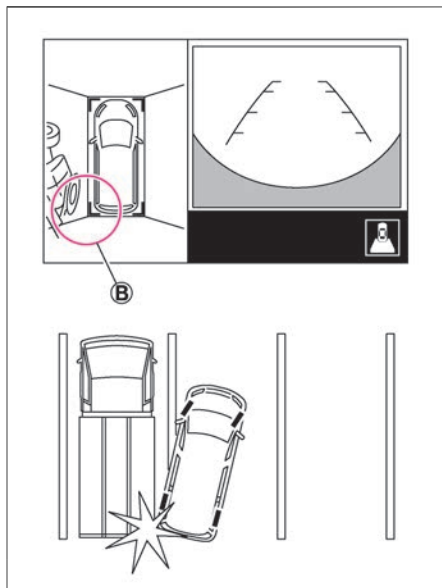
立体物が近くにあるとき

- 立体物が近くにある場合には実際の距離と異なって表示される場合があります。
- 例1: 予想進路線①は表示されているトラックの車体に触れていません。しかし、トラックの車体が実際の進路上に張り出している場合は、ぶつかることがあります。



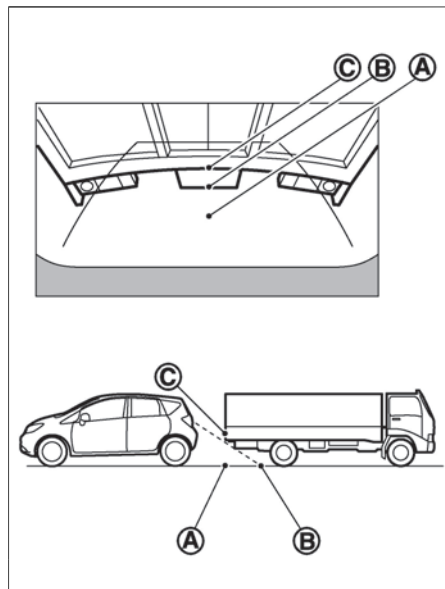
インテリジェント アラウンドビューモニターに関する注意事項★

- 例2:表示されているトップビュー⑧では、自車とトラックの車体間にはわずかな距離があるように見えます。しかし、実際の距離は表示されているよりも短く、トラックの車体にぶつかることがあります。



立体物に接近するとき

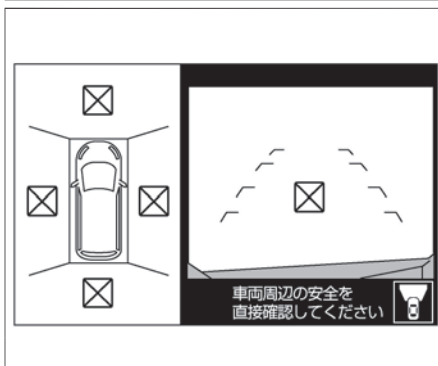
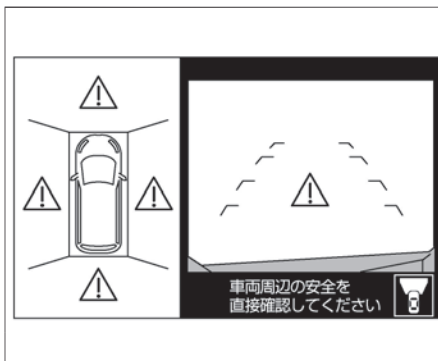
- ㉔の位置は㉕の位置よりも遠くにあるように見えますが、実際は㉓の位置と同じ距離です。トラックの車体が実際の進路上に張り出している場合は、㉓の位置まで下がるとぶつかることがあります。



画面のエラー表示について

⚠ アイコンが画面内に表示された場合は、インテリジェント アラウンドビューモニターの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

☒ アイコンが画面内に表示された場合は、カメラ映像が一時的に周囲の電子機器の影響を受けている可能性があります。頻繁に表示される場合は日産販売会社で点検を受けてください。



室内灯

マップランプ★／ルームランプ	P.308
----------------	-------

収納装備

グローブボックス	P.310
インストアッパーボックス	P.311
カップホルダー／ボトルホルダー	P.312

その他の室内装備

電源ソケット	P.315
フロアカーペット	P.317
サンバイザー／バニティミラー★	P.319
カードホルダー	P.320
ラゲッジサイドフック	P.321

■ マップランプ／ルームランプの使いかた／ラゲッジルームランプについて

マップランプ／ルームランプの使いかた

- 次のように点灯・消灯します。

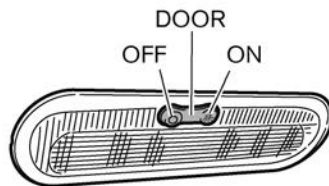
スイッチ	点灯・消灯のしかた
ON	常時点灯
DOOR (中立)	ドア（バックドアを除く）を開けると点灯し、閉めると消灯します。
OFF	消灯

ラゲッジルームランプについて

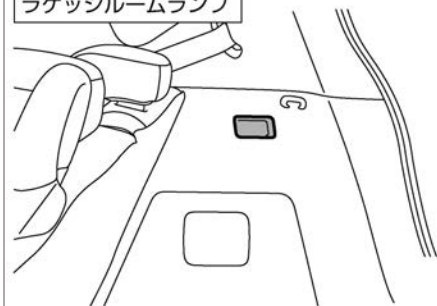
ラゲッジルームランプはラゲッジルームの右側にあります。

- バックドアを開けると自動で点灯し、バックドアを閉めると消灯します。

マップランプ／ルームランプ



ラゲッジルームランプ



アドバイス

- パワースイッチがOFFのときは、マップランプ／ルームランプを長時間点灯させないでください。12Vバッテリーがあがるおそれがあります。



知識

キー連動室内照明システム（ラゲッジルームランプを除く）

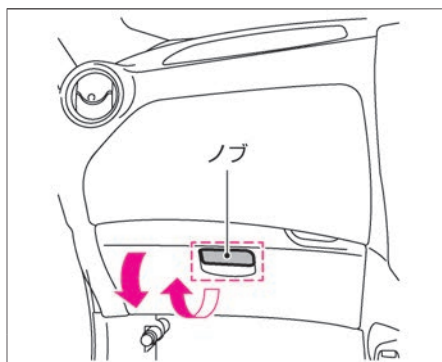
- マップランプ／ルームランプのスイッチがDOOR位置にあると、次の条件で点灯します。
 - － パワースイッチをOFFにしてから約15秒間
 - － パワースイッチがOFFのとき、ドア（バックドアを除く）を解錠してから約15秒間
 - － パワースイッチがOFFのとき、ドア（バックドアを除く）を閉めてから約15秒間
 - － ドアが開いているとき
- キー連動室内照明システムのON・OFFを切り替えたい場合は、日産販売会社へご相談ください。

 知識バッテリーセーバー

- 12Vバッテリーあがりを防止するため、マップランプ、ルームランプおよびラゲッジルームランプは15分以上点灯し続けると、自動的に消灯します。

グローブボックスの使いかた

- 開けるときは、ノブを手前に引きます。
- 閉めるときは、ロックするまでふたを押します。



⚠ 注意

- グローブボックスを開けたまま走行しない。
走行中に収納したものが飛び出したり、開いたふたが身体に当たるなどして、思わぬケガをするおそれがあります。
- ふたを開けるときは、ゆっくり開ける。
ふたを全開にしたとき身体に当たるおそれがあります。

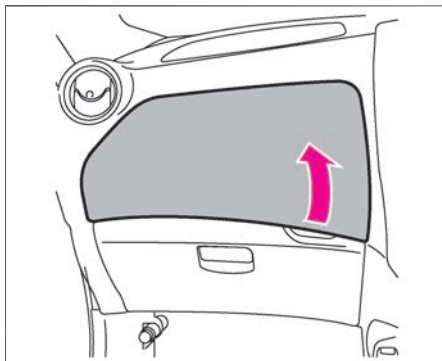
📖 知識

- ふたの裏にはカードホルダーが付いています。

インストアッパーボックス

インストアッパーボックスの使いかた

- 開けるときは、ふたを持ち上げます。
- 閉めるときは、ふたを下ろします。

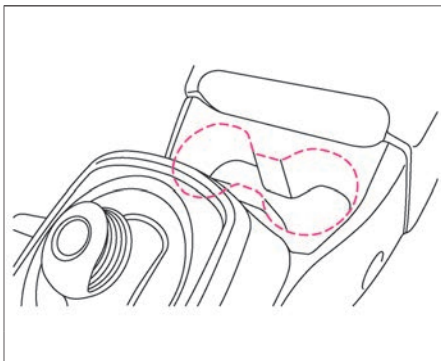


⚠ 注意

- ふたを開けたまま走行しない。
収納した物が飛び出したりして、思わぬケガをしたり、事故につながるおそれがあります。

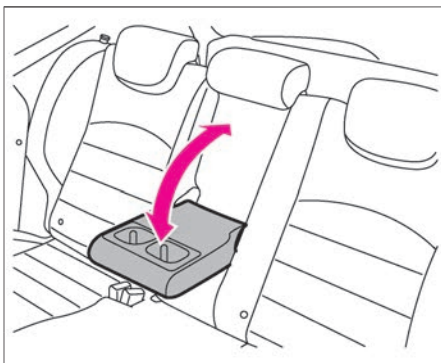
■ 前席シート用カップホルダーについて

- センターコンソールの前側にあります。



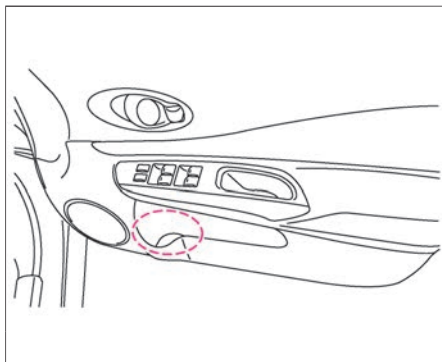
■ 後席用カップホルダー★について

- 後席アームレストを前に倒して使います。
- 元に戻すときは、アームレストを起こします。



ボトルホルダーについて

- ボトルホルダーは、前席および後席★のドアポケットにあります。

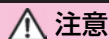


■ カップホルダー／ボトルホルダーに関する注意事項



警告

- 走行中に飲物を出し入れしない。
走行中に飲物を出し入れすると前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。運転中は信号待ちなどの停車中に飲物を出し入れしてください。



注意

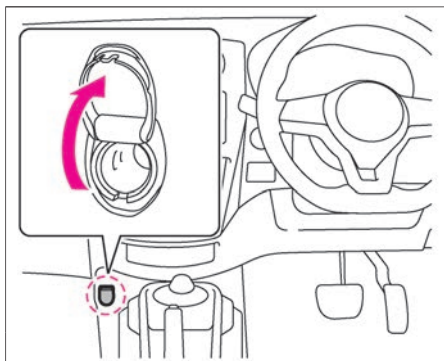
- 飲物をこぼさないように注意する。
飲物の容器の形によっては、確実に固定されないおそれがあります。
- 車室内のスイッチや画面などに飲物をこぼさないようにする。
故障や火災のおそれがあります。

電源ソケット

カーアクセサリーの電源をとるときに使います。パワースイッチがONまたはACCのときに使えます。

電源ソケットの使いかた

- 電源ソケットはセンターコンソールの前側にあります。
- ふたを開けて使います。
- 使用しないときは、ふたを閉めます。
- 容量は、12V（ボルト）、10A（アンペア）、120W（ワット）です。
- 相手プラグを挿入したり抜いたりするときは、使用機器側の電源をOFFにするか、パワースイッチをOFFにしてください。



⚠ 注意

- **電源ソケットを使うときは、次のことを守る。**
電源ソケットの不適切な使用は、車両のヒューズが切れるだけでなく、最悪の場合、車両火災ややけどのおそれがあります。
 - ー 2マタソケットなどでタコ足配線をしてはいけない
 - ー 消費電力120W以下のものを使用する
 - ー 相手プラグをソケットの奥まできちんと挿入する
 - ー 使用中や使用後はソケットやプラグに注意する
 - ー シガーライターをソケットに差し込まない
 - ー ソケットに水をかけたり、指や金属などを入れたりしない



アドバイス

- 12Vバッテリーあがりを防止するため、e-POWERシステムを始動した状態で使用してください。また、長時間使



アドバイス

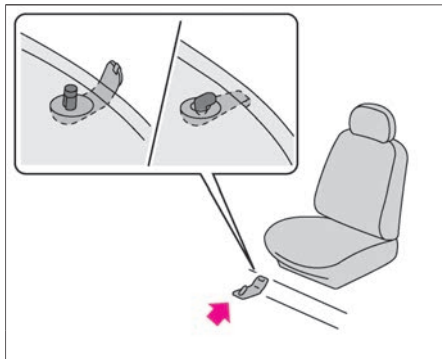
用したり、エアコン、ヘッドランプ、リヤウインドーデフォグガーなどを同時に使用したりしないでください。

フロアカーペット

この車（年式）専用のフロアカーペットが設定されています。
床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。

■ 固定のしかた

- 床面には日産純正フロアカーペット用の固定クリップが付いています。
- フロアカーペットを床の形状に合わせて敷き、取り付け穴に固定クリップのピンを通して確実に固定します。
- 車種により、固定クリップ・ピンの形状や、各シートごとに設定されている数量は異なります。詳しい固定方法は、日産販売会社にお問い合わせください。



⚠ 警告

- この車（年式）専用のフロアカーペットを、床の上にしっかりと固定して正しく使用する。
フロアカーペットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬ速度が出る、またはブレーキが効きづらくなるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 運転席にフロアカーペットを敷くときは、次のことを守る。
 - － 日産純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアカーペットは使用しない
 - － フロアカーペットでペダルを覆わない
 - － フロアカーペットを重ねて敷かない
 - － 運転席専用のフロアカーペットを使用する
 - － フロアカーペットを前後さかさまにしたり、裏返して使用しない
- 運転する前にフロアカーペットが正しく固定されていることを定期的に確認し、洗車後は必ず確認する。
- 運転に支障がないことを確認する。
運転する前、パワースイッチがOFF

次ページに続く



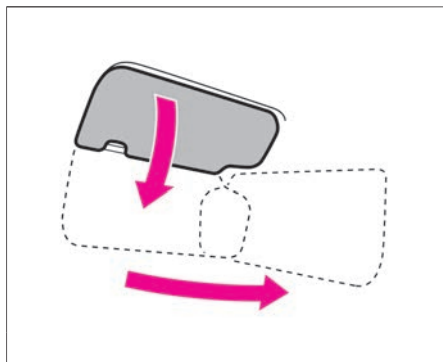
警告

の状態でシフトポジションが **P** のとき、各ペダルをいっばいに踏み込み、フロアカーペットと干渉しないことを確認してください。

- **タバコの火種をフロアカーペットなどに落とさない。**
火災につながるおそれがあります。

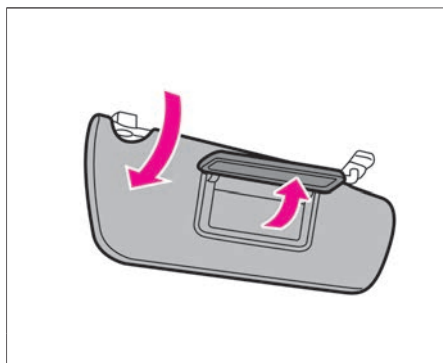
■ サンバイザーの使いかた

- 前方からの日差しを防ぐときは、下に下げて使います。
- 横からの日差しを防ぐときは、下に下げてフックから外し、横にして使います。



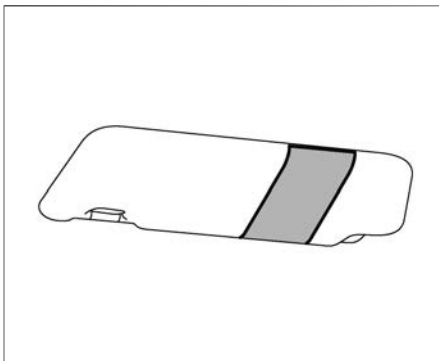
■ バニティミラーの使いかた

- サンバイザー裏側にバニティミラー（鏡）が付いています。
- サンバイザーを下に下げ、カバーを開けて使います。



カードホルダーの使いかた

- 運転席側のサンバイザーにカードホルダーが付いています。
- カードをスライドさせ、差し込みます。

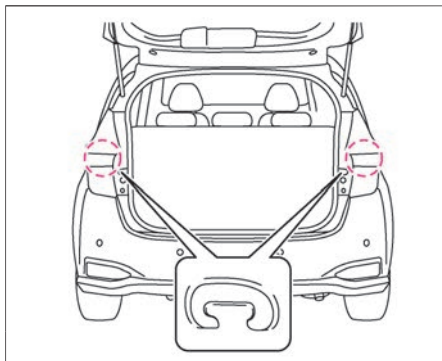


アドバイス

- 炎天下での駐車は車室内が大変高温になりますので、カードを入れたままにしないでください。カードが変形するおそれがあります。

■ ラゲッジサイドフックの使いかた

買い物袋などを引っ掛けるときに使用します。



アドバイス

- フックには大きな力がかからないようにしてください。フックが破損するおそれがあります。
- 3kg以上の物をかけないでください。フックが破損するおそれがあります。

MEMO

トラブルがおきたときは

まずはじめに

故障したときは	P.324
発炎筒	P.325
けん引について	P.326

緊急時の対処方法

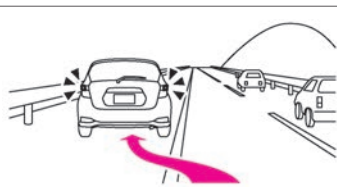
パンクしたときは	P.331
ドアが開かないときは	P.341
インテリジェントキーで始動できないときは	P.343
12Vバッテリーがあがったときは	P.344
出力制限表示灯が点灯したときは	P.349
警告灯がついたときは	P.350
ブザー（警報音）が鳴ったときは	P.358
窓ガラスがくもったときは	P.360
オーバーヒートしたときは	P.362
雪道やぬかるみにはまったときは	P.364

故障したときは

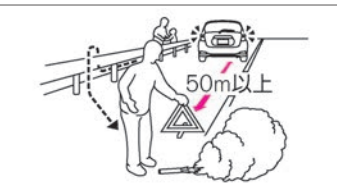
高速道路や自動車専用道路で車両が故障したときは、次の手順で対処してください。

故障したときの対処のしかた

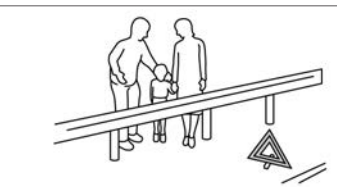
- 1** 非常点滅表示灯で後続車に危険を知らせながら、できるだけ路肩に寄せて停車します。路肩が無い場所では、可能な限り広いところまで自走します。



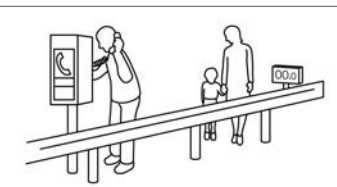
- 2** 同乗者をガードレールの外側などに避難させ、車両の50m以上後方に発炎筒と停止表示板（停止表示灯）を置きます。
➡ 発炎筒 (P.325)



- 3** 運転者もガードレールの外側などに避難します。避難するときは、停止車両への追突事故が発生したときに巻き込まれないように注意してください。



- 4** 非常電話や携帯電話などで救援依頼をします。



警告

- 発炎筒はトンネル内では使用しない。
煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり、事故につながるおそれがあります。このときは非常点滅表示灯をご使用ください。

注意

- e-POWERシステムが停止しているときは慎重に運転する。
故障によりe-POWERシステムが停止していると、ブレーキやパワーステアリングが正しく機能せず、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルの操作力が重くなったりするので慎重に運転してください。

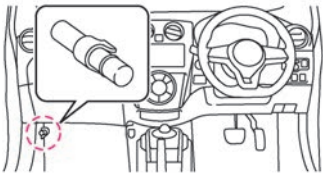
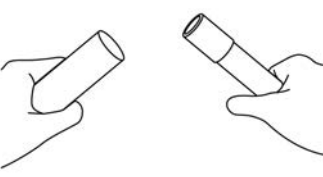
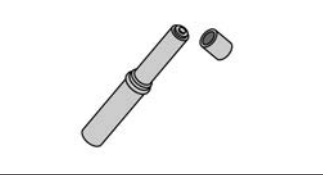
アドバイス

- 高速道路や自動車専用道路では、停止表示板（停止表示灯）の表示が法律で義務づけられています。
- 高速道路上では1kmごとに非常電話が設置されています。

発炎筒

高速道路や踏み切りなどで故障・事故により緊急停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。
発炎時間は約5分です。非常点滅表示灯と併用してください。

発炎筒の使いかた

1	助手席足元部のホルダーから発炎筒を外します。	
2	本体を回しながらケースから引き抜き、本体を逆さにして差し込みます。	
3	先端のふたを取り、ケースのすり薬で発炎筒の先端をこすって着火します。	

警告

- お子さまには触らせない。
いたずらなどで発火するおそれがあります。
- 可燃物の近くで使用しない。
引火するおそれがあります。
- 点火は必ず車外で行い、点火後は顔や身体に近づけない。
やけどをするおそれがあります。
- トンネル内では使用しない。
煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり、事故につながるおそれがあります。このときは非常点滅表示灯をご使用ください。

アドバイス

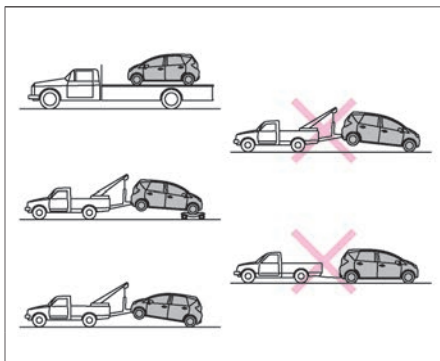
- 発炎筒に記載してある使用方法、注意をあらかじめ確認しておいてください。
- 発炎筒には有効期限があります。期限が切れる前に日産販売会社でお買い求めください。

けん引について

けん引が必要なときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに依頼してください。
やむをえずけん引するときは、できる限り短距離の移動のみとしてください。

けん引時の注意事項

- 車両が動かなかったり、異常な音がしたりするときは、けん引せずに日産販売会社へご連絡ください。
- 前輪または4輪を持ち上げてけん引してください。
- やむをえず4輪接地の状態でけん引される場合は、シフトポジションを **N** にした状態で行ってください。
- この車両は、オートP機能（➡P.175）により、パワースイッチがOFFのときはシフトポジションを **P** から **N** に切り替えることができません。そのため、12VバッテリーあがりなどでパワースイッチがOFFから切り替えられないときは、4輪接地の状態でけん引できません。
- 4輪接地でけん引してもらうときは、速度30km/h以下でできる限り短距離の移動のみとしてください。
- けん引ロープはできるだけソフトロープを使い、バンパーに傷をつけないように注意してください。
- けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。
- けん引フックは他車をけん引するために使用しないでください。



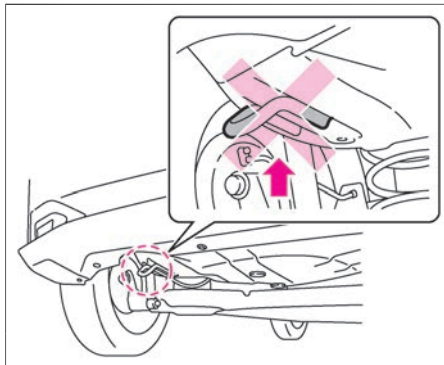
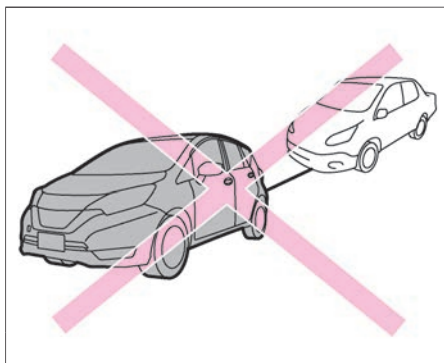
⚠ 注意

- 前輪を持ち上げてけん引するときは、パワースイッチを**OFF**にする。VDCが作動し、ブレーキがかかることがあります。

■ 他車のけん引について

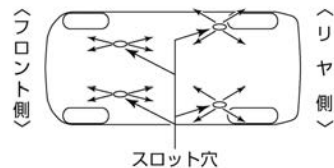
この車両で他車をけん引することはできません。後ろ側についているフックは船舶輸送時の固定専用です。

けん引やトレーラー輸送などの固定には絶対使用しないでください。

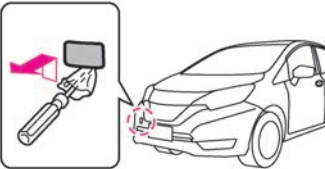
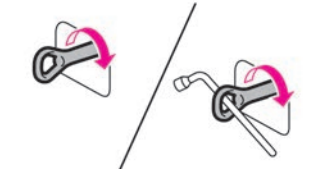
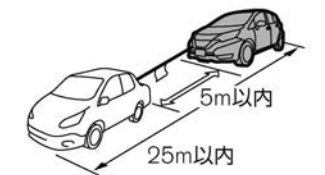
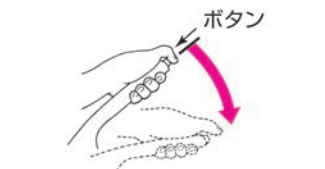


🚗 アドバイス

- けん引用として使うと、車両を損傷するおそれがあります。
- トレーラーなどで輸送するときは、車両下側のスロット穴を使い固定してください。



やむをえず4輪接地でけん引されるときは

1	先の細いお手持ちの工具を布などで覆い、フロントバンパーのカバーの溝に差し込んでカバーを外します。	
2	ホイールナットレンチを使用して、けん引フックを取り付けます。 ➡ 工具、タイヤ応急修理キットの格納場所 (P.366)	
3	自車および他車のけん引フックにロープを掛け、ロープ中央に30cm×30cm 以上の白い布を取り付けます。 ロープをかけるときは、できるだけ同じ側で水平になるように掛けてください。	
4	e-POWERシステムを始動しシフトポジションをNに入れ、パーキングブレーキを解除します。	

警告

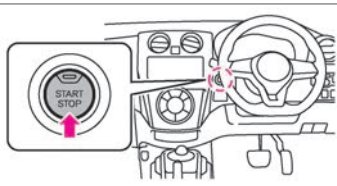
- 4輪接地でけん引されるときは、**パワースイッチをOFFにしない**。
 この車両はオートP機能 (➡P.175) により、パワースイッチがOFFのときはシフトポジションを**P**から**N**に切り替えることができません。また、けん引中はパワースイッチをOFFにしないでください。ハンドル操作ができなくなり危険です。

アドバイス

- 4輪接地の状態でけん引されるときは、e-POWERシステムを始動するかパワースイッチをONにしてシフトポジションを**N**にした状態で行ってください。パワースイッチがOFFのときは、オートP機能によりシフトポジションを**N**に切り替えられないため、けん引することができません。オートP機能 (➡P.175)

5

e-POWERシステムを始動できないときはパワースイッチをONにし、シフトポジションをNにしてください。



⚠ 注意

- e-POWERシステムが停止していると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作力が重くなったりするので注意する。
- けん引フックに指定以外のフックは絶対に使用しない。
フック部が破損するおそれがあります。
- 長い下り坂ではけん引しない。
ブレーキが過熱して効かなくなり、事故につながるおそれがあります。
このような場所でけん引するときは、レッカー車で引いてもらってください。



アドバイス

- けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。
- けん引フックは他車をけん引するために使用しないでください。

知識

- けん引が終わったら、けん引フックを取り付けたときと逆の手順で取り外します。

パンクしたときは

この車両にはスペアタイヤおよびジャッキが標準で搭載されていません。
タイヤがパンクしたときは、タイヤ応急修理キットで応急修理ができます。

応急修理する前に

応急修理を行うときは、次の準備をしてください。

- 地面が固く平らな場所に車両を移動する。
- パーキングブレーキをかける。
- シフトポジションを **P** にする。
- パワースイッチをOFFにする。
- 必要に応じて、非常点滅表示灯を点滅させ、停止表示板（または停止表示灯）を置く。
- ➡ 故障したときの対処のしかた (P.324)
- 人や荷物を降ろす。
- 工具、タイヤ応急修理キットを取り出す。
- ➡ 工具、タイヤ応急修理キットの格納場所 (P.366)



アドバイス

- タイヤに釘やネジが刺さっている場合は、抜かずにそのまま修理してください。



知識

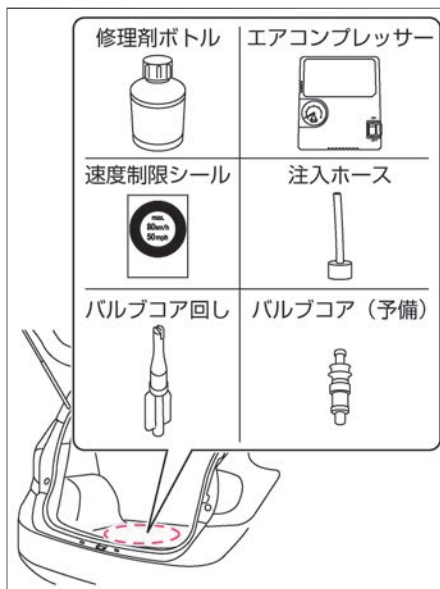
- 次の場合はタイヤ応急修理キットでは応急修理できません。日産販売会社またはJAF などに連絡 してください。
 - ー 約4mm以上の切り傷や刺し傷があるとき
 - ー タイヤサイド部が損傷を受けたとき
 - ー ほとんど空気の抜けた状態で走行したとき
 - ー タイヤがホイールから外れているとき
 - ー ホイールが破損しているとき
 - ー タイヤが2本以上パンクしているとき
 - ー 修理剤の有効期限が切れているとき

次ページに続く

■ タイヤ応急修理キットについて

- タイヤトレッド部（接地面）の軽度なパンクは、タイヤ応急修理キットで応急修理できます。
- タイヤ応急修理キットは、ラゲッジルームに格納されています。
- 応急修理を目的としているため、修理後に長期間の走行はできません。修理後はすみやかに日産販売会社または専門の修理業者で点検、恒久修理またはタイヤ交換を行ってください。

※車種により、エアコンプレッサーの形状が異なります。



応急修理のしかた

■ 修理剤の注入

1	修理剤ボトルとエアコンプレッサーを取り出し、修理剤ボトルをよく振ります。	
2	修理剤ボトルのキャップを外し、内ぶたを付けたまま注入ホースをねじ込みます。 (注入ホースをねじ込むと内ぶたが破れます。)	
3	パンクしたタイヤのバルブからバルブキャップを外し、ビニール袋に入っているバルブコア回しの後ろでバルブ内のバルブコアを押し、タイヤの空気を完全に抜きます。	

知識

- 修理剤ボトルは注入ホースをねじ込む前によく振ってください。注入ホースをねじ込んだあとに修理剤ボトルを振ると、修理剤が飛び散るおそれがあります。
- 修理剤は衣服などに付着すると取れなくなるおそれがありますので注意してください。
- 寒冷時には修理剤の粘度が高くなり、注入作業がしにくくなります。その場合、車内などで温めると注入作業がしやすくなります。

パンクしたときは

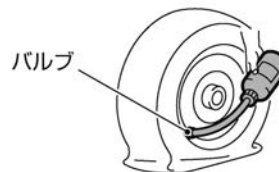
4

バルブコア回しでバルブコアを回し、取り外します。



5

注入ホースをバルブに差し込みます。その後、修理剤ボトルをさかさまにして持ち、修理剤が全てタイヤ内に注入できるまで何回も圧迫します。



6

注入し終わったら、注入ホースをバルブから引き抜き、バルブコア回しを使ってバルブコアをバルブにしっかりとねじ込みます。



7

注入が終わった空ボトルから修理剤が漏れるのを防ぐため、注入ホースの先端にバルブコア回しを差し込んで栓をします。



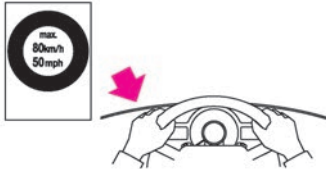
⚠ 注意

- バルブコアは慎重に取り外す。外すときにタイヤに空気が残っていると、コアが飛び出すおそれがあります。

📖 知識

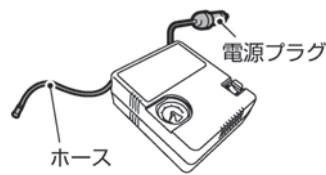
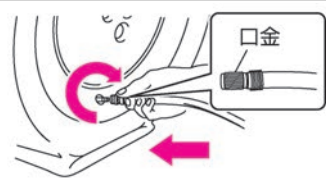
- バルブコアは汚れないようにきれいに保管してください。
- 空になった修理剤ボトルは、タイヤ交換または恒久修理のときに修理剤の回収に使用しますので、捨てずに日産販売会社または修理業者までお持ちください。

パンクしたときは

8	速度制限シールを運転者のよく見えるところに貼ります。	
---	-----------------------------------	--

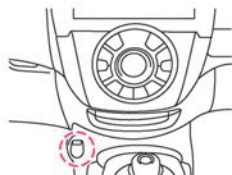
⚠ 注意 ● ハンドルのセンターパッド部には速度制限シールを貼らない。 SRSエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。また、警告灯やスピードメーターが見えなくなる位置にも貼らないでください。

■ エアの注入

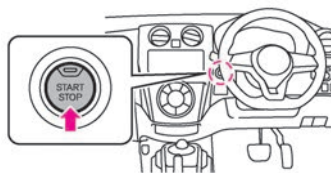
1	エアコンプレッサーに格納されているホースと電源プラグを取り出します。	
2	エアコンプレッサーのホースの口金をタイヤバルブにしっかりとねじ込みます。	

パンクしたときは

- 3 電源プラグを車内の電源ソケットに差し込みます。



- 4 パワースイッチをACCにします。



- 5 エアコンプレッサーのスイッチをONにし、タイヤを指定空気圧まで昇圧させます。



- 6 指定空気圧または180 k Paまで昇圧できたら、エアコンプレッサーのスイッチをOFFにし、電源プラグを電源ソケットから抜きます。

- 7 ホースをタイヤのバルブからすばやく取り外し、タイヤのバルブにキャップを取り付けます。

⚠ 注意

- 空気を入れたあとは、ホースの口金
が熱くなることがあるため、やけど
しないように注意する。

🚗 アドバイス

- コンプレッサーは長時間使用すると
故障につながるおそれがありますの
で、15分以上連続して作動させない
でください。タイヤ空気圧を昇圧で
きない場合は修理できません。

📖 知識

- タイヤの指定空気圧は運転席ドア開
口部に表示してあります。

パンクしたときは

15分以内に指定空気圧または180kPaまで昇圧できない場合

15分以内に指定空気圧または180kPaまで昇圧できない場合は、タイヤがひどい損傷を受けているおそれがあります。この場合は、本修理キットで応急修理することができません。

日産販売会社またはJAFなどに連絡してください。

空気を入れすぎてしまったとき

ホースの口金を暖めて空気を抜いてください。

■ 点検走行

1	ただちに走行を始め、10分間または5km程度走行してください。80km/h以下の速度で注意深く運転してください。
2	走行後、エアコンプレッサーのスイッチがOFFになっていることを確認し、エアコンプレッサーに付属している空気圧計でタイヤ空気圧をチェックしてください。

**注意**

- 走行するときは、低速で慎重に運転し、特にカーブや旋回時には注意する。

130kPa未満の場合

本修理キットによる応急修理はできません。運転を中止して日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

130kPa以上指定空気圧未満の場合

エアコンプレッサーのスイッチをONにして指定空気圧まで昇圧し、点検走行の作業を行います。上記作業を繰り返しても指定空気圧より低下する場合は、本修理キットによる応急修理はできません。運転を中止して日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

JAFの営業所一覧…メンテナンスノート「サービス網について」をお読みください。

指定空気圧の場合

応急修理は完了です。すみやかに日産販売会社または専門の修理業者まで慎重に運転してください。



アドバイス

- 応急修理後の恒久修理の際、パンク穴を発見できないために恒久修理できないことがあります。そのまま走行を続ける場合は、こまめに空気圧をチェックしてください。頻繁に空気圧の低下がみられるときは、日産販売会社または修理業者で点検を受けてください。



知識

- 修理剤を使用したタイヤは、新しいタイヤに交換されることをおすすめします。修理・再使用される場合は、専門の修理業者と相談してください。
- ホイールは付着した修理剤をふき取れば再使用できますが、タイヤのバルブは新しいものと取り替えてください。
- 修理剤は再使用できません。使用後は新しい修理剤をお求めください。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

タイヤ応急修理キットの注意事項



注意

修理キットについて

- 応急修理キットは、必ず日産純正品を使用する。
- 応急修理キットは、搭載車両専用のため、他の車には使用しない。
- 応急修理キットは自動車用タイヤの空気充填や空気圧チェック以外で使用しない。
- 応急修理キットはDC12V専用のため、他の電源での使用はできません。
- 水やほこりを避けて使用する。
- 分解、改造などは絶対にしない。
- コンプレッサーに衝撃を与えない。
故障の原因となります。
- お子さまが誤って手を触れないように注意する。

修理剤について

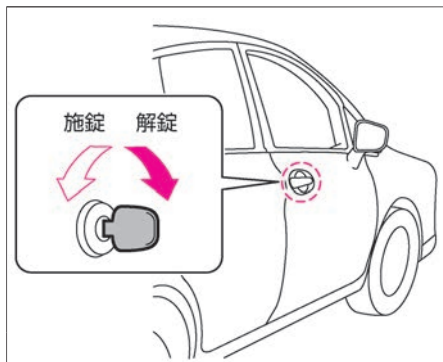
- 修理剤を口に入れない。
修理剤を飲みこむと健康に害があります。万一誤って飲んだ場合は、できるだけたくさん水を飲み、ただちに医師の診療を受けてください。
- 万一目や皮膚に付着した場合は、水でよく洗い流す。
それでも異常を感じたときは、医師の診療を受けてください。

ドアが開かないときは

キー（インテリジェントキー）の電池が切れたときや、12Vバッテリーがあがったときなどドアが開かないときは、次の方法で施錠・解錠してください。

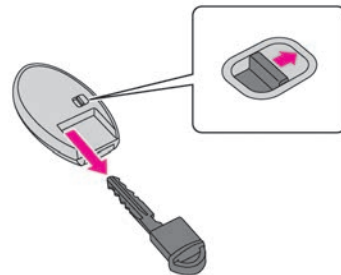
■ 内蔵キー（メカニカルキー）でのドアの開けかた

運転席ドアにある鍵穴に内蔵キーを差し込んで車両前方に内蔵キーを回すと解錠します。施錠するときは、車両後方に内蔵キーを回します。



知識

- 内蔵キーはインテリジェントキーに内蔵されています。

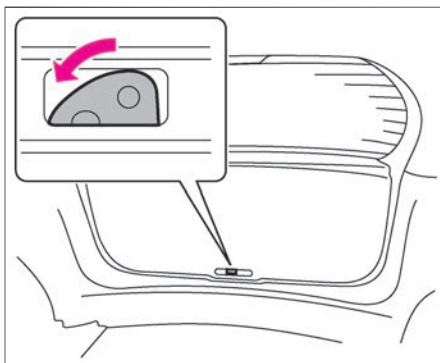


ドアが開かないときは

緊急時のバックドアの開けかた

12Vバッテリーあがりなどにより、バックドアを開けられなくなったときは、次の操作をしてください。

- バックドアの車室内側にあるカバーの穴に、お手持ちのマイナスドライバーなどを差し込みます。
- レバーを矢印の方向に動かして解錠し、外側のバックドアハンドルを引いてバックドアを開きます。



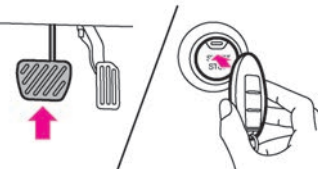
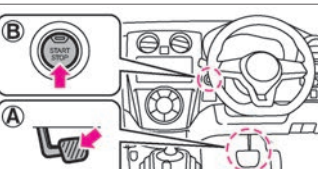
アドバイス

- 操作後はなるべく早く日産販売会社で点検を受けてください。

インテリジェントキーで始動できないときは

キー（インテリジェントキー）の電池が切れたときや、使用環境によりキーと車両の通信が正常に行われていないときは、次の手順でe-POWERシステムを始動してください。

e-POWERシステムの始動のしかた

1	ブレーキペダルを踏み、キーのロゴマークの裏面をパワースイッチに接触させます。（ブザーが“ピピッ”と鳴ります。）	
2	ブザーが鳴ってから10秒以内に、ブレーキペダル①をしっかりと踏み込みながら、パワースイッチ②を押します。	

アドバイス

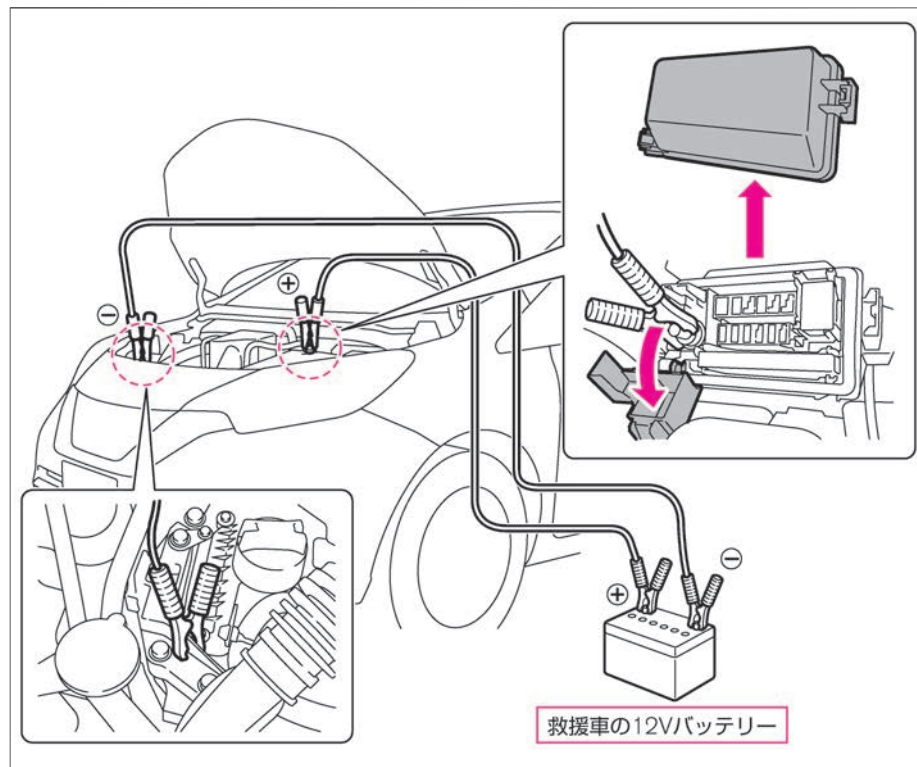
- 左記の手順でe-POWERシステムを始動できない場合は、早めに日産販売会社にご連絡ください。

知識

- 停止操作は通常と同じ手順です。
- 左記手順でe-POWERシステムを始動すると、キー（インテリジェントキー）が車内にあってもKEY警告灯が点滅しますが異常ではありません。警告灯の点滅を止めるには、再びキー（インテリジェントキー）をパワースイッチに接触させます。
- ドアの施錠・解錠は、内蔵キー（メカニカルキー）（ P.341）をご使用ください。
- キーの電池が切れたときは、早めに電池を交換してください。
 キー（インテリジェントキー）の電池交換（P.407）

12Vバッテリーがあがったときは

12Vバッテリーがあがり、パワースイッチをONにできなくなったときは、救援車を依頼し、ブースターケーブル（別売り）をつないで始動してください。



警告

- ジャンプスタートを行うときは換気を十分に行い、火気は近づけない。
12Vバッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- バッテリー液が付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診療を受ける。
バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。
- ブースターケーブルを正しい順番と位置でつなぐ。
- ブースターケーブルを自車12Vバッテリーの⊖端子に直接つながない。
- ブースターケーブルの⊕端子と⊖端子を接触させない。
火花が発生し、12Vバッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- 12Vバッテリーの⊕側ターミナルが周辺の金属と接触しないようにする。
接触するとショートして火災の原因となるおそれがあります。また、12V

12Vバッテリーがあがったときは

警告

バッテリーの端子の締め付けが緩いと、配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。

- **12Vバッテリーを交換するときは、必ず同じサイズ（型式）に交換し、動かないようにしっかりと固定する。**
しっかりと固定できていないと、ショートなどの原因となり火災につながるおそれがあります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

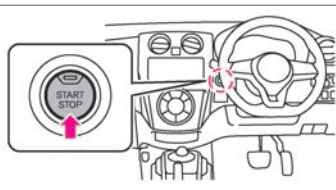
次ページに続く

12Vバッテリーがあがったときは

ジャンプスタートのしかた

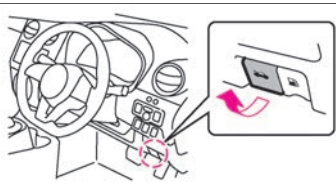
- 1 自転車と救済車のパワースイッチをOFFにします。

➡ パワースイッチでのモードの切り替えかた (P.171)

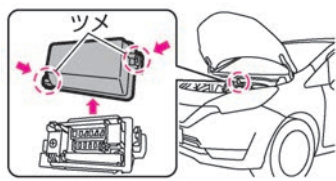


- 2 自転車の運転席の右下にあるボンネットオープナーを引いて、ボンネットを開けます。

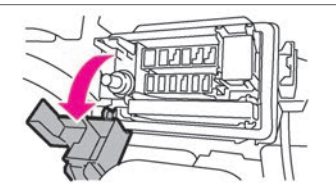
➡ ボンネットの開けかた、閉めかた (P.374)



- 3 自転車のヒューズボックスのカバーをツメを押しながら外します。



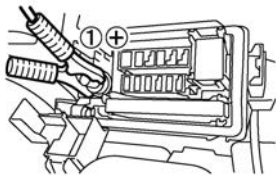
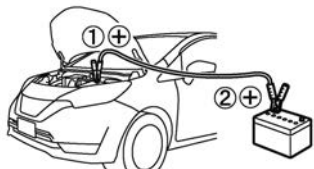
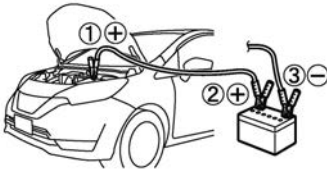
- 4 自転車のヒューズボックス内のカバーをツメを押しながら開けます。



⚠ 注意

- ブースターケーブルのワニグチクリップは、車体に触れたり、他のワニグチクリップと接触しないように注意する。
- ブースターケーブルは、確実に接続する。
エンジン始動時の振動で外れたりしないように確実につないでください。
- 冷却ファンやベルトに注意する。
ブースターケーブルをつなぐときや外すときは、冷却ファンやベルトに巻き込まないように注意してください。

12Vバッテリーがあがったときは

5	ブースターケーブル①を自車のヒューズボックスの⊕端子に接続します。	
6	手順5で接続したケーブルの反対側②を救援車の12Vバッテリーの⊕端子に接続します。	
7	もう1本のブースターケーブル③を救援車の12Vバッテリーの⊖端子に接続します。	
8	手順7で接続したケーブルの反対側④を右記のような自車の車体（手順5で接続した位置から離れた未塗装の金属部）に接続します。	

アドバイス

- 押しがけによる始動はできません。
- この車両を救援車として使用しないでください。
- 救援車には12Vバッテリー仕様の車両を使用してください。
- e-POWERシステムが始動できない場合には、一旦パワースイッチをOFFにして、10秒以上待ってから再始動してください。
- 12Vバッテリーがあがると、パワースイッチのON・OFFができなくなります。すみやかに12Vバッテリーを充電してください。

12Vバッテリーがあがったときは

9

救援車のエンジンを始動し、エンジン回転数を少し高めにします。

10

自車のe-POWERシステムを始動します。

➡ e-POWERシステムの始動のしかた (P.168)

e-POWERシステムが始動したら、ブースターケーブルをつないだときと逆の手順で外します。



アドバイス

- e-POWERシステムを始動するときは、ヘッドランプやエアコンなどはOFFにしてください。
- e-POWERシステムが始動しても、しばらくエアコンやオーディオ★を使用しないでください。

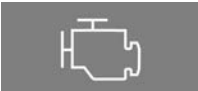
出力制限表示灯が点灯したときは

出力制限表示灯  が点灯したときは、次の対処方法に従ってください。

点灯したときの状況	対処方法	注意事項
走行中に出力制限表示灯  が点灯したとき	高速道路を走行しているとき 80km/h以下で走行してください。次のパーキングエリアまたはサービスエリアで車両を止め、出力制限表示灯  が消灯するまで待ちます。 一般道を走行しているとき 安全な場所に停車し、出力制限表示灯  が消灯するまで待ちます。	他の警告灯が点灯しているときは、そちらの警告灯に対する処置を優先して行ってください。出力制限表示灯  のみが点灯した場合は、左記の対処方法に従ってください。

警告灯がついたときは

運転中に警告灯・表示灯が点灯または点滅したときは、次の対処方法に従ってください。
車両故障のおそれがない表示灯の説明は、(➡P.91)をお読みください。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	油圧警告灯	● エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。	● 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。 点灯したまま走行すると、エンジンが破損するおそれがあります。
	故障警告灯 (MIL)	● エンジン電子制御システムに異常があると点灯または点滅します。	● 点灯または点滅したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。
	12V系充電警告灯	● 12Vバッテリーの充電システムに異常があると点灯します。	● 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。 点灯したまま走行すると、12Vバッテリーが破損したり、エンジンが突然停止したりし、思わぬ事故につながるおそれがあります。
	ABS警告灯	● ABSのシステムに異常があると点灯し続けます。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 点灯したときは、ABSが作動しなくなるため、高速走行や急ブレーキを避けて運転してください。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	ブレーキ警告灯	● 次の場合は点灯し続けます。 - ー パーキングブレーキをかけているとき - ー ブレーキ液が不足しているとき - ー ブレーキシステムに異常があるとき	● パーキングブレーキがかかっているときは、パーキングブレーキを解除します。 ● パーキングブレーキを解除しても点灯するときは、ただちに安全な場所に停車して、日産販売会社にご連絡ください。ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。ブレーキの効きが極度に悪いときは、思わぬ事故につながるおそれがあるため、走行しないでください。 ● ブレーキ液が正常でABS警告灯と同時に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
	シートベルト警告灯	● 運転者がシートベルトを着用していないと点灯します。	● シートベルトを着用してください。走行中は全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。
	SRSエアバッグ警告灯	● SRSエアバッグのシステム、プリテンショナー機能に異常があると、点灯または点滅を続けます。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。万一のときSRSエアバッグ、プリテンショナーシートベルトが作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

警告灯がついたときは

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	VDC警告灯	● VDCが作動すると点滅します。 ● VDC、ヒルスタートアシストの電子制御システムに異常があると点灯し続けます。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 点灯したときはVDC、ヒルスタートアシストの作動が停止するため、滑りやすい路面では注意して走行してください。
	e-POWERシステム警告灯	● モーターや高電圧システムなどに異常が発生すると点灯します。	● 点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
	燃料残量警告灯	● 燃料の残量が少ないと点灯します。	● すみやかに燃料を補給してください。
	EPS（電動パワーステアリング）警告灯	● 電動パワーステアリングのシステムに異常があると点灯します。	● 点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 ● 点灯しているときは、電動パワーステアリングが作動しなくなるため、ハンドルの操作力が重くなります。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	出力制限表示灯	● 以下の状態になると点灯します。 - ー リチウムイオンバッテリーの残量が極端に少ないとき - ー リチウムイオンバッテリーの温度が低すぎるとき - ー リチウムイオンバッテリーや走行用モーター、冷却システムなどの温度が高すぎるとき - ー 車両が故障しているとき - ー 発電出力が制限されているとき	状況に応じて以下の手順に従ってください。 ● リチウムイオンバッテリーがなくなる直前で、燃料残量警告灯と同時に点灯しているときは、すみやかに燃料を補給してください。 ● リチウムイオンバッテリーの温度が極端に低いときは、車両を屋内などの温かい場所へ移動させてください。 ● リチウムイオンバッテリーの温度が極端に高いときは、 出力制限表示灯が点灯したときは (P.349)をお読みください。 上記以外で表示灯が点灯したときは、故障のおそれがあります。日産販売会社にご連絡ください。
	ヘッドランプ警告灯★	● LEDヘッドランプに異常があると点灯します。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
	電制シフト警告灯 (赤色)	● 電制シフトに異常があると点灯します。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。  知識 ● 電制シフト警告灯 (赤色) が点灯したときは、メーター内のディスプレイに「パーキングブレーキをかけて下さい」とメッセージが表示されます。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	電制シフト警告灯 (黄色)	● 電制シフトに異常があると点灯します。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 ● シフトポジションがすぐに切り替わらないことがあるため、目的のシフトポジションの位置でセレクトレバーを保持し、シフトポジションが切り替わったことを確認してから手を離してください。 ● オートP機能（➡P.175）が作動しないことがあるため、駐車するときはセレクトレバー上部のⓅスイッチを押し、に切り替わったことを確認してください。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	KEY警告灯	● パワースイッチがONまたはACCのとき、インテリジェントキーが車外へ持ち出されるとKEY警告灯が黄色に点滅します。 ● インテリジェントキーのシステムに異常があると、KEY警告灯が黄色に点灯します。 ● インテリジェントキーの電池切れが近くなると、KEY警告灯が緑色に点滅します。	● KEY警告灯が黄色に点滅しているときは、すみやかにインテリジェントキーの場所を確認してください。運転者は運転者が必ずインテリジェントキーを携帯してください。 ● KEY警告灯が黄色に点灯しているときは、パワースイッチをON（走行可能表示灯  が点灯）にできないおそれがあります。走行可能表示灯  が点灯中にKEY警告灯が点灯しても走行を続けることができますが、その場合でも、できるだけ早く日産販売会社に連絡してください。 ● KEY警告灯が緑色に点滅しているときは、電池を新品と交換してください。🔑 キー（インテリジェントキー）の電池交換 (P.407)
	P 戻し忘れ警告灯	● シフトポジションが P 以外で運転席ドアが開いたときに点灯します。	● シフトポジションを P に切り替えてください。
	半ドア警告灯	● いずれかのドアが開いているか、完全に閉まっていないときに点灯します。	● ドアを閉めてください。 ● 走行前に消灯していることを確認してください。ドアが完全に閉まっていない（半ドア）と走行中に突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

警告灯がついたときは

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	高水温警告灯（赤色表示）	● エンジン冷却水の温度が異常に高くなったときに点灯します。	● すみやかに安全な場所に停車し、処置してください。➡ <u>オーバーヒートしたときは (P.362)</u> ● 点灯したまま走行しないでください。エンジンが故障する原因となり、火災につながるおそれがあります。
	インテリジェントクルーズコントロール警告灯★	● インテリジェントクルーズコントロールのシステムに異常があると、“ピー”というブザー音とともにインテリジェントクルーズコントロール警告灯が点灯します。	● 点灯したときは、安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。再始動後も警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
	LDW（車線逸脱警報）／インテリジェントLI（車線逸脱防止支援システム）警告灯★	● 右側もしくは、左側のレーンマーカーに近づいたと判断すると、点滅します。 ● LDW（車線逸脱警報）／インテリジェントLI（車線逸脱防止支援システム）に異常があると、点灯します。	● 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。再始動後も警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	インテリジェント エマージェンシー ブレーキ／踏み間 違い衝突防止アシ スト警告灯★	● 次の場合は点灯します。 － VDCをOFFにしているとき － インテリジェント エマージェンシーブレーキまたは踏み間違い衝突防止アシストのシステムに異常が発生しているとき ● インテリジェント エマージェンシーブレーキまたは踏み間違い衝突防止アシストが作動したときは点滅します。 ● 次の場合はゆっくり点滅します。 － フロントガラスの汚れなどにより、マルチセンシングフロントカメラが前方を認識できなくなったとき － 前方からの強い光により、カメラが前方を認識できなくなったとき － 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき	● VDCをOFFにしているときは、ONにすると消灯します。 ➡ VDCの停止のしかた (P.203) ● e-POWERシステム再始動後も警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。 ● フロントガラスが汚れているときは、フロントガラスを清掃し、警告灯が消灯したことを確認してください。 ● 室内の温度が高いときなどは、温度が下がると自動的に作動を復帰します。 各システムについては、インテリジェントエマージェンシーブレーキ(➡ P.243)および踏み間違い衝突防止アシスト(➡ P.252)をお読みください。

ブザー（警報音）が鳴ったときは

車両盗難などを防ぐため、車内外でブザー（警報音）が鳴ることがあります。

どこで音が鳴りましたか？	どんな音が鳴りましたか？	何をしたときに鳴りましたか？	確認すること
車外	ピピピピ…	ドアハンドルのスイッチを押したとき	パワースイッチはOFFになっているか キーを車室内またはラゲッジルーム内に置き忘れていないか いずれかのドアが半ドアになっていないか ドアを閉める前にドアハンドルのスイッチを押していないか
		キーのドア施錠スイッチを押したとき	いずれかのドアが半ドアになっていないか ドアを閉める前に施錠スイッチを押してはいないか
		ドアを閉めたとき	無意識にドアハンドルのスイッチを押していないか
	ピッピッピッ	ドアを閉めたとき	パワースイッチがONまたはACCのまま、キーが車外に持ち出されていないか
	キー（金属音）	走行中にブレーキペダルを踏んだとき	ディスクブレーキのパッド（摩擦材）が摩耗していないか 金属音が発生したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。そのまま走行を続けると、ブレーキが効かなくなり、事故につながるおそれがあります。
	ピー	ドアを閉めたとき	シフトポジションをPにして、パーキングブレーキをかけているか。

ブザー（警報音）が鳴ったときは

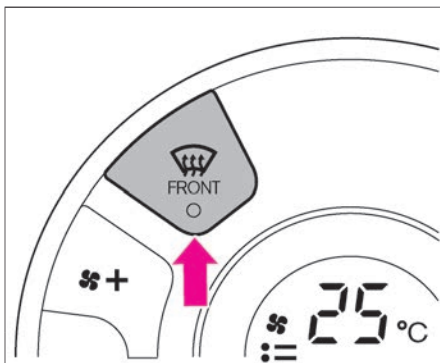
どこで音が鳴りましたか？	どんな音が鳴りましたか？	何をしたときに鳴りましたか？	確認すること
車室内	ピピピピッ、 ピピピピッ…	運転席ドアを開けたとき	パワースイッチがACCのままになっていないか
	ピピッピピッピピッ	ドアを閉めたとき	パワースイッチがONまたはACCのまま、キーが車外に持ち出されていないか
		パワースイッチを押したとき	キーを携帯しているか キーを携帯してもブザーが鳴るときは、キーの電池を交換してください
	ピピッピピッ…	運転席ドアを開けたとき	パワースイッチがONのままになっていないか シフトポジションを P にしているか
	ピピピピピピッ	パワースイッチを押したとき	シフトポジションを P にして、パーキングブレーキをかけているか。

窓ガラスがくもったときは

パワースイッチがONのとき使えます。

■ フロントガラスのくもりの取りかた

- デフロスタースイッチを押すとエアコンが作動し、外気導入に切り替わります。
(スイッチの表示灯が点灯)
- もう一度スイッチを押すと止まります。
(スイッチの表示灯が消灯)



⚠ 注意

- デフロスタースイッチをONにしているときは、エアコンの設定温度を低くしない。
フロントガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- デフロスタースイッチをONにしているときは、内気循環にしないでください。くもりが取れにくくなります。

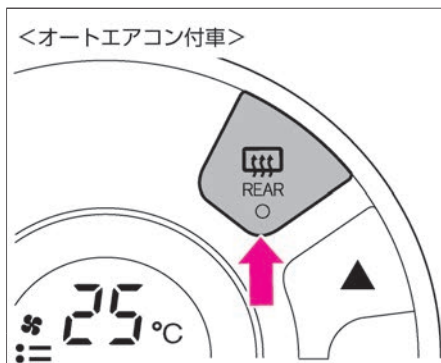
📖 知識

- エアコンがOFFのとき、デフロスタースイッチを押すとエアコンも自動的に作動します。

窓ガラスがくもったときは

バックドアガラスのくもりの取りかた

- リヤウインドーデフォグスイッチを押すと約15分間作動し、バックドアガラスの熱線が暖まります。
(リヤウインドーデフォグスイッチの表示灯が点灯)
- 止めるときは、もう一度スイッチを押します。
(リヤウインドーデフォグスイッチの表示灯が消灯)



アドバイス

- 連続して長時間使用しないください。消費電力が多いため12Vバッテリーあがりの原因になります。



知識

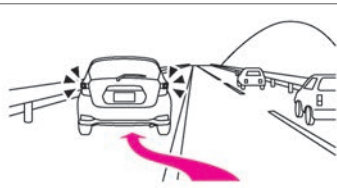
- リヤウインドーデフォグスイッチを押すと、ドアミラーヒーター★も同時に作動します。

オーバーヒートしたときは

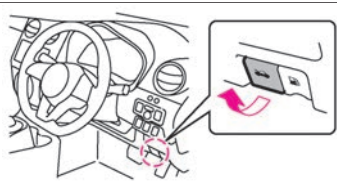
高水温警告灯（赤色表示）（ P.88）が点灯したときや、エンジンルームのすき間から蒸気が出ているときはオーバーヒートしています。次の方法で処置してください。

処置のしかた

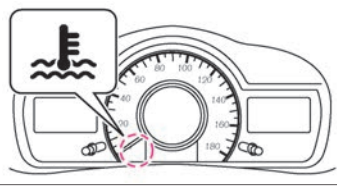
- 1** ただちに安全な場所に停車します。
 故障したときの対処のしかた (P.324)



- 2** e-POWERシステムを作動させたままボンネットを開け、風通しをよくしてエンジンを冷やします。
 万一、冷却ファンが回っていないときは、ただちにe-POWERシステムを停止し、自然冷却してください。



- 3** 高水温警告灯（赤色表示）が消灯したら、e-POWERシステムを停止させしばらく待ちます。
 エンジンが十分冷えてから冷却水の量、ホースなどからの水漏れを点検してください。



- 4** 冷却水が不足しているときは、エンジン冷却用のリザーバタンクに冷却水を補充してください。
 エンジンルーム内の配置図 (P.373)
 補充後は、しっかりキャップを閉めてください。



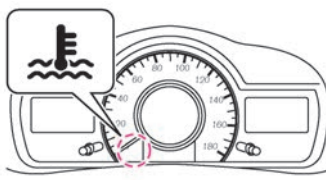
警告

- ボンネットを開けるときは十分に注意する。
 エンジンルーム内は高温になっているため、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- 蒸気が出ているときは、ボンネットを開けない。
 やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
 e-POWERシステムを停止し、蒸気が出なくなるまで待ち、ボンネットを開けてください。
- エンジンが十分に冷えていないときは、リザーバタンクのキャップを外さない。
 蒸気や熱湯が噴き出し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。

注意

- オーバーヒートしたときは、ただちに安全な場所に車を止めて処置をする。
 そのまま走行を続けると、エンジン故障の原因となり、火災につながるおそれがあります。

オーバーヒートしたときは

5	走行中、再度高水温警告灯（赤色表示）が点灯したときは、手順1～手順4の作業を繰り返して行ってください。	
6	早めに日産販売会社で点検を受けてください。	



アドバイス

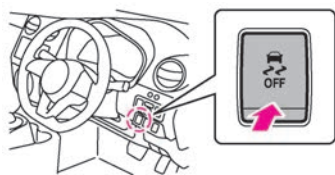
- 応急的に水だけを補充したときは、早めに日産販売会社で点検を受けてください。

雪道やぬかるみにはまったときは

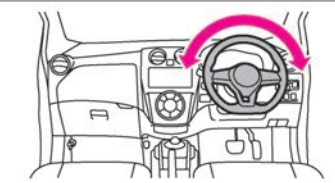
雪道、砂地、ぬかるみなどでタイヤが空転したり、埋まり込んで動けなくなったりしたときは、次の方法で脱出してください。

脱出のしかた

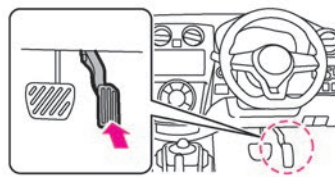
- 1** VDC OFF スイッチを押して、VDC をOFF にします。
 ② VDCの停止のしかた (P.203)



- 2** 車両の前後に障害物が無いことを確認し、ハンドルを左右に回して前輪の周囲をならします。
 必要に応じ、タイヤの下に木材などをそえてください。



- 3** ゆっくりとアクセルペダルを踏み、前進または後退します。
 周囲の安全を確認したうえで、前進と後退を繰り返してください。



⚠ 警告

- **周囲の安全を必ず確認する。**
 周囲の人や物との衝突を避けるため、前進と後退を繰り返すときは、周囲に何も無いことを確認してください。特に脱出の瞬間は、車両が前方または後方に飛び出すおそれがあります。
- **必要以上にアクセルペダルを踏み込まない。**
 急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- **脱出するときは、過度にタイヤを空転させない。**
 タイヤがバースト（破裂）したり、駆動部品の異常加熱により思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

🚗 アドバイス

- 数回試しても脱出できないときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

メンテナンス

メンテナンスの前に

点検整備・工具について	P.366
-------------	-------

点検と整備

エンジンルーム	P.373
ウォッシャー液の補給	P.375
寒冷時の取り扱い	P.376
タイヤ	P.379
冬用タイヤ・タイヤチェーン	P.383
ワイパー	P.384
ヒューズ	P.386
電球（バルブ）交換	P.391
キー（インテリジェントキー）の電池交換	P.407
12Vバッテリー	P.408
エンジンオイル	P.409

清掃・お手入れ

外装のお手入れ	P.410
内装のお手入れ	P.419

サービスデータ

点検値／交換油脂類	P.424
車両仕様	P.427
イベントデータレコーダ（EDR）	P.429

点検整備・工具について

道路運送車両法により、定期点検と日常点検が義務付けられています。正しい点検整備を行いお車を安全にお使いください。
点検整備の詳細については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。

点検整備の種類

- **日常点検**
走行距離や使用時の状態から判断し、適切な時期にお客さまご自身で行う点検です。
いつもと違うことに気がいたら日産販売会社で点検を受けてください。（音、振動、におい、水もれ、油もれなど）
- **定期点検**
1年ごとに実施する点検です。12か月点検および24か月点検があります。
- **その他の点検**
新車時の無料点検や、厳しい使われかたをしたときに必要な点検があります。

知識

- 点検・整備および保証の内容は、別冊のメンテナンスノートに詳しく記載されていますので、必ずお読みください。

車検、点検整備のとき

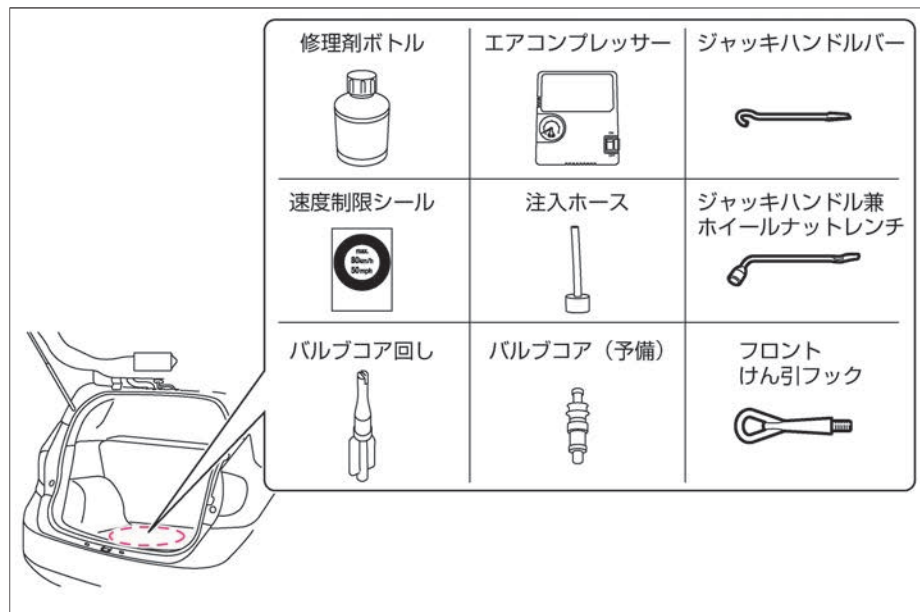
- 車検、点検整備については、日産販売会社にご相談ください。

■ 検査標章（ステッカー）の貼り付け位置について

- フロントガラスにあるマルチセンシングフロントカメラ★を避け、車室内から貼り付けます。車外から見やすい位置に貼り付けてください。
マルチセンシングフロントカメラ (📍 P.415)

工具、タイヤ応急修理キットの格納場所

- 工具・ジャッキ★・タイヤ応急修理キットは、ラゲッジルームに格納されています。
📍 ジャッキ★の取り出しかた (P.368)
📍 応急修理する前に (P.331)
📍 タイヤ応急修理キットについて (P.332)



⚠ 注意

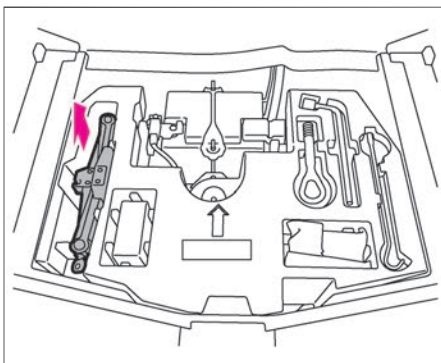
- 工具、ジャッキ★、タイヤ応急修理キットを使ったあとは、元の場所に格納する。
車室内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 知識

- この車両には、スペアタイヤおよびジャッキが標準で搭載されていません。ジャッキアップをする場合は、この車両専用のジャッキを準備してください。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。
- 停止表示板（停止表示灯）、輪止めは標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。
- 工具の種類や発炎筒（🔥 P.325）などは、万一のときに困らないようにあらかじめ位置を確認しておいてください。

ジャッキ★の取り出しかた

- ラゲッジルームのフロアカバーを持ち上げて取り出します。



⚠ 注意

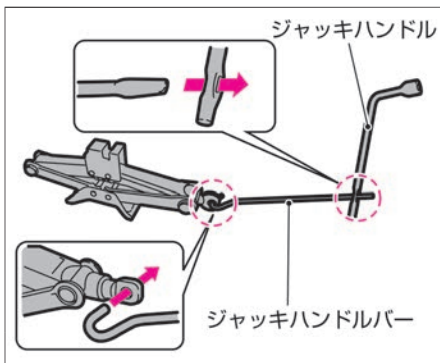
- ジャッキはタイヤ交換またはタイヤチェーンの脱着以外には使用しない。

🚗 アドバイス

- ジャッキが内装部品にぶつからないようにしてください。傷がつくおそれがあります。

ジャッキ★の使いかた

- ジャッキにジャッキハンドルバーとジャッキハンドルをセットします。
- ジャッキを使って車両を持ち上げるときは、正しい位置にジャッキを設置してください。



⚠ 注意

- 工具、ジャッキを使ったあとは、元の場所に収納する。
車室内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ジャッキハンドルを回すときは、ジャッキハンドルバーをしっかりと握って回す。
ジャッキハンドルバーが回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。
- ジャッキハンドルバーは、確実にジャッキハンドルの穴に差し込む。

 注意

ジャッキハンドルバーが確実に差し込まれていないと、外れて思わぬケガをするおそれがあります。

- ジャッキアップしたときは絶対に車両の下に入らない。

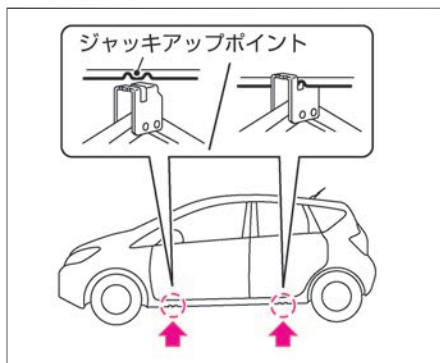
ジャッキが外れると、重大な傷害につながるおそれがあり非常に危険です。

- ジャッキアップ中は**e-POWER**システムを始動しない。

車が発進し、重大な傷害につながるおそれがあります。

ジャッキアップポイント

- 矢印の位置がジャッキアップポイントです。



⚠ 注意

- ジャッキ★を使うときは、次のことを必ず守る。
 - － ジャッキは必ずこの車両専用のものを使い、他車のジャッキは使わないでください。また、この車両専用のジャッキは他車に使わないでください。
 - － ジャッキはタイヤ交換又はタイヤチェーンの脱着以外には使わないでください。
 - － 平坦で硬いところに駐車して作業してください。
 - － 使用前にパーキングブレーキをかけ、シフトポジションを **P** にしてください。
 - － 輪止めなどで車を固定してください。
 - － ジャッキの上下に台やブロックなどを入れないでください。
 - － 人や荷物は必ず車から降ろしてください。



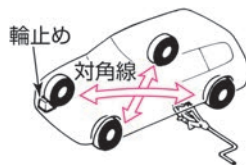
アドバイス

- ジャッキアップポイント以外のところにはジャッキをかけないください。車体に変形するおそれがあります。

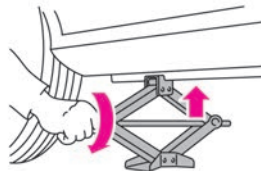
ジャッキアップ★のしかた

- 1 交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平坦な硬い場所）に停車し、人や荷物を車から降ろします。
➡ 停車・駐車のかた (P.181)

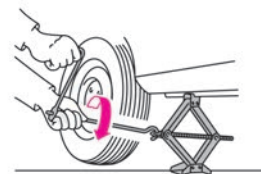
- 2 ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤに輪止めをします。
輪止めは、前輪をジャッキアップするときは後輪の後ろ側、後輪をジャッキアップするときは前輪の前側に置きます。



- 3 ジャッキの上部がジャッキアップポイントに接触するまで、ジャッキを矢印の方向に手で回します。
➡ ジャッキアップポイント (P.370)



- 4 ジャッキハンドルを回して、タイヤと地面が少し離れるまで、ジャッキアップします。



⚠ 注意

- やわらかい地面の上ではジャッキアップしない。
ジャッキが倒れ、事故につながるおそれがあります。
- やむをえず傾斜地で作業する場合は、ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤの下り側に輪止めをし、車が動き出さないようにする。

🚗 アドバイス

- ジャッキアップポイント以外のところにはジャッキをかけないでください。車体に変形するおそれがあります。

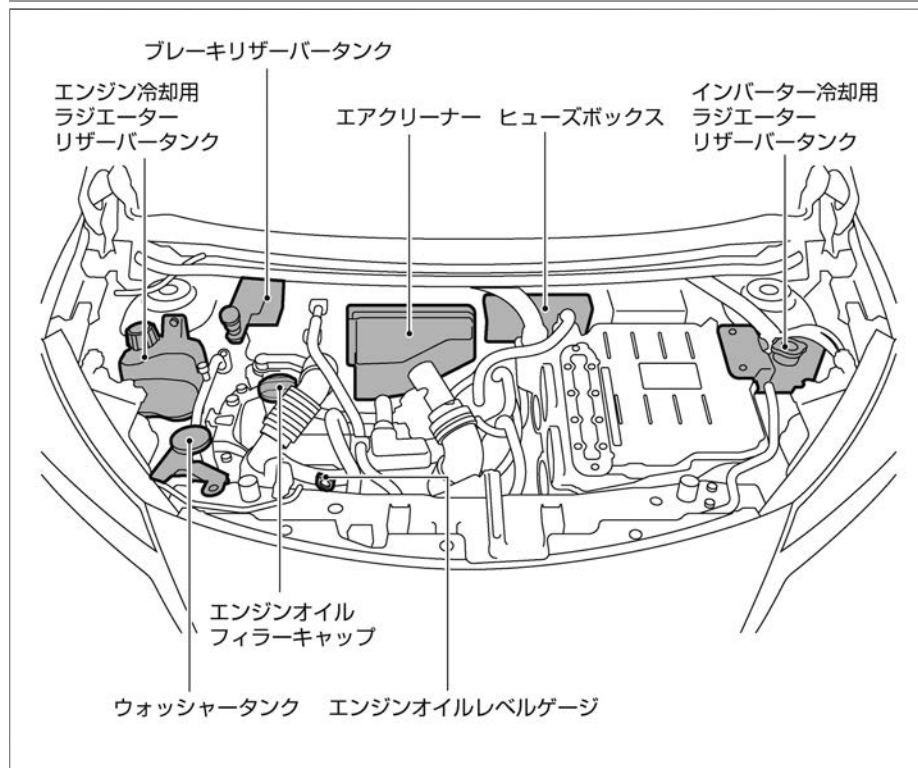
📖 知識

- 輪止めは標準で搭載されていませんので必要に応じて準備してください。なお、輪止めはタイヤを固定できる大きさの石、木片などで代用できます。

エンジンルーム

エンジンルーム内を点検するときは安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でボンネットを開けます。

エンジンルーム内の配置図



警告

- エンジンルーム内の作業をするときは、**パワースイッチをOFFにする**。
e-POWERシステム作動中に手、衣服、工具などを入れると思わぬケガをするおそれがあります。

注意

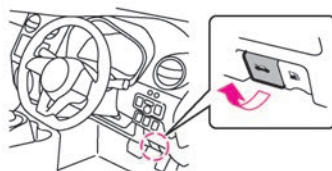
- 点検や整備に使用した工具や布などをエンジンルーム内に置き忘れない。
故障や車両火災につながるおそれがあります。

アドバイス

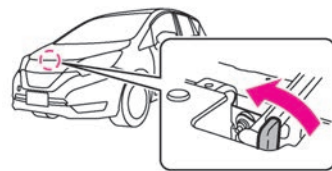
- ワイパーアームを起こしたままボンネットを開けないでください。ボンネットやワイパーが損傷します。
- 点検整備の詳細については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。

ボンネットの開けかた、閉めかた

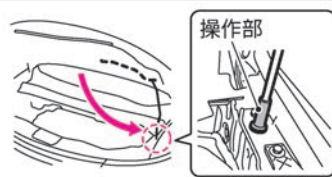
- 1** 運転席の右下にあるボンネットオープナーを引きます。
ボンネットが少し浮き上がります。



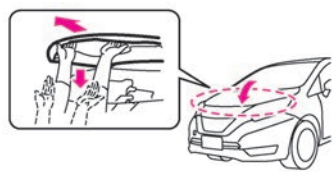
- 2** ボンネット先端のすき間に手を入れ、レバーを横に押しながらボンネットを持ち上げます。



- 3** ボンネット裏側に付いているステーの操作部を持ってフックから外し、車体の穴（ステー差し込み位置）に確実に差し込みます。



- 4** 閉めるときはステーをフックに戻し、ボンネットをゆっくり降ろして20cm～30cmの高さからボンネットを落とし、確実にロックします。



⚠ 警告

- 走行前、ボンネットが確実に閉まっていることを、必ず確認する。
ロックされていないと、走行中にボンネットが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

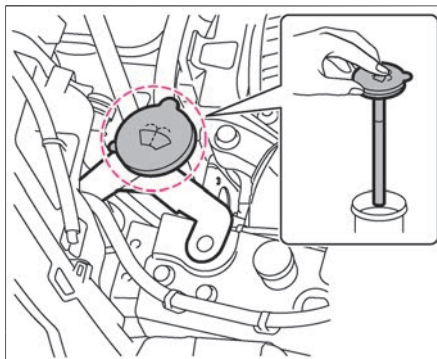
- 風が強いときは、ボンネットをしっかり持ってゆっくりと開ける。
- ステーを持つときは、必ず操作部を持つ。
エンジン停止直後はステーが高温になるため、やけどをするおそれがあります。
- ボンネットを開けたときは、ボンネットに頭などをぶつけないよう注意する。
- ラジエーターなどの高温部には触れない。
やけどをするおそれがあります。
- ボンネットを閉めるときは、手などを挟まないように注意して降ろす。

ウォッシャー液の補給

ウォッシャー液が不足しているときは、ウォッシャー液を補給してください。

補給のしかた

- ウォッシャータンクのふたの穴を押さえて引き抜くと、スポイト式にウォッシャー液の残量が確認できます。
- 減っているときは、ウォッシャータンクのふたを外し、ウォッシャー液を補給してください。
- ウォッシャー液は、必要に応じ水で薄めてください。希釈割合はウォッシャー液の容器に表示してある凍結温度を参考にします。



⚠ 注意

- ウォッシャー液を補給するときは、液を高温部にかけない。出火するおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ウォッシャー液の代わりに石けん水などを入れないでください。塗装面がしみになるおそれがあります。

📖 知識

- フロントワイパーとリヤワイパー★のウォッシャータンクは兼用です。
- ウォッシャー液の残量を確認したとき、ウォッシャー液がチューブ下端にしか入らないと、ウォッシャータンクはほぼ空の状態です。
- 日産純正ウインドーウォッシャー液をおすすめします。
ウォッシャータンク容量 (👉 P.425)

寒冷時に備えて、準備や点検などを正しく行ってください。

冬の前の準備

■ 冷却水の濃度点検

- 冷却水の凍結を防ぐため、冷却水の濃度を点検してください。

冷却水の濃度	凍結温度
30%	約-15°C
50%	約-35°C

- 冷却水を補充するときは、日産純正スーパーロングライフクーラント（50%希釈品）をお使いください。
サービスデータ（冷却水）（➡P.425）

■ 冬用タイヤ、タイヤチェーンの準備

- 冬用タイヤに交換するときは、4輪とも指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のものに交換してください。
- タイヤチェーンは、タイヤサイズにあった日産純正品をおすすめします。
- 16インチタイヤ付車は、純正チェーンの設定がありません。また、タイヤチェーンを装着して走行すると、タイヤチェーンと車体が干渉するおそれがあります。雪道を走行するときは冬用タイヤに交換してください。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

■ ウォッシャー液の濃度点検

- ウォッシャー液の凍結を防ぐため、ウォッシャー液の容器に記載してある凍結温度を参考に外気温に応じた希釈割合（濃度）にしてください。



アドバイス

- 寒冷地仕様車の冷却水は工場出荷時に50%にしてあります。
- 冷却水の点検・補充・交換は日産販売会社にご相談ください。

運転する前に

状況に応じて次のことを行ってください。

- ドアやワイパーなどが凍結したときは、無理に開けたり動かししたりせず、凍った部分にお湯をかけて氷を溶かしてください。溶けたらすぐに水分をふき取ってください。
- ガラスに雪や霜が積もっているときは、プラスチックの板などを使用して、ガラスを傷つけないように雪を取り除いてください。
- 足まわり（ブレーキ周辺、フェンダーの裏側など）が凍りついているときは、部品が破損しないように注意しながら、付着した氷塊を取り除いてください。
- 車室内に乗り込むときは、靴についた雪を取り除いてください。



警告

- **ルーフに積もった雪は落とす。**
窓ガラスに雪が滑り落ちると視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



アドバイス

- ドアなどの開閉部分を無理に開けないでください。ゴムがはがれたり損傷するおそれがあります。
- ワイパー、ドアミラー、パワーウィンドーなどを無理に動かさないでください。装置が損傷するおそれがあります。
- ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結するおそれがあります。



知識

外気温が低く、エンジン冷却水温が低いときは、暖房性能を確保するためエンジン回転数が上昇することがあります。

雪道の走行のしかた

■ 滑りやすい路面に注意

- 滑りやすい路面での急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど無理な運転は危険ですのではありません。雪道や凍結路では速度を落とし、車間距離を取り、ゆとりある運転をしてください。
- 雪道、凍結路では早めに冬用タイヤ、タイヤチェーンなどを装着して走行してください。

➡ タイヤチェーンについて (P.383)

■ 走行中の雪の付着に注意

- ブレーキに付着した雪が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ときどきブレーキの効き具合を確認してください。効きが悪いときは、前後の車との距離を十分とり、低速走行で効きが回復するまでブレーキペダルを軽く踏んでください。
- フェンダーの裏側に付いた雪が積もり、ハンドルの切れが悪くなることがあります。時々確認して雪を取り除いてください。

■ 駐車するときの注意

- シフトポジションを **P** にして、パーキングブレーキをかけずに輪止めをしてください。パーキングブレーキをかけると、ブレーキが凍結して解除できなくなるおそれがあります。
- 軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪で車が損傷するおそれがあります。
- 雪が降りそうなときや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ブレードと窓ガラスが凍結し、破損するおそれがあります。
- 雪が積もりそうなときはアンテナ★を取り外してください。アンテナが破損するおそれがあります。
アンテナの外しかた★ (➡ P.412)

タイヤが摩耗・損傷していたり、適正な空気圧でないと、安全な走行ができず乗り心地も損なわれます。日常的に点検を行ってください。

■ タイヤの点検項目

安全な走行のため、タイヤの点検は次の項目を点検してください。
詳細は別冊のメンテナンスノートをお読みください。

タイヤ空気圧

- すべてのタイヤの空気圧を点検してください。
- タイヤの指定空気圧は運転席ドアの開閉部に表示してあります。

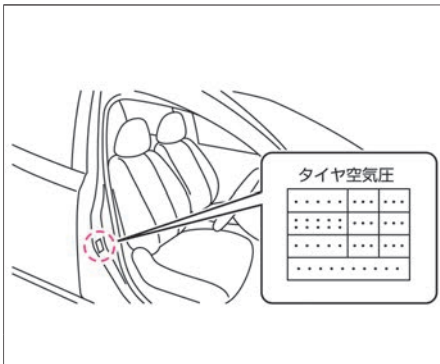
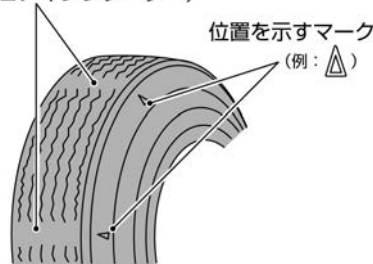
タイヤの亀裂・損傷の有無

- タイヤの接地面や側面に著しい亀裂や損傷および針などの異物が刺さっていないか点検してください。

タイヤの溝の深さ、異常な摩耗

- タイヤの溝の深さが十分であるか、ウェアインジケーター（摩耗限度表示）が表れているか点検してください。
- タイヤが摩耗して接地面とウェアインジケーター（摩耗限度表示）が同じ高さになったらタイヤを交換してください。

摩耗限界表示
(ウェアインジケーター)



⚠ 注意

- **タイヤの空気圧が不足したまま走行しない。**
バースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **使用開始後5～7年を目安に必ず点検する。**
タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。引き続き使用する場合は安全走行を確保するため、必ず点検を受けてください。点検については日産販売会社へご相談ください。

📖 知識

- タイヤの空気は自然に少しずつ低下します。月に一度はタイヤエアゲージを使用して点検してください。
- タイヤ空気圧の点検は、走行前のタイヤが冷えているときに点検・調整してください。
- タイヤ側面の厚みが薄いタイヤは、空気圧が減っていることを目視で確認することが困難なため、必ずタイヤエアゲージを使用して点検してください。
- 走行直後はタイヤ空気圧が約1割程度上がる場合があります。

次ページに続く

■ タイヤ・ロードホイールを交換するときは

- タイヤ交換をするときは、日産販売会社にご相談ください。
- タイヤを交換するときは、4輪とも同時期に行い、必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを取り付けてください。
- タイヤサイズは運転席ドア開口部のタイヤ空気圧表示を参照してください。
- ロードホイールを交換するときは、必ず指定サイズで同一種類のロードホイールを取り付けてください。
ロードホイールのサイズは巻末のサービスデータに記載してあります。

注意

- **指定サイズ以外のタイヤ・ロードホイールは絶対に取り付けない。**
不適合なタイヤ・ロードホイールを取り付けると、安全性が損なわれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **タイヤを交換するときは、4輪とも同時期に行い、必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを取り付ける。**
径が異なるタイヤを装着すると車の機構に無理がかかり、重大な故障につながります。また、VDCシステムが正常に作動しないことがあります。次のようなタイヤの装着はしないでください。
 - － 摩耗差の大きいタイヤの装着
 - － 前輪または後輪だけに冬用タイヤを装着
 - － サイズや種類の異なるタイヤを個々に装着

 アドバイス

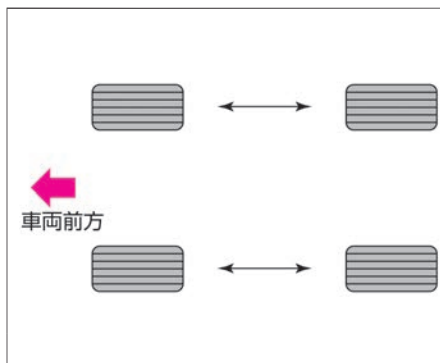
- ロードホイールは、リムサイズやインセットが同じでも、他の車のものは使えない場合があります。お手持ちのものをご使用になるときは、日産販売会社にご相談ください。
- アルミホイール★には荷重制限がありますので、交換するときは日産販売会社にご相談ください。
- タイヤやロードホイールを交換したときは、ホイールバランスを確実に取ってください。
- バルブキャップは日産純正品を使用してください。日産純正品以外のバルブキャップを使用すると腐食して固着し、外れなくなる場合があります。


 アドバイス

- バルブキャップを工具などを使用して締め付けると、バルブキャップが破損するおそれがあります。
- ホイールナットの締め付けトルクは、108N・m (11kg・m) です。

■ タイヤローテーションのしかた

左右それぞれで、前後タイヤの交換を行ってください。タイヤの偏磨耗を防ぎ、寿命を延ばすために、約5,000kmごとにタイヤのローテーション（位置交換）を行うことをおすすめします。



⚠ 注意

- 著しく摩耗差のあるタイヤや空気圧が規定値と著しく異なるタイヤを装着しない。
車の性能が十分に発揮できなくなり、安全性を損なったり故障の原因になります。

🚗 アドバイス

- タイヤの位置交換と同時に空気圧も点検してください。
- タイヤの位置交換については、日産販売会社にご相談ください。

冬用タイヤ・タイヤチェーン

雪道や凍結した道路を走行するときは、冬用タイヤやタイヤチェーンを装着してください。

冬用タイヤについて

冬用タイヤを装着するときは、4輪とも指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のものに交換してください。

タイヤチェーンについて

タイヤチェーンを装着するときは、次のことを守ってください。

- タイヤチェーンを装着するときは、安全に作業できる平坦な場所に停車し、パワースイッチをOFFにして作業してください。
- タイヤチェーンは必ず前2輪に装着してください。
- タイヤサイズに適合したチェーンを装着してください。
- タイヤチェーンに付属の取扱説明書に従って装着してください。
- タイヤチェーンに付属の取扱説明書で指定された速度で走行してください。
- 16インチタイヤ付車は、純正チェーンの設定がありません。また、タイヤチェーンを装着して走行すると、タイヤチェーンと車体が干渉するおそれがあります。雪道を走行するときは冬用タイヤに交換してください。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

注意

- **タイヤチェーンを不適正に装着したり、タイヤサイズに合わないものを使用しない。**
ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。

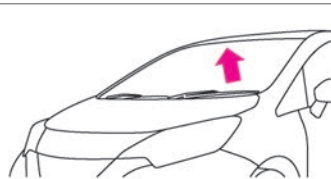
アドバイス

- タイヤチェーンを装着すると、ホイールカバー★やアルミホイール★に傷をつけるおそれがあります。
- 雪のない舗装路ではチェーンを装着したまま走行しないでください。路面を損傷したり、チェーンの摩耗を早め、寿命が短くなります。
- タイヤチェーンを装着しているときは、突起しているところや穴の上を走行しないでください。また、急ハンドルやタイヤがロックするようなブレーキ操作をしないでください。

ワイパーゴムが傷んでいると、きれいにふき取れなかったり、窓ガラスを傷つけたりします。定期的に点検し、傷んでいるときは次の手順に従って交換してください。

ワイパーブレードの交換のしかた

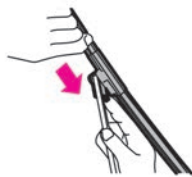
- 1 ワイパーアームを起こし、ワイパーブレードを少し傾けます。



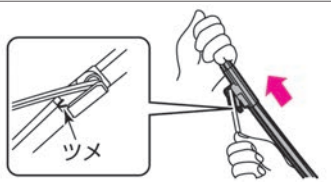
- 2 ワイパーブレードのツメを押したままにします。



- 3 ワイパーブレードを矢印の方向に動かして取り外します。



- 4 新しいワイパーブレードを取り付けます。取り付けは取り外したときと逆の手順で行い、ワイパーブレードが確実に固定されていることを確認します。



⚠ 注意

- 交換するときは、ワイパーアームおよびワイパーブレードがガラスに当たらないよう気をつける。ガラスに当たるとガラスが破損するおそれがあります。

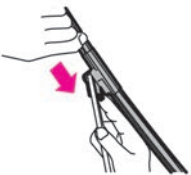
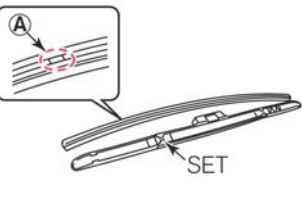
🚗 アドバイス

- ワイパーブレードに大きな力を加えて変形させないでください。ふき取りにくくなったり、破損するおそれがあります。

📖 知識

- リヤワイパーブレード★の点検、交換が必要なときは、日産販売会社にご相談ください。
- ワイパーゴムの交換のしかたは、別冊のメンテナンスノートの「簡単な整備のしかた」をお読みください。

ワイパーゴムの交換のしかた

1	ワイパーアームからワイパーブレードを取り外します。	
2	ワイパーゴムを矢印方向にスライドし、取り外します。	
3	取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。 ● ワイパーゴムのストッパーがない方からブレードに沿って差し込みます。 ● ワイパーゴムのⒶ部をワイパーブレードの「SET」の位置で確実に押し込み、固定します。	

知識

- ワイパーゴムに石けん水を塗ると脱着しやすくなります。

ヒューズ

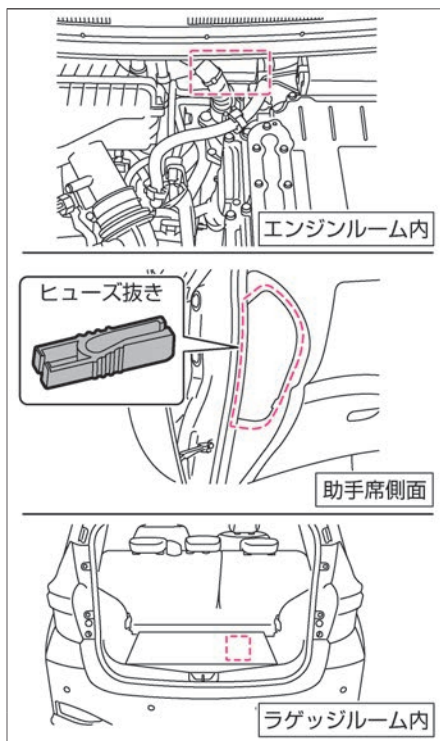
ランプがつかないときや電気系統の装置が作動しないときは、ヒューズ切れが考えられます。故障の状況から、関係するヒューズを確認してください。

ヒューズボックスの位置

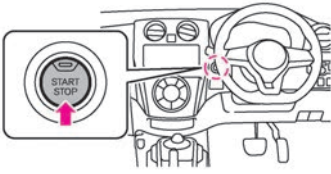
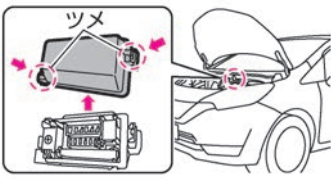
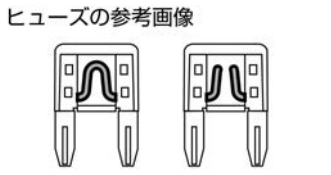
- ヒューズボックスは、次の位置にあります。
 - ー エンジンルーム内
 - ー 助手席側面
 - ー ラゲッジルーム内
- 各ヒューズの位置は、ヒューズボックスのふたの裏側に表示してあります。

ヒューズ抜きについて

- 助手席側面のヒューズボックス内にヒューズ抜きがあります。



ヒューズの点検・交換のしかた（エンジンルーム内）

1	パワースイッチをOFFにし、ボンネットを開けます。 ➡ ボンネットの開けかた、閉めかた (P.374)	
2	ヒューズボックスのカバーをツメを押しながら外します。	
3	ヒューズ抜きを使用してヒューズを取り外します。 ヒューズ抜き (➡ P.386)	 ヒューズ抜きで引き抜く
4	ヒューズが切れていないか点検します。 切れているときは新しいヒューズと交換します。	ヒューズの参考画像 

⚠ 警告

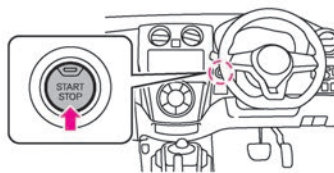
- 規定の容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使用しない。
電装システムの破損や火災につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

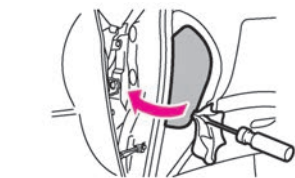
- ヒューズを交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。
- 交換してもヒューズが切れるときは、日産販売会社で点検を受けてください。

ヒューズの点検・交換のしかた（助手席側面）

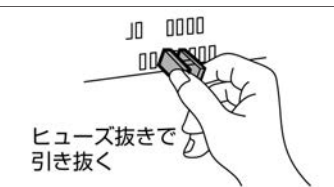
- 1 パワースイッチをOFFにします。



- 2 お手持ちの工具（マイナスドライバーなど）をスリットに差し込み、ヒューズボックスカバーを外します。

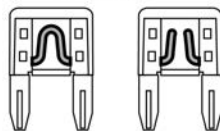


- 3 ヒューズ抜きを使用してヒューズを取り外します。
ヒューズ抜き (➡ P.386)



- 4 ヒューズが切れていないか点検します。
切れているときは新しいヒューズと交換します。

ヒューズの参考画像



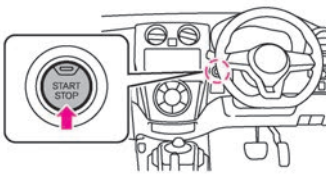
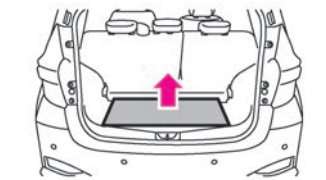
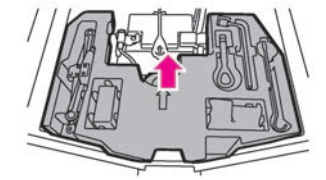
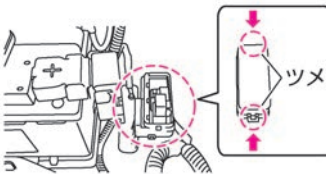
警告

- 規定の容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使用しない。
電装システムの破損や火災につながるおそれがあります。

アドバイス

- お手持ちの工具を布などで覆い、傷をつけないように注意してください。
- ヒューズを交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。
- 交換してもヒューズが切れるときは、日産販売会社で点検を受けてください。

ヒューズの点検・交換のしかた（ラゲッジルーム内）

1	パワースイッチをOFFにします。	
2	バックドアを開け、ラゲッジルームのフロアカバーを取り外します。	
3	工具が収納されているボードを取り外します。	
4	ヒューズボックスのカバーをツメを引きながら外します。	

警告

- 規定の容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使用しない。
電装システムの破損や火災につながるおそれがあります。

アドバイス

- ヒューズを交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。
- 交換してもヒューズが切れるときは、日産販売会社で点検を受けてください。

5

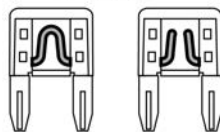
ヒューズ抜きを使用してヒューズを取り外します。
ヒューズ抜き (➡ P.386)



6

ヒューズが切れていないか点検します。
切れているときは新しいヒューズと交換します。

ヒューズの参考画像

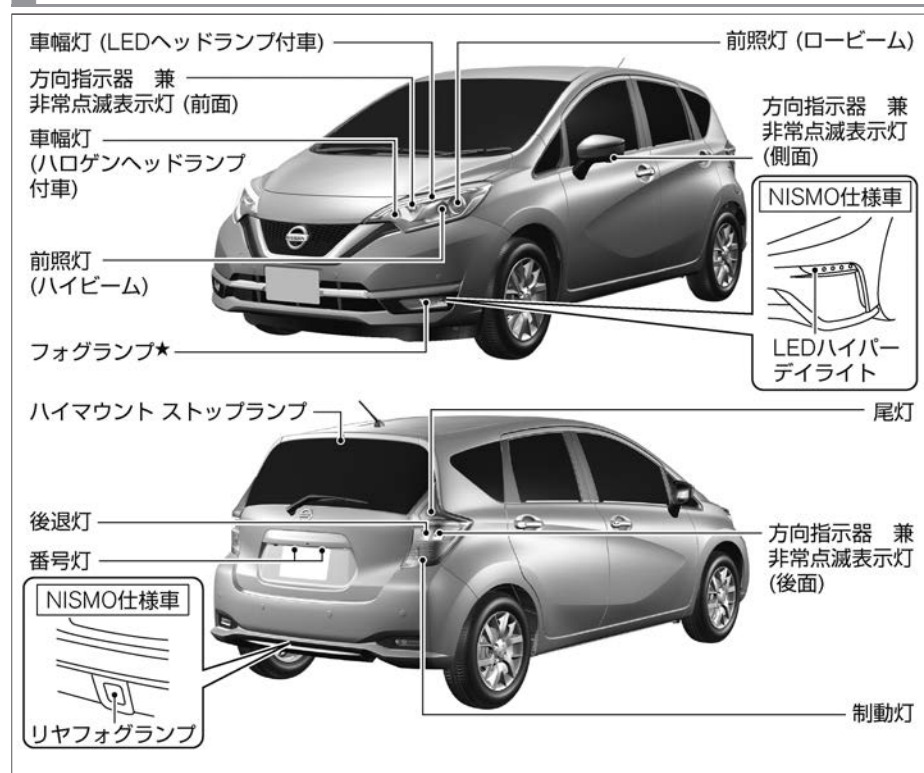


電球（バルブ）交換

外装ランプが点灯しないときは、電球の球切れが考えられます。

電球の交換作業が不慣れな方や部品の破損などが心配な方は、日産販売会社にご相談ください。

各電球（バルブ）の位置



⚠ 注意

- 電球交換は、ボンネットや電球が冷えた状態で行う。
やけどをするおそれがあります。
- 電球交換をするときは、軍手などを着用する。
- ステーなどの端で指や腕をケガしないように注意する。
- 電球は確実に取り付け。
電球は点灯中、表面が高温になります。電球が正しく取り付けられていないと、走行中に電球が外れて周辺の部品に接触するなどし、発熱、発火につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- 外した部品は確実に取り付けてください。水が入り故障の原因になるおそれがあります。
- 電球に油が付着したときは柔らかい布などでふき取ってください。また、素手でガラス部分に触れないでください。電球の寿命が短くなったり電球が破損するおそれがあります。

次ページに続く

 知識

- ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがあります。また、ヘッドランプ内と外気との温度差により、レンズ内面が結露することもあります。これは雨天時などに窓ガラスがくもると同様の現象で、機能上の問題ではありません。また、レンズの構造上、レンズのふちに水滴が付着することがありますが、機能上の問題ではありません。ただし、ランプ内に水がたまっている場合やレンズ内面に大粒の水滴が付着している場合は、日産販売会社にご相談ください。

ロービーム（ハロゲンヘッドランプ付車）

- 1 ボンネットを開けます。
 ② ボンネットの開けかた、閉めかた (P.374)

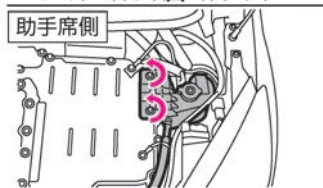
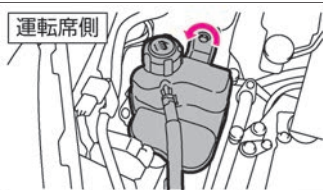
- 2 作業スペースを確保するため、以下の部品を外します。
 運転席側または助手席側のバルブ交換によって、外す部品が異なります。

運転席側

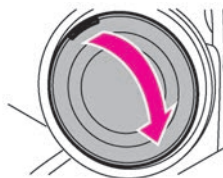
エンジン冷却用ラジエーターリザーバタンクを固定しているボルトを外し、車両後方にずらして作業スペースを確保します。

助手席側

インバーター冷却用ラジエーターリザーバタンクを固定しているボルトを外し、車両後方にずらして作業スペースを確保します。



- 3 カバーを取り外します。



⚠ 注意

- 電球の取り扱いには注意する。
 ロービームに使用している電球は、電球内の圧力が高いため、破損するとガラスが飛び散ることがあります。

🚗 アドバイス

- 取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。

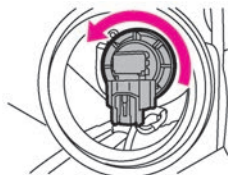
📖 知識

- ロービームヘッドランプ：12V-55W

電球（バルブ）交換

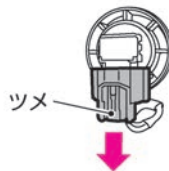
4

ソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。



5

コネクターを取り外し、電球を交換します。
（ツメを押しながら外します。）



6

取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

電球（バルブ）交換

ハイビーム

1

ボンネットを開けます。

➡ ボンネットの開けかた、閉めかた (P.374)

2

作業スペースを確保するため、以下の部品を外します。

運転席側または助手席側のバルブ交換によって、外す部品が異なります。

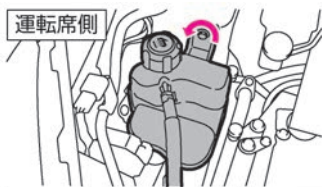
運転席側

エンジン冷却用ラジエーターリザーバータンクを固定しているボルトを外し、車両後方にずらして作業スペースを確保します。

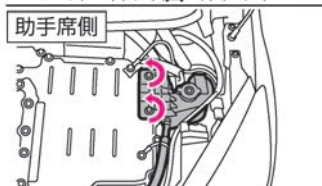
助手席側

インバーター冷却用ラジエーターリザーバータンクを固定しているボルトを外し、車両後方にずらして作業スペースを確保します。

運転席側

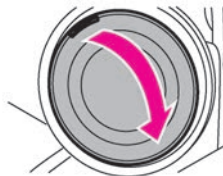


助手席側



3

カバーを取り外します。



⚠ 注意

- 電球の取り扱いには注意する。
ハイビームに使用している電球は、電球内の圧力が高いため、破損するとガラスが飛び散ることがあります。

🚗 アドバイス

- 取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。

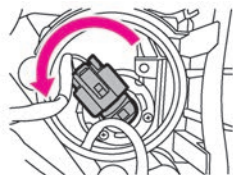
📖 知識

- ハイビームヘッドランプ：12V-60W

電球（バルブ）交換

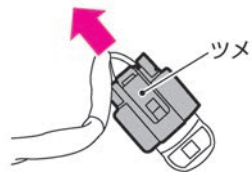
4

ソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。



5

コネクターを取り外し、電球を交換します。
（ツメを押しながら外します。）



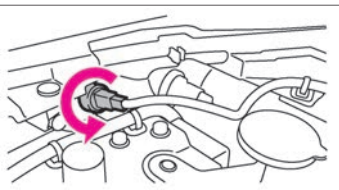
6

取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

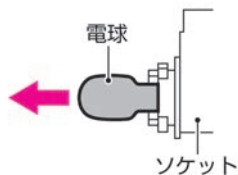
電球（バルブ）交換

車幅灯（ハロゲンヘッドランプ付車）

- 1 ボンネットを開け、ソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。
 ➡ ボンネットの開けかた、閉めかた (P.374)



- 2 古い電球を引き抜き、新しい電球をソケットに取り付けます。



- 3 取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

 アドバイス

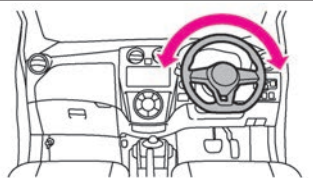
- 取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。

 知識

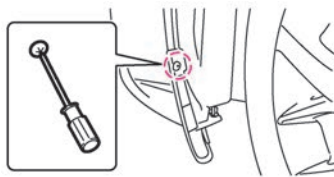
- 車幅灯：12V-5W

フォグランプ★

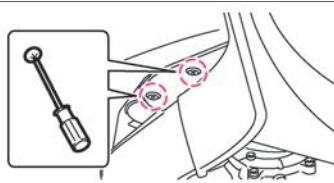
- 1 作業スペースを確保するため、作業する側と反対方向にハンドルを切ります。



- 2 お手持ちの工具（トルクス）でネジを外します。



- 3 下側のネジを外します。



- 4 カバーをめくり、作業スペースを確保します。



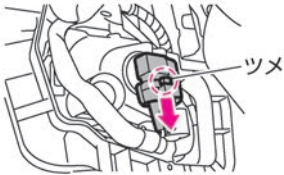
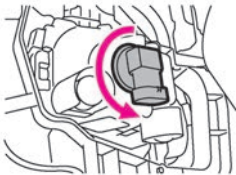
アドバイス

- 取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。

知識

- フォグランプ：12V-35W

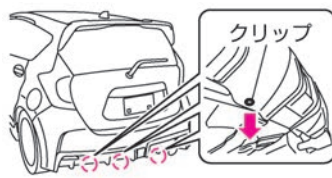
電球（バルブ）交換

5	コネクターを取り外します。 （ツメを押しながら外します。）	
6	ソケットを矢印の方向に回して引き抜き、電球を交換します。	
7	取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。	

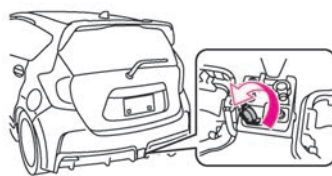
電球（バルブ）交換

リヤフォグランプ★

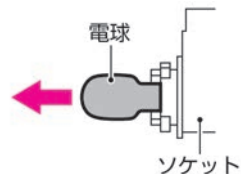
- 1 リヤバンパー下部のクリップ3箇所を外します。



- 2 リヤバンパーをめくり、ソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。



- 3 古い電球を引き抜き、新しい電球をソケットに取り付けます。



- 4 取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

 アドバイス

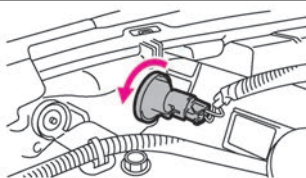
- リヤバンパーを必要以上にめくらないでください。変形するおそれがあります。
- 取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。

 知識

- リヤフォグランプ：12V-21W

方向指示器 兼 非常点滅表示灯（前面）

- 1 ボンネットを開け、ソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。
 ➡ ボンネットの開けかた、閉めかた (P.374)



- 2 古い電球を引き抜き、新しい電球をソケットに取り付けます。



- 3 取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

 アドバイス

- 取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。

 知識

- 方向指示器 兼 非常点滅表示灯（前面）：12V-21W（アンバー）

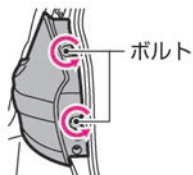
電球（バルブ）交換

方向指示器 兼 非常点滅表示灯（後面）／後退灯／尾灯

1 バックドアを開けます。



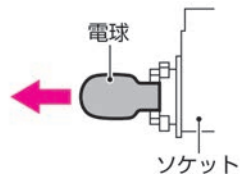
2 リヤコンビランプのボルトを外し、ランプをまっすぐ後方に引いて取り外します。



3 交換したい電球のソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。



4 古い電球を引き抜き、新しい電球をソケットに取り付けます。


 アドバイス

- 取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。

 知識

- 尾灯：12V-5W
- 方向指示器 兼 非常点滅表示灯（後面）：12V-21W（アンバー）
- 後退灯：12V-16W

5

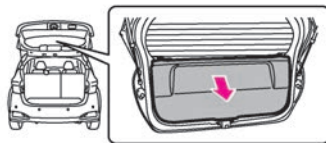
取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

番号灯

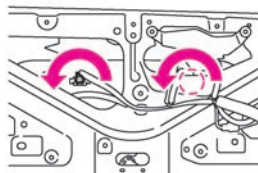
1 バックドアを開けます。



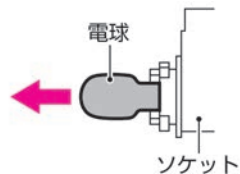
2 バックドアフィニッシャーインナーを外します。



3 ソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。



4 古い電球を引き抜き、新しい電球をソケットに取り付けます。


 アドバイス

- 取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。

 知識

- 番号灯：12V-5W

5

取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

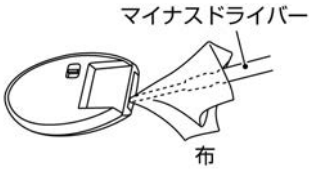
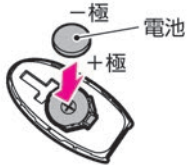
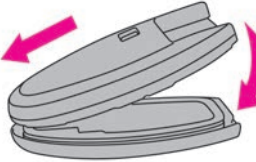
その他の電球

次の電球が点灯しないときは日産販売会社で点検を受けてください。

- ロービーム（LEDヘッドランプ付車）
- 車幅灯（LEDヘッドランプ付車）
- 制動灯（LED）
- ハイマウントストップランプ（LED）
- 方向指示器 兼 非常点滅表示灯（側面）（LED）
- LEDハイパーディライト★（LED）

キー（インテリジェントキー）の電池交換

キーのスイッチを押しても作動しないときは、電池の消耗が考えられます。
次の手順に沿って、電池を交換してください。

1	キー裏側のロックを外しながら、内蔵キー（メカニカルキー）を引き抜きます。	
2	すき間にマイナスドライバーを差し込み、ひねってカバーを取り外します。（カバーが傷つかないように、マイナスドライバーに布を巻いてください。）	
3	消耗した電池を取り外し、新しい電池をはめ込みます。（新しい電池は、+極を下にして取り付けてください。） 使用電池：CR2025	
4	カバーの先端を合わせて上下のカバーを組み付けます。確実に取り付けられたことを確認してください。	

⚠ 警告

- 電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意する。

🚗 アドバイス

- 電池交換の際、キーを破損するおそれがあります。日産販売会社での交換をおすすめします。
- 内部回路、電子端子などに触れないでください。故障の原因となります。
- 電池交換後は、インテリジェントキーシステムの各機能が正常に作動するか必ず確認してください。正常に作動しないときは故障が考えられますので、日産販売会社にご相談ください。

12Vバッテリー

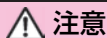
12Vバッテリーのメンテナンスについては、メンテナンスノートをお読みください。
詳しくは日産販売会社にご相談ください。

12Vバッテリーに関する注意事項



警告

- 12Vバッテリーを充電するときは換気を十分に行い、火気は近づけない。
12Vバッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- バッテリー液が付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診断を受ける。
バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。



注意

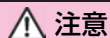
- 12Vバッテリーの⊕側ターミナルが周辺の金属と接触しないようにする。
接触するとショートして火災の原因となるおそれがあります。また、12Vバッテリーの端子の締め付けが緩いと、配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。
- 12Vバッテリーを交換するときは、必ず同じサイズ（型式）に交換し、動かないようにしっかりと固定する。
しっかりと固定できていないと、ショートなどの原因となり火災につながるおそれがあります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

エンジンオイル

エンジンオイルの交換時期はメンテナンスノートをお読みください。

また、指定のエンジンオイルについては、巻末のサービスデータ (➡ P.425) をお読みください。

エンジンオイルに関する注意事項



注意

- **オイル交換は適切に行う。**
適切にオイル交換が行われないと、エンジンの破損や火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **オイルの点検後は、オイルレベルゲージを確実に差し込む。**
オイルレベルゲージが根元まで差し込まれていないと、オイルが吹き出し火災の原因になるおそれがあります。
- **エンジンオイルフィルターキャップは確実に閉める。**
走行時にキャップが外れてエンジンオイルが噴き出すと、火災の原因になるおそれがあります。

外装のお手入れ

塗装面の変色やサビなどを防止するために、適切なお手入れが大切です。

洗車のしかた

- 洗車機で洗車するときは、アンテナ★を外してください。
アンテナの外しかた★ (🔍 P.412)
- 洗車やふき取りなどでワイパーアームを持ち上げるときは、ボンネットに当たらないようにしてください。
- 塗装面に付着した汚れをそのままにすると、変色やサビの原因となります。次のような場合は、すぐに洗車してください。
 - ー ばい煙、虫の死がいや鳥のふん、樹液、鉄粉、コールタールなどが付着したとき
 - ー 海岸地区、凍結防止剤を散布した道路を走行したあと
 - ー ほこり、汚れがひどいとき

注意

- 下回りを洗うときは、ケガをしないように注意する。
- エンジンルーム内に水をかけない。
e-POWERシステムの始動不良や不調などの原因になるおそれがあります。また、電装品などに水がかかると、故障したり電気部品のショートにより車両火災につながるおそれがあります。

アドバイス

- ケミカル用品などは用途により使い分けが必要です。用途にあった物をお使いください。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使用しないでください。変色やしみの原因となります。
- 硬いブラシや、たわしなどは使用しないでください。塗装面を傷つけるおそれがあります。
- 寒冷時に洗車をするときは、ブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。

■ 水洗いするときは

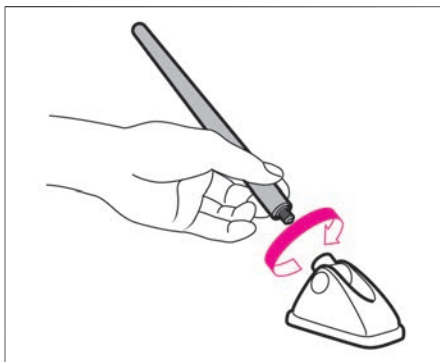
- ① 水をかけながら下回りの汚れを洗い流します。
- ② 水をかけながら塗装面の高い位置から低い位置の順にセーム皮や柔らかいスポンジなどで汚れを落とします。汚れがひどいときは、ボディーシャンプーなどを使い、その後十分に水で洗い流します。
- ③ はん点が残らないように水をふき取ります。

洗車機を使うときは

- ルーフについているアンテナ★を外してください。
- ドアミラーを格納してください。
-  ドアミラー (P.144)
- 高圧洗車機を使用するときは、洗車ノズルと車体の距離を十分離して洗車してください。

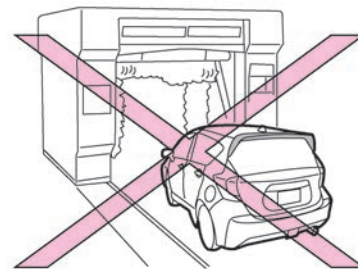
アンテナの外しかた★

- アンテナを取り外すときは、アンテナの根元を持ち、矢印の方向に回して取り外します。
- 取り付けるときは、アンテナの根元を持ち、矢印と逆方向に回し、確実に締め付けます。



アドバイス

- 自動洗車機で洗車すると、ブラシの傷がつき、塗装の光沢が失われたり劣化を早めることがあります。
- ドアガラスのまわりに高圧ノズルを近づけないでください。車室内に水が漏れるおそれがあります。
- NISMO仕様車は、自動洗車機を使用しないでください。洗車機を使用すると、リヤスポイラーが破損するおそれがあります。



ワックスをかけるときは

- ワックスがけは1か月に1回程度、または水はじきが悪くなったときに行ってください。かけかたは普通塗装車、メタリックおよびパール塗装車とも同じです。

ワックスのかけかた

- ① 塗装面の汚れを洗車などで取り除きます。
- ② 塗装面が冷えているとき（体温以下が目安）にワックスをかけます。かけかたはワックス容器に記載してある説明に従ってください。

ワックスの選びかた

- コンパウンド（研磨剤）の入っていない、塗装に適したワックスをご使用ください。日産純正カーワックスをおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。



アドバイス

- 塗装されていないバンパー、スポイラーなどの樹脂部品には、ワックスを使用しないでください。ムラになることがあります。
- コンパウンド（研磨剤）の入ったワックスを使うと、塗装面の光沢や水をはじく特性が失われることがあります。
- カメラ★のレンズ部にワックスを付けないでください。ワックスが付いた場合は、中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、ふき取ってください。

■ アルミホイール★のお手入れ

- 中性洗剤を含ませたスポンジなどを使い、汚れを落としてください。日産純正クリーナーをおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。



アドバイス

- 変色やしみの原因になったり、傷をつけるおそれがあるため、次のことをお守りください。
 - － 強酸性、強アルカリ性の洗剤は使用しない
 - － 洗剤はホイールの表面が冷えているときに使用する（体温以下が目安）
 - － 洗剤を使用したあとは、早めに十分洗い流す
 - － 硬いブラシやコンパウンド（研磨剤）の入った洗剤などは使用しない

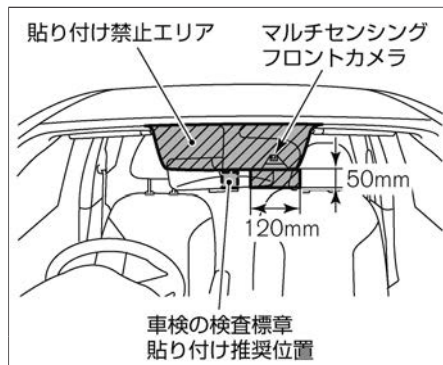
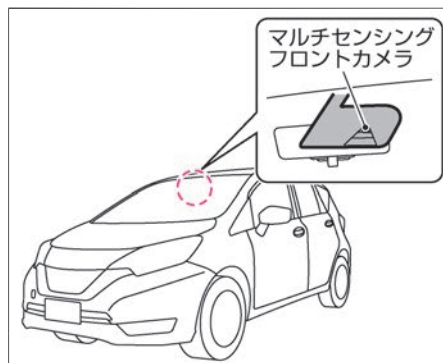
■ 軽い補修のしかた

- 塗装面の小さい傷はタッチアップペイントを使い、早めに傷部を補修してください。サビの発生を防ぎ、塗装面を長持ちさせます。

マルチセンシングフロントカメラ★の取り扱い

システムを正しく作動させるために、次のことをお願いします。

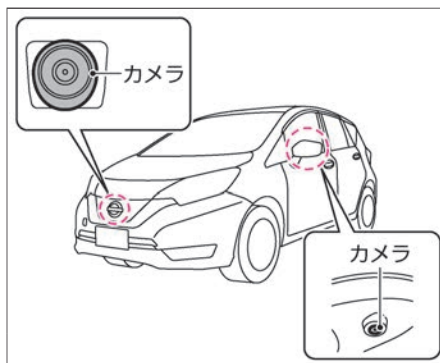
- カメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。
中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた柔らかい布でふき取ります。
- カメラ前方のフロントガラスにステッカー（透明なものを含む）を貼らないでください。
- フロントガラスに車検の検査標章（ステッカー）を貼り付ける場合は、貼り付け禁止エリアを避けて貼り付けてください。
- カメラ周辺に強い衝撃を与えないでください。またカメラを取り外さないでください。故障、誤作動の原因になります。事故などでカメラ周辺部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください。



■ フロントビュー★／サイドビューカメラ★の取り扱い

システムを正しく作動させるために、次のことをお守りください。

- カメラ周辺部はいつもきれいにしておいてください。中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた柔らかい布でふき取ります。
- カメラ周辺部に強い衝撃を与えないでください。衝突などでカメラ周辺を破損したときは、日産販売会社で点検を受けてください。



⚠ 警告

- **カメラ部に強い衝撃を与えない。**
カメラ部は精密機械のため高圧洗車など、強い衝撃を与えないでください。故障、火災または感電のおそれがあります。

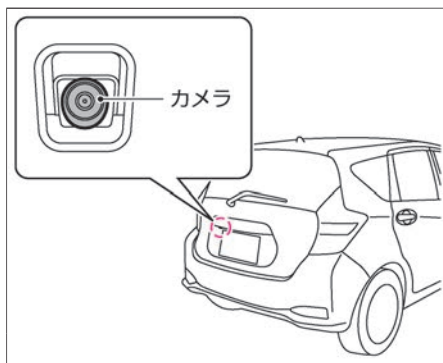
🚗 アドバイス

- カメラレンズ部に泥、雨滴、雪などが付着すると、モニター画像の映りが悪くなりますので、ぬれた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- カメラ部には傷をつけないでください。画像の映像へ影響が出ることがあります。

リヤビューカメラ★の取り扱い

システムを正しく作動させるために、次のことをお守りください。

- カメラ周辺部はいつもきれいにしておいてください。
中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた柔らかい布でふき取ります。
- 光が反射するため、ナンバープレートのアクセサリを取り付けしないでください。
- カメラ周辺に強い衝撃を与えないでください。衝突などでカメラ周辺を破損したときは、日産販売会社で点検を受けてください。



⚠ 警告

- カメラ部に強い衝撃を与えない。
カメラ部は精密機械のため高圧洗車など、強い衝撃を与えないでください。故障、火災または感電のおそれがあります。

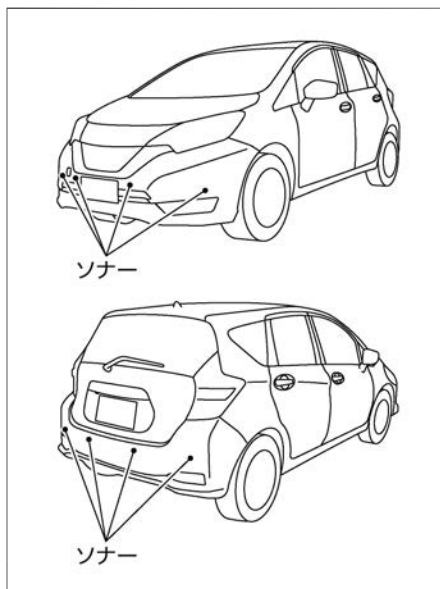
🚗 アドバイス

- カメラレンズ部に泥、雨滴、雪などが付着すると、モニター画像の映りが悪くなりますので、ぬれた柔らかい布でふき取ったあと、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- カメラ部には傷をつけないでください。画面の映像への影響が出ることがあります。
- カメラレンズをアルコール、ベンジン、シンナーなどでふかないでください。変色などの原因になります。

■ ソナー★の取り扱い

システムを正しく作動させるために、以下のことをお守りください。

- ソナーはいつもきれいにしておいてください。
汚れているときは、柔らかい布で傷つけないように注意してふき取ってください。
- ソナーまたはその周辺に強い衝撃を与えないでください。またソナーの取り外し、分解などをしないでください。故障、誤作動の原因になります。事故などでソナーの取り付け部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください。
- ソナーまたはその周辺にステッカー（透明なものを含む）を貼ったり、アクセサリなどを取り付けしないでください。故障、誤作動の原因になります。



カーペットの汚れ取り

- 電気掃除機でほこりを取り除き、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。フロアカーペットを取り外したときは、敷き直すときにフロアカーペットがずれないように固定クリップで正しく確実に固定してください。

🔗 フロアカーペット (P.317)

注意

- **車室内に水をかけない。**
オーディオ★やスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などに水がかかると故障するおそれがあります。

アドバイス

- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使用しないでください。変色やしみの原因となります。また、各種クリーナー類には、これらの成分が含まれているおそれがあるため、確認してからご使用ください。

■ 布、ビニールレザーの汚れ取り

- 中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、軽くふき取ります。さらに水に浸した布を固くしぼってふき取ります。汚れがひどいときは、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。

注意

- **車室内に水をかけない。**
オーディオ★やスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などに水がかかると故障するおそれがあります。

アドバイス

- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使用しないでください。変色やしみの原因となります。また、各種クリーナー類には、これらの成分が含まれているおそれがあるため確認してからご使用ください。

■ 本革シートのお手入れ★

通常のお手入れ

- ガーゼなど柔らかい布でふきます。

水溶性の汚れを取るとき

- 柔らかい布をぬるま湯に浸し、固くしぼってからふき取ります。次に乾いた柔らかい布でふきます。

油性の汚れを取るとき

- ① ぬるま湯に中性洗剤を溶かし（濃度2～3%）、柔らかい布に含ませ汚れを取ります。
- ② 真水に浸した布を固くしぼってふき取ります。
- ③ 乾いた柔らかい布でふき、風通しのよい日陰で乾燥させます。



■ 本革部位

⚠ 注意

- 車室内に水をかけない。
オーディオ★やスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などに水がかかると故障するおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使わないでください。変色やしみの原因となります。また、各種クリーナー類には、これらの成分が含まれているおそれがありますので確認してから使ってください。
- 本革シートは、直射日光により変色、変質することがあるため、日よけに心がけてください。
- 本革シートが水などでぬれたときは早めにふき取ってください。皮革が硬化、収縮する原因となります。

📖 知識

- 本革シートのお手入れ用品（クリーナーなど）のご購入については、日産販売会社にご相談ください。

■ スーパーUVカット断熱グリーンガラス★のお手入れ

フロントドアガラスの内側にはUVカットコーティングがされています。

- フロントドアガラスの内側を清掃するときは、水または温水を含ませた柔らかいきれいな布で早めに汚れをふき取ってください。



アドバイス

- UVカットコーティングの傷つきや劣化を防ぐため、次のことをお守りください。
 - － フロントドアガラスの汚れがひどいときは、なるべく窓ガラスの開閉を行わない。
 - － 清掃するときはコンパウンド（研磨剤）入りのガラスクリーナー、アルカリ性洗剤は使用しない。
 - － 砂などが付着している布で清掃をしない。

■ メーター表面やその他光沢のあるプラスチック部品の汚れ取り

- 塵、ほこりを取り除き、柔らかい布を真水に浸して、固くしぼってから軽くふき取ります。
- 硬いブラシや布、ティッシュでこすると、傷がつくことがあります。



アドバイス

- 乾いた布やウェットティッシュなどを使用しないでください。傷がついたり、変色の原因になります。
- ワックスやコーティング剤、油などが付着した布ではふかないでください。変色の原因になります。

バックドアガラスの汚れ取り

- ガラスの内側を清掃するときは、熱線を切らないように水を含ませた柔らかい布で熱線にそって軽くふいてください。
- ガラスクリーナー、洗剤などは使用しないでください。

インテリジェント ルームミラー★のお手入れ

- ミラーやカメラ部は常にきれいな状態にしておいてください。汚れなどが付いていると見えにくくなるおそれがあります。
- ミラーやカメラ部を清掃するときは、乾いた柔らかい布などでそっと拭いてください。
- 清掃するときはアルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品でミラーやカメラ部を拭かないでください。変色、劣化、故障の原因となります。汚れがひどいときは、まず濡れた柔らかい布で拭いてから乾いた柔らかい布で拭いてください。
- カメラ前方のバックドアガラスはいつもきれいにしておいてください。中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた布でふき取ります。油膜が付いているときは、油膜取りを使用して清掃してください。
- カメラ前方のバックドアガラスにステッカー（透明なものを含む）を貼らないでください。

➡ 外観リヤ (P.3)

点検値

項目		点検値
ブレーキペダル※1	遊び	2～9mm
	床板とのすき間 エンジン回転中、踏力約490N（50kg）で踏んだとき	65mm以上
パーキングブレーキ	引きしろ 約196N（20kg）で引いたとき	11～12ノッチ

※1: ブレーキが正常に作動しないときは、必ず日産販売会社で点検を受けてください。また、ブレーキペダルの床板とのすき間の調節が必要なときも、日産販売会社にご相談ください。

交換油脂類

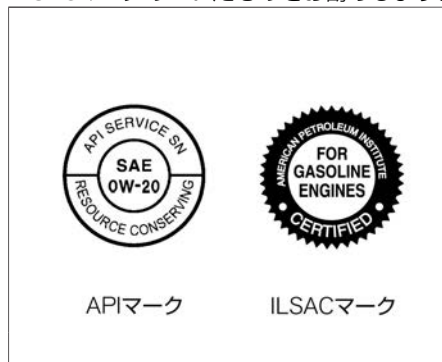
お車の性能を適正に保つため、弊社指定銘柄のご使用をおすすめします。
指定銘柄以外をお使いになる場合、指定銘柄に相当する品質のものをお使いください。
交換時期についてはメンテナンスノートをお読みください。

項目	適用		規定量（ℓ）※1	指定銘柄
エンジンオイル	HR12DE	オイルのみ交換	3.2	日産純正SNストロングセーブ・X 0W-20 (API: SN、SAE: 0W-20)
		オイルとオイルフィルター交換	3.4	

※1： 規定量は目安です。

指定銘柄以外のエンジンオイルについて

指定銘柄以外をお使いになる場合は、下記に適合したエンジンオイルをお使いください。
グレード：API規格SM、SNをお使いください。ILSACマークのついたものをお勧めします。



粘度：SAE規格0W-20をご使用ください。

次ページに続く

項目	適用	規定量 (ℓ) ※1	指定銘柄
エンジン冷却水	全車	6.96 ^{※2}	日産純正スーパーロングライフクーラント ^{※4}
インバーター冷却水	全車	4.24 ^{※3}	
ギヤボックスオイル	全車	1.94	日産純正マチックフルードS ^{※5}
ブレーキフルード	全車	-	日産純正ブレーキフルードNo.2500 (DOT3)
ウォッシャー液	全車	2.0	日産純正ウインドウォッシャー液 ^{※6}

※1： 規定量は目安です。

※2： リザーバータンクのMAXレベル容量 (0.85 ℓ) を含みます。

※3： リザーバータンクのMAXレベル容量 (0.57 ℓ) を含みます。

※4： 走行用モーターやインバーターなどが破損するおそれがあるため、市販されている水漏れ防止剤などの添加剤は冷却水に添加しないでください。冷却水には、日産純正スーパーロングライフクーラントを必ずご使用ください。

※5： 必ず日産純正マチックフルードSを使用してください。日産純正マチックフルードS以外のフルードを使用するとギヤボックスが損傷するおそれがあります。

※6： 外気温に応じて濃度を調節してください。

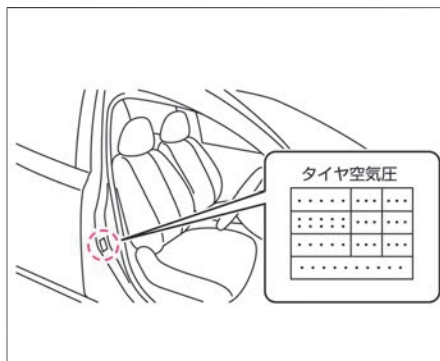
電球（バルブ）の容量

電球		容量（v-w）	電球のタイプ	
前照灯（ヘッドランプ）	LEDヘッドランプ付車	ロービーム	－	LED
		ハイビーム	12-60	HB3
	ハロゲンヘッドランプ付車	ロービーム	12-55	H11
		ハイビーム	12-60	HB3
前部霧灯（フォグランプ）★			12-35	H8
後部霧灯（リヤフォグランプ）★			12-21	W21W
LEDハイパーデイライト★			－	LED
車幅灯	LEDヘッドランプ付車	－	LED	
	ハロゲンヘッドランプ付車	12-5	W5W	
番号灯			12-5	W5W
制動灯			－	LED
尾灯			12-5	W5W
ハイマウントストップランプ			－	LED
後退灯			12-16	W16W
方向指示器 兼 非常点滅表示灯	前面	12-21（アンバー）	PY21W	
	側面	－	LED	
	後面	12-21（アンバー）	WY21W	

タイヤ・ロードホイールサイズ

タイヤサイズ	ロードホイールサイズ		
	リムサイズ	P.C.D	インセット
185/70R14	14×5.5J	100mm (4穴)	40mm
185/65R15	15×5.5J		
	15×5.5JJ		46mm
195/55R16	16×6.5J		

タイヤの指定空気圧は運転席ドアの開口部に表示してありますので、確認してください。



■ 車両データの記録・蓄積について

この車両に装備されている以下システムの各コンピューターはイベントデータレコーダ機能を備えています。

以下システムの各コンピューターは正常に作動しているかどうかを常に診断し、イベントデータレコーダで車両が衝突したときの車両データを記録・蓄積しています。

■ SRSエアバッグシステム

SRSエアバッグシステムが作動したときに下記車両データを記録・蓄積します。

- エアバッグシステムの作動に関する情報
- エアバッグシステムの故障診断情報

■ データの扱いについて

日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、イベントデータレコーダに記録されたデータを日産自動車の車両衝突安全性能の向上を目的として、取得・利用することがあります。

なお、日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、取得したデータを次の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- 車両の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

知識

- イベントデータレコーダは一般的なデータレコーダとは異なり、会話などの音声や映像は記録しません。

MEMO

A

A/C (エアコン)

A/C (エアコン)	P.153
エアコンスイッチ	P.153
エアコンを使うときに注意すること	P.157
吹き出し口	P.156

ABS

ABS	P.200
ABS 警告灯	P.79

E

ECO モード

ECO モード	P.197
ECOモードインジケータ	P.73
e-POWERモードスイッチ	P.199

EDR (イベントデータレコーダ)

ELR (緊急固定) 付3点式シートベルト

e-POWERシステム

e-POWERシステム警告灯	P.79
e-POWERシステム始動操作表示灯	P.91,
P.92	
e-POWERシステム車が事故にあったときの注 意事項	P.18

e-POWERシステムの始動のしかた P.168

e-POWERシステムの停止のしかた P.170

e-POWERシステムの取り扱いに関する
注意事項e-POWERシステムの非常停止のしか
たe-POWERシステムを始動できないとき
は

燃費を良くするためのポイント

e-POWERモードスイッチ

EPS (電動パワーステアリング警告灯)

I

INT (ワイパー)

ISO FIX 対応チャイルドシート用アン
カー

K

KEY警告灯

L

LDW (車線逸脱警報)

LDW (車線逸脱警報)

LDW (車線逸脱警報) 警告灯

LDW (車線逸脱警報) スイッチ

LEDハイパーデイルイト

LEDハイパーデイルイト

電球 (バルブ) 交換

電球 (バルブ) 容量

M

MIST (ワイパー)

O

ODO (オドメーター)

P

P 戻し忘れ警告灯

S

SRS エアバッグ

SRS エアバッグ警告灯

Sモード

e-POWERモードスイッチ

Sモード

Sモードインジケータ

T

TRIP（トリップメーター） P.71

V

VDC

VDC P.201
VDC OFF スイッチ P.203
VDC OFF表示灯 P.91, P.92
VDC警告灯 P.79

W

W数（電球の容量） P.427

ア

アームレスト

後席シート P.132
前席シート P.127

アウトミラー（ドアミラー） P.144

アラーム P.358

アルミホイールのお手入れ P.414

アンサーバック機能 P.104

アンテナ P.163

アンテナオーディオ

アンテナ P.412

I

e-POWERシステム

e-POWERシステム警告灯 P.79

e-POWERシステム始動操作

表示灯 P.91, P.92

e-POWERシステム車が事故にあった

ときの注意事項 P.18

e-POWERシステムの始動のしかた P.168

e-POWERシステムの停止のしかた P.170

e-POWERシステムの取り扱いに関する

注意事項 P.16

e-POWERシステムの非常停止のしか

た P.172

e-POWERシステムを始動できないとき

は P.343

燃費を良くするためのポイント P.20

移動物 検知機能 P.292

イベントデータレコーダ（EDR） P.429

イモビライザー（盗難防止装置）

イモビライザー（盗難防止装置） P.65

セキュリティインジケータ P.91, P.92

イルミネーションコントロール P.101

インストアッパーボックス P.311

インテリジェント Li（車線逸脱防止支援システム）

インテリジェント Li（車線逸脱防止

支援システム）スイッチ P.279

インテリジェント Li（車線逸脱防止

支援システム）警告灯 P.79

インテリジェント アラウンドビュー

モニター

移動物 検知機能 P.292

インテリジェント アラウンドビュー

モニター P.284

インテリジェント アラウンドビュー

モニターに関する注意事項 P.297

ソナー機能について P.294

インテリジェント エマージェンシー

ブレーキ

インテリジェント エマージェンシ

ブレーキ P.243

インテリジェント エマージェンシー

ブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト

OFFスイッチ P.245

インテリジェント エマージェンシー

ブレーキ／踏み間違い衝突防止

アシストOFF表示灯 P.91, P.92

インテリジェント エマージェンシー

ブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告

灯 P.79

インテリジェント オートライト

（フロントワイパー連動、薄暮れ感知

「おもいやりライト」機能付） P.185

インテリジェント クルーズコントロール	
インテリジェント クルーズコントロール	P.212
インテリジェント クルーズ	
コントロールの解除のしかた	P.229
インテリジェント クルーズ	
コントロール表示	P.100
ステアリングスイッチ	P.215
インテリジェント ルームミラー	
インテリジェント ルームミラー	P.135
お手入れ	P.423
インテリジェントキー	
KEY警告灯	P.79
機能・使いかた	P.104
電池が切れたとき	P.407
電池交換のしかた	P.407
メカニカルキー	P.341
インナーミラー（ルームミラー）	P.134

ウ

ウィンカー（方向指示器）	P.189
ウインドーガラス	
手動式ウインドー	P.149
パワーウインドー	P.147
ウォーニング（警告灯）	P.79
ウォッシャー	
ウォッシャー液（規定量）	P.425

ウォッシャー液の補給	P.375
ウォッシャースイッチ	P.195
動けなくなったときは	P.324
運転するときに注意すること	P.26
運転前の準備	P.24

エ

エアコン	
エアコン	P.153
エアコンスイッチ	P.153
エアコンを使うときに注意すること	P.157
吹き出し口	P.156
エアバッグシステム	
SRS エアバッグ警告灯	P.79
SRSエアバッグシステム（前席）	P.44
SRS カーテンエアバッグシステム	P.49
SRS エアバッグ	P.40

ABS

ABS	P.200
ABS 警告灯	P.79

ECO モード

ECO モード	P.197
e-POWERモードスイッチ	P.199
ECOモードインジケーター	P.73

Sモード

e-POWERモードスイッチ	P.199
Sモード	P.197

Sモードインジケーター	P.72
エネルギーフローメーター	P.73
LEDハイパーデライト	
LEDハイパーデライト	P.183
電球（バルブ）交換	P.391
電球（バルブ）容量	P.427
エンジン	
エンジンオイル	P.409, P.425
エンジンルーム	P.373
エンジンルームから蒸気が出ていると	
き	P.362
パワースイッチ	P.168
フード（ボンネット）	P.374

オ

オイル	P.425
応急修理する前に	P.331
オーディオ	
アンテナ	P.163
オーディオの使い方	P.161
ステアリングスイッチ	P.166
オートエアコン	P.153
オートレベライザー	P.183
オートロック機能	P.110, P.112
オーバーヒート	P.362
お子さまを乗せるときに注意すること	P.51

オドメーター（積算距離計） P.71

カ

カードホルダー P.320
 外気温表示 P.98
 回生ブレーキ P.13
 外装のお手入れ P.410
 カギ（インテリジェントキー） P.104
 ガソリン P.150
 カップホルダー P.312
 カメラ
 フロントビュー／サイドビューカメ
 ラ P.416
 マルチセンシングフロントカメラ P.415
 リヤビューカメラ P.417
 カメラシステム P.284
 ガラスアンテナ P.165
 寒冷時の取り扱い P.376

キ

キー
 インテリジェントキー P.104
 キー（インテリジェントキー）の電池
 交換 P.407
 メカニカルキー P.341
 キー連動室内照明 P.308

キックダウン P.179

ク

空気圧（タイヤ） P.428
 くもり取り
 デフロスタースイッチ P.360
 リヤウインドーデフォグガースイッ
 チ P.361
 クラクション（ホーン） P.133
 クリアランスランプ（車幅灯）
 スイッチ P.183
 電球（バルブ）交換 P.391
 電球（バルブ）容量 P.427
 車のお手入れ P.410
 グローブボックス P.310

ケ

警告灯 P.79
 警告灯がついたときは P.350
 警報ブザー音別一覧表（インテリジェント
 キー） P.358
 けん引について P.326

コ

工具 P.366

高水温警告灯 P.79
 後席シート P.128
 航続可能距離 P.98
 後退灯
 電球（バルブ）交換 P.391
 電球（バルブ）容量 P.427
 高電圧部品について P.15
 後部霧灯（リヤフォグランプ）
 スイッチ P.192
 電球（バルブ）容量 P.427
 故障警告灯（MIL） P.79
 故障したときは P.324

サ

サービスデータ（車両仕様） P.427
 サイドミラー（ドアミラー） P.144
 サンバイザー P.319

シ

シート
 お手入れ P.419, P.421
 後席シート P.128
 前席シート P.122, P.124
 チャイルドシート P.54
 シートベルト
 後席シートベルトの位置 P.34

シートベルト警告灯	P.79
シートベルトの着用のしかた	P.35, P.36
シートベルトの注意事項	P.38
事故がおきたときは	P.18
室内灯	P.308
始動しない	P.343
始動のしかた	P.168
自動ブレーキ	P.243
車線逸脱警報(LDW)	P.276
ジャッキ	P.366
車幅灯	
スイッチ	P.183
電球 (バルブ) 交換	P.391
電球 (バルブ) 容量	P.427
車両仕様	P.427
車両情報ディスプレイ	P.96
車両接近通報装置	
車両接近通報音一時停止表示灯	P.91, P.92
車両接近通報装置	P.14, P.207
車両接近通報装置一時停止スイッチ	P.209
ジャンプスタートのしかた	P.346
12V系充電警告灯	P.79
12Vバッテリー	P.408
出力制限表示灯	P.79
手動式ウィンドー	P.149

ス

スイッチの操作

e-POWERモードスイッチ	P.199
LDW (車線逸脱警報) スイッチ	P.279
LDW (車線逸脱警報) スイッチ	
インテリジェント L (車線逸脱防止	
支援システム) スイッチ	P.279
VDC OFF スイッチ	P.203
イルミネーションコントロール	
スイッチ	P.101
インテリジェント エマージェンシー	
ブレーキ/踏み間違い衝突防止アシスト	
OFFスイッチ	P.245, P.263
エアコンスイッチ	P.153
車両接近通報装置一時停止スイッチ	P.209
ステアリングスイッチ	
(インテリジェント クルーズ	
コントロール)	P.215
ステアリングスイッチ (オーディ	
オ)	P.166
デフロスタースイッチ	P.360
ドアスイッチ	P.110
ドアミラースイッチ	P.144
ドアロックスイッチ	P.113
パワーウィンドースイッチ	P.147
パワースイッチ	P.168

非常点滅表示灯スイッチ	
(ハザードスイッチ)	P.6
フォグランプスイッチ	P.192
ヘッドランプレベライザースイッチ	P.190
方向指示器スイッチ	P.189
ライトスイッチ	P.183
リヤウィンドーデフォグガー	
スイッチ	P.361
ワイパー・ウォッシャースイッチ	P.193
ステアリング (ハンドル)	P.133
ステアリングスイッチ	P.166
インテリジェント クルーズ	
コントロール	P.215
スピードメーター (速度計)	P.69
スペアタイヤ	P.366
スモールランプ (車幅灯)	
スイッチ	P.183
電球 (バルブ) 交換	P.391
電球 (バルブ) 容量	P.427

セ

制動灯

電球 (バルブ) 交換	P.391
電球 (バルブ) 容量	P.427
セキュリティインジケター	P.91, P.92
セレクトレバー	P.173

洗車のしかた	P.410
前照灯（ヘッドランプ）	
スイッチ	P.183
電球（バルブ）交換	P.391
電球（バルブ）容量	P.427
前席シート	P.122
前部霧灯（フォグランプ）	
スイッチ	P.192
電球（バルブ）交換	P.391
電球（バルブ）容量	P.427

ソ

走行可能表示灯	P.91, P.92
走行支援機能表示	P.100
走行時間	P.98
走行のしかた	P.179
走行用モーター	P.13
速度計（スピードメーター）	P.69

ソナー

ソナー	P.294
ソナーの取り扱い	P.418

タ

タイヤ	
アルミホイールのお手入れ	P.414
スペアタイヤ	P.331

タイヤ・ホイールを交換するとき	P.380
タイヤ・ロードホイールサイズ	P.428
タイヤ応急修理キット	P.332
タイヤチェーン	P.383
タイヤの位置交換（ローテーショ ン）	P.382
タイヤの空気圧	P.379, P.428
タイヤの点検項目	P.379
パンク	P.331
冬用タイヤ	P.383
正しい運転姿勢について	P.24

チ

チャイルドシート	P.54
チャイルドシート適合表	P.55
チャイルドセーフティドアロック	P.115
駐車のみかた	P.181
チルトステアリング	P.133

テ

停止のみかた	P.170
停車のみかた	P.181
低水温表示灯	P.91, P.92
低速加速抑制機能	P.253
低速衝突軽減ブレーキ機能	P.253

定速制御機能（インテリジェント クルーズコントロール）	P.237
デイルイト	
電球（バルブ）容量	P.427
テールランプ（尾灯）	
スイッチ	P.183
テールランプ表示灯	P.91, P.92
電球（バルブ）交換	P.391
電球（バルブ）容量	P.427
デフロスタースイッチ	P.360
電球（バルブ）交換	P.391
電球（バルブ）容量	P.427
点検整備について	P.366
電源ソケット	P.315
点検値／交換油脂類	P.424
電制シフト警告灯	P.79
電池交換のみかた	P.407
電動パワーステアリング警告灯	P.79

ト

ドア

ドア	P.110
ドアが開かないときは	P.341
ドアスイッチ	P.110
ドアロックスイッチ	P.113

ドアを室内から開けられないとき (チャイルドセーフティドアロック)	P.115
バックドア	P.117
ドアミラー	P.144
ドアミラーヒーター	P.146
盗難防止装置 (イモビライザー)	P.65
時計	P.75
トラブルがおきたときは	
12Vバッテリーがあがったときは	P.344
インテリジェントキーで始動できない ときは	P.343
オーバーヒートしたときは	P.362
警告灯がついたときは	P.350
出力制限表示灯が点灯したときは	P.349
ドアが開かないときは	P.341
バンクしたときは	P.331
ブザー (警報音) が鳴ったときは	P.358
窓ガラスがくもったときは	P.360
雪道やぬかるみにはまったときは	P.364
トリップコンピューター	P.97
トリップ燃費	P.98
トリップメーター (区間距離計)	P.71

ナ

内装のお手入れ	P.419
---------------	-------

ナンバー灯 (番号灯)	
スイッチ	P.183
電球 (バルブ) 交換	P.391
電球 (バルブ) 容量	P.427

二

日産e-POWERと上手に付き合うために	P.20
----------------------------	------

ネ

ネオンライン	P.75
燃費を良くするためのポイント	P.20
燃料	
燃料計	P.69
燃料タンク容量	P.150
燃料補給口	P.150
燃料残量警告灯	P.79

ハ

パーキングブレーキ	P.176
ハイビームアシスト	
ハイビームアシスト表示灯	P.91, P.92
ハイビームアシストについて	P.186
ハイマウントストップランプ	
電球 (バルブ) 交換	P.391
電球 (バルブ) 容量	P.427

ハザードスイッチ	P.6
挟み込み防止機構	P.148
発炎筒	P.325
バックドア	
開かない	P.342
バックドア	P.117
バックドアガラスのくもりの取りかた	P.361
バックミラー (ルームミラー)	P.134
発進	P.178
バッテリー	
12Vバッテリーがあがったときは	P.344
12Vバッテリー	P.408
リチウムイオンバッテリー	P.13
バッテリーセーバー	
ヘッドランプ	P.183
マップランプ	P.308
発電用モーター	P.13
バニティミラー	P.319
バルブ (電球) 交換	P.391
バルブ (電球) 容量	P.427
パワーウィンドー	
挟み込み防止機構	P.148
パワーウィンドー	P.147
パワーウィンドーが正常に作動しない とき	P.148
パワースイッチ	P.168

パワースイッチでのモードの切り替えか た	P.171
パワーメーター	P.70
パンクしたときは	P.331
番号灯	
スイッチ	P.183
電球（バルブ）交換	P.391
電球（バルブ）容量	P.427
半ドア警告灯	P.79
ハンドル	P.133

ヒ

ヒーター付ドアミラー	P.146
非常停止のしかた	P.172
非常点滅表示灯	
スイッチ	P.6
電球（バルブ）交換	P.391
電球（バルブ）容量	P.427
尾灯	
スイッチ	P.183
電球（バルブ）交換	P.391
電球（バルブ）容量	P.427
ヒューズ	P.386
表示灯	P.91, P.92
ヒルスタートアシスト	P.205

フ

VDC

VDC OFF スイッチ	P.203
VDC OFF 表示灯	P.91, P.92
VDC 警告灯	P.79
VDC	P.201
ブースターケーブルのつなぎかた	P.344
フード（ボンネット）	P.374
フォグランプ	
スイッチ	P.192
電球（バルブ）交換	P.391
電球（バルブ）容量	P.427
フォグランプ表示灯	P.91

吹き出し口	P.156
ブザー（警報音）が鳴ったときは	P.358
踏み間違い衝突防止アシスト	
インテリジェント エマージェンシー ブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト OFFスイッチ	P.263
インテリジェント エマージェンシー ブレーキ／踏み間違い衝突防止 アシストOFF表示灯	P.91, P.92
低速加速抑制機能	P.253
低速衝突軽減ブレーキ機能	P.253
踏み間違い衝突防止アシスト	P.252

フューエルフィルターリッド（燃料補給口） フューエルフィルターリッド（燃料補給 口）	P.150
フューエルフィルターリッドオープ ナー	P.151
フューエルメーター（燃料計）	P.69
冬用タイヤ・タイヤチェーン	P.383
ブレーキ（回生ブレーキ）	P.13
ブレーキ警告灯	P.79
フロアカーペット	P.317
フロントガラスのくもりの取りかた	P.360

ヘ

平均車速	P.98
平均燃費	P.98
ヘッドランプ	
スイッチ	P.183
電球（バルブ）交換	P.391
電球（バルブ）容量	P.427
ヘッドランプ上向き表示灯	P.91, P.92
ヘッドランプ警告灯	P.79
ヘッドランプレベライザースイッチ	P.190
ヘッドレスト	
後席シート	P.131
前席シート	P.126

ホ

ホイールサイズ	P.428
防眩式ルームミラー	P.134
方向指示器	
スイッチ	P.189
電球（バルブ）交換	P.391
電球（バルブ）容量	P.427
方向指示表示灯	P.91, P.92
防犯装置	
イモビライザー（盗難防止装置）	P.65
セキュリティインジケータ P.91, P.92	
ホーンの鳴らしかた	P.133
ポジションインジケータ	P.72
ポジションランプ（車幅灯）	
スイッチ	P.183
電球（バルブ）交換	P.391
電球（バルブ）容量	P.427
ボトルホルダー	P.313
ボンネット（フード）	P.374

マ

マップランプ	P.308
窓ガラスがくもったときは	P.360
マルチセンシングフロントカメラ	P.415

ミ

ミラー	
インテリジェント ルームミラー	P.135
ドアミラー	P.144
バニティミラー	P.319
ルームミラー	P.134

メ

メーター	
エネルギーフローメーター	P.73
オドメーター（積算距離計）	P.71
外気温度計	P.98
警告灯	P.79
航続可能距離	P.98
車両情報ディスプレイ	P.96
時計	P.75
パワーメーター	P.70
表示灯	P.91, P.92
メーター	P.69
メーターの明るさの調節のしかた	P.101
メンテナンス設定	P.77
メンテナンスデータ（サービスデータ）	P.424

モ

モーター	P.13
------------	------

ユ

油圧警告灯	P.79
雪道の走行のしかた	P.378
雪道やぬかるみにはまったときは	P.364

ラ

ライトスイッチ	P.183
ラゲッジサイドフック	P.321
ラゲッジルームランプ	P.308
ランプ（室内照明）	
マップランプ/ルームランプ	P.308
ラゲッジルームランプ	P.308
ランプが点灯しないとき（バルブの交換）	P.391

リ

リチウムイオンバッテリー	P.13
リモコンによる施錠・解錠	P.112
リヤウインドーデフォグスイッチ	P.361
リヤビューカメラ	P.417
リヤフォグランプ	
スイッチ	P.192

電球（バルブ）交換	P.391
電球（バルブ）容量	P.427
リヤフォグランプ表示灯	P.92
リヤワイパースイッチ	P.194

ル

ルームミラー	P.134
ルームランプ	
マップランプ／ルームランプ	P.308
ラゲッジルームランプ	P.308

レ

冷却水	
寒冷地の取り扱い	P.376
規定量	P.425
レバー（セレクトレバー）	P.173

ロ

ロードホイール	
お手入れ	P.414
交換	P.380
サイズ	P.428
路上で故障したときは	P.324
ロックノブ	P.113

ワ

ワイパー	
ワイパー・ウォッシャースイッチ	P.193
ワイパーゴムの交換	P.385
ワイパーブレードの交換	P.384
ワックスをかけるときは	P.413